
白井市障害者計画策定のための基礎調査

報告書

令和 7 年 10 月

白井市

目次

ア アンケート調査	2
I 調査の概要	2
1 調査の概要	2
2 実施概要	2
3 本報告書の見方	2
II 調査の結果	4
A 【身体障がい】	4
1 概要	4
(1)住まいや暮らしについて	4
(2)日頃の活動状況について	4
(3)外出・活動等について	4
(4)差別・権利擁護について	5
(5)災害時の対応について	5
(6)保健福祉サービス・施設サービスについて	5
2 あなた自身について	6
(1)回答者	6
(2)性別と年齢	6
(3)身体障害者手帳の等級	7
(4)障がい支援区分	7
(5)障がいの種類、部位	8
(6)身体障がいの発生時期	9
(7)お持ちの手帳や障がいについて	10
(8)介護保険の認定状況	10
(9)サービスの利用意向	11
(10)医療的ケアについて	11
3 住まいや暮らしについて	12
(1)一緒に暮らしている人	12
(2)現在の住まい	13
(3)増築や改修意向	13
(4)将来の生活について	14
(5)賃貸住宅を借りられなかった経験の有無	15
(5-1)賃貸住宅を借りられなかった理由	16
(6)地域で生活するために必要な支援	17
(7)介助者	18
(7-1)介助者の年齢	19
(7-2)介助者の健康状態	20
(7-3)介助を受ける上で問題となっていること	21
4 日頃の活動状況について	22
(1)普段の活動	22
(1-1)現在の仕事	24
(1-2)現在の仕事についての悩み	25
(2)仕事に対する意欲	26
(2-1)希望する就労形態	27
(3)障がいのある人への就労支援として必要なこと	28
5 外出・活動等について	29
(1)外出頻度	29
(1-1)外出時の交通手段	30
(1-2)車で移動する理由	31
(1-3)車の移動で困ったこと	31
(2)今後やりたいこと	32
(3)活動時に困ること	33
(4)スポーツや運動について	34
(4-1)スポーツや運動をしていない理由	35
(5)現在の生活で困っていること	36
6 差別・権利擁護について	37
(1)差別を受けた経験の有無	37

1	調査の概要	
	(1-1)差別を受けた場所	39
	(2)障がいがあることが原因で受けた経験	41
	(3)成年後見制度の認知状況	41
	(4)合理的配慮の認知状況	43
7	災害時の対応について	44
	(1)災害時の避難について	44
	(1-1)災害時に避難の手助けをしてくれる人	45
	(2)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況	46
8	保健福祉サービス・施設サービスについて	47
	(1)障がいのある人に対するサービスについての情報源	47
	(2)希望する情報提供の方法	48
	(3)福祉サービスについて困っていること	49
	(4)悩みを相談する場所の有無	50
	(5)相談相手	52
	(6)相談しない理由	52
	(7)基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況	53
	(8)地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいもの	54
	(9)障がいや福祉に関する言葉の認知状況	58
	(10)ヤングケアラーについて	59
	(10-1)お手伝いの頻度・時間	60
	(11)障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化	61
B	【知的障がい】	64
1	概要	64
	(1)住まいや暮らしについて	64
	(2)日頃の活動状況について	64
	(3)外出・活動等について	64
	(4)差別・権利擁護について	65
	(5)災害時の対応について	65
	(6)保健福祉サービス・施設サービスについて	65
2	あなた自身について	66
	(1)回答者	66
	(2)性別と年齢	67
	① 性別	67
	② 年齢	67
	(3)療育手帳の等級	68
	(4)お持ちの手帳や障がいについて	68
	(5)介護保険の認定状況	69
	(6)サービスの利用意向	70
	(7)受けている医療的ケア	71
3	住まいや暮らしについて	72
	(1)一緒に暮らしている人	72
	(2)現在の住まい	73
	(3)将来の生活について	74
	(4)賃貸住宅を借りられなかった経験の有無	75
	(4-1)賃貸住宅を借りられなかった理由	75
	(5)地域で生活するために必要な支援	76
	(6)介助者	77
	(6-1)介助者の年齢	78
	(6-2)介助者の健康状態	79
	(6-3)介助を受ける上で問題となっていること	80
4	日頃の活動状況について	81
	(1)普段の活動	81
	(2-1)現在の仕事	82
	(2-2)現在の仕事についての悩み	83
	(3)仕事に対する意欲	84
	(3-1)希望する就労形態	86
	(4)障がいのある人への就労支援として必要なこと	87
5	外出・活動等について	88
	(1)外出頻度	88
	(1-1)外出時の交通手段	89

(1-2)車で移動する理由	90
(1-3)車の移動で困ったこと	90
(2)今後やりたいこと	91
(3)活動時に困ること	92
(4)スポーツや運動について	93
(4-1)スポーツや運動をしていない理由	94
(5)現在の生活で困っていること	95
6 差別・権利擁護について	96
(1)差別を受けた経験の有無	96
(1-1)差別を受けた場所	97
(2)障がいがあることが原因で受けた経験	98
(3)成年後見制度の認知状況	99
(4)合理的配慮の認知状況	99
7 災害時の対応について	100
(1)災害時の避難について	100
(2)災害時に避難の手助けをしてくれる人	101
(3)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況	102
8 保健福祉サービス・施設サービスについて	103
(1)障がいのある人に対するサービスについての情報源	103
(2)希望する情報提供の方法	104
(3)福祉サービスについて困っていること	105
(4)悩みを相談する場所の有無	106
(4-1)相談相手	107
(4-2)相談しない理由	107
(5)基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況	108
(6)地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいもの	109
(7)障がいや福祉に関する言葉の認知状況	111
(8)ヤングケアラーについて	112
(9)お手伝いの頻度・時間	113
(10)障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化	114
C 【精神障がい】	116
1 概要	116
(1)住まいや暮らしについて	116
(2)日頃の活動状況について	116
(3)外出・活動等について	116
(4)差別・権利擁護について	117
(5)災害時の対応について	117
(6)保健福祉サービス・施設サービスについて	117
2 あなた自身について	118
(1)回答者	118
(2)性別と年齢	118
① 性別	118
② 年齢	119
(3)精神障害者保健福祉手帳の等級	119
(4)障がいの種類	120
(5)初めて精神科・神経科で診療を受けた年齢	121
(6)自立支援医療精神通院制度の利用状況	121
(7)お持ちの手帳や障がいについて	122
(8)介護保険の認定状況	122
(9)サービスの利用意向	123
(10)受けている医療的ケア	123
3 住まいや暮らしについて	124
(1)一緒に暮らしている人	124
(2)現在の住まい	125
(3)将来の生活について	126
(4)賃貸住宅を借りられなかった経験の有無	127
(4-1)賃貸住宅を借りられなかった理由	128
(5)地域で生活するために必要な支援	129
(6)介助者	130
(6-1)介助者の年齢	131

1 調査の概要		
(6-2)介助者の健康状態	132
(6-3)介助を受ける上で問題となっていること	133
4 日頃の活動状況について	134
(1)普段の活動	134
(1-1)現在の仕事	135
(1-2)現在の仕事についての悩み	136
(2)仕事に対する意欲	137
(2-1)希望する就労形態	138
(3)障がいのある人への就労支援として必要なこと	140
5 外出・活動等について	141
(1)外出頻度	141
(1-1)外出時の交通手段	142
(1-2)車で移動する理由	143
(1-3)車の移動で困ったこと	144
(2)今後やりたいこと	145
(3)活動時に困ること	146
(4)スポーツや運動について	147
(4-1)スポーツや運動をしていない理由	148
(5)現在の生活で困っていること	149
6 差別・権利擁護について	150
(1)差別を受けた経験の有無	150
(1-1)差別を受けた場所	151
(2)障がいがあることが原因で受けた経験	152
(3)成年後見制度の認知状況	153
(4)合理的配慮の認知状況	153
7 災害時の対応について	154
(1)災害時の避難について	154
(2)災害時に避難の手助けをしてくれる人	155
(3)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況	156
8 保健福祉サービス・施設サービスについて	157
(1)障がいのある人に対するサービスについての情報源	157
(2)希望する情報提供の方法	158
(3)福祉サービスについて困っていること	159
(4)悩みを相談する場所の有無	160
(4-1)相談相手	160
(4-2)相談しない理由	161
(5)基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況	161
(6)地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいもの	162
(7)障がいや福祉に関する言葉の認知状況	165
(8)ヤングケアラーについて	166
(9)お手伝いの頻度・時間	166
(10)障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化	168
D 【障がい児】	170
1 概要	170
(1)子どもの状況	170
(2)外出について	170
(3)住まいや暮らしについて	170
(4)日頃の活動状況について	171
(5)差別・権利擁護について	171
(6)保健福祉サービス・施設サービスについて	171
2 あなた自身について	172
(1)回答者	172
(2)性別と年齢	172
(3)身体障害者手帳の等級	173
(3-1)障がいの種類、部位	174
(4)療育手帳の等級	174
(5)精神障害者保健福祉手帳の等級	175
(6)指定難病の認定の有無	175
(7)発達障がいの診断の有無	176
(8)必要な支援	177

(9)医療的ケアについて	178
(9-1)受けている医療的ケア	178
(9-2)医療的ケアを行うための設備がないため利用できない施設.....	179
(9-3)医療的ケアをしている人	179
3 外出について	180
(1)外出頻度	180
(1-1)外出時の交通手段	181
(1-2)車で移動する理由	182
(1-3)車の移動で困ったこと	183
4 住まいや暮らしについて	184
(1)一緒に暮らしている人	184
(2)保護者の就労状況	185
(3)保護者が就労時にお子さんが過ごしている場所.....	186
(4)保護者が就労する上で困っていること	187
(5)介助者	187
(5-1)介助者の年齢	188
(5-2)介助者の健康状態	189
(5-3)介助を受ける上で問題となっていること	190
(6)悩みの相談場所	191
(7)療育施設や行政に充実を求めること	192
(8)サービスの利用意向	193
(9)ヤングケアラーについて	193
(9-1)お手伝いの頻度・時間.....	194
5 日頃の活動状況について	196
(1)平日の日中の過ごし方	196
(2)通園や通学で困っていること	198
(3)スポーツや運動について	199
6 差別・権利擁護について	201
(1)差別を受けた経験の有無	201
(1-1)差別を受けた場所	202
(2)障がいがあることが原因で受けた経験	203
(3)合理的配慮の認知状況.....	204
7 保健福祉サービス・施設サービスについて	205
(1)障がいのある人に対するサービスについての情報源.....	205
(2)希望する情報提供の方法	206
(3)福祉サービスについて困っていること	207
(4)障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化.....	209
E 【一般】	212
1 概要	212
(1)障がいのある人との交流などについて	212
(2)ボランティアについて	212
(3)福祉のまちづくりについて	213
2 あなた自身について	214
(1)回答者の年齢と性別	214
① 性別	214
② 年齢	214
(2)職業	215
(3)居住年数	215
3 障がいのある人との交流などについて	216
(1)障がいのある人と日常生活の中で接する機会について	216
(2)障がいのある人が困っているのを見かけたときの行動	217
(3)障がい等に関することについての体験や学んだ経験	218
(4)障がいのある人と一緒に活動した経験の有無	219
(4-1)障がいのある人と一緒に活動した場所	220
(5)障がいのある人への差別・偏見について	221
(6)障がいのある人に対する理解の深まりについて	222
(7)障がいのある人が就労するために必要な条件	223
(8)障がいのある人との人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくために必要なこと	224
4 ボランティアについて	225
(1)ボランティア活動についての関心の有無	225

1 調査の概要		
(2)障がいのある人に対するボランティア活動の参加状況	226	
(3)障がいのある人に対するボランティア活動への参加意向	227	
(3-1)希望する活動内容	228	
(3-2)ボランティア活動に参加しようとした際に困ること	229	
5 福祉のまちづくりについて	230	
(1)障がい福祉に関する言葉の認知状況	230	
(2)障がいのある人、ない人がお互いの理解のために必要なこと	231	
(3)合理的配慮の認知状況	232	
(4)合理的配慮が必要な場面	233	
(5)障がいに関するマーク等の認知状況	234	
F 【中学生】	236	
1 概要	236	
(1)障がいのある人との交流などについて	236	
2 障がいや障がいのある人に対する考え方	237	
(1)障がいのある人と接する機会の有無	237	
(2)障がいについて考えたことの有無	237	
(3)障がいのある人が困っているのを見かけたときにとる行動	238	
(4)障がいのある人に対する理解	238	
(5)障がいに関する言葉の認知状況	239	
(6)障がいのある人が公共施設などを利用しやすくするために必要なこと	239	
(7)障がいに関するマーク等の認知状況	240	
G 自由意見	241	
イ ヒアリング調査	244	
I 調査の概要	244	
1 調査の概要	244	
2 実施概要	244	
(1)実施方法	244	
(2)対象団体等	244	
① 障がい者関係団体ヒアリング調査	244	
② 障がい者関係事業所ヒアリング調査	245	
II 調査結果のポイント	246	
1 障がい者関係団体ヒアリング調査	246	
(1)活動状況に関する課題	246	
(2)要望や苦情の多いサービス・特に重要と考えるサービス・今後利用希望が増えると見込まれるサービス	246	
(3)地域生活	246	
(4)新型コロナウイルスの影響	247	
(5)市などの相談支援体制	247	
(6)市へのご意見・ご要望	247	
2. 障がい者関係事業所ヒアリング調査	247	
(1)ニーズは高いが、供給不足のサービスとその理由	247	
(2)障害福祉サービスだけでは解決できない問題	248	
(3)行政、他機関との連携に支障が生じる理由	248	
(4)現時点での新型コロナウイルスの影響	248	
(5)令和7年4月開設予定の基幹相談支援センターについて	249	
(6)障がい福祉行政全般に対する意見	249	
ウ 主な課題	252	
I アンケート・ヒアリング調査結果からのまとめ	252	
1 介助する人の高齢化が進むことに対応した施策が必要です。	252	
2 障がいのない人が、障がい者のことをもっと知る環境をつくることが必要です。	252	
3 不足する障害福祉サービスの充実が必要です。	252	
4 障害福祉サービスとその他のサービスとの連携が必要です。	253	
5 わかりやすい情報提供が必要です。	253	
II 障がい別、年齢別で特に留意すべき課題	254	
1 身体障がい	254	
2 知的障がい	254	
3 精神障がい	254	
4 障がい児	255	
5 一般市民	255	
6 介護保険が優先になる年齢になった障がい者	255	

ア アンケート調査

ア アンケート調査

I 調査の概要

1 調査の概要

本市では、令和8(2026)年度を初年度とする次期計画の策定に向けた基礎資料とするため、住民の生活での様子や考え方を把握し、計画策定や施策の推進に役立てるため、アンケートを実施しました。

2 実施概要

区分	①身体障がい	②知的障がい	③精神障がい	④障がい児	⑤一般市民	⑥中学生
サンプル数 (票)	1,097	223	402	278	500	654
有効回収数 (票)	568 紙 503 Web 65	102 紙 76 Web 26	176 紙 125 Web 51	140 紙 78 Web 62	208 紙 143 Web 65	538
有効回収率 (%)	51.8%	45.7%	43.8%	50.4%	41.6%	82.3%
調査方法	郵送配布・回収（回収は web 回収を併用）					学校配布 Web 回収
アンケート回収期間	令和6年12月23日(月)～令和7年1月17日(金)					令和7年 2月

3 本報告書の見方

- ①調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。
- ③図表中の「n」とは、回答者数を表します。
- ④選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。
- ⑤グラフは、原則単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフで表記をしていますが、単数回答でも項目が多く、文章が長いものは、棒グラフで表記することができます。

ページ構成の都合により白紙

II 調査の結果

A 【身体障がい】

1 概要

(1)住まいや暮らしについて

- ・一緒に住んでいる人は、「配偶者(妻・夫)」が61.3%と最も高く、次いで「子ども」が28.5%となっています。また、ひとり暮らしも13.7%となっており、前回調査(以下、「前回」と表記)の10.9%と比較すると、2.8ポイント増加しています。
- ・今後の生活については、前回、今回調査(以下、「今回」と表記)とも「今まで良い」が最も高くなっていますが、「入所施設で暮らしたい」が今回は12.0%と6.1ポイント増加しています。
- ・賃貸住宅を借りられなかった経験は、全体では1.8%となっていますが、集合住宅(賃貸)にお住まいの方は9.6%が「ある」と回答しています。貸せない理由としては、「高齢者の人には貸せないと言われた」「家賃が高かった」が最も高くなっています。
- ・地域で生活するために必要な支援は、前回、今回とも「経済的な負担の軽減」「必要な在宅サービスが適切に利用できること」の順となっています。
- ・介助する方の年齢をみると、70代以上では今回は49.1%となっており、前回の35.2%と比較すると、13.9ポイント増加しており、介助者の高齢化が進んでいます。

(2)日頃の活動状況について

- ・普段の活動は、前回、今回とも「特に何もしていない」が最も高くなっています。
- ・現在の仕事は、「一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)」「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」の割合は、前回、今回ともほぼ同じですが、「特例会社または障がい者雇用で働いている」が今回は16.8%となっており、前回より6.1ポイント増加しています。
- ・今後、収入を得る仕事をしたいかどうかについては、「仕事をしたい(続けたい)」が23.8%と前回より11.0ポイント増加しています。また、今後の就労意向についてみると、「一般の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)」が今回は33.3%と、前回より15.7ポイント増加しています。
- ・障がいのある人への就労支援として必要なことは、前回・今回とも「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も高くなっています。

(3)外出・活動等について

- ・外出の頻度は、週3日以上の外出が今回は58.4%となっており、前回と比較して8.7ポイント増加しています。
- ・車で移動する理由は「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が46.0%と最も高く、困ることは「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が39.1%となっています。
- ・今後やりたいことは、「旅行」「買物」の順となっており、前回・今回とも同じ順序です。
- ・スポーツについては、「今はしていないが、過去にしていたことがある」が34.9%と最も高くなっています。スポーツをしない理由は、「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」「体を動かすことが得意ではない」の順となっていますが、「どのようなスポーツや運動が合っているか

わからない」「一緒に取り組む仲間がない」も1割以上となっています。

(4)差別・権利擁護について

- ・差別を受けた経験は、「ある」が今回は16.4%(前回16.4%)と同率となっています。
- ・差別を受けた場所は、「外出先」が47.3%(前回45.5%)と最も高く、次いで「学校・仕事場」が32.3%(前回31.2%)となっており、前回とほぼ同率となっています。
- ・障がいがあることが原因で、発生した問題は「特にない(67.4%)」を除くと、「希望する仕事につけなかった」が4.0%となっていますが、前回の18.2%と比較すると、14.2ポイント減少しています。
- ・「成年後見制度」の周知度は、今回は37.9%(前回36.6%)とほぼ同率となっています。
- ・「合理的配慮」の周知度は、「内容まで知っている」「聞いたことはあるが内容までは知らない」の合計が今回は40.9%となっており、前回の33.4%と比較すると、7.5ポイント増加しています。

(5)災害時の対応について

- ・避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいるかどうかについては、「昼間・夜間ともにいる」が今回は46.9%ですが、前回は56.7%であったため、9.8ポイント減少しています。

(6)保健福祉サービス・施設サービスについて

- ・市の情報は、「市のおしらせ(広報など)」が48.8%と最も高く、次いで「ほとんど得られていない」が23.6%となっています。また、提供してほしい情報は、30代以下～50代では「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が最も高く、年齢により差が見られます。
- ・福祉サービスで困っていることは、「特にない」「制度のしくみがよくわからない」の順となっており、順位は前回と同じです。
- ・困ったことを相談する場所については、「ない」が18.0%(前回14.7%)とやや増加しています。
- ・相談する相手は、「家族や知人、友人」が80.9%と最も高くなっています。また、相談しない理由としては、「相談する場所がわからない(わからなかった)」が43.1%と最も高く、次いで「相談の必要を感じない(感じなかった)」が36.3%となっており、前回と順位の変化はありません。
- ・基幹相談支援センターの周知度は、「知らなかった」が87.1%となっています。
- ・地域で自立して暮らすために必要なことは、生活全般では「手当や年金などの経済的支援」が25.5%、就労・訓練・教育では「リハビリテーション」が20.2%、社会的活動では「福祉バス(市内循環バス)」が28.7%で、前回と1位の項目は同じです。
- ・障がいや福祉に関する言葉の認知状況は、「ヘルプマーク・ヘルプカード」は、内容まで知っている方の割合が38.7%(前回17.2%)と21.5ポイント増加していますが、それ以外は前回とほぼ同様です。
- ・ヤングケアラーの疑いのある人は、全体の3.4%であり、その半数近くが毎日となっています。
- ・障がい福祉サービスを受けることによる変化としては、「障がい福祉サービスを受けていない」が24.3%と最も高く、次いで「わからない」が24.1%となっています。但し、40代では「ある程度高まった」が27.3%と高くなっています。

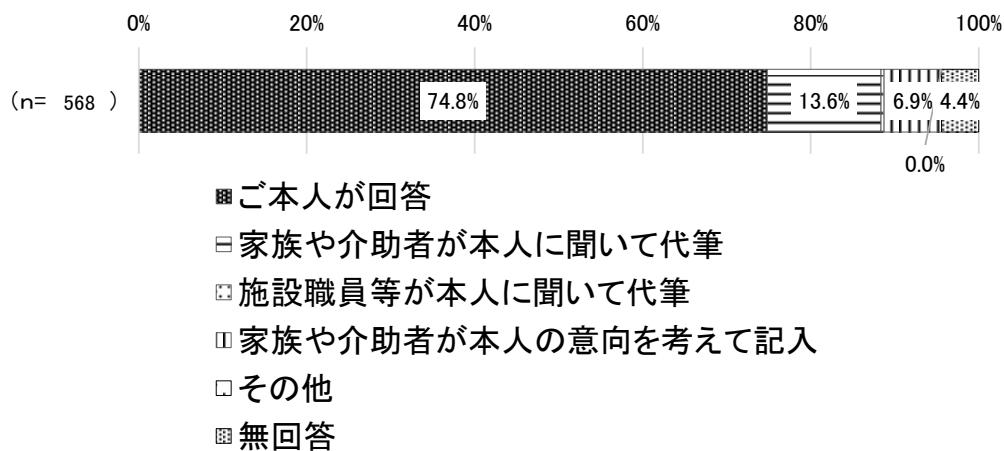
2 あなた自身について

(1)回答者

問1 このアンケートを記入する人はどなたですか。(○は1つ)

「ご本人が回答」が74.8%

「ご本人が回答」が74.8%と最も高く、次いで「家族や介助者が本人に聞いて代筆」が13.6%となっています。



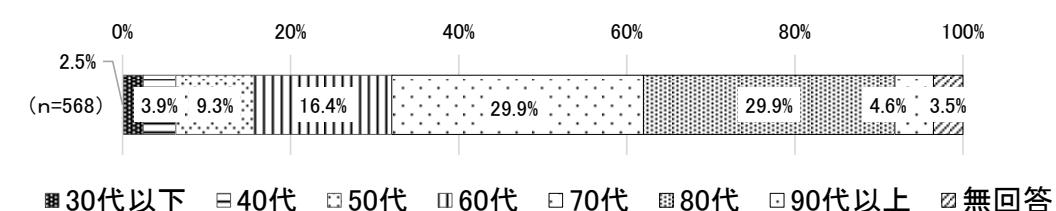
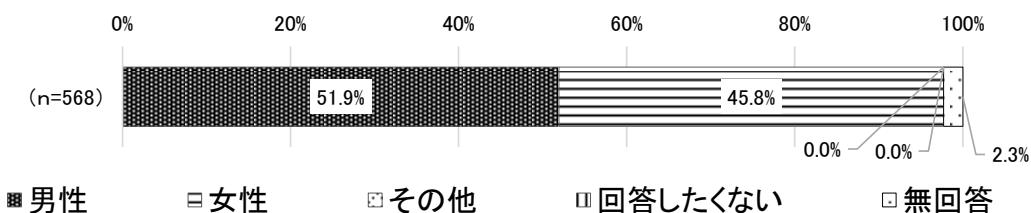
(2)性別と年齢

問2 あなたの性別と年齢をお答えください。

「70代」「80代」が各々29.9%

「男性」が51.9%と最も高く、次いで「女性」が45.8%となっています。

年齢では、「70代」「80代」が各々29.9%となっています。

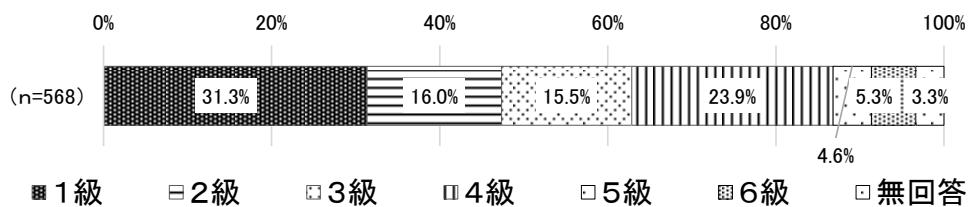


(3)身体障害者手帳の等級

問3 身体障害者手帳の等級はいくつですか。(○は1つ)

「1級」が31.3%

「1級」が31.3%と最も高く、次いで「4級」が23.9%となっています。



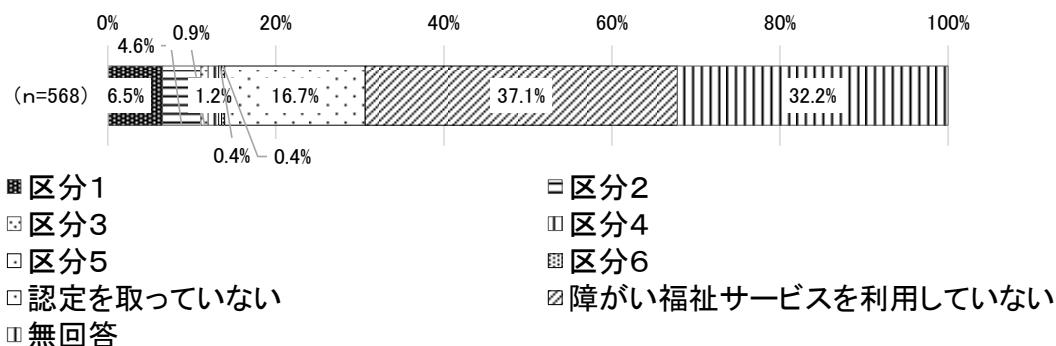
(4)障がい支援区分

問4 あなたの障がい支援区分は次のどれですか。(受給者証を見て1つに○)

※受給者証は、障がい福祉サービスを利用している人に交付しています。

「障がい福祉サービスを利用していない」が37.1%

「障がい福祉サービスを利用していない」が37.1%と最も高く、次いで「認定を取っていない」が16.7%となっています。

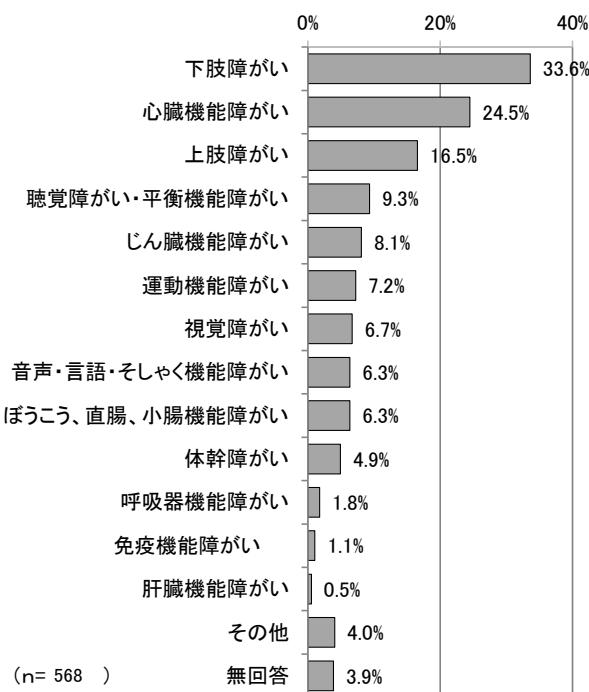


(5)障がいの種類、部位

問5 あなたの障がいの種類、部位について、おたずねします。(○はいくつでも)

「下肢障がい」が33.6%

「下肢障がい」が33.6%と最も高く、次いで「心臓機能障がい」が24.5%となっています。

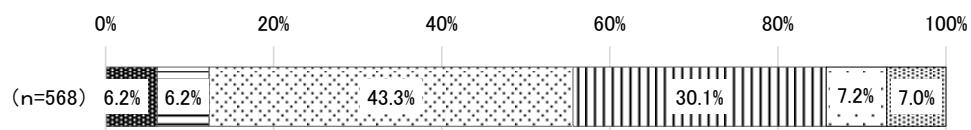


(6)身体障がいの発生時期

問6 あなたの身体障がいは、何歳ごろに発生しましたか。(○は1つ)

「18~64歳」が43.3%

「18~64歳」が43.3%と最も高く、次いで「65歳以上」が30.1%となっています。



■ 出生前または出生時 □ 18歳未満 □ 18~64歳 □ 65歳以上 □ わからない ■ 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「出生前または出生時」42.9%、80代では「65歳以上」51.8%、90代以上では「65歳以上」42.3%と最も高くなっています。

		回答者数	出生前または出生時	18歳未満	18~64歳	65歳以上	わからない	無回答
全体	人数	568	35	35	246	171	41	40
	構成比		6.2%	6.2%	43.3%	30.1%	7.2%	7.0%
30代以下	人数	14	6	3	5	0	0	0
	構成比		42.9%	21.4%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	22	5	6	8	0	3	0
	構成比		22.7%	27.3%	36.4%	0.0%	13.6%	0.0%
50代	人数	53	4	3	37	1	5	3
	構成比		7.5%	5.7%	69.8%	1.9%	9.4%	5.7%
60代	人数	93	6	4	69	7	5	2
	構成比		6.5%	4.3%	74.2%	7.5%	5.4%	2.2%
70代	人数	170	9	6	72	63	11	9
	構成比		5.3%	3.5%	42.4%	37.1%	6.5%	5.3%
80代	人数	170	5	9	46	88	12	10
	構成比		2.9%	5.3%	27.1%	51.8%	7.1%	5.9%
90代以上	人数	26	0	4	5	11	4	2
	構成比		0.0%	15.4%	19.2%	42.3%	15.4%	7.7%
無回答	人数	20	0	0	4	1	1	14
	構成比		0.0%	0.0%	20.0%	5.0%	5.0%	70.0%

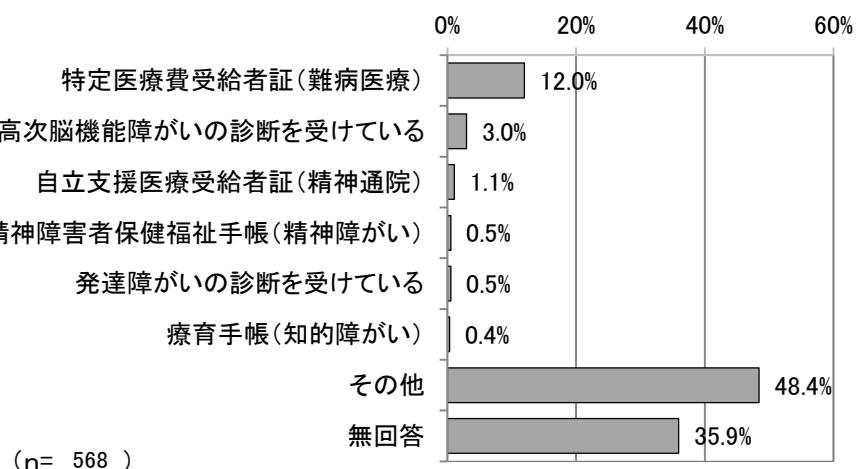
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(7)お持ちの手帳や障がいについて

問7 あなたがお持ちの手帳や障がいについてお答えください。(○はいくつでも)

「特定医療費受給者証（難病医療）」が12.0%

「特定医療費受給者証（難病医療）」が12.0%と最も高く、次いで「高次脳機能障がいの診断を受けている」が3.0%となっています。

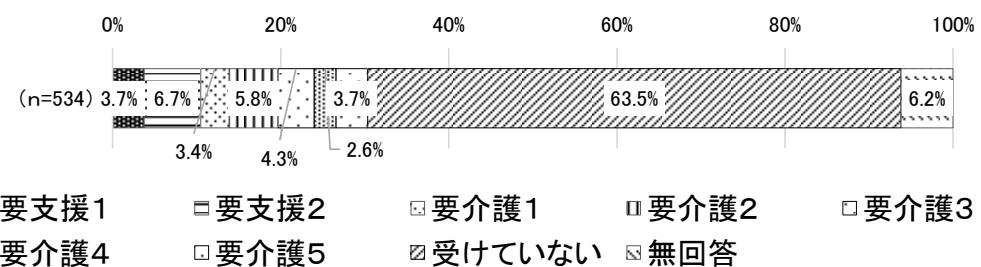


(8)介護保険の認定状況

問8 (40歳以上の人のみ) あなたは介護保険の認定を受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が63.5%

「受けていない」が63.5%と最も高く、次いで「要支援2」が6.7%となっています。

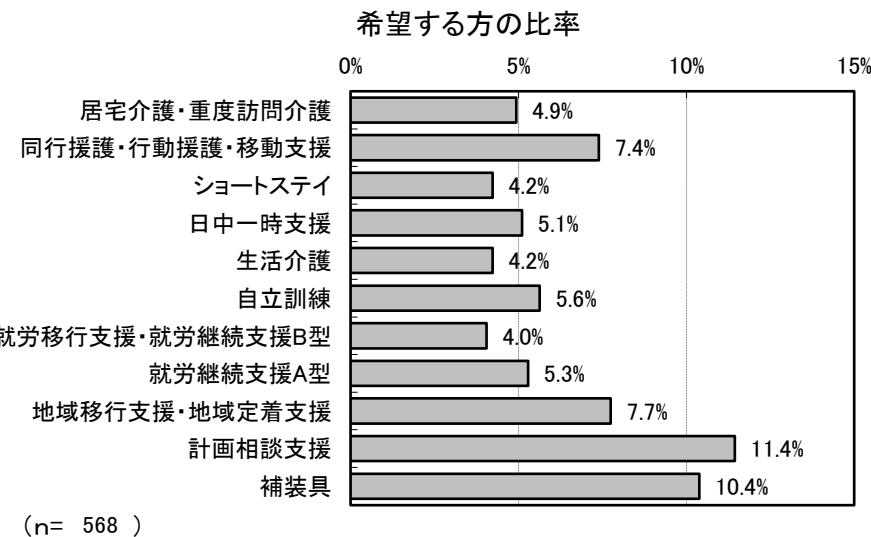


(9)サービスの利用意向

問9 あなたは、新たに利用したいサービスや今後利用を増やしたいサービスはありますか。(増やしたい回数を記載、または選択肢を選んでください)

「計画相談支援」が 11.4%

「計画相談支援」が11.4%と最も多く、次いで「補装具」が10.4%となっています。

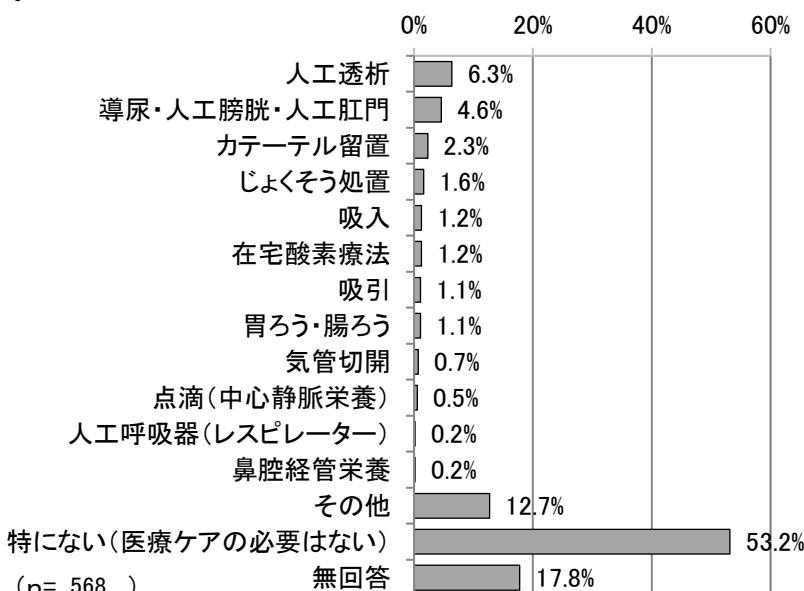


(10)医療的ケアについて

問10 あなたが現在受けていたる医療的ケアはどれですか。(○はいくつでも)

「特がない（医療ケアの必要はない）」が 53.2%

「特がない（医療ケアの必要はない）」が53.2%と最も高く、次いで「人工透析」が6.3%となっています。



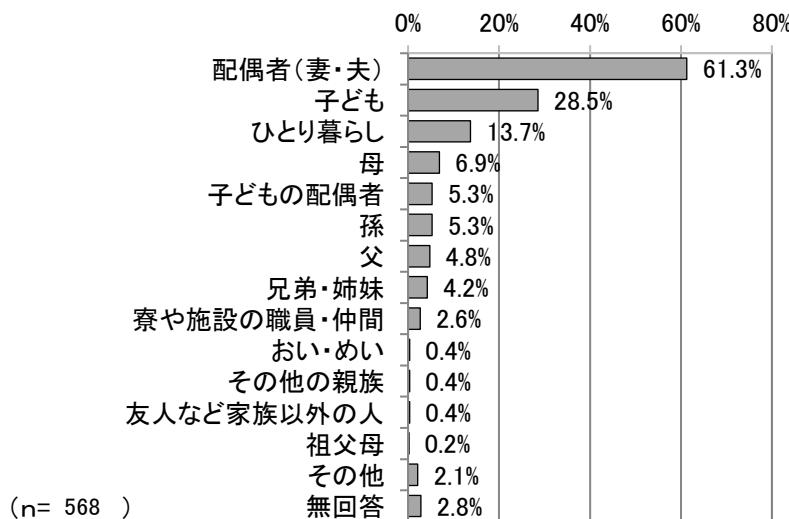
3 住まいや暮らしについて

(1)一緒に暮らしている人

問11 現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

「配偶者(妻・夫)」が61.3%

「配偶者(妻・夫)」が61.3%と最も高く、次いで「子ども」が28.5%となっています。



■ 住宅種別

住宅では、戸建て住宅(賃貸)では「ひとり暮らし」33.3%、「その他の親族」33.3%、集合住宅(賃貸)では「ひとり暮らし」42.3%となっており、賃貸住宅ではひとり暮らしが多くなっています。

		回答者数	ひとり暮らし	配偶者(妻・夫)	子ども	子どもの配偶者	父	母	祖父母	兄弟・姉妹	孫	おい・めい	その他の親族	友人など家族以外の人	寮や施設の職員・仲間	その他	無回答
全体	人数	568	78	348	162	30	27	39	1	24	30	2	2	2	15	12	16
	構成比		13.7%	61.3%	28.5%	5.3%	4.8%	6.9%	0.2%	4.2%	5.3%	0.4%	0.4%	0.4%	2.6%	2.1%	2.8%
戸建て住宅(持ち家)	人数	316	29	218	109	24	19	30	1	18	22	2	0	0	2	1	1
	構成比		9.2%	69.0%	34.5%	7.6%	6.0%	9.5%	0.3%	5.7%	7.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%	0.3%
戸建て住宅(賃貸)	人数	6	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0
	構成比		33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
集合住宅(持ち家)	人数	152	21	107	42	3	6	3	0	3	8	0	0	0	0	1	2
	構成比		13.8%	70.4%	27.6%	2.0%	3.9%	2.0%	0.0%	2.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%
集合住宅(賃貸)	人数	52	22	21	9	1	0	4	0	1	0	0	0	1	0	1	0
	構成比		42.3%	40.4%	17.3%	1.9%	0.0%	7.7%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%
グループホーム等	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)	人数	19	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6	0
	構成比		15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	31.6%	0.0%
病院に長期入院中(6か月以上)	人数	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%
その他	人数	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	14	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	12
	構成比		0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	85.7%

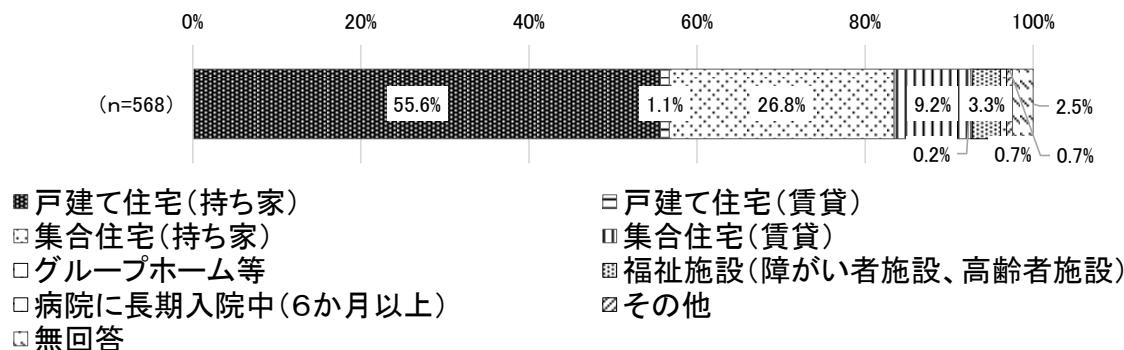
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)現在の住まい

問12 あなたの現在の住まいはどのようなものですか。(○は1つ)

「戸建て住宅（持ち家）」が55.6%

「戸建て住宅（持ち家）」が55.6%と最も高く、次いで「集合住宅（持ち家）」が26.8%となっています。

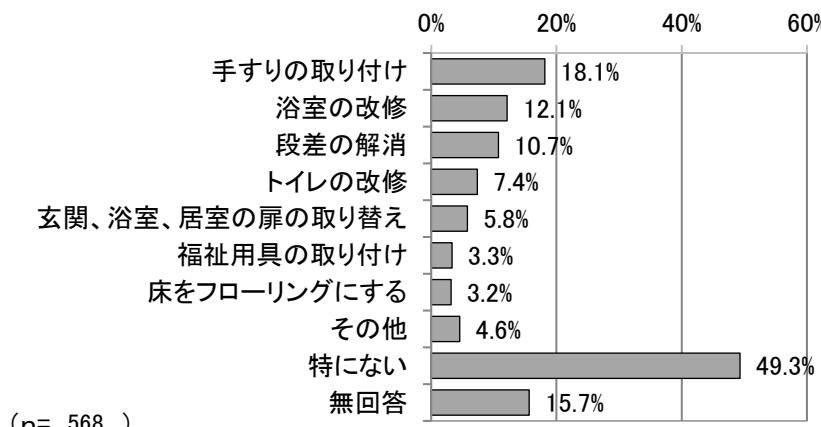


(3)増築や改修意向

問13 あなたや介助者のために、今後、増築や改修したいところがありますか。(○はいくつでも)

「特ない」が49.3%

「特ない」が49.3%と最も高く、次いで「手すりの取り付け」が18.1%となっています。

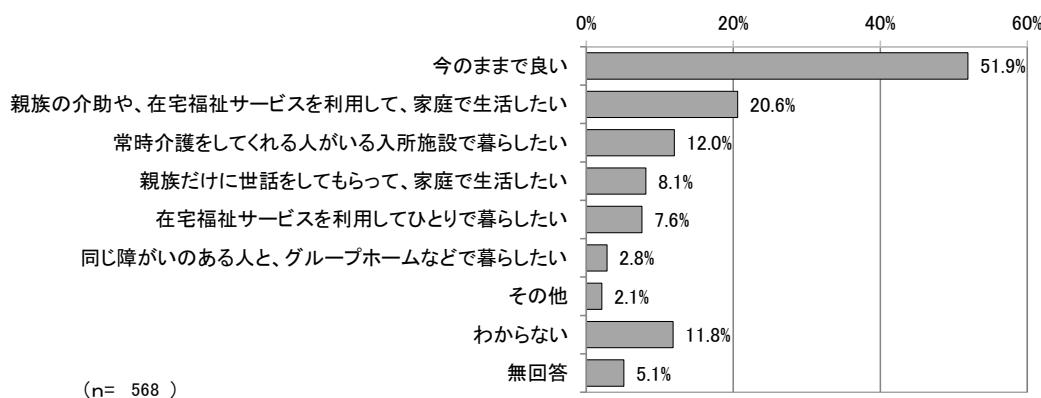


(4) 将來の生活について

問14 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○はいくつでも)

「今ままで良い」が51.9%

「今ままで良い」が51.9%と最も高く、次いで「親族の介助や、在宅福祉サービスを利用して、家庭で生活したい」が20.6%となっています。

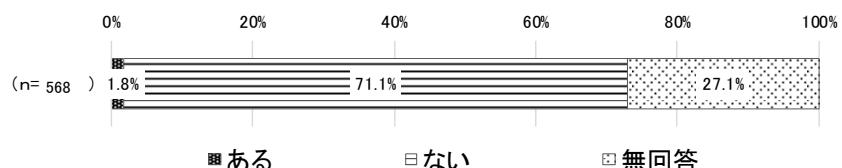


(5)賃貸住宅を借りられなかつた経験の有無

問15 あなたは過去に賃貸住宅を借りようとして、借りられなかつたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が71.1%

「ない」が71.1%、「ある」が1.8%となっています。



■ 住宅種別

集合住宅(賃貸)にお住まいの方は、「ある」が9.6%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数 構成比	568	10 1.8%	404 71.1%	154 27.1%
戸建て住宅(持ち家)	人数 構成比	316	3 0.9%	225 71.2%	88 27.8%
戸建て住宅(賃貸)	人数 構成比	6	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%
集合住宅(持ち家)	人数 構成比	152	2 1.3%	114 75.0%	36 23.7%
集合住宅(賃貸)	人数 構成比	52	5 9.6%	36 69.2%	11 21.2%
グループホーム等	人数 構成比	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)	人数 構成比	19	0 0.0%	16 84.2%	3 15.8%
病院に長期入院中(6か月以上)	人数 構成比	4	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
その他	人数 構成比	4	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%
無回答	人数 構成比	14	0 0.0%	1 7.1%	13 92.9%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

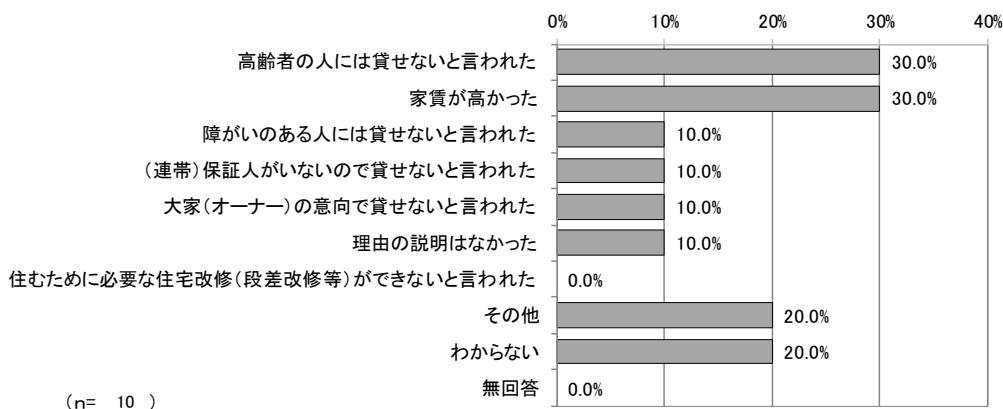
A 【身体障がい】

(5-1)賃貸住宅を借りられなかった理由

問15-1 問15で「1」に回答した人のみ。賃貸住宅を借りられなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

「高齢者の人には貸せないと言われた」「家賃が高かった」
が各々30.0%

「高齢者の人には貸せないと言われた」「家賃が高かった」が各々30.0%となっています。

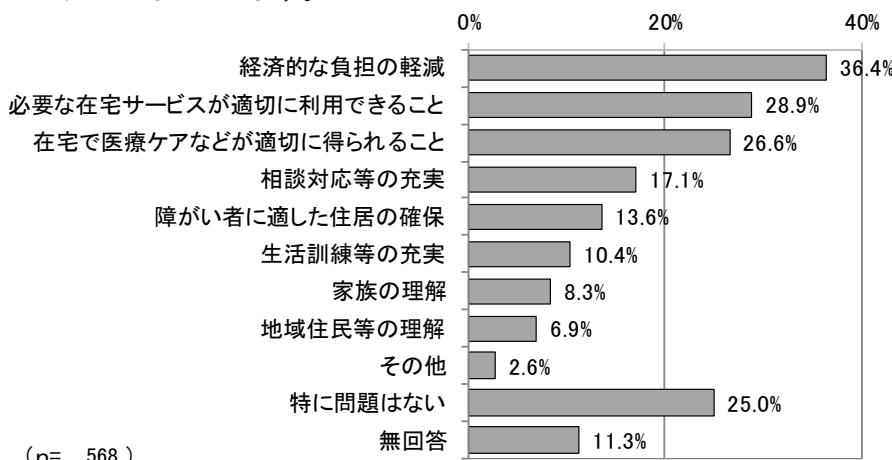


(6) 地域で生活するために必要な支援

問16 あなたは、地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(○はいくつでも)

「経済的な負担の軽減」が36.4%

「経済的な負担の軽減」が36.4%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が28.9%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」30.6%、80代では「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」37.1%と最も高くなっています。

		回答者数	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	家族の理解	地域住民等の理解	その他	特に問題はない	無回答
全体	人数 構成比	568 26.6%	151 26.6%	77 13.6%	164 28.9%	59 10.4%	207 36.4%	97 17.1%	47 8.3%	39 6.9%	15 2.6%	142 25.0%	64 11.3%
30代以下	人数 構成比	14 14.3%	2 35.7%	5 14.3%	2 0	0 0.0%	10 71.4%	4 28.6%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%
40代	人数 構成比	22 13.6%	3 13.6%	3 13.6%	2 9.1%	3 13.6%	12 54.5%	4 18.2%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%
50代	人数 構成比	53 13.2%	7 24.5%	13 24.5%	16 30.2%	6 11.3%	29 54.7%	12 22.6%	5 9.4%	7 13.2%	1 1.9%	13 24.5%	2 3.8%
60代	人数 構成比	93 26.9%	25 22.6%	21 29.0%	27 9.7%	9 45.2%	42 15.1%	14 11.8%	11 7.5%	7 3.2%	3 24.7%	4 4.3%	
70代	人数 構成比	170 21.8%	37 7.6%	13 7.6%	52 30.6%	16 9.4%	43 25.3%	26 15.3%	10 5.9%	8 4.7%	3 1.8%	50 29.4%	27 15.9%
80代	人数 構成比	170 37.1%	63 11.2%	19 32.4%	55 12.4%	21 34.1%	58 19.4%	33 8.2%	14 7.6%	13 1.2%	2 24.1%	41 12.9%	
90代以上	人数 構成比	26 30.8%	8 3.8%	1 15.4%	4 3.8%	1 34.6%	9 7.7%	2 11.5%	3 0.0%	0 11.5%	3 19.2%	5 11.5%	
無回答	人数 構成比	20 30.0%	6 10.0%	2 30.0%	6 15.0%	3 20.0%	4 10.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 5.0%	1 25.0%	5 25.0%	

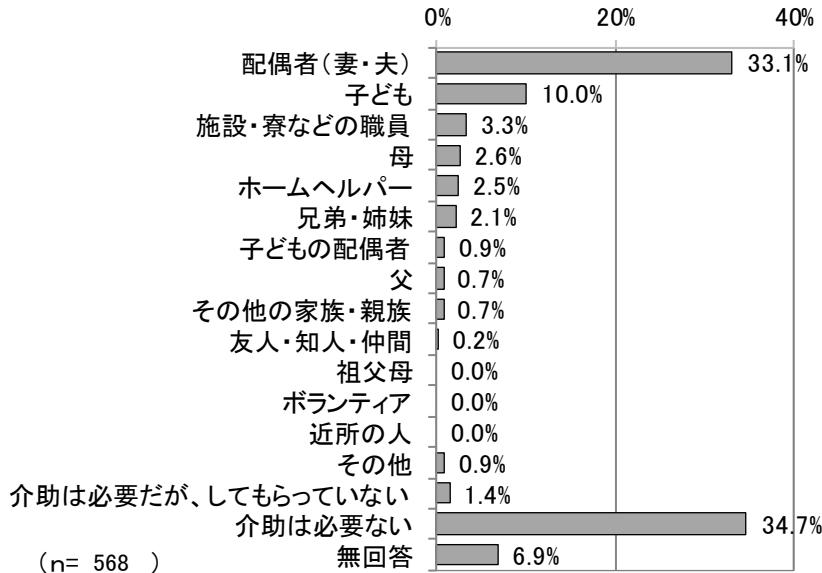
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(7)介助者

問17 主に身の回りの介助をどなたにしてもらっていますか。(○は1つ)

「介助は必要ない」が34.7%

「介助は必要ない」が34.7%と最も高く、次いで「配偶者(妻・夫)」が33.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、80代では「配偶者(妻・夫)」38.2%、90代以上では「配偶者(妻・夫)」30.8%、「子ども」30.8%と最も高くなっています。

		回答者数	配偶者(妻・夫)	父	母	子ども	子どもの配偶者	兄弟・姉妹	祖父母	その他の家族・親族	ホームヘルパー	友人・知人・仲間	ボランティア	施設・寮などの職員	近所の人	その他	介助は必要だが、してもらっていない	介助は必要ない	無回答
全体	人數構成比	568	188 33.1%	4 0.7%	15 2.6%	57 10.0%	5 0.9%	12 2.1%	0 0.0%	4 0.7%	14 2.5%	1 0.2%	0 0.0%	19 3.3%	0 0.0%	5 0.9%	8 1.4%	197 34.7%	39 6.9%
30代以下	人數構成比	14	1 7.1%	1 7.1%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%	1 7.1%
40代	人數構成比	22	4 18.2%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	12 54.5%	0 0.0%
50代	人數構成比	53	12 22.6%	2 3.8%	5 9.4%	4 7.5%	1 1.9%	2 3.8%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	24 45.3%	0 0.0%
60代	人數構成比	93	28 30.1%	0 0.0%	2 2.2%	4 4.3%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	4 4.3%	4 4.3%	41 44.1%	4 4.3%
70代	人數構成比	170	67 39.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.9%	2 1.2%	6 3.5%	0 0.0%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.4%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	68 40.0%	12 7.1%
80代	人數構成比	170	65 38.2%	0 0.0%	0 0.0%	35 20.6%	1 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	1 0.6%	6 3.5%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 21.8%	16 9.4%
90代以上	人數構成比	26	8 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	8 30.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	2 7.7%
無回答	人數構成比	20	3 15.0%	0 0.0%	0 5.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	8 40.0%	4 20.0%

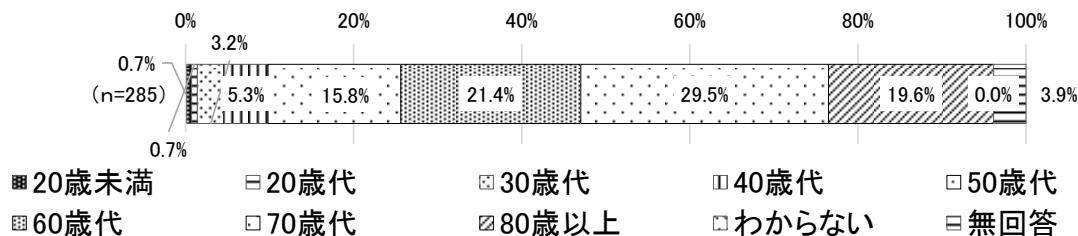
1位:全體が黒で白文字、2位:全體が灰色で太文字

(7-1)介助者の年齢

問17-1 問17で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

「70歳代」が29.5%

「70歳代」が29.5%と最も高く、次いで「60歳代」が21.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「60歳代」42.9%、40代では「40歳代」37.5%、50代では「50歳代」33.3%、60代では「60歳代」54.1%、80代では「80歳以上」36.5%、90代以上では「60歳代」41.2%と最も高くなっています。

		回答者数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体	人数 構成比	285	2 0.7%	2 0.7%	9 3.2%	15 5.3%	45 15.8%	61 21.4%	84 29.5%	56 19.6%	0 0.0%	11 3.9%
30代以下	人数 構成比	7	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
40代	人数 構成比	8	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50代	人数 構成比	27	1 3.7%	2 7.4%	2 7.4%	3 11.1%	9 33.3%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%
60代	人数 構成比	37	0 0.0%	0 0.0%	4 10.8%	1 2.7%	3 8.1%	20 54.1%	6 16.2%	2 5.4%	0 0.0%	1 2.7%
70代	人数 構成比	81	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	6 7.4%	4 4.9%	18 19.8%	47 58.0%	5 6.2%	0 0.0%	2 2.5%
80代	人数 構成比	104	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	25 24.0%	10 9.6%	23 22.1%	38 38.5%	0 0.0%	6 5.8%
90代以上	人数 構成比	17	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 41.2%	2 11.8%	6 35.3%	0 0.0%	2 11.8%
無回答	人数 構成比	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(7-2)介助者の健康状態

問17-2 問17で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の健康状態をお答えください。(○は1つ)

「おおむね健康」が47.4%

「おおむね健康」が47.4%と最も高く、次いで「健康」が23.2%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、30代以下では「健康」「あまり健康でない」が各々42.9%と最も高くなっています。なお、本人の年齢が50代では「病気がちである」が18.5%となっています。

		回答者数	健康	おおむね健康	あまり健康でない	病気がちである	無回答
全体	人数	285	66	135	39	18	27
	構成比		23.2%	47.4%	13.7%	6.3%	9.5%
30代以下	人数	7	3	1	3	0	0
	構成比		42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%
40代	人数	8	3	5	0	0	0
	構成比		37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	27	7	11	3	5	1
	構成比		25.9%	40.7%	11.1%	18.5%	3.7%
60代	人数	37	7	18	3	5	4
	構成比		18.9%	48.6%	8.1%	13.5%	10.8%
70代	人数	81	22	41	8	4	6
	構成比		27.2%	50.6%	9.9%	4.9%	7.4%
80代	人数	104	20	48	19	4	13
	構成比		19.2%	46.2%	18.3%	3.8%	12.5%
90代以上	人数	17	4	9	2	0	2
	構成比		23.5%	52.9%	11.8%	0.0%	11.8%
無回答	人数	4	0	2	1	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%

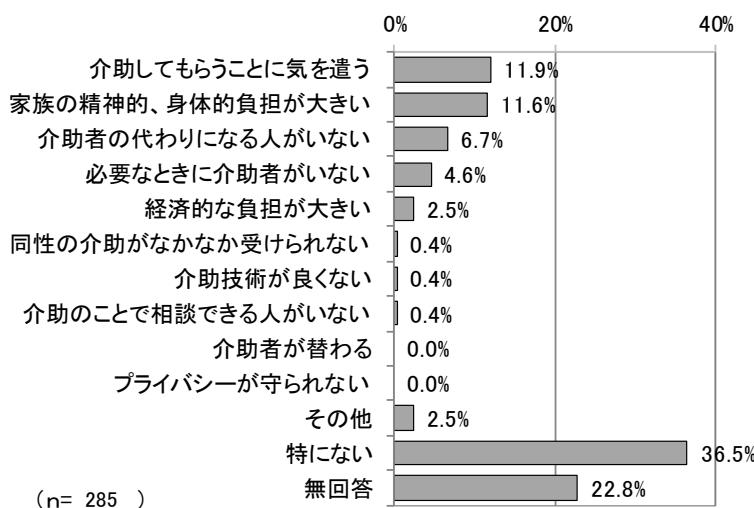
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(7-3)介助を受ける上で問題となっていること

問17-3 問17で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。介助を受ける上で問題となっていることはありますか。(○は1つ)

「特がない」が36.5%

「特がない」が36.5%と最も高く、次いで「介助してもらうことに気を遣う」が11.9%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、30代以下では「必要なときに介助者がいない」28.6%、40代では「介助してもらうことに気を遣う」25.0%、「必要なときに介助者がいない」25.0%と最も高くなっています。

また、50代では「家族の精神的、身体的負担が大きい」が25.9%となっています。

		回答者数	介助してもらうことに気を遣う	必要なときに介助者がいない	介助者が替わる	プライバシーが守られない	同性の介助がなかなか受けられない	介助技術が良くない	介助者の代わりになる人がいない	介助のことで相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	家族の精神的、身体的負担が大きい	その他	特がない	無回答
全体	人数 構成比	285 11.9%	34 4.6%	13 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	19 6.7%	1 0.4%	7 2.5%	33 11.6%	7 2.5%	104 36.5%	65 22.8%
30代以下	人数 構成比	7 14.3%	1 28.8%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%
40代	人数 構成比	8 25.0%	2 25.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%
50代	人数 構成比	27 22.2%	6 11.1%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	7 25.9%	0 0.0%	8 29.6%	1 3.7%
60代	人数 構成比	37 10.8%	4 5.4%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	16 43.2%	5 13.5%
70代	人数 構成比	81 3.7%	3 1.2%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.6%	1 1.2%	3 3.7%	9 11.1%	2 2.5%	38 46.8%	17 21.0%
80代	人数 構成比	104 12.5%	13 2.9%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.8%	0 0.0%	1 1.0%	12 11.5%	1 1.0%	33 31.7%	37 35.6%
90代以上	人数 構成比	17 17.6%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	5 29.4%	4 23.5%
無回答	人数 構成比	4 50.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 25.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 25.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

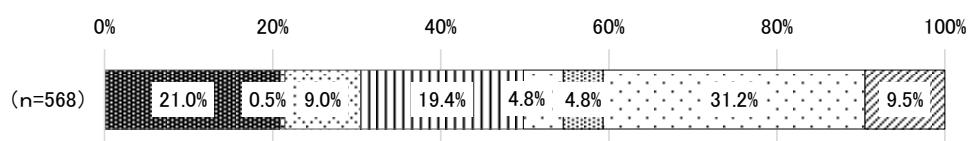
4 日頃の活動状況について

(1)普段の活動

問18 あなたは普段、主にどのような活動をしていますか。(○は1つ)

「特に何もしていない」が31.2%

「特に何もしていない」が31.2%と最も高く、次いで「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が21.0%となっています。



- 仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)
- 通園・通学している
- 通所施設や病院のデイケアなどに通っている
- 家事に専念している
- 入所施設や病院で過ごしている
- その他
- 特に何もしていない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30代以下～60代では「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)	通園・通学している	通所施設や病院のデイケアなどに通っている	家事に専念している	入所施設や病院で過ごしている	その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数 構成比	568 21.0%	119 0.5%	3 9.0%	51 19.4%	110 4.8%	27 4.8%	27 4.8%	177 31.2%	54 9.5%
30代以下	人数 構成比	14 28.6%	4 14.3%	2 7.1%	1 21.4%	3 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%
40代	人数 構成比	22 77.3%	17 0.0%	0 0.0%	0 18.2%	4 4.5%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50代	人数 構成比	53 58.5%	31 0.0%	0 11.3%	6 13.2%	7 1.9%	1 1.9%	1 9.4%	5 9.4%	2 3.8%
60代	人数 構成比	93 40.9%	38 1.1%	1 7.5%	7 21.5%	20 4.3%	4 2.2%	2 19.4%	18 32.2%	3 3.2%
70代	人数 構成比	170 12.4%	21 0.0%	0 10.6%	18 22.4%	38 3.5%	6 2.9%	5 38.8%	66 9.4%	16 9.4%
80代	人数 構成比	170 2.4%	4 0.0%	0 8.8%	15 18.8%	32 4.7%	8 8.8%	15 41.8%	71 14.7%	25 14.7%
90代以上	人数 構成比	26 0.0%	0 0.0%	0 11.5%	3 7.7%	2 15.4%	4 11.5%	3 42.3%	11 11.5%	3 11.5%
無回答	人数 構成比	20 20.0%	4 0.0%	0 5.0%	1 20.0%	4 15.0%	3 0.0%	0 15.0%	3 25.0%	5 25.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、5級では「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」「家事に専念している」が各々26.9%、6級では「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が30.0%と最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)	通園・通学している	通所施設や病院のデイケアなどに通っている	家事に専念している	入所施設や病院で過ごしている	その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数	568	119 21.0%	3 0.5%	51 9.0%	110 19.4%	27 4.8%	27 4.8%	177 31.2%	54 9.5%
1級	人数	178	35 19.7%	1 0.6%	19 10.7%	36 20.2%	13 7.3%	12 6.7%	45 25.3%	17 9.6%
2級	人数	91	20 22.0%	2 2.2%	11 12.1%	7 7.7%	5 5.5%	2 2.2%	32 35.2%	12 13.2%
3級	人数	88	15 17.0%	0 0.0%	6 6.8%	20 22.7%	1 1.1%	5 5.7%	32 36.4%	9 10.2%
4級	人数	136	28 20.6%	0 0.0%	9 6.6%	31 22.8%	4 2.9%	5 3.7%	49 36.0%	10 7.4%
5級	人数	26	7 26.9%	0 0.0%	1 3.8%	7 26.9%	2 7.7%	1 3.8%	7 26.9%	1 3.8%
6級	人数	30	9 30.0%	0 0.0%	2 6.7%	6 20.0%	1 3.3%	2 6.7%	9 30.0%	1 3.3%
無回答	人数	19	5 26.3%	0 0.0%	3 15.8%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	3 15.8%	4 21.1%

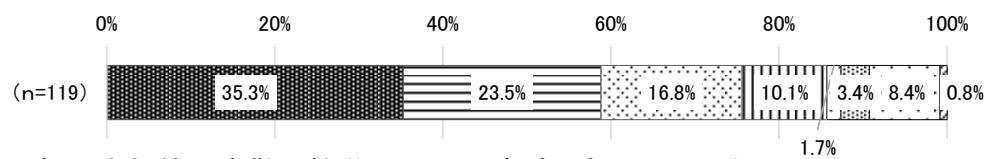
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1) 現在の仕事

問18-1 問18で「1」に回答した人のみ。あなたは、現在どのような仕事についていますか。(○は1つ)

「一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)」が35.3%

「一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)」が35.3%と最も高く、次いで「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」が23.5%となっています。



- 一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)
- 一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)
- 特例子会社または障がい者雇用で働いている
- 自宅で仕事をしている
- 就効継続支援A型で就労をしている
- 就効継続支援B型などの福祉的就労をしている
- その他
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「特例子会社または障がい者雇用で働いている」も同率で50.0%、60代から70代では「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」、80代では「自宅で仕事をしている」が最も高くなっています。

		回答者数	一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)	一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)	特例子会社または障がい者雇用で働いている	自宅で仕事をしている	就効継続支援A型で就労をしている	就効継続支援B型などの福祉的就労をしている	その他	無回答
全体	人数	119	42	28	20	12	2	4	10	1
	構成比		35.3%	23.5%	16.8%	10.1%	1.7%	3.4%	8.4%	0.8%
30代以下	人数	4	2	0	2	0	0	0	0	0
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	17	8	1	6	1	0	0	1	0
	構成比		47.1%	5.9%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
50代	人数	31	16	2	4	0	2	3	4	0
	構成比		51.6%	6.5%	12.9%	0.0%	6.5%	9.7%	12.9%	0.0%
60代	人数	38	12	16	7	0	0	1	1	1
	構成比		31.6%	42.1%	18.4%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%
70代	人数	21	3	9	1	6	0	0	2	0
	構成比		14.3%	42.9%	4.8%	28.6%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
80代	人数	4	0	0	0	3	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
90代以上	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	人数	4	1	0	0	2	0	0	1	0
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、3級～5級では「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」が最も高く(5級は同率)、5級、6級では「特例子会社または障がい者雇用で働いている」が最も高くなっています。(5級、6級は同率)

		回答者数	一般的な会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)	一般的な会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)	特例子会社または障がい者雇用で働いている	自宅で仕事をしている	就労継続支援A型で就労をしている	就労継続支援B型などの福祉的就労をしている	その他	無回答
全体	人数	119	42	28	20	12	2	4	10	1
	構成比		35.3%	23.5%	16.8%	10.1%	1.7%	3.4%	8.4%	0.8%
1級	人数	35	15	5	4	6	1	1	3	0
	構成比		42.9%	14.3%	11.4%	17.1%	2.9%	2.9%	8.6%	0.0%
2級	人数	20	8	1	7	0	1	2	1	0
	構成比		40.0%	5.0%	35.0%	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%
3級	人数	15	5	7	2	0	0	0	1	0
	構成比		33.3%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
4級	人数	28	7	12	2	3	0	1	2	1
	構成比		25.0%	42.9%	7.1%	10.7%	0.0%	3.6%	7.1%	3.6%
5級	人数	7	2	2	2	1	0	0	0	0
	構成比		28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6級	人数	9	3	0	3	1	0	0	2	0
	構成比		33.3%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
無回答	人数	5	2	1	0	1	0	0	1	0
	構成比		40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%

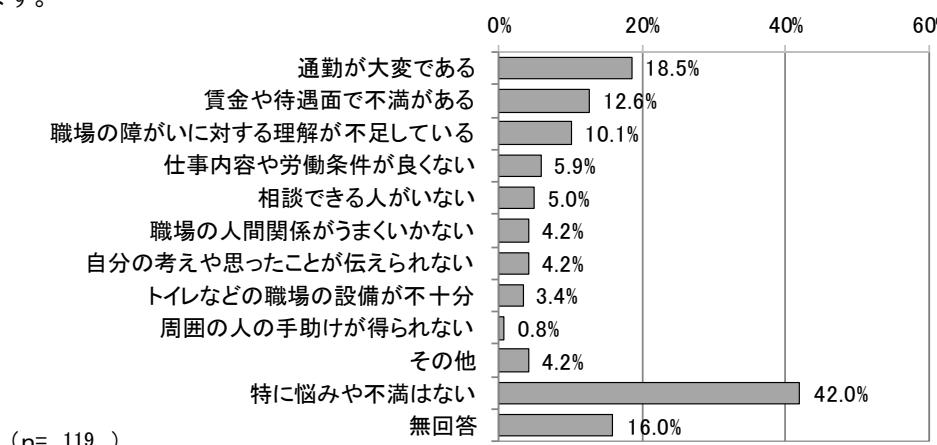
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-2)現在の仕事についての悩み

問18-2 問18で「1」に回答した人のみ。現在の仕事について、悩みや不安、不満などはありますか。(○はいくつでも)

「特に悩みや不満はない」が42.0%

「特に悩みや不満はない」が42.0%と最も高く、次いで「通勤が大変である」が18.5%となっています。

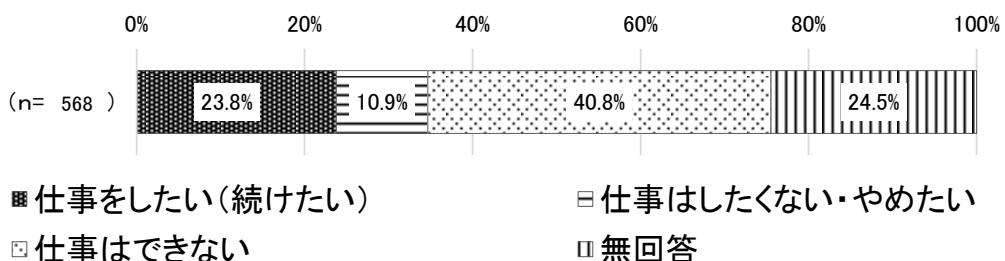


(2)仕事に対する意欲

問19 あなたは今後、収入を得る仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（○は1つ）

「仕事はできない」が40.8%

「仕事はできない」が40.8%と最も高く、次いで「仕事をしたい（続けたい）」が23.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下～60代では「仕事をしたい（続けたい）」が最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしたい（続けたい）	仕事はしたくない・やめたい	仕事はできない	無回答
全体	人数	568	135	62	232	139
	構成比		23.8%	10.9%	40.8%	24.5%
30代以下	人数	14	10	0	2	2
	構成比		71.4%	0.0%	14.3%	14.3%
40代	人数	22	16	1	2	3
	構成比		72.7%	4.5%	9.1%	13.6%
50代	人数	53	36	7	9	1
	構成比		67.9%	13.2%	17.0%	1.9%
60代	人数	93	42	13	29	9
	構成比		45.2%	14.0%	31.2%	9.7%
70代	人数	170	20	26	78	46
	構成比		11.8%	15.3%	45.9%	27.1%
80代	人数	170	7	12	91	60
	構成比		4.1%	7.1%	53.5%	35.3%
90代以上	人数	26	0	2	16	8
	構成比		0.0%	7.7%	61.5%	30.8%
無回答	人数	20	4	1	5	10
	構成比		20.0%	5.0%	25.0%	50.0%

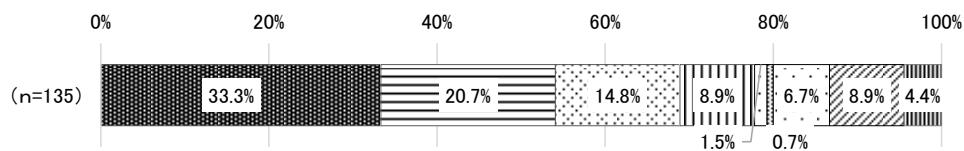
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2-1)希望する就労形態

問19-1 問19で「1」に回答した人のみ。今後は、どのような形で働きたいですか。(○はいくつでも)

「一般の会社等に常勤で（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）」が33.3%

「一般の会社等に常勤で（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）」が33.3%と最も高く、次いで「一般の会社等でパート・アルバイトとして（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）」が20.7%となっています。



- 一般の会社等に常勤で（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）
- 一般の会社等でパート・アルバイトとして（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）
- ▣ 特例子会社または障がい者雇用で（引き続き）働きたい
- （引き続き）自宅で仕事をしたい
- 就労継続支援A型で（引き続き）就労をしたい
- ▣ 就労継続支援B型などの福祉的就労を（引き続き）したい
- その他
- わからない
- 無回答

年齢別

年齢別では、60代、70代では「一般の会社等でパート・アルバイトとして（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）」、80代では「わからない」と最も高くなっています。

		回答者数	一般の会社等に常勤で（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）	一般の会社等でパート・アルバイトとして（引き続き）働きたい（障がい者雇用ではない）	特例子会社または障がい者雇用で（引き続き）働きたい	（引き続き）自宅で仕事をしたい	就労継続支援A型で（引き続き）就労をしたい	就労継続支援B型などの福祉的就労を（引き続き）したい	その他	わからない	無回答
全体	人数	135	45	28	20	12	2	1	9	12	6
	構成比		33.3%	20.7%	14.8%	8.9%	1.5%	0.7%	6.7%	8.9%	4.4%
30代以下	人数	10	6	1	2	0	0	0	0	1	0
	構成比		60.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
40代	人数	16	8	1	4	1	0	0	0	2	0
	構成比		50.0%	6.3%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
50代	人数	36	18	4	4	3	0	1	3	3	0
	構成比		50.0%	11.1%	11.1%	8.3%	0.0%	2.8%	8.3%	8.3%	0.0%
60代	人数	42	10	15	7	3	0	0	3	3	1
	構成比		23.8%	35.7%	16.7%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	2.4%
70代	人数	20	3	7	2	5	1	0	2	0	0
	構成比		15.0%	35.0%	10.0%	25.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
80代	人数	7	0	0	1	0	1	0	0	2	3
	構成比		0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%
90代以上	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	4	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%

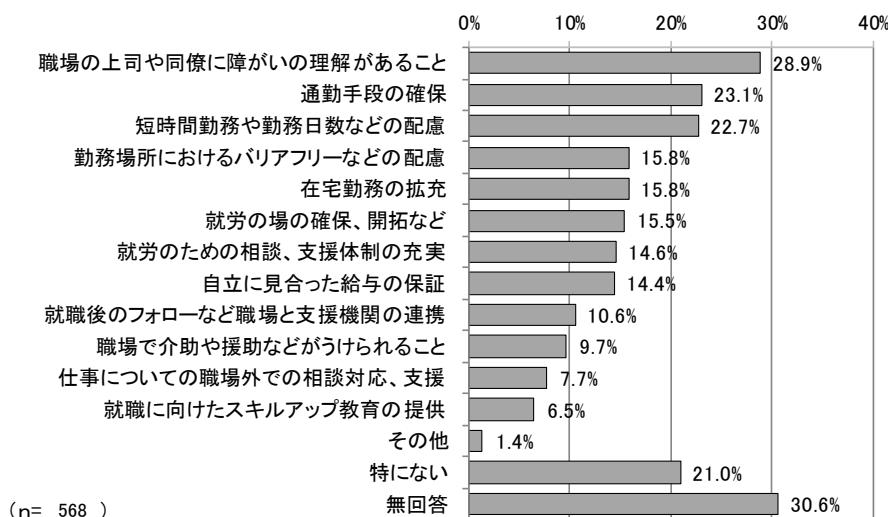
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3) 障がいのある人への就労支援として必要なこと

問20 あなたは、障がいのある人への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

**「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が
28.9%**

「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が28.9%と最も高く、次いで「通勤手段の確保」が23.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「通勤手段の確保」36.4%、60代では「短時間勤務や勤務日数などの配慮」41.9%、70代では「特にない」27.6%、80代では「特にない」21.8%、90代以上では「特にない」42.3%と最も高くなっています。

		回答者数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助などがうけられること	在宅勤務の拡充	自立に見合った給与の保証	就労のための相談、支援体制の充実	就職後のフォローなど職場と支援機関の連携	仕事についての職場外での相談対応、支援	就職に向けたスキルアップ教育の提供	その他	特にない	無回答		
全体	人数	568	131	90	129	184	55	90	82	83	60	44	37	88	8	119	174	
	構成比		23.1%	15.8%	22.7%	28.9%	9.7%	15.8%	14.4%	14.6%	10.6%	7.7%	6.5%	15.5%	1.4%	21.0%	30.6%	
30代以下	人数	14	1	1	5	7	0	4	2	2	2	2	1	3	0	0	3	
	構成比		7.1%	7.1%	35.7%	50.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	21.4%	
40代	人数	22	8	5	5	5	2	7	7	2	3	2	2	2	5	0	3	3
	構成比		36.4%	22.7%	22.7%	22.7%	9.1%	31.8%	31.8%	9.1%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%	0.0%	13.6%	13.6%	
50代	人数	53	20	14	19	26	9	16	10	14	12	5	6	11	1	7	2	
	構成比		37.7%	26.4%	35.8%	49.1%	17.0%	30.2%	18.9%	26.4%	22.6%	9.4%	11.3%	20.8%	1.9%	13.2%	3.8%	
60代	人数	93	29	21	39	39	6	26	20	14	11	11	8	24	2	10	14	
	構成比		31.2%	22.6%	41.9%	41.0%	6.5%	28.0%	21.5%	15.1%	11.8%	11.8%	8.6%	25.8%	2.2%	10.8%	15.1%	
70代	人数	170	39	27	33	47	17	19	26	25	18	14	10	25	3	47	50	
	構成比		22.9%	15.9%	19.4%	27.6%	10.0%	11.2%	15.3%	14.7%	10.6%	8.2%	5.9%	14.7%	1.8%	27.6%	29.4%	
80代	人数	170	26	19	20	29	17	16	10	21	9	8	8	14	2	37	84	
	構成比		15.3%	11.2%	11.8%	17.1%	10.0%	9.4%	5.9%	12.4%	5.3%	4.7%	4.7%	8.2%	1.2%	21.8%	49.4%	
90代以上	人数	26	4	2	5	5	3	1	4	2	3	1	1	5	0	11	9	
	構成比		15.4%	7.7%	19.2%	19.2%	11.5%	3.8%	15.4%	7.7%	11.5%	3.8%	3.8%	19.2%	0.0%	42.3%	34.6%	
無回答	人数	20	4	1	3	6	1	1	3	3	2	1	1	1	0	4	9	
	構成比		20.0%	5.0%	15.0%	30.0%	5.0%	5.0%	15.0%	15.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	20.0%	45.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

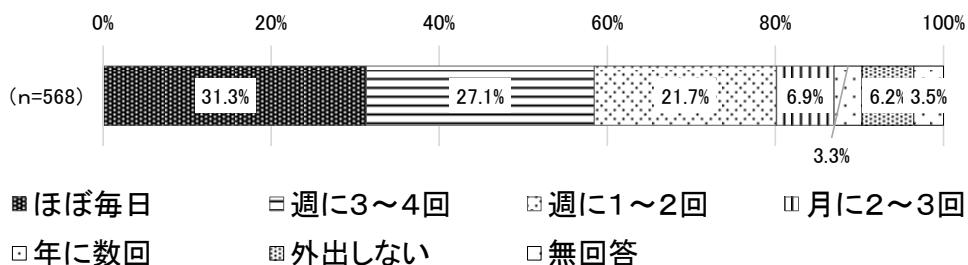
5 外出・活動等について

(1)外出頻度

問21 あなたは、日常どのくらい外出していますか（通勤・通学や通所を含む）。（○は1つ）

「ほぼ毎日」が31.3%

「ほぼ毎日」が31.3%と最も高く、次いで「週に3～4回」が27.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代では「週に3～4回」31.8%、80代では「週に1～2回」28.8%、90代以上では「外出しない」34.6%と最も高くなっています。

		回答者数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に2～3回	年に数回	外出しない	無回答
全体	人数	568	178	154	123	39	19	35	20
	構成比		31.3%	27.1%	21.7%	6.9%	3.3%	6.2%	3.5%
30代以下	人数	14	8	2	2	1	1	0	0
	構成比		57.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
40代	人数	22	17	3	0	1	0	1	0
	構成比		77.3%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%
50代	人数	53	26	19	6	0	1	0	1
	構成比		49.1%	35.8%	11.3%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%
60代	人数	93	42	27	10	4	6	2	2
	構成比		45.2%	29.0%	10.8%	4.3%	6.5%	2.2%	2.2%
70代	人数	170	41	54	47	15	2	6	5
	構成比		24.1%	31.8%	27.6%	8.8%	1.2%	3.5%	2.9%
80代	人数	170	33	43	49	14	6	14	11
	構成比		19.4%	25.3%	28.8%	8.2%	3.5%	8.2%	6.5%
90代以上	人数	26	3	3	5	4	1	9	1
	構成比		11.5%	11.5%	19.2%	15.4%	3.8%	34.6%	3.8%
無回答	人数	20	8	3	4	0	2	3	0
	構成比		40.0%	15.0%	20.0%	0.0%	10.0%	15.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

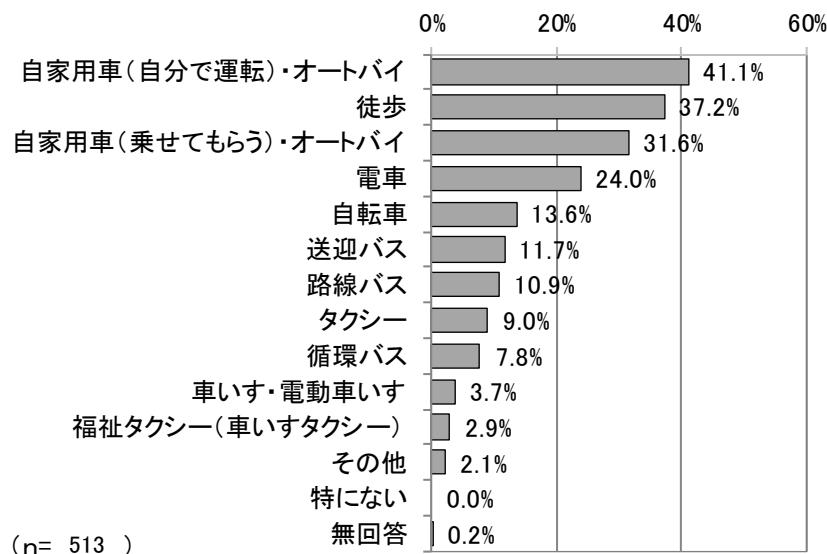
A 【身体障がい】

(1-1)外出時の交通手段

問21-1 問21で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あなたが外出する時の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

「自家用車(自分で運転)・オートバイ」が41.1%

「自家用車(自分で運転)・オートバイ」が41.1%と最も高く、次いで「徒歩」が37.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「自家用車(乗せてもらう)・オートバイ」57.1%、80代では「徒歩」45.5%、90代以上では「自家用車(乗せてもらう)・オートバイ」50.0%と最も高くなっています。

		回答者数	自家用車(自分で運転)・オートバイ	自家用車(乗せてもらう)・オートバイ	徒歩	自転車	車いす・電動車いす	タクシー	福祉タクシー(車いすタクシー)	電車	路線バス	循環バス	送迎バス	その他	特になし	無回答
全体	人数	513	211	162	191	70	19	46	15	123	56	40	60	11	0	1
	構成比		41.1%	31.6%	37.2%	13.6%	3.7%	9.0%	2.9%	24.0%	10.9%	7.8%	11.7%	2.1%	0.0%	0.2%
30代以下	人数	14	2	8	7	2	1	1	0	6	3	0	0	0	0	0
	構成比		14.3%	57.1%	50.0%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	21	12	5	8	5	0	0	0	8	3	4	1	0	0	0
	構成比		57.1%	23.8%	38.1%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%	14.3%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	52	25	12	15	5	5	2	3	18	8	5	5	1	0	0
	構成比		48.1%	23.1%	28.8%	9.6%	9.6%	3.8%	5.8%	34.6%	15.4%	9.6%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%
60代	人数	89	49	20	27	10	3	4	3	25	9	3	8	3	0	0
	構成比		55.1%	22.5%	30.3%	11.2%	3.4%	4.5%	3.4%	28.1%	10.1%	3.4%	9.0%	3.4%	0.0%	0.0%
70代	人数	159	71	55	60	24	3	14	2	32	11	11	23	0	0	0
	構成比		44.7%	34.6%	37.7%	15.1%	1.9%	8.8%	1.3%	20.1%	6.9%	6.9%	14.5%	0.0%	0.0%	0.0%
80代	人数	145	44	49	66	18	3	20	4	27	19	14	21	4	0	1
	構成比		30.3%	33.8%	45.5%	12.4%	2.1%	13.8%	2.8%	18.6%	13.1%	9.7%	14.5%	2.8%	0.0%	0.7%
90代以上	人数	16	1	8	4	4	2	2	2	2	1	0	0	3	0	0
	構成比		6.3%	50.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
無回答	人数	17	7	5	4	2	2	3	1	5	2	3	2	0	0	0
	構成比		41.2%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	17.6%	5.9%	29.4%	11.8%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%

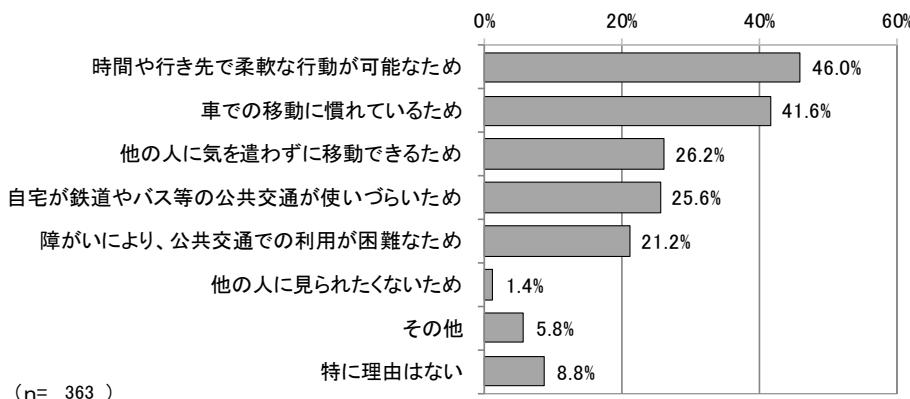
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-2)車で移動する理由

問21-2 問21-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動する理由は何ですか。(○はいくつでも)

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が46.0%

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が46.0%と最も高く、次いで「車での移動に慣れているため」が41.6%となっています。

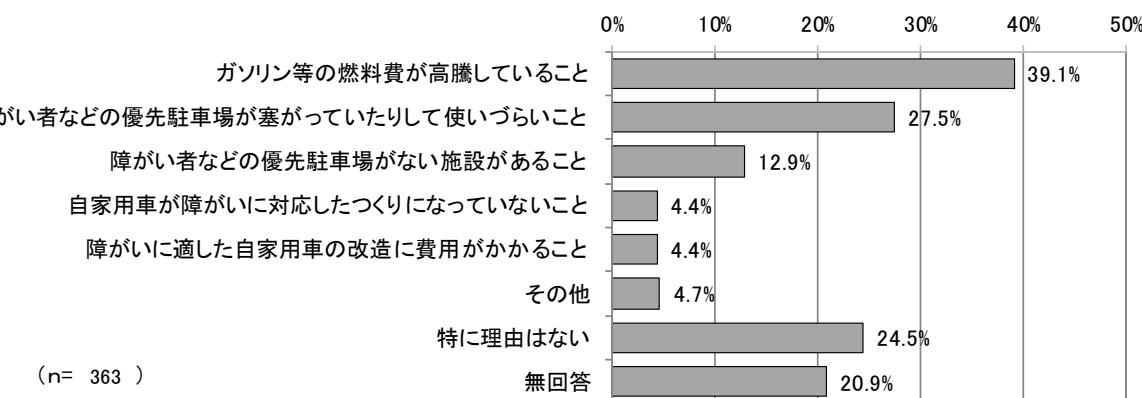


(1-3)車の移動で困ったこと

問21-3 問21-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動するのに困ったことはありますか。(○はいくつでも)

「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が39.1%

「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が39.1%と最も高く、次いで「障がい者などの優先駐車場が塞がっていたりして使いづらいこと」が27.5%となっています。

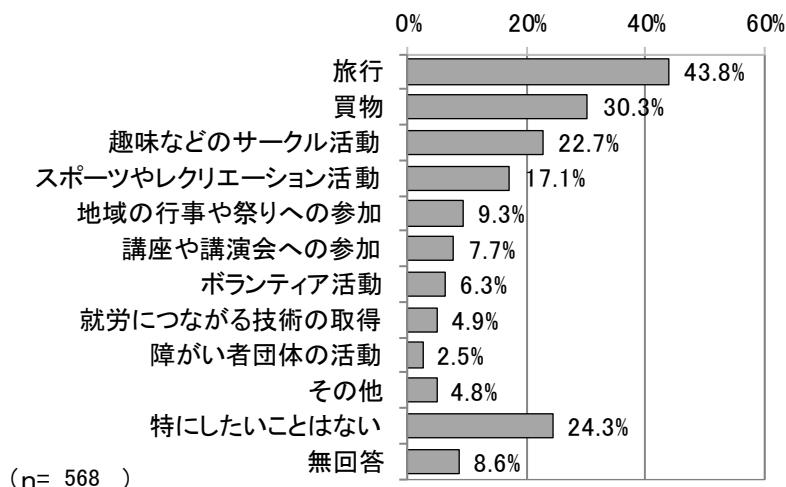


(2)今後やりたいこと

問22 あなたは、今後どのようなことをしたいですか。(○はいくつでも)

「旅行」が43.8%

「旅行」が43.8%と最も高く、次いで「買物」が30.3%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「買物」50.0%、90代以上では「特にしたいことはない」69.2%と最も高くなっています。

		回答者数	スポーツやレクリエーション活動	旅行	買物	ボランティア活動	障がい者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会への参加	地域の行事や祭りへの参加	就労につながる技術の取得	その他	特にしたいことはない	無回答
全体	人数	568	97	249	172	36	14	129	44	53	28	27	138	49
	構成比		17.1%	43.8%	30.3%	6.3%	2.5%	22.7%	7.7%	9.3%	4.9%	4.8%	24.3%	8.6%
30代以下	人数	14	1	7	7	1	0	4	0	1	2	0	1	1
	構成比		7.1%	50.0%	50.0%	7.1%	0.0%	28.6%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%
40代	人数	22	5	13	9	4	0	4	0	4	4	0	3	1
	構成比		22.7%	59.1%	40.9%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%	13.6%	4.5%
50代	人数	53	9	32	22	5	3	8	2	7	9	1	9	2
	構成比		17.0%	60.4%	41.5%	9.4%	5.7%	15.1%	3.8%	13.2%	17.0%	1.9%	17.0%	3.8%
60代	人数	93	21	56	32	12	3	24	14	4	7	4	9	6
	構成比		22.6%	60.2%	34.4%	12.9%	3.2%	25.8%	15.1%	4.3%	7.5%	4.3%	9.7%	6.5%
70代	人数	170	29	71	47	8	2	38	13	16	1	10	48	13
	構成比		17.1%	41.8%	27.6%	4.7%	1.2%	22.4%	7.6%	9.4%	0.6%	5.9%	28.2%	7.6%
80代	人数	170	29	60	48	4	6	42	13	20	4	8	44	22
	構成比		17.1%	35.3%	28.2%	2.4%	3.5%	24.7%	7.6%	11.8%	2.4%	4.7%	25.9%	12.9%
90代以上	人数	26	0	2	2	0	0	3	0	1	0	3	18	1
	構成比		0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	3.8%	0.0%	11.5%	69.2%	3.8%
無回答	人数	20	3	8	5	2	0	6	2	0	1	1	6	3
	構成比		15.0%	40.0%	25.0%	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	15.0%

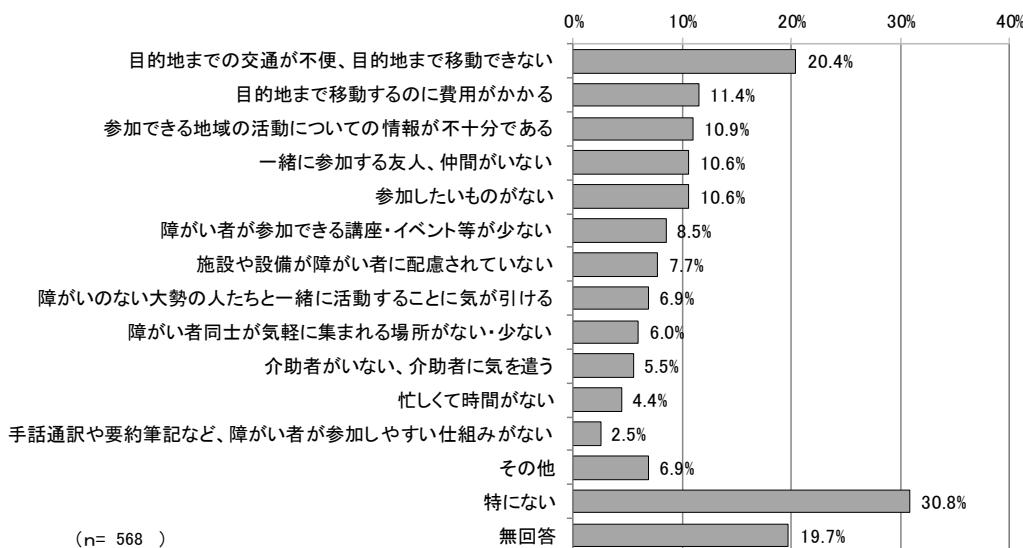
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)活動時に困ること

問23 あなたが、上記のような活動をしようとするときに困ること、または、活動を行っていない理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

「特にない」が30.8%

「特にない」が30.8%と最も高く、次いで「目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない」が20.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「忙しくて時間がない」18.2%、50代では「目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない」26.4%と最も高くなっています。

		回答者 数	施設や 設備が 障がい 者に配 慮され てない	目的地 までの交 通が不 便、目 的地ま で移 動でき ない	目的地 まで移動 するのに 費用が かかる	障がい 者が参 加でき る講座・イ ベント等 が少 ない	手話通 訳や要 約筆記 など、障 がい者 が参加 しやす い仕組 みがな い	障がい 者同士 が気軽に 集まれ る場所 がない・少 ない	障がい のない大 勢の 人た ちと一 緒に活 動するこ とに気 が引 ける	介助 者 がい ない、 介助 者に 気を 遣 う	一 緒に 参 加す る友 人、仲 間が いな い	參 加した いもの が不 十分 で ある	參 加でき る地 域の 活動に ついて の情 報が不 十分 で ある	忙 しく て 時 間が な い	そ の 他	特 に な い	無 回答	
全体	人数	568	44	116	65	48	14	34	39	31	60	60	62	25	39	175	112	
	構成比		7.7%	20.4%	11.4%	8.5%	2.5%	6.0%	6.9%	5.5%	10.6%	10.6%	10.9%	4.4%	6.9%	30.8%	19.7%	
30代以下	人数	14	1	3	1	1	1	1	3	1	2	2	0	0	3	0	6	1
	構成比		7.1%	21.4%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	21.4%	0.0%	42.9%	7.1%	
40代	人数	22	3	3	2	2	1	1	2	2	2	3	1	4	3	4	3	
	構成比		13.6%	13.6%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%	13.6%	4.5%	18.2%	13.6%	18.2%	13.6%		
50代	人数	53	10	14	7	5	2	4	4	5	8	8	5	7	4	13	4	
	構成比		18.9%	26.4%	13.2%	9.4%	3.8%	7.5%	7.5%	9.4%	15.1%	15.1%	9.4%	13.2%	7.5%	24.5%	7.5%	
60代	人数	93	9	20	14	8	4	6	10	7	14	9	17	5	8	28	10	
	構成比		9.7%	21.5%	15.1%	8.6%	4.3%	6.5%	10.8%	7.5%	15.1%	9.7%	18.3%	5.4%	8.6%	30.1%	10.8%	
70代	人数	170	12	32	17	10	1	8	8	4	14	17	15	4	13	56	33	
	構成比		7.1%	18.8%	10.0%	5.9%	0.6%	4.7%	4.7%	2.4%	8.2%	10.0%	8.8%	2.4%	7.6%	32.9%	19.4%	
80代	人数	170	6	38	23	18	5	13	12	9	18	14	22	1	7	50	49	
	構成比		3.5%	22.4%	13.5%	10.6%	2.9%	7.6%	7.1%	5.3%	10.6%	8.2%	12.9%	0.6%	4.1%	29.4%	28.8%	
90代以上	人数	26	1	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	2	14	7	
	構成比		3.8%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%	26.9%	
無回答	人数	20	2	4	1	3	0	1	0	2	2	5	2	1	2	4	5	
	構成比		10.0%	20.0%	5.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	10.0%	25.0%	10.0%	5.0%	10.0%	20.0%	25.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)スポーツや運動について

問24 あなたは、スポーツや運動（体を動かすこと）をしていますか。（○は1つ）

「今はしていないが、過去にしていたことがある」が
34.9%

「今はしていないが、過去にしていたことがある」が34.9%と最も高く、次いで「している」が31.7%となっています。



■している □今はしていないが、過去にしていたことがある □したことがない □無回答

■ 年齢別

年齢別では、70代では「している」41.2%と最も高くなっています。

		回答者数	している	今はしていないが、過去にしていたことがある	したことがない	無回答
全体	人数	568	180	198	125	65
	構成比		31.7%	34.9%	22.0%	11.4%
30代以下	人数	14	4	6	3	1
	構成比		28.6%	42.9%	21.4%	7.1%
40代	人数	22	5	13	2	2
	構成比		22.7%	59.1%	9.1%	9.1%
50代	人数	53	11	22	18	2
	構成比		20.8%	41.5%	34.0%	3.8%
60代	人数	93	30	41	17	5
	構成比		32.3%	44.1%	18.3%	5.4%
70代	人数	170	70	47	35	18
	構成比		41.2%	27.6%	20.6%	10.6%
80代	人数	170	52	54	37	27
	構成比		30.6%	31.8%	21.8%	15.9%
90代以上	人数	26	3	9	8	6
	構成比		11.5%	34.6%	30.8%	23.1%
無回答	人数	20	5	6	5	4
	構成比		25.0%	30.0%	25.0%	20.0%

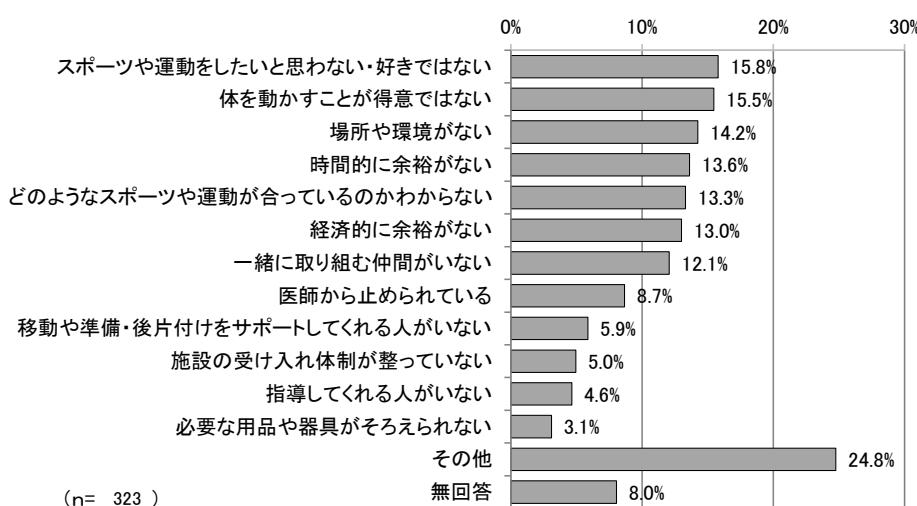
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4-1)スポーツや運動をしていない理由

問24-1 問24で「2」、「3」に回答した人のみ。現在、あなたがスポーツや運動をしていない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」が 15.8%

「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」が15.8%と最も高く、次いで「体を動かすことが得意ではない」が15.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下、40代では「時間的に余裕がない」、50代では「場所や環境がない」、60代では「時間的に余裕がない」、70代では「体を動かすことが得意ではない」、80代では「場所や環境がない」、90代以上では「体を動かすことが得意ではない」が最も高くなっています。

		回答者数	場所や環境がない	必要な用具や器具がそろえない	施設の受け入れ体制が整っていない	一緒に取り組む仲間がない	移動や準備・後片付けをサポートしてくれる人がいない	指導してくれる人がいない	時間的に余裕がない	経済的に余裕がない	どのようなスポーツや運動が合っているのかわからない	体を動かすことが得意ではない	医師から止められている	スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない	その他	無回答
全体	人数	323	46	10	16	39	19	15	44	42	43	50	28	51	80	26
	構成比		14.2%	3.1%	5.0%	12.1%	5.9%	4.6%	13.6%	13.0%	13.3%	15.5%	8.7%	15.8%	24.8%	8.0%
30代以下	人数	9	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	2	2	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%
40代	人数	15	2	0	0	0	1	1	6	5	0	3	1	1	2	0
	構成比		13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	40.0%	33.3%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%
50代	人数	40	11	4	3	7	4	2	9	7	8	9	4	7	7	1
	構成比		27.5%	10.0%	7.5%	17.5%	10.0%	5.0%	22.5%	17.5%	20.0%	22.5%	10.0%	17.5%	17.5%	2.5%
60代	人数	58	4	1	1	7	4	3	13	10	9	5	10	15	4	
	構成比		6.9%	1.7%	1.7%	12.1%	6.9%	5.2%	22.4%	17.2%	15.5%	12.1%	8.6%	17.2%	25.9%	6.9%
70代	人数	82	11	2	2	10	2	3	7	10	11	12	4	10	20	6
	構成比		13.4%	2.4%	2.4%	12.2%	2.4%	3.7%	8.5%	12.2%	13.4%	14.6%	4.9%	12.2%	24.4%	7.3%
80代	人数	91	16	3	9	14	7	5	3	9	12	14	12	16	25	11
	構成比		17.6%	3.3%	9.9%	15.4%	7.7%	5.5%	3.3%	9.9%	13.2%	15.4%	13.2%	17.6%	27.5%	12.1%
90代以上	人数	17	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	8	4
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	11.8%	47.1%	23.5%
無回答	人数	11	2	0	1	1	0	1	2	1	2	3	0	3	2	0
	構成比		18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%	27.3%	18.2%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

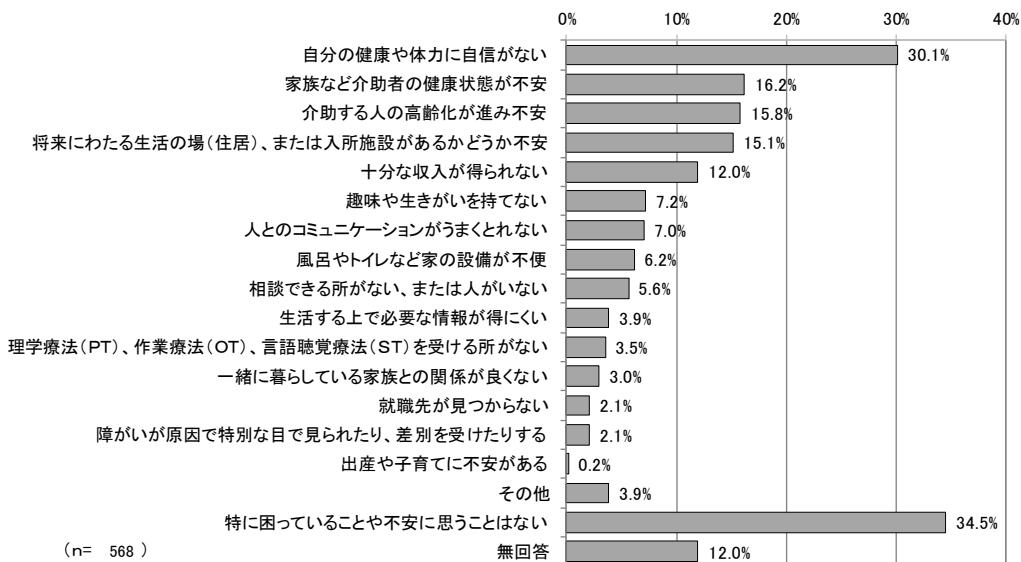
A 【身体障がい】

(5)現在の生活で困っていること

問25 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(○はいくつでも)

「特に困っていることや不安に思うことはない」が 34.5%

「特に困っていることや不安に思うことはない」が34.5%と最も高く、次いで「自分の健康や体力に自信がない」が30.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「自分の健康や体力に自信がない」27.3%、50代では「家族など介助者の健康状態が不安」30.2%、「自分の健康や体力に自信がない」30.2%、80代では「自分の健康や体力に自信がない」34.7%と最も高くなっています。

		回答者数	一緒に暮らしている家族との関係が良くない	家族など介助者の健康状態が不安	出産や子育てに不安がある	就職先が見つからない	十分な収入が得られない	趣味や生きがいを持てない	生活する上で必要な情報が得にくい	自分の健康や体力に自信がない	人とのコミュニケーションがうまくとれない	障がいが原因で特別な目で見られたり、差別を受けたりする	介助する人の高齢化が進み不安	理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)を受ける所がない	風呂やトイレなどの家の設備が不便	将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安	相談できる所がない、または人がいない	その他	特に困っていないことや不安に思うことはない	無回答
全体	人数	568	17	92	1	12	68	41	22	171	40	12	90	20	35	86	32	22	198	68
	構成比		3.0%	16.2%	0.2%	2.1%	12.0%	7.2%	3.9%	30.1%	7.0%	2.1%	15.8%	3.5%	6.2%	15.1%	5.6%	3.9%	34.5%	12.0%
30代以下	人数	14	0	2	0	2	1	1	2	5	2	3	1	1	2	3	1	0	6	0
	構成比		0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	35.7%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%	42.9%	0.0%
40代	人数	22	1	3	1	0	3	0	0	6	2	1	3	0	1	1	3	1	4	3
	構成比		4.5%	13.6%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	27.3%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	13.6%	4.5%	18.2%	13.6%
50代	人数	53	1	16	0	4	14	7	1	16	8	4	12	3	5	13	3	3	16	4
	構成比		1.9%	30.2%	0.0%	7.5%	26.4%	13.2%	1.9%	30.2%	15.1%	7.5%	22.6%	5.7%	9.4%	24.5%	5.7%	5.7%	30.2%	7.5%
60代	人数	93	6	13	0	2	18	7	4	27	8	2	9	4	6	14	7	4	32	8
	構成比		6.5%	14.0%	0.0%	2.2%	19.4%	7.5%	4.3%	28.0%	8.6%	2.2%	9.7%	4.3%	6.5%	15.1%	7.5%	4.3%	34.4%	8.6%
70代	人数	170	5	20	0	3	17	12	6	48	5	0	21	2	4	26	6	4	69	20
	構成比		2.9%	11.8%	0.0%	1.8%	10.0%	7.1%	3.5%	28.2%	2.9%	0.0%	12.4%	1.2%	2.4%	15.3%	3.5%	2.4%	40.6%	11.8%
80代	人数	170	4	32	0	0	13	11	9	59	15	2	35	10	16	25	11	6	52	25
	構成比		2.4%	18.8%	0.0%	0.0%	7.6%	6.5%	5.3%	34.7%	8.8%	1.2%	20.6%	5.9%	9.4%	14.7%	6.5%	3.5%	30.6%	14.7%
90代以上	人数	26	0	4	0	0	0	0	0	7	0	0	6	0	0	0	0	2	10	4
	構成比		0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.9%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	38.5%	15.4%
無回答	人数	20	0	2	0	1	2	3	0	3	0	0	3	0	1	4	1	2	7	4
	構成比		0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	10.0%	15.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	5.0%	20.0%	5.0%	10.0%	35.0%	20.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

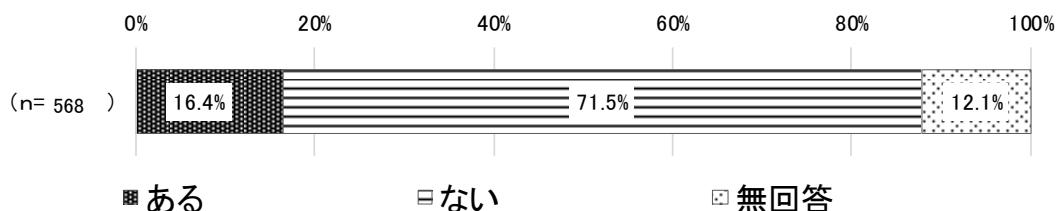
6 差別・権利擁護について

(1)差別を受けた経験の有無

問26 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が71.5%

「ない」が71.5%と、「ある」が16.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「ある」57.1%、40代では「ある」45.5%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	568	93	406	69
	構成比		16.4%	71.5%	12.1%
30代以下	人数	14	8	6	0
	構成比		57.1%	42.9%	0.0%
40代	人数	22	10	10	2
	構成比		45.5%	45.5%	9.1%
50代	人数	53	17	31	5
	構成比		32.1%	58.5%	9.4%
60代	人数	93	25	61	7
	構成比		26.9%	65.6%	7.5%
70代	人数	170	15	133	22
	構成比		8.8%	78.2%	12.9%
80代	人数	170	15	132	23
	構成比		8.8%	77.6%	13.5%
90代以上	人数	26	2	19	5
	構成比		7.7%	73.1%	19.2%
無回答	人数	20	1	14	5
	構成比		5.0%	70.0%	25.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 手帳取得時期別

手帳取得時期別では、18歳未満では「ある」45.7%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	568	93	406	69
	構成比		16.4%	71.5%	12.1%
出生前または出生時	人数	35	14	17	4
	構成比		40.0%	48.6%	11.4%
18歳未満	人数	35	16	13	6
	構成比		45.7%	37.1%	17.1%
18～64歳	人数	246	43	181	22
	構成比		17.5%	73.6%	8.9%
65歳以上	人数	171	7	144	20
	構成比		4.1%	84.2%	11.7%
わからない	人数	41	10	26	5
	構成比		24.4%	63.4%	12.2%
無回答	人数	40	3	25	12
	構成比		7.5%	62.5%	30.0%

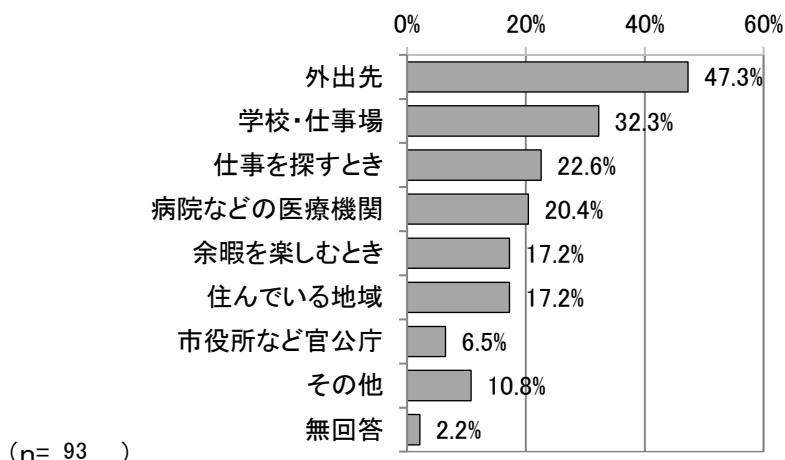
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1)差別を受けた場所

問26-1 問26で「1」に回答した人のみ。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

「外出先」が47.3%

「外出先」が47.3%と最も高く、次いで「学校・仕事場」が32.3%となっています。



年齢別

年齢別では、40代では「学校・仕事場」70.0%、50代では「学校・仕事場」52.9%、70代では「病院などの医療機関」26.7%、「住んでいる地域」26.7%、90代以上では「学校・仕事場」100.0%と最も高くなっています。

		回答者数	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	市役所など官公庁	住んでいる地域	その他	無回答
全体	人数	93	30	21	44	16	19	6	16	10	2
	構成比		32.3%	22.6%	47.3%	17.2%	20.4%	6.5%	17.2%	10.8%	2.2%
30代以下	人数	8	3	2	5	3	1	1	1	0	1
	構成比		37.5%	25.0%	62.5%	37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%
40代	人数	10	7	2	2	2	2	0	1	0	0
	構成比		70.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	17	9	5	7	2	4	1	1	3	0
	構成比		52.9%	29.4%	41.2%	11.8%	23.5%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%
60代	人数	25	8	8	13	1	3	0	3	3	1
	構成比		32.0%	32.0%	52.0%	4.0%	12.0%	0.0%	12.0%	12.0%	4.0%
70代	人数	15	1	1	4	3	4	2	4	1	0
	構成比		6.7%	6.7%	26.7%	20.0%	26.7%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%
80代	人数	15	0	3	11	4	5	2	5	2	0
	構成比		0.0%	20.0%	73.3%	26.7%	33.3%	13.3%	33.3%	13.3%	0.0%
90代以上	人数	2	2	0	2	1	0	0	1	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 手帳取得時期別

手帳取得時期別では、出生前または出生時では「学校・仕事場」57.1%、18歳未満では「学校・仕事場」43.8%が最も高くなっています。

		回答者数	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	市役所など官公庁	住んでいる地域	その他	無回答
全体	人数	93	30 32.3%	21 22.6%	44 47.3%	16 17.2%	19 20.4%	6 6.5%	16 17.2%	10 10.8%	2 2.2%
出生前または出生時	構成比	14	8 57.1%	3 21.4%	5 35.7%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%
18歳未満	構成比	16	7 43.8%	5 31.3%	5 31.3%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	1 6.3%	1 6.3%
18~64歳	構成比	43	10 23.3%	11 25.6%	24 55.8%	8 18.6%	10 23.3%	4 9.3%	6 14.0%	7 16.3%	1 2.3%
65歳以上	構成比	7	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%
わからない	構成比	10	4 40.0%	1 10.0%	6 60.0%	1 10.0%	10 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	構成比	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

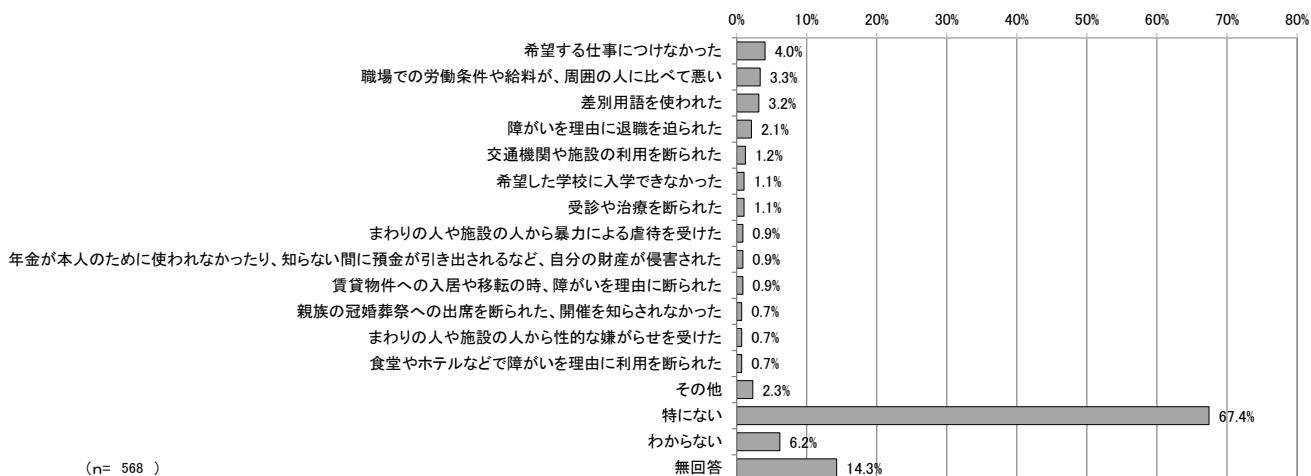
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)障がいがあることが原因で受けた経験

問27 あなたは、日常生活の中で、障がいがあることが原因で、次のような扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が67.4%

「特にない」が67.4%と最も高く、次いで「わからない」が6.2%となっています。

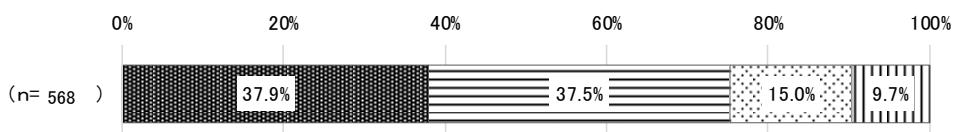


(3)成年後見制度の認知状況

問28 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

「名前も内容も知っている」が37.9%

「名前も内容も知っている」が37.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が37.5%となっています。



- 名前も内容も知っている
- 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 名前も内容も知らない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30代以下と90代以上では「名前も内容も知らない」、40代、50代、80代では「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高くなっています。

		回答者数	名前も内容 も知ってい る	名前を聞い たことはあ るが、内容 は知らない	名前も内容 も知らない	無回答
全体	人数	568	215	213	85	55
	構成比		37.9%	37.5%	15.0%	9.7%
30代以下	人数	14	4	4	6	0
	構成比		28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
40代	人数	22	9	9	3	1
	構成比		40.9%	40.9%	13.6%	4.5%
50代	人数	53	18	19	12	4
	構成比		34.0%	35.8%	22.6%	7.5%
60代	人数	93	45	33	10	5
	構成比		48.4%	35.5%	10.8%	5.4%
70代	人数	170	74	60	22	14
	構成比		43.5%	35.3%	12.9%	8.2%
80代	人数	170	53	74	19	24
	構成比		31.2%	43.5%	11.2%	14.1%
90代以上	人数	26	4	8	11	3
	構成比		15.4%	30.8%	42.3%	11.5%
無回答	人数	20	8	6	2	4
	構成比		40.0%	30.0%	10.0%	20.0%

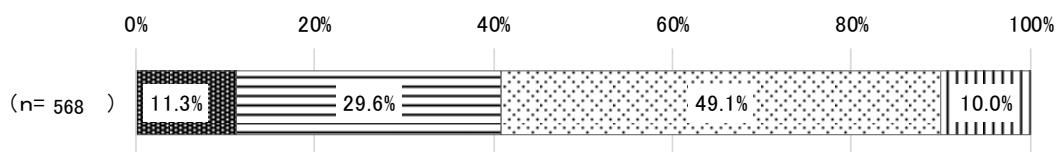
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)合理的配慮の認知状況

問29 あなたは、「合理的配慮」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が49.1%

「知らない」が49.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が29.6%となっています。



- 内容まで知っている
- 聞いたことはあるが、内容までは知らない
- 知らない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、40代では「内容まで知っている」45.5%、50代では「聞いたことはあるが、内容までは知らない」37.7%、と最も高くなっています。

		回答者数	内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	知らない	無回答
全体	人数	568	64	168	279	57
	構成比		11.3%	29.6%	49.1%	10.0%
30代以下	人数	14	4	4	6	0
	構成比		28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
40代	人数	22	10	7	5	0
	構成比		45.5%	31.8%	22.7%	0.0%
50代	人数	53	11	20	17	5
	構成比		20.8%	37.7%	32.1%	9.4%
60代	人数	93	20	27	42	4
	構成比		21.5%	29.0%	45.2%	4.3%
70代	人数	170	9	55	90	16
	構成比		5.3%	32.4%	52.9%	9.4%
80代	人数	170	8	48	88	26
	構成比		4.7%	28.2%	51.8%	15.3%
90代以上	人数	26	0	4	19	3
	構成比		0.0%	15.4%	73.1%	11.5%
無回答	人数	20	2	3	12	3
	構成比		10.0%	15.0%	60.0%	15.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

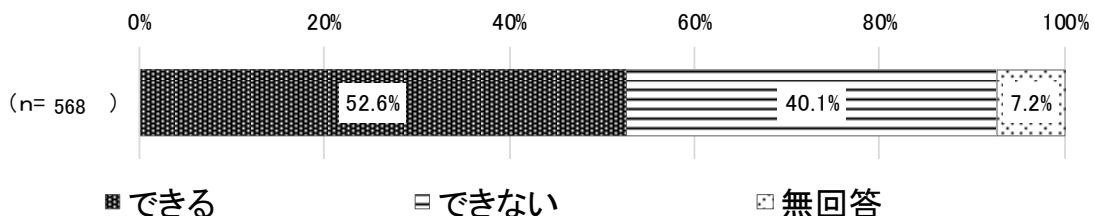
7 災害時の対応について

(1) 災害時の避難について

問30 台風や地震等の災害時でも、自宅で生活が可能であれば、在宅避難が原則となります。在宅避難が難しい場合、あなたは、ひとりで避難（または対処）できますか。（○は1つ）

「できる」が52.6%

「できる」が52.6%、「できない」が40.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、80代、90代以上では「できない」が最も高くなっています。

		回答者数	できる	できない	無回答
全体	人数	568	299	228	41
	構成比		52.6%	40.1%	7.2%
30代以下	人数	14	11	3	0
	構成比		78.6%	21.4%	0.0%
40代	人数	22	17	5	0
	構成比		77.3%	22.7%	0.0%
50代	人数	53	32	20	1
	構成比		60.4%	37.7%	1.9%
60代	人数	93	66	26	1
	構成比		71.0%	28.0%	1.1%
70代	人数	170	97	61	12
	構成比		57.1%	35.9%	7.1%
80代	人数	170	64	80	26
	構成比		37.6%	47.1%	15.3%
90代以上	人数	26	4	22	0
	構成比		15.4%	84.6%	0.0%
無回答		20	8	11	1
			40.0%	55.0%	5.0%

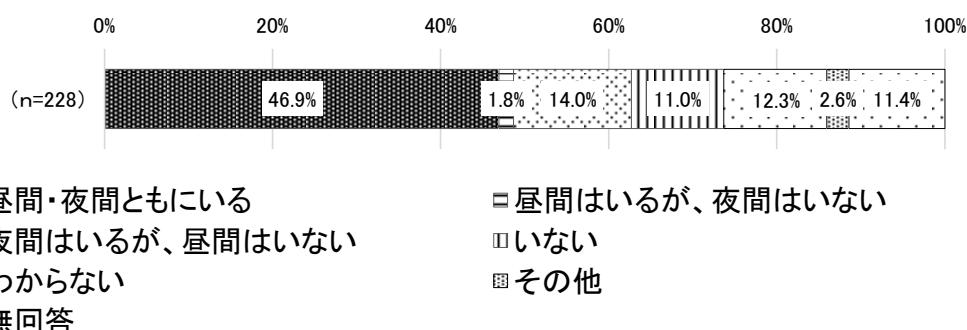
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1)災害時に避難の手助けをしてくれる人

問30-1 問30で「2」に回答した人のみ。万一災害が起きた際に、避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいますか。（○は1つ）

「昼間・夜間にともにいる」が46.9%

「昼間・夜間にともにいる」が46.9%と最も高く、次いで「夜間はいるが、昼間はいない」が14.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、80代の方は、「夜間はいるが、昼間はいない」「いない」をあわせると37.6%となっています。

		回答者数	昼間・夜間にともにいる	昼間はいるが、夜間はいない	夜間はいるが、昼間はいない	いない	わからない	その他	無回答
全体	人数	228	107	4	32	25	28	6	26
	構成比		46.9%	1.8%	14.0%	11.0%	12.3%	2.6%	11.4%
30代以下	人数	3	1	0	0	0	0	0	2
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
40代	人数	5	3	0	0	1	1	0	0
	構成比		60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	20	6	0	3	0	3	1	7
	構成比		30.0%	0.0%	15.0%	0.0%	15.0%	5.0%	35.0%
60代	人数	26	13	0	2	4	3	1	3
	構成比		50.0%	0.0%	7.7%	15.4%	11.5%	3.8%	11.5%
70代	人数	61	33	1	8	6	8	1	4
	構成比		54.1%	1.6%	13.1%	9.8%	13.1%	1.6%	6.6%
80代	人数	80	33	1	17	13	8	2	6
	構成比		41.3%	1.3%	21.3%	16.3%	10.0%	2.5%	7.5%
90代以上	人数	22	13	2	0	1	2	1	3
	構成比		59.1%	9.1%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%	13.6%
無回答	人数	11	5	0	2	0	3	0	1
	構成比		45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%	9.1%

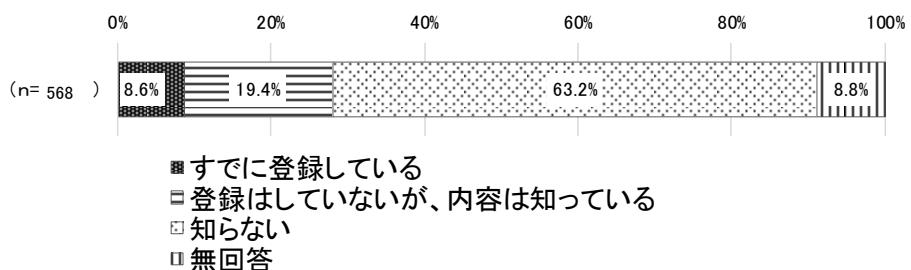
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況

問31 あなたは、市の「災害時避難行動要支援者名簿」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が63.2%

「知らない」が63.2%と最も高く、次いで「登録はしていないが、内容は知っている」が19.4%となっています。



■ 年齢別

「すでに登録している」「登録はしていないが、内容は知っている」の割合の合計は、70代以降ではやや低くなっています。」

		回答者数	すでに登録している	登録はしていないが、内容は知っている	知らない	無回答
全体	人数	568	49	110	359	50
	構成比		8.6%	19.4%	63.2%	8.8%
30代以下	人数	14	0	4	8	2
	構成比		0.0%	28.6%	57.1%	14.3%
40代	人数	22	3	6	11	2
	構成比		13.6%	27.3%	50.0%	9.1%
50代	人数	53	8	11	33	1
	構成比		15.1%	20.8%	62.3%	1.9%
60代	人数	93	9	29	54	1
	構成比		9.7%	31.2%	58.1%	1.1%
70代	人数	170	15	28	113	14
	構成比		8.8%	16.5%	66.5%	8.2%
80代	人数	170	8	27	109	26
	構成比		4.7%	15.9%	64.1%	15.3%
90代以上	人数	26	2	2	19	3
	構成比		7.7%	7.7%	73.1%	11.5%
無回答	人数	20	4	3	12	1
	構成比		20.0%	15.0%	60.0%	5.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

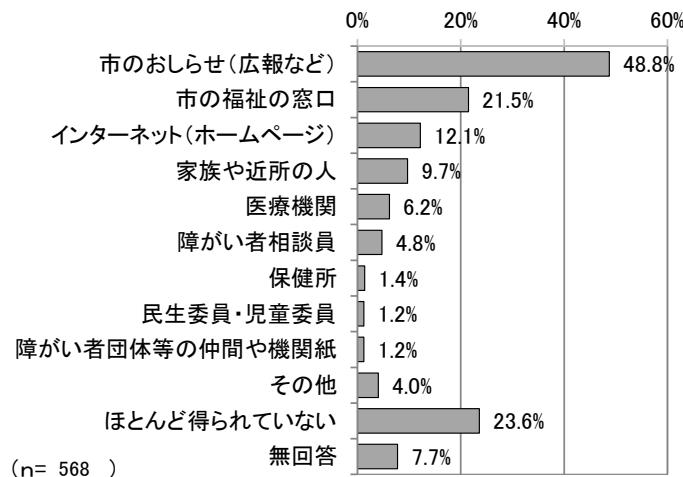
8 保健福祉サービス・施設サービスについて

(1) 障がいのある人に対するサービスについての情報源

問 32 市が行っている障がいのある人に対するサービスや施策についての情報は、どこから得てありますか。(○はいくつでも)

「市のおしらせ（広報など）」が48.8%

「市のおしらせ（広報など）」が48.8%と最も高く、次いで「ほとんど得られていない」が23.6%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、90代以上では「ほとんど得られていない」46.2%と最も高くなっています。

		回答者数	市のおしらせ（広報など）	市の福祉の窓口	保健所	医療機関	インターネット（ホームページ）	民生委員・児童委員	障がい者相談員	障がい者団体等の仲間や機関紙	家族や近所の人	その他	ほとんど得られていない	無回答
全体	人数	568	277	122	8	35	69	7	27	7	55	23	134	44
	構成比		48.8%	21.5%	1.4%	6.2%	12.1%	1.2%	4.8%	1.2%	9.7%	4.0%	23.6%	7.7%
30代以下	人数	14	6	2	1	0	4	0	1	0	4	1	2	0
	構成比		42.9%	14.3%	7.1%	0.0%	28.6%	0.0%	7.1%	0.0%	28.6%	7.1%	14.3%	0.0%
40代	人数	22	11	1	0	0	6	0	1	0	1	0	5	2
	構成比		50.0%	4.5%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	22.7%	9.1%
50代	人数	53	23	12	0	0	15	0	4	3	4	1	14	2
	構成比		43.4%	22.6%	0.0%	0.0%	28.3%	0.0%	7.5%	5.7%	7.5%	1.9%	26.4%	3.8%
60代	人数	93	58	20	3	7	24	1	5	1	5	4	15	0
	構成比		62.4%	21.5%	3.2%	7.5%	25.8%	1.1%	5.4%	1.1%	5.4%	4.3%	16.1%	0.0%
70代	人数	170	93	46	3	14	12	2	12	1	20	5	35	15
	構成比		54.7%	27.1%	1.8%	8.2%	7.1%	1.2%	7.1%	0.6%	11.8%	2.9%	20.6%	8.8%
80代	人数	170	73	32	1	13	6	4	4	2	15	7	44	21
	構成比		42.9%	18.8%	0.6%	7.6%	3.5%	2.4%	2.4%	1.2%	8.8%	4.1%	25.9%	12.4%
90代以上	人数	26	7	5	0	1	0	0	0	0	3	4	12	2
	構成比		26.9%	19.2%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	15.4%	46.2%	7.7%
無回答	人数	20	6	4	0	0	2	0	0	0	3	1	7	2
	構成比		30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	5.0%	35.0%	10.0%

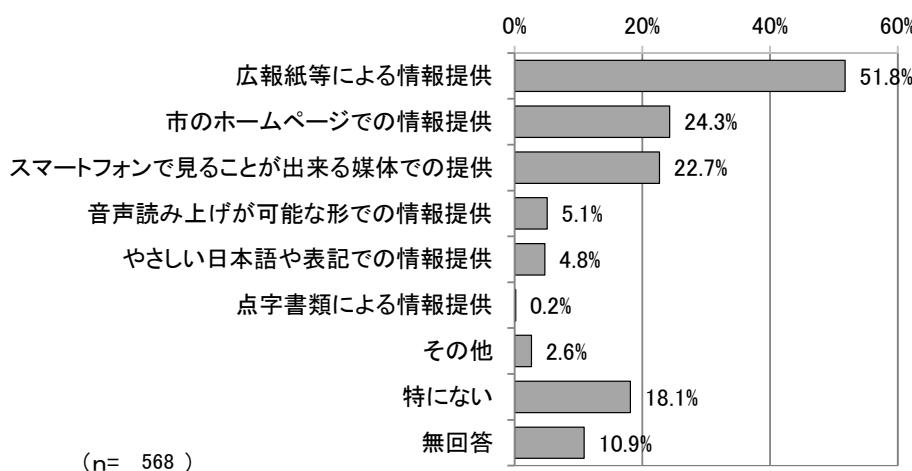
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)希望する情報提供の方法

問33 あなたが提供を希望する情報提供の方法はどのようなものですか。(○はいくつでも)

「広報紙等による情報提供」が51.8%

「広報紙等による情報提供」が51.8%と最も高く、次いで「市のホームページでの情報提供」が24.3%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下～50代では「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」、90代以上では「特にない」が最も高くなっています。

		回答者数	広報紙等による情報提供	市のホームページでの情報提供	スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供	音声読み上げが可能な形での情報提供	やさしい日本語や表記での情報提供	点字書類による情報提供	その他	特にない	無回答
全体	人数	568	294	138	129	29	27	1	15	103	62
	構成比		51.8%	24.3%	22.7%	5.1%	4.8%	0.2%	2.6%	18.1%	10.9%
30代以下	人数	14	5	4	6	0	1	0	0	4	0
	構成比		35.7%	28.6%	42.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
40代	人数	22	8	5	13	1	0	0	0	2	1
	構成比		36.4%	22.7%	59.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%
50代	人数	53	18	21	24	3	2	0	1	9	1
	構成比		34.0%	39.6%	45.3%	5.7%	3.8%	0.0%	1.9%	17.0%	1.9%
60代	人数	93	47	28	38	6	2	0	4	16	3
	構成比		50.5%	30.1%	40.9%	6.5%	2.2%	0.0%	4.3%	17.2%	3.2%
70代	人数	170	95	43	29	7	8	0	3	33	22
	構成比		55.9%	25.3%	17.1%	4.1%	4.7%	0.0%	1.8%	19.4%	12.9%
80代	人数	170	105	30	16	8	11	1	4	23	27
	構成比		61.8%	17.6%	9.4%	4.7%	6.5%	0.6%	2.4%	13.5%	15.9%
90代以上	人数	26	9	4	1	3	3	0	1	10	3
	構成比		34.6%	15.4%	3.8%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%	38.5%	11.5%
無回答	人数	20	7	3	2	1	0	0	2	6	5
	構成比		35.0%	15.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	25.0%

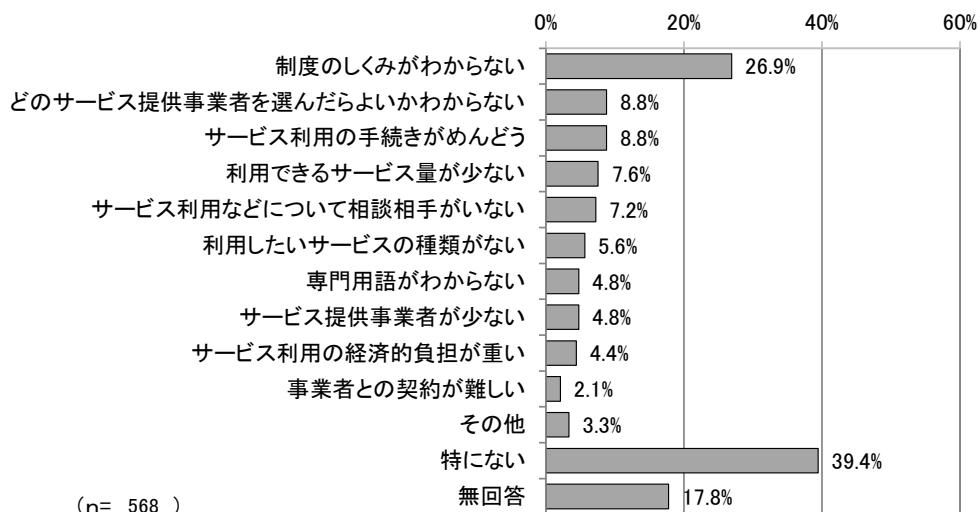
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)福祉サービスについて困っていること

問34 現在、市が行っている障がいのある人のための福祉サービスについて、困っていることや心配なことはありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が39.4%

「特にない」が39.4%と最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」が26.9%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、40代では「制度のしくみがわからない」40.9%が「特にない」と同率で最も高くなっています。

		回答者数	制度のしくみがわからない	専門用語がわからない	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない	サービス提供事業者が少ない	サービス利用の手続きがめんどう	事業者との契約が難しい	サービス利用の経済的負担が重い	利用できるサービス量が少ない	利用したいサービスの種類がない	サービス利用などについて相談相手がない	その他	特にない	無回答
全体	人數 構成比	568 26.0%	153 4.8%	27 8.8%	50 8.8%	27 4.8%	50 8.8%	12 2.1%	25 4.4%	43 7.6%	32 5.6%	41 7.2%	19 3.3%	224 39.4%	101 17.8%
30代以下	人數 構成比	14 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 35.7%	1 7.1%
40代	人數 構成比	22 40.9%	9 0.0%	0 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%
50代	人數 構成比	53 32.1%	17 5.7%	3 9.4%	5 9.4%	3 5.7%	9 17.0%	3 5.7%	5 9.4%	9 17.0%	7 13.2%	3 5.7%	1 1.9%	19 35.8%	3 5.7%
60代	人數 構成比	93 22.6%	21 0.0%	0 3.2%	3 3.2%	6 6.5%	3 3.2%	1 1.1%	6 6.5%	6 6.5%	4 4.3%	5 5.4%	6 6.5%	38 40.9%	12 12.9%
70代	人數 構成比	170 21.8%	37 2.9%	5 8.2%	14 8.2%	6 3.5%	9 5.3%	2 1.2%	3 1.8%	7 4.1%	8 4.7%	8 4.7%	7 4.1%	78 45.9%	34 20.0%
80代	人數 構成比	170 31.8%	54 7.1%	12 11.8%	20 11.8%	8 4.7%	20 11.8%	5 2.9%	8 4.7%	16 9.4%	6 3.5%	18 10.6%	3 1.8%	60 35.3%	38 22.4%
90代以上	人數 構成比	26 19.2%	5 15.4%	4 3.8%	1 3.8%	1 11.5%	3 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 7.7%	4 7.7%	1 15.4%	1 3.8%	9 34.6%	6 23.1%
無回答	人數 構成比	20 40.0%	8 5.0%	1 20.0%	4 10.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	3 15.0%	0 0.0%	6 30.0%	6 30.0%	6 30.0%

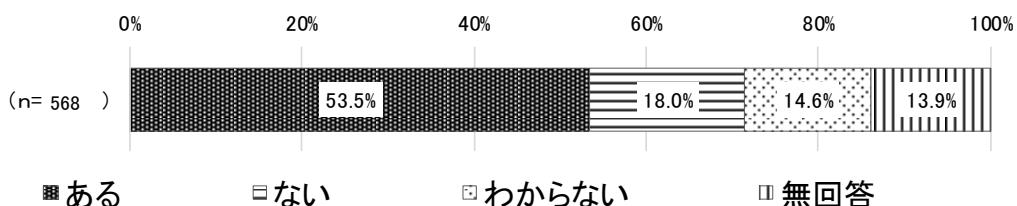
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4) 悩みを相談する場所の有無

問35 あなたは、悩みや困ったことがあった時、相談する場所がありますか。(○は1つ)

「ある」が53.5%

「ある」が53.5%と最も高く、次いで「ない」が18.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下の方は、「ある」が78.6%と他の年齢層と比較して高くなっています。

		回答者数	ある	ない	わからない	無回答
全体	人数	568	304	102	83	79
	構成比		53.5%	18.0%	14.6%	13.9%
30代以下	人数	14	11	0	3	0
	構成比		78.6%	0.0%	21.4%	0.0%
40代	人数	22	11	4	6	1
	構成比		50.0%	18.2%	27.3%	4.5%
50代	人数	53	25	12	12	4
	構成比		47.2%	22.6%	22.6%	7.5%
60代	人数	93	53	20	14	6
	構成比		57.0%	21.5%	15.1%	6.5%
70代	人数	170	93	37	20	20
	構成比		54.7%	21.8%	11.8%	11.8%
80代	人数	170	84	26	20	40
	構成比		49.4%	15.3%	11.8%	23.5%
90代以上	人数	26	18	1	3	4
	構成比		69.2%	3.8%	11.5%	15.4%
無回答	人数	20	9	2	5	4
	構成比		45.0%	10.0%	25.0%	20.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 住宅種別

住宅種別では、病院に長期入院中(6か月以上)では「ない」50.0%と最も多く、集合住宅(賃貸)の方は「ない」が34.6%とやや高くなっています。

		回答者数	ある	ない	わからない	無回答
全体	人数	568	304	102	83	79
	構成比		53.5%	18.0%	14.6%	13.9%
戸建て住宅(持ち家)	人数	316	176	47	49	44
	構成比		55.7%	14.9%	15.5%	13.9%
戸建て住宅(賃貸)	人数	6	5	0	1	0
	構成比		83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
集合住宅(持ち家)	人数	152	76	32	24	20
	構成比		50.0%	21.1%	15.8%	13.2%
集合住宅(賃貸)	人数	52	23	18	3	8
	構成比		44.2%	34.6%	5.8%	15.4%
グループホーム等	人数	1	1	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)	人数	19	12	0	3	4
	構成比		63.2%	0.0%	15.8%	21.1%
病院に長期入院中(6か月以上)	人数	4	0	2	1	1
	構成比		0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
その他	人数	4	3	1	0	0
	構成比		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	14	8	2	2	2
	構成比		57.1%	14.3%	14.3%	14.3%

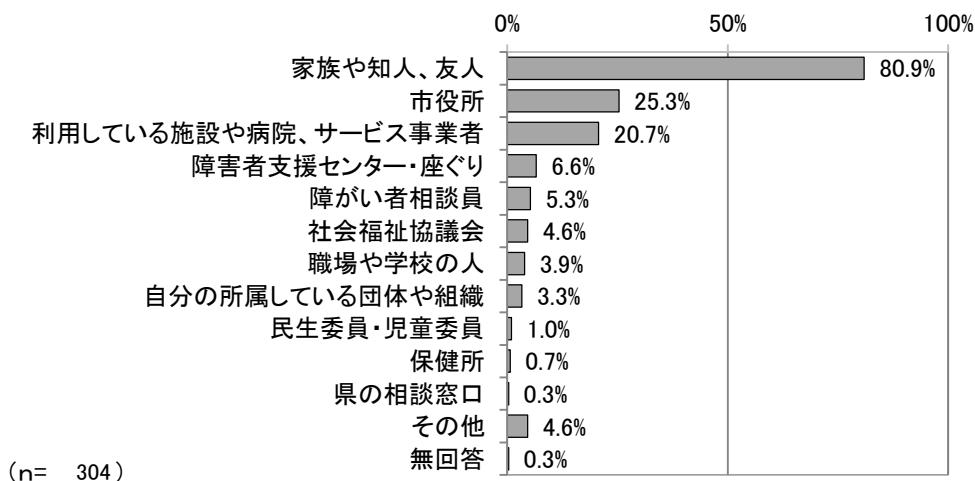
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(5)相談相手

問35-1 問35で「1」に回答した人のみ。あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（○はいくつでも）

「家族や知人、友人」が80.9%

「家族や知人、友人」が80.9%と最も高く、次いで「市役所」が25.3%となっています。

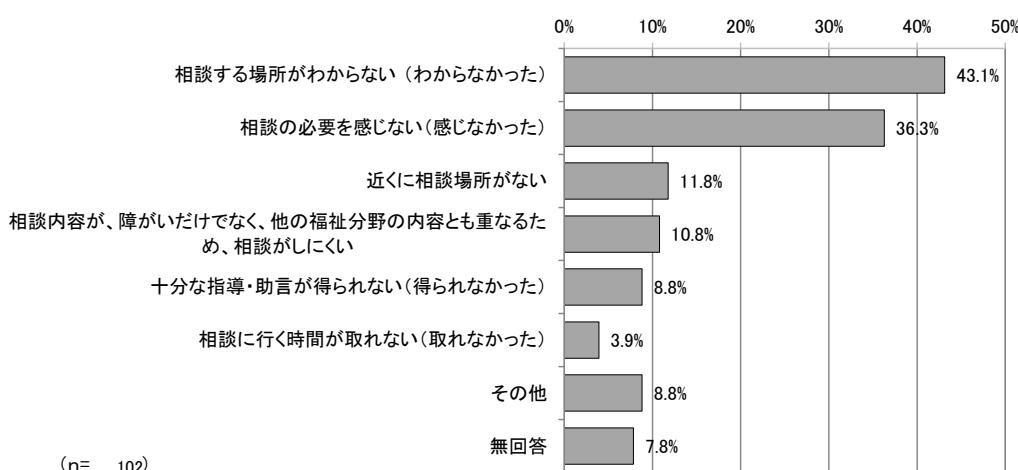


(6)相談しない理由

問35-2 問35で「2」に回答した人のみ。相談していない（しなかった）理由は何ですか。（○はいくつでも）

「相談する場所がわからない（わからなかった）」が43.1%

「相談する場所がわからない（わからなかった）」が43.1%と最も高く、次いで「相談の必要を感じない（感じなかった）」が36.3%となっています。



(7) 基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況

問 36 白井市では、令和7年4月から総合的な相談を担当する基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設しますが、ご存じですか。(○は1つ)

「知らなかった」が87.1%

「知らなかった」が87.1%、「知っていた」が6.9%となっています。



■ 年齢別

50代より上の年齢では、「知っていた」の割合が1桁となっています。

		回答者数	知っていた	知らなかつた	無回答
全体	人数	568	39	495	34
	構成比		6.9%	87.1%	6.0%
30代以下	人数	14	2	12	0
	構成比		14.3%	85.7%	0.0%
40代	人数	22	4	18	0
	構成比		18.2%	81.8%	0.0%
50代	人数	53	3	49	1
	構成比		5.7%	92.5%	1.9%
60代	人数	93	6	84	3
	構成比		6.5%	90.3%	3.2%
70代	人数	170	16	145	9
	構成比		9.4%	85.3%	5.3%
80代	人数	170	8	143	19
	構成比		4.7%	84.1%	11.2%
90代以上	人数	26	0	25	1
	構成比		0.0%	96.2%	3.8%
無回答	人数	20	0	19	1
	構成比		0.0%	95.0%	5.0%

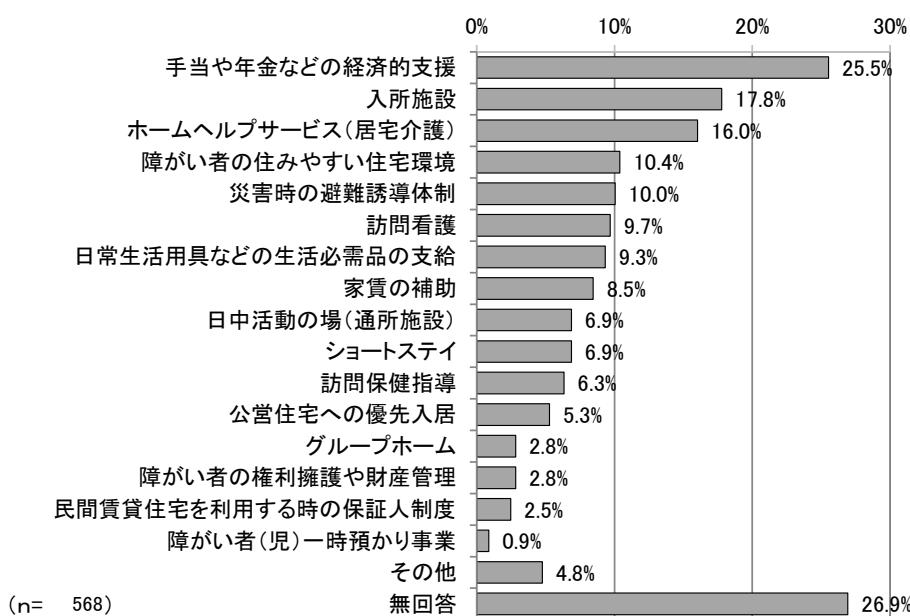
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(8) 地域で自立していくために、特に力を入れてほしいもの

問37 あなたが地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいものはなんですか。以下の（ア）～（ウ）の各分野ごとにえらんでください。（○は3つまで）
 （ア）生活全般

「手当や年金などの経済的支援」が25.5%

「手当や年金などの経済的支援」が25.5%と最も高く、次いで「入所施設」が17.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代、80代では「入所施設」、90代以上では「ホームヘルプサービス(居宅介護)」30.8%と最も高くなっています。

		回答者数	入所施設	グループホーム	ホームヘルプサービス(居宅介護)	日中活動の場(通所施設)	ショートステイ	障がい者の一時預かり事業	障がい者の権利擁護や財産管理	手当や年金などの経済的支援	日常生活用具などの生活必需品の支給	訪問看護	訪問保健指導	障がい者の住みやすい住宅環境	家賃の補助	公営住宅への優先入居	民間賃貸住宅を利用する時の保証人制度	災害時の避難誘導体制	その他	無回答	
全体	人数 構成比	568 17.8%	101 2.8%	16 1.6%	91 6.9%	39 0.9%	39 2.6%	5 0.9%	16 2.8%	145 25.5%	53 9.3%	55 9.7%	36 6.3%	59 10.4%	48 10.4%	30 8.5%	14 5.3%	57 2.5%	27 10.0%	153 4.8%	26.9% 26.9%
30代以下	人数 構成比	14 7.1%	1 7.1%	1 21.4%	3 7.1%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%
40代	人数 構成比	22 4.5%	1 0.0%	0 4.5%	1 4.5%	1 9.1%	2 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	10 45.5%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	8 36.4%	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	3 13.6%
50代	人数 構成比	53 11.3%	6 3.8%	2 3.8%	2 7.5%	4 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	4 7.5%	29 43.4%	7 13.2%	2 3.8%	2 3.8%	13 24.5%	11 20.8%	10 18.9%	10 5.7%	3 18.9%	1 1.9%	8 15.1%	8 15.1%
60代	人数 構成比	93 14.0%	13 2.2%	2 11.8%	11 2.2%	2 5.4%	5 0.0%	0 3.2%	3 36.6%	34 12.9%	12 12.9%	12 5.4%	5 12.9%	6 6.5%	6 6.5%	6 3.2%	3 11.8%	5 5.4%	22 23.7%	22 23.7%	
70代	人数 構成比	170 22.4%	38 1.2%	2 18.8%	32 9.4%	16 6.5%	11 1.2%	2 1.8%	3 18.2%	31 8.2%	14 6.5%	8 4.7%	10 5.9%	12 7.1%	7 4.1%	12 1.8%	3 8.8%	15 5.3%	9 30.6%	52 50.6%	
80代	人数 構成比	170 19.4%	33 4.7%	8 18.2%	31 7.6%	13 8.8%	15 1.2%	2 1.8%	3 19.4%	33 10.0%	17 12.9%	22 10.6%	18 7.6%	13 3.5%	6 2.4%	4 0.0%	0 0.0%	13 7.6%	7 4.1%	54 31.8%	54 31.8%
90代以上	人数 構成比	26 19.2%	5 0.0%	0 30.8%	8 0.0%	0 15.4%	4 0.0%	0 0.0%	0 11.5%	3 0.0%	0 15.4%	0 7.7%	0 3.8%	1 3.6%	1 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	3 11.5%	6 23.1%	6 23.1%
無回答	人数 構成比	20 20.0%	4 5.0%	1 15.0%	1 10.0%	3 5.0%	2 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	4 20.0%	0 15.0%	0 5.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 10.0%	2 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	6 30.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、2級では「障がい者の住みやすい住宅環境」19.8%と同率で最も高くなっています。

		回答者 数	入所施 設	グル ープホー ム	ホーム ヘルプ サービ ス(居宅 介護)	日中活 動の場 (通所施 設)	ショート ステイ	障がい 者(児) 一時預 かり事 業	障がい 者の権 利擁護 や財産 管理	手当や 年金な どの經 済的支 援	日常生 活用具 などの生 活必 需品の 支給	訪問看 護	訪問保 健指導	障がい 者の住 みやす い住宅 環境	家賃の 補助	公営住 宅への 優先入 居	民間賃 貸住宅 を利用する 時の保証 人制度	災害時 の避難 誘導体 制	その他	無回答
全体	人数	568	101	16	91	39	39	5	16	145	53	55	36	59	48	30	14	57	27	153
	構成比		17.8%	2.8%	16.0%	6.9%	6.9%	0.9%	2.8%	25.5%	9.3%	9.7%	6.3%	10.4%	8.5%	5.3%	2.5%	10.0%	4.8%	26.9%
1級	人数	178	37	3	30	13	16	2	6	50	14	26	14	18	19	12	5	15	7	38
	構成比		20.8%	1.7%	16.9%	7.3%	9.0%	1.1%	3.4%	28.1%	7.9%	14.6%	7.9%	10.1%	10.7%	6.7%	2.8%	8.4%	3.9%	21.3%
2級	人数	91	16	3	12	6	6	1	4	18	11	3	2	18	6	3	2	13	3	26
	構成比		17.6%	3.3%	13.2%	6.6%	6.6%	1.1%	4.4%	19.8%	12.1%	3.3%	2.2%	19.8%	6.6%	3.3%	2.2%	14.3%	3.3%	28.6%
3級	人数	88	18	5	15	7	8	1	2	20	7	8	3	6	8	7	0	10	3	23
	構成比		20.5%	5.7%	17.0%	8.0%	9.1%	1.1%	2.3%	22.7%	8.0%	9.1%	3.4%	6.8%	9.1%	8.0%	0.0%	11.4%	3.4%	26.1%
4級	人数	136	18	4	22	10	4	1	1	37	13	11	13	11	10	6	2	15	8	42
	構成比		13.2%	2.9%	16.2%	7.4%	2.9%	0.7%	0.7%	27.2%	9.6%	8.1%	9.6%	8.1%	7.4%	4.4%	1.5%	11.0%	5.9%	30.9%
5級	人数	26	6	1	5	1	1	0	0	8	3	3	1	1	2	1	3	1	3	6
	構成比		23.1%	3.8%	19.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	30.8%	11.5%	11.5%	3.8%	3.8%	7.7%	3.8%	11.5%	3.8%	11.5%	23.1%
6級	人数	30	2	0	5	1	2	0	3	8	5	1	2	3	3	1	1	3	3	10
	構成比		6.7%	0.0%	16.7%	3.3%	6.7%	0.0%	10.0%	26.7%	16.7%	3.3%	6.7%	10.0%	3.3%	3.3%	10.0%	10.0%	33.3%	
無回答	人数	19	4	0	2	1	2	0	0	4	0	3	1	2	0	0	1	0	0	8
	構成比		21.1%	0.0%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	21.1%	0.0%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	42.1%		

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 住宅種別

住宅では、集合住宅(賃貸)では「家賃の補助」44.2%、グループホーム等では「民間賃貸住宅を利用する時の保証人制度」100.0%、福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)では「入所施設」47.4%が最も多くなっています。

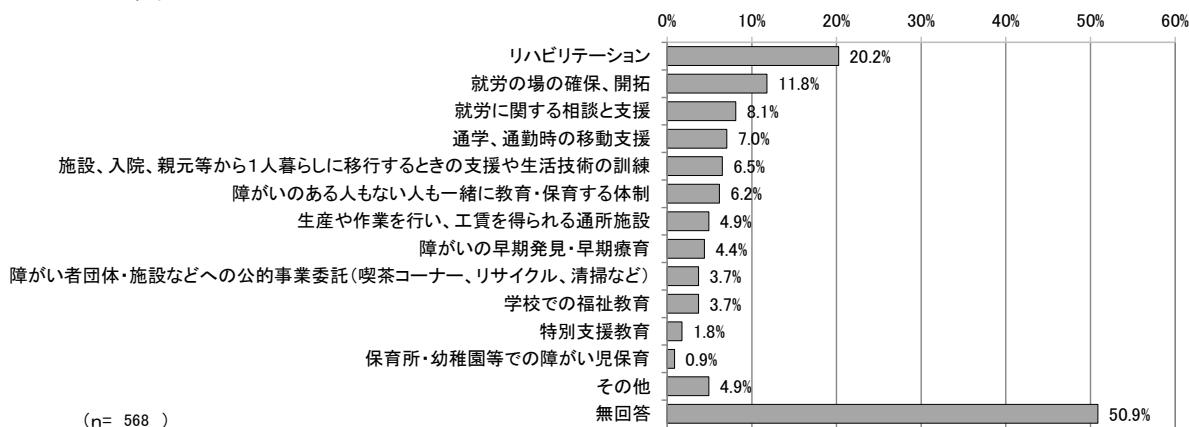
		回答者 数	入所施 設	グル ープホー ム	ホーム ヘルプ サービ ス(居宅 介護)	日中活 動の場 (通所施 設)	ショート ステイ	障がい 者(児) 一時預 かり事 業	障がい 者の権 利擁護 や財産 管理	手当や 年金な どの經 済的支 援	日常生 活用具 などの生 活必 需品の 支給	訪問看 護	訪問保 健指導	障がい 者の住 みやす い住宅 環境	家賃の 補助	公営住 宅への 優先入 居	民間賃 貸住宅 を利用する 時の保証 人制度	災害時 の避難 誘導体 制	その他	無回答
全体	人数	568	101	16	91	39	39	5	16	145	53	55	36	59	48	30	14	57	27	153
	構成比		17.8%	2.8%	16.0%	6.9%	6.9%	0.9%	2.8%	25.5%	9.3%	9.7%	6.3%	10.4%	8.5%	5.3%	2.5%	10.0%	4.8%	26.9%
戸建て住宅(持ち家)	人数	316	50	10	56	26	30	4	10	72	29	27	19	30	13	10	5	37	16	95
	構成比		15.6%	3.2%	17.7%	8.2%	9.5%	1.3%	3.2%	22.8%	9.2%	8.5%	6.0%	9.5%	4.1%	3.2%	1.6%	11.7%	5.1%	30.1%
戸建て住宅(賃貸)	人数	6	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
	構成比		16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
集合住宅(持ち家)	人数	152	33	3	26	12	6	0	5	45	16	23	15	18	10	6	3	15	8	29
	構成比		21.7%	2.0%	17.1%	7.9%	3.9%	0.0%	3.3%	29.6%	10.5%	15.1%	9.9%	11.8%	6.6%	3.9%	2.0%	9.9%	5.3%	19.1%
集合住宅(賃貸)	人数	52	4	1	4	0	3	1	0	14	5	1	0	5	23	14	4	2	0	15
	構成比		7.7%	1.9%	7.7%	0.0%	5.8%	1.9%	0.0%	26.0%	9.6%	1.9%	0.0%	9.6%	44.2%	26.9%	7.7%	3.8%	0.0%	28.8%
グループホーム等	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)	人数	19	9	2	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	8
	構成比		47.4%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	53%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%
病院に長期入院中(6か月以上)	人数	4	2	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	人数	4	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	4	1	0	0	1	0	0
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
無回答	人数	14	1	0	1	1	0	0	0	2	1	1	1	4	1	0	1	2	1	6
	構成比		7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	7.1%	42.9%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(イ) 就労・訓練・教育

「リハビリテーション」が20.2%

「リハビリテーション」が20.2%と最も高く、次いで「就労の場の確保、開拓」が11.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下～60代では「就労の場の確保、開拓」が最も高くなっています。

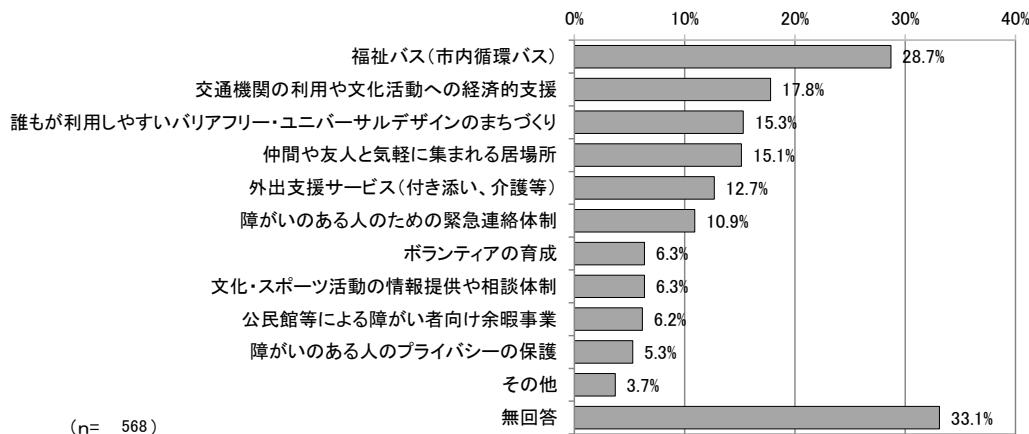
		回答者数	生産や作業を行い、工賃を得られる通所施設	施設、入院、親元等から1人暮らしに移行するときの支援や生活技術の訓練	障がい者団体・施設などへの公的事業委託(喫茶コーナー、リサイクル、清掃など)	障がいの早期発見・早期療育	就労に関する相談と支援	リハビリテーション	保育所・幼稚園等での障がい児保育	特別支援教育	学校での福祉教育	障がいのある人も一緒に教育・保育する体制	通学、通勤時の移動支援	就労の場の確保、開拓	その他	無回答
全体	人数	568	28	37	21	25	46	115	5	10	21	35	40	67	28	289
	構成比		4.9%	6.5%	3.7%	4.4%	8.1%	20.2%	0.9%	1.8%	3.7%	6.2%	7.0%	11.8%	4.9%	50.9%
30代以下	人数	14	1	1	0	1	3	2	1	0	2	1	2	6	1	4
	構成比		7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	14.3%	42.9%	7.1%	28.6%
40代	人数	22	4	3	2	2	1	3	1	1	1	3	5	7	0	6
	構成比		18.2%	13.6%	9.1%	9.1%	4.5%	13.6%	4.5%	4.5%	4.5%	13.6%	22.7%	31.8%	0.0%	27.3%
50代	人数	53	8	2	2	1	11	11	0	2	2	5	11	18	1	16
	構成比		15.1%	3.8%	3.8%	1.9%	20.8%	20.8%	0.0%	3.8%	3.8%	9.4%	20.8%	30.2%	1.9%	30.2%
60代	人数	93	6	7	7	10	12	21	1	3	5	6	11	22	4	25
	構成比		6.5%	7.5%	7.5%	10.8%	12.9%	22.6%	1.1%	3.2%	5.4%	6.5%	11.8%	23.7%	4.3%	26.9%
70代	人数	170	4	12	6	3	13	38	2	3	5	10	6	12	10	96
	構成比		2.4%	7.1%	3.5%	1.8%	7.6%	22.4%	1.2%	1.8%	2.9%	5.9%	3.5%	7.1%	5.9%	56.5%
80代	人数	170	4	12	3	7	3	29	0	0	5	8	4	3	8	115
	構成比		2.4%	7.1%	1.8%	4.1%	1.8%	17.1%	0.0%	0.0%	2.9%	4.7%	2.4%	1.8%	4.7%	67.6%
90代以上	人数	26	0	0	0	1	2	7	0	1	1	1	0	0	4	13
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	26.9%	0.0%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	15.4%	50.0%
無回答	人数	20	1	0	1	0	1	4	0	0	0	1	1	1	0	14
	構成比		5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	70.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(ウ) 社会的活動

「福祉バス（市内循環バス）」が28.7%

「福祉バス（市内循環バス）」が28.7%と最も高く、次いで「交通機関の利用や文化活動への経済的支援」が17.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下では「交通機関の利用や文化活動への経済的支援」28.6%、「外出支援サービス(付き添い、介護等)」28.6%、40代では「誰もが利用しやすいバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり」31.8%、90代以上では「外出支援サービス(付き添い、介護等)」19.2%が最も高くなっています。

		回答者数	公民館等による障がい者向け余暇事業	ボランティアの育成	文化・スポーツ活動の情報提供や相談体制	交通機関の利用や文化活動への経済的支援	福祉バス(市内循環バス)	外出支援サービス(付き添い、介護等)	誰もが利用しやすいバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	障がいのある人のプライバシーの保護	障がいのある人のための緊急連絡体制	仲間や友人と気軽に集まれる居場所	その他	無回答
全体	人数	568	35	36	36	101	163	72	87	30	62	86	21	188
	構成比		6.2%	6.3%	6.3%	17.8%	28.7%	12.7%	15.3%	5.3%	10.9%	15.1%	3.7%	33.1%
30代以下	人数	14	0	0	1	4	2	4	3	1	2	3	1	4
	構成比		0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	14.3%	28.6%	21.4%	7.1%	14.3%	21.4%	7.1%	28.6%
40代	人数	22	2	1	2	4	5	2	7	3	2	6	0	6
	構成比		9.1%	4.5%	9.1%	18.2%	22.7%	9.1%	31.8%	13.6%	9.1%	27.3%	0.0%	27.3%
50代	人数	53	4	3	3	12	21	4	10	5	6	8	0	12
	構成比		7.5%	5.7%	5.7%	22.6%	39.6%	7.5%	18.9%	9.4%	11.3%	15.1%	0.0%	22.6%
60代	人数	93	9	8	8	26	35	14	19	7	9	12	5	16
	構成比		9.7%	8.6%	8.6%	28.0%	37.6%	15.1%	20.4%	7.5%	9.7%	12.9%	5.4%	17.2%
70代	人数	170	6	14	14	21	48	16	27	10	17	23	6	60
	構成比		3.5%	8.2%	8.2%	12.4%	28.2%	9.4%	15.9%	5.9%	10.0%	13.5%	3.5%	35.3%
80代	人数	170	14	10	7	29	45	25	17	3	23	29	5	69
	構成比		8.2%	5.9%	4.1%	17.1%	26.5%	14.7%	10.0%	1.8%	13.5%	17.1%	2.9%	40.6%
90代以上	人数	26	0	0	0	3	2	5	1	0	0	3	4	12
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	7.7%	19.2%	3.8%	0.0%	0.0%	11.5%	15.4%	46.2%
無回答	人数	20	0	0	1	2	5	2	3	1	3	2	0	9
	構成比		0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	25.0%	10.0%	15.0%	5.0%	15.0%	10.0%	0.0%	45.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(9) 障がいや福祉に関する言葉の認知状況

問38 あなたは、次のようなことばを知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

「ヘルプマーク・ヘルプカード」が38.7%

「内容まで知っている」の回答割合が高いのは「ヘルプマーク・ヘルプカード」が38.7%となっており、その他は一桁の割合となっています。

		回答者数	内容まで 知っている	ことばを見 聞きしたこと はある	知らなかっ た	無回答
① 障害者権利条約	人数	568	23	112	333	100
	構成比		4.0%	19.7%	58.6%	17.6%
② 障害者週間(12月3~9日)	人数	568	24	74	367	103
	構成比		4.2%	13.0%	64.6%	18.1%
③ ヘルプマーク・ヘルプカード	人数	568	220	138	138	72
	構成比		38.7%	24.3%	24.3%	12.7%
④ 福祉避難所	人数	568	20	89	348	111
	構成比		3.5%	15.7%	61.3%	19.5%
⑤ ふれあい広場(市内で開催) チャレンジパーソンスポーツ	人数	568	16	75	368	109
	構成比		2.8%	13.2%	64.8%	19.2%
⑥ 白井市障害者計画	人数	568	13	81	370	104
	構成比		2.3%	14.3%	65.1%	18.3%
⑦ 白井市障害福祉計画・障害 児福祉計画	人数	568	12	85	369	102
	構成比		2.1%	15.0%	65.0%	18.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

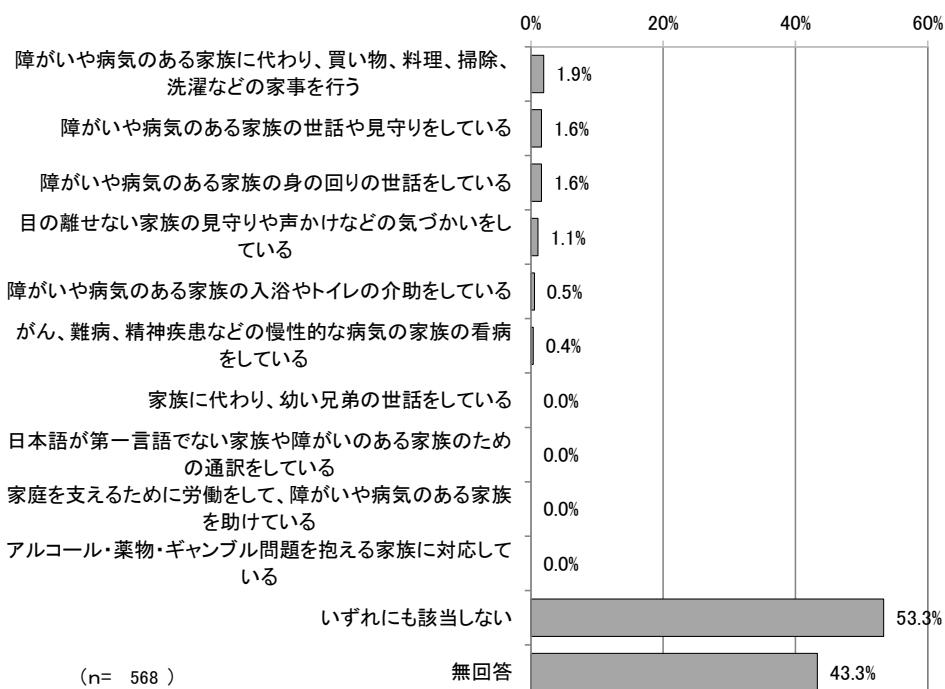
(10)ヤングケアラーについて

問 39 あなたの家庭で、18歳未満の人が、障がいのある人に対して以下のことを日常的に行うことがありますか。(○はいくつでも)

「ヤングケアラー」に該当する方は全体の3.4%

「いずれにも該当しない」が53.3%と最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、買い物、料理、掃除、洗濯などの家事を行う」が1.9%となっています。

なお、本項目に1項目でも該当した方は19人で、全体の3.4%となっています。



A 【身体障がい】

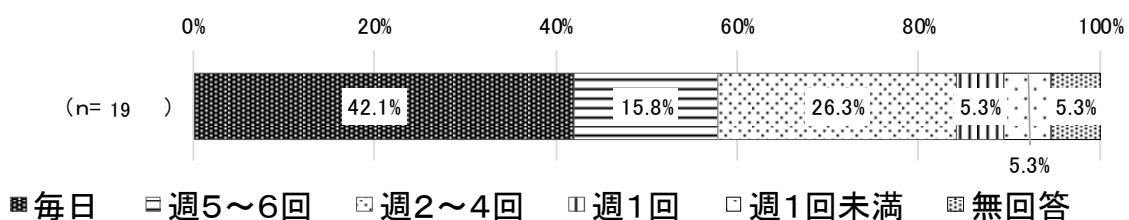
(10-1)お手伝いの頻度・時間

問39-1 問39で「1」～「10」と回答した人のみ。上記のお手伝いの頻度・時間はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つ)

① 頻度

「毎日」が8人

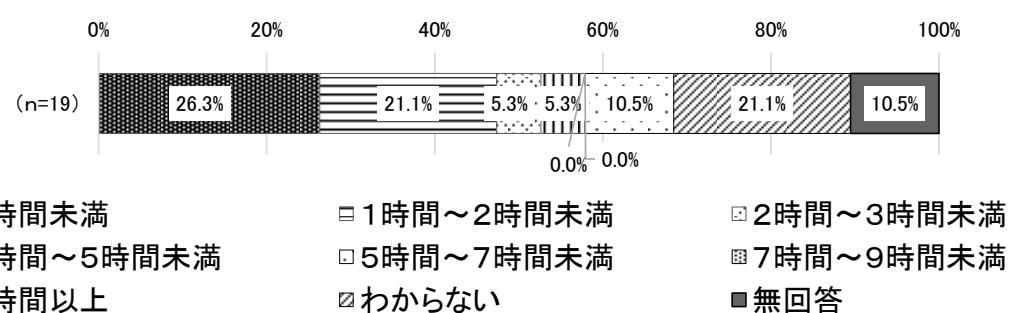
「毎日」が42.1%と最も高く、次いで「週2～4回」が26.3%となっています。
なお、「毎日」お手伝いしている人の実人数は8人です。



② 1日あたりの時間

「3時間以上」が3人

「1時間未満」が26.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が21.1%となっています。
なお、3時間以上は3人で、うち2人が9時間以上となっています。

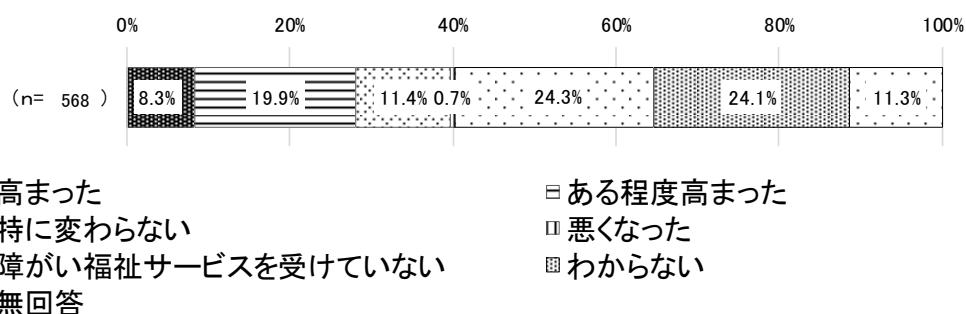


(11)障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化

問40 あなたは、行政や民間が実施する障がい福祉サービスを受けることで、生活の質が高まったと思いますか。(○は1つ)

「障がい福祉サービスを受けていない」が24.3%

「障がい福祉サービスを受けていない」が24.3%と最も高く、次いで「わからない」が24.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代以下、50代、80代では「わからない」、40代では「ある程度高まった」「特に変わらない」、90代以上では「ある程度高まった」34.6%と最も高くなっています。

平均点では、「30代以下」が0.31と平均より0.23ポイント低くなっています。

平均点算出方法	
高まった	2点
ある程度高まった	1点
特に変わらない	0点
悪くなった	-2点
わからない	0点

回答者数		高まった	ある程度高まった	特に変わらない	悪くなった	障がい福祉サービスを受けていない	わからない	無回答	平均点	
全体	人数	568	47	113	65	4	138	137	64	0.54
	構成比		8.3%	19.9%	11.4%	0.7%	24.3%	24.1%	11.3%	
30代以下	人数	14	1	2	4	0	0	6	1	0.31
	構成比		7.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	7.1%	
40代	人数	22	2	6	6	0	3	5	0	0.53
	構成比		9.1%	27.3%	27.3%	0.0%	13.6%	22.7%	0.0%	
50代	人数	53	4	10	7	0	14	17	1	0.47
	構成比		7.5%	18.9%	13.2%	0.0%	26.4%	32.1%	1.9%	
60代	人数	93	6	20	10	1	29	20	7	0.53
	構成比		6.5%	21.5%	10.8%	1.1%	31.2%	21.5%	7.5%	
70代	人数	170	20	27	22	1	45	29	26	0.66
	構成比		11.8%	15.9%	12.9%	0.6%	26.5%	17.1%	15.3%	
80代	人数	170	11	38	14	2	39	43	23	0.52
	構成比		6.5%	22.4%	8.2%	1.2%	22.9%	25.3%	13.5%	
90代以上	人数	26	1	9	1	0	5	8	2	0.58
	構成比		3.8%	34.6%	3.8%	0.0%	19.2%	30.8%	7.7%	
無回答	人数	20	2	1	1	0	3	9	4	0.38
	構成比		10.0%	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%	45.0%	20.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

A 【身体障がい】

■ 等級別

等級別では、1級では「わからない」、2級、3級では「ある程度高まった」が最も高くなっています。

		回答者数	高まった	ある程度高 まつた	特に変わら ない	悪くなつた	障がい福祉 サービスを受 けていない	わからない	無回答	平均点
全体	人数	568	47	113	65	4	138	137	64	0.54
	構成比		8.3%	19.9%	11.4%	0.7%	24.3%	24.1%	11.3%	
1級	人数	178	17	35	20	0	43	50	13	0.57
	構成比		9.6%	19.7%	11.2%	0.0%	24.2%	28.1%	7.3%	
2級	人数	91	7	21	13	0	18	20	12	0.57
	構成比		7.7%	23.1%	14.3%	0.0%	19.8%	22.0%	13.2%	
3級	人数	88	6	21	10	1	21	19	10	0.54
	構成比		6.8%	23.9%	11.4%	1.1%	23.9%	21.6%	11.4%	
4級	人数	136	12	21	14	2	38	30	19	0.52
	構成比		8.8%	15.4%	10.3%	1.5%	27.9%	22.1%	14.0%	
5級	人数	26	2	7	2	0	8	5	2	0.69
	構成比		7.7%	26.9%	7.7%	0.0%	30.8%	19.2%	7.7%	
6級	人数	30	2	7	2	1	9	7	2	0.47
	構成比		6.7%	23.3%	6.7%	3.3%	30.0%	23.3%	6.7%	
無回答	人数	19	1	1	4	0	1	6	6	0.25
	構成比		5.3%	5.3%	21.1%	0.0%	5.3%	31.6%	31.6%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 手帳取得時期別

手帳取得時期別では、出生前または出生時、18歳未満、65歳以上、(手帳取得時期が)わからないは、「わからない」が最も高くなっています。

平均点では、「18歳未満」が0.36と平均より0.18ポイント低くなっています。

		回答者数	高まった	ある程度高 まつた	特に変わら ない	悪くなつた	障がい福祉 サービスを受 けていない	わからない	無回答	平均点
全体	人数	568	47	113	65	4	138	137	64	0.54
	構成比		8.3%	19.9%	11.4%	0.7%	24.3%	24.1%	11.3%	
出生前または出生時	人数	35	6	5	6	0	6	8	4	0.68
	構成比		17.1%	14.3%	17.1%	0.0%	17.1%	22.9%	11.4%	
18歳未満	人数	35	0	8	5	0	9	9	4	0.36
	構成比		0.0%	22.9%	14.3%	0.0%	25.7%	25.7%	11.4%	
18~64歳	人数	246	23	49	28	3	65	54	24	0.57
	構成比		9.3%	19.9%	11.4%	1.2%	26.4%	22.0%	9.8%	
65歳以上	人数	171	11	40	15	1	41	42	21	0.55
	構成比		6.4%	23.4%	8.8%	0.6%	24.0%	24.6%	12.3%	
わからない	人数	41	5	5	7	0	11	11	2	0.54
	構成比		12.2%	12.2%	17.1%	0.0%	26.8%	26.8%	4.9%	
無回答	人数	40	2	6	4	0	6	13	9	0.40
	構成比		5.0%	15.0%	10.0%	0.0%	15.0%	32.5%	22.5%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

B 【知的障がい】**1 概要****(1)住まいや暮らしについて**

- ・一緒に住んでいる人は、「母」が71.6%(前回83.0%)と最も高く、次いで「父」が63.7%(前回76.1%)となっており、前回と比較して割合が低下しています。
- ・今後の生活については、「今まで良い」が44.1%と最も高く、次いで「同じ障がいのある人と、グループホームなどで暮らしたい」が36.3%となっています。
- ・賃貸住宅を借りられなかった経験のある方はいませんでした。
- ・地域で生活するために必要な支援は、前回、今回とも「経済的な負担の軽減」が39.2%(前回64.4%)と最も高く、次いで「障がい者に適した住居の確保」が38.2%(前回45.2%)の順となっています。
- ・介助する方の年齢をみると、70代以上では今回は20.0%となっており、前回の10.4%と比較すると、9.6ポイント増加しており、介助者の高齢化が進んでいます。
- ・介護を受ける上で問題になっていることは、「家族の精神的、身体的負担が大きい」が40.0%(前回26.1%)と最も多く、前回より13.9ポイント増加しています。

(2)日頃の活動状況について

- ・普段の活動は、「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が52.9%が最も高く、前回の33.5%と比較して19.4ポイント増加しています。
- ・現在の仕事は、「特例子会社 または障がい者雇用で働いている」が38.9%(前回42.9%)と最も高くなっています。なお、「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」があわせて37.0%(前回44.4%)となっており、7.4ポイント低下しています。
- ・現在の仕事の悩みについては、「職場の人間関係がうまくいかない」では13.0%(前回20.6%)、「自分の考えや思ったことが伝えられない」が11.1%(前回20.6%)と、低下しています。
- ・今後、収入を得る仕事をしたいかどうかについては、「仕事をしたい(続けたい)」が59.8%(前回60.7%)となっています。また、今後の就労意向についてみると「特例子会社 または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が36.1%となっています。
- ・障がいのある人への就労支援として必要なことは、前回・今回とも「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も高くなっています。

(3)外出・活動等について

- ・外出の頻度は、ほぼ毎日が今回は67.6%(前回75.5%)となっており、前回と比較して7.9ポイント減少しています。
- ・車で移動する理由は、「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が37.0%が最も高く、困ることは、「特にない」の次に「ガソリン等の燃料費が高騰していること」38.9%となっています。
- ・今後やりたいことは、「旅行」「買物」の順となっています。
- ・スポーツについては、「している」が37.3%と最も高くなっています。スポーツをしない理由は、「からだを動かすことが得意ではない」が38.9%と最も高く、次いで「場所や環境がない」が27.8%となっています。
- ・現在の生活で困っていることは、「人のコミュニケーションがうまくとれない」が33.3%、次いで

「将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安」が32.4%となっています。

(4)差別・権利擁護について

- ・差別を受けた経験は、「ある」が今回は45.1%(前回55.9%)と10.8ポイント低下しています。
- ・差別を受けた場所は、「学校・仕事場」が56.5%(前回58.1%)となっており、前回とほぼ同率となっています。
- ・障がいがあることが原因で、発生した問題は「特にない(40.2%)」「わからない(18.6%)」を除くと、「差別用語を使われた」が11.8%(前回34.3%)と、22.5ポイント減少しています。
- ・「成年後見制度」の周知度、「合理的配慮」の周知度は、「内容まで知っている」「聞いたことはあるが内容までは知らない」の合計がいずれも前回より低くなっています。

(5)災害時の対応について

- ・避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいるかどうかについては、「昼間・夜間ともにいる」が今回は58.6%ですが、前回は73.0%であったため、14.4ポイント減少しています。

(6)保健福祉サービス・施設サービスについて

- ・市の情報は、「市のおしらせ(広報など)」が31.4%と最も高く、次いで「ほとんど得られていない」が25.5%となっています。また、提供を希望する情報提供の方法は「広報紙等による情報提供」が33.3%と最も高くなっています。
- ・福祉サービスで困っていることは、「特にない」「制度のしくみがよくわからない」の順となっています。
- ・困ったことを相談する場所については、「ある」が65.7%となっています。
- ・相談する相手は、「家族や知人、友人」が64.2%と最も高くなっています。また、相談しない理由としては、「相談の必要を感じない(感じなかった)」が28.6%となっています。前回は「相談する場所がわからない(わからなかった)」が48.6%と最も高くなっていましたが、今回は14.3%と34.3ポイント低くなっています。
- ・基幹相談支援センターの周知度は、「知らなかった」が77.5%となっています。
- ・地域で自立して暮らすために必要なことは、生活全般では「グループホーム」が41.2%、就労・訓練・教育では「生産や作業を行い、工賃を得られる通所施設」が24.5%、社会的活動では「外出支援サービス(付き添い・介護等)」が30.4%と最も高くなっています。
- ・障がいや福祉に関する言葉の認知状況は、「ヘルプマーク・ヘルプカード」は、内容まで知っている方の割合が38.2%(前回23.4%)と14.8ポイント増加していますが、それ以外は前回とほぼ同様です。
- ・ヤングケアラーの疑いのある人は、全体の5.9%となっています。
- ・障がい福祉サービスを受けることによる変化としては、「わからない」が27.5%と最も高く、次いで「ある程度高まった」が25.5%となっています。
- ・なお、障がい福祉サービスを受けることで、生活の質が高まったかを感じるのは、等級別では「まるA」が最も高く、「Bの2」が最も低いため、軽度の方がサービスの効果をあまり感じていない状況となっています。

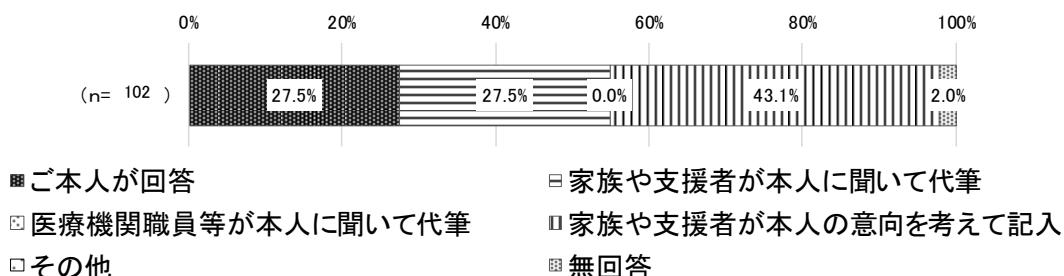
2 あなた自身について

(1)回答者

問1 このアンケートを記入していただく人はどなたですか。(○は1つ)

「家族や支援者が本人の意向を考えて記入」が43.1%

「家族や支援者が本人の意向を考えて記入」が43.1%と最も高く、次いで「ご本人が回答」「家族や支援者が本人に聞いて代筆」が各々27.5%となっています。



■ 等級別

等級別では、Bの1では「ご本人が回答」43.5%、Bの2では「ご本人が回答」57.7%と最も高くなっています。

		回答者数	ご本人が回答	家族や支援者が本人に聞いて代筆	医療機関職員等が本人に聞いて代筆	家族や支援者が本人の意向を考えて記入	その他	無回答
全体	人数	102	28	28	0	44	0	2
	構成比		27.5%	27.5%	0.0%	43.1%	0.0%	2.0%
まるA	人数	8	0	3	0	5	0	0
	構成比		0.0%	37.5%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%
Aの1	人数	31	3	10	0	18	0	0
	構成比		9.7%	32.3%	0.0%	58.1%	0.0%	0.0%
Aの2	人数	7	0	1	0	6	0	0
	構成比		0.0%	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%
Bの1	人数	23	10	6	0	7	0	0
	構成比		43.5%	26.1%	0.0%	30.4%	0.0%	0.0%
Bの2	人数	26	15	8	0	2	0	1
	構成比		57.7%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%
無回答	人数	7	0	0	0	6	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

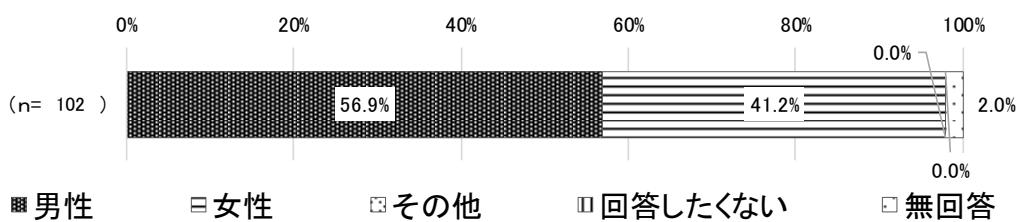
(2)性別と年齢

問2 あなたの性別と年齢をお答えください。

① 性別

「男性」が 56.9%

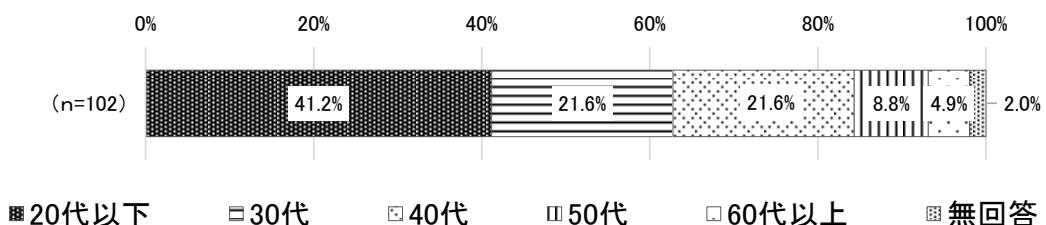
「男性」が56.9%と最も高く、次いで「女性」が41.2%となっています。



② 年齢

「20代以下」が 41.2%

「20代以下」が41.2%と最も高く、次いで「30代」が21.6%となっています。

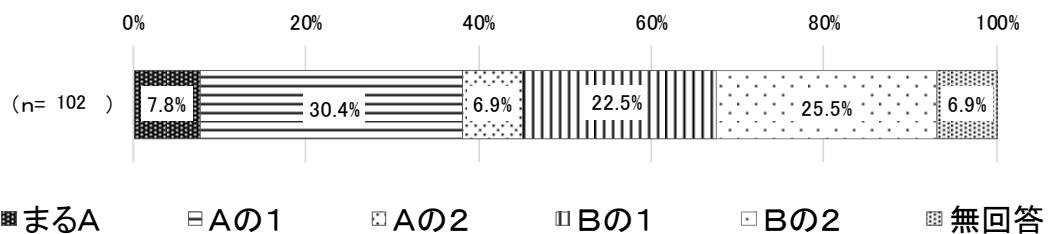


(3)療育手帳の等級

問3 療育手帳の等級はいくつですか。(○は1つ)

「Aの1」が30.4%

「Aの1」が30.4%と最も高く、次いで「Bの2」が25.5%となっています。

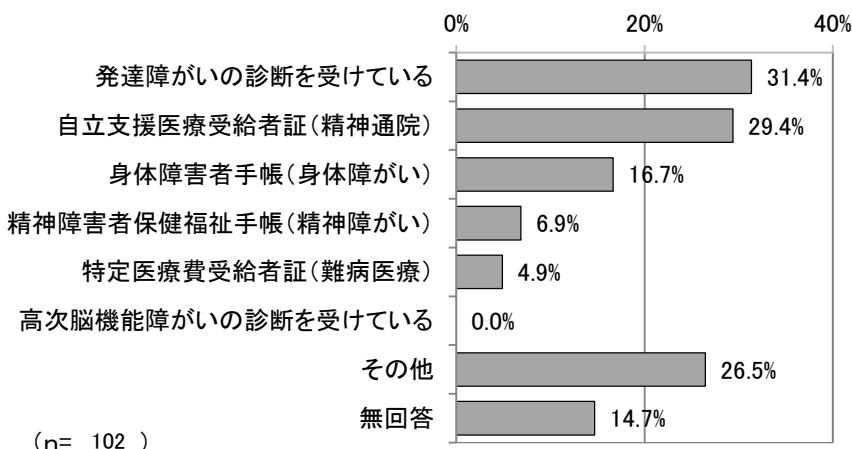


(4)お持ちの手帳や障がいについて

問4 あなたがお持ちの手帳や障がいについてお答えください。(○はいくつでも)

「発達障がいの診断を受けている」が31.4%

「発達障がいの診断を受けている」が31.4%と最も高く、次いで「自立支援医療受給者証(精神通院)」が29.4%となっています。

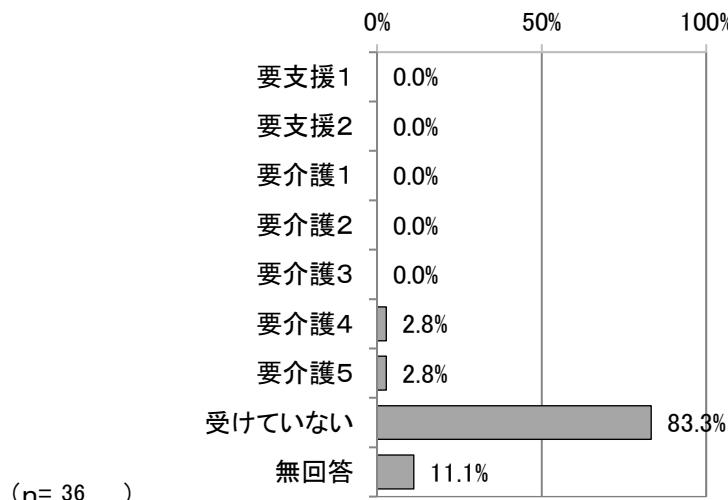


(5)介護保険の認定状況

問5 (40歳以上の人のみ) あなたは介護保険の認定を受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が83.3%

「受けていない」が83.3%と最も高く、次いで「要介護4」「要介護5」が2.8%となっています。



■ 年齢別

40~50代の方で、介護保険の認定を受けている方がいます。

		回答者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	受けていない	無回答
全体	人数	36	0	0	0	0	0	1	1	30	4
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	83.3%	11.1%
20代以下	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	22	0	0	0	0	0	0	1	18	3
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	81.8%	13.6%
50代	人数	9	0	0	0	0	0	1	0	7	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%	11.1%
60代以上	人数	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

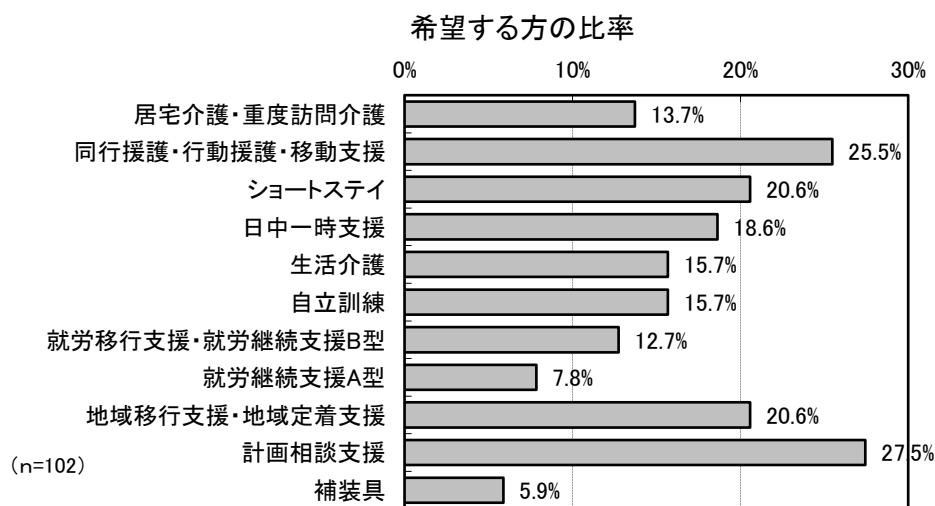
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6) サービスの利用意向

問6 あなたは、新たに利用したいサービスや今後利用を増やしたいサービスはありますか。（増やしたい回数を記載、または選択肢を選んでください）

「計画相談支援」が 27.5%

「計画相談支援」が27.5%と最も多く、次いで「同行援護・行動援護・移動支援」が25.5%となっています。

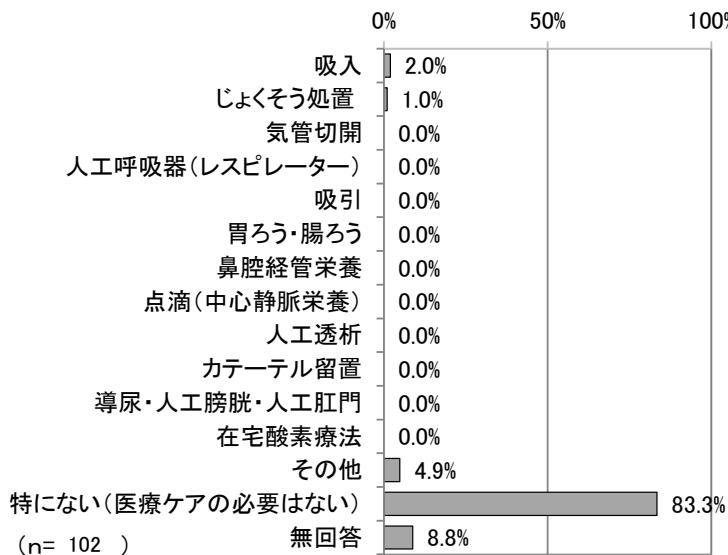


(7)受けている医療的ケア

問7 あなたが現在受けている医療的ケアはどれですか。(○はいくつでも)

「特にない（医療ケアの必要はない）」が83.3%

「特にない（医療ケアの必要はない）」が83.3%と最も高く、次いで「その他」が4.9%となっています。



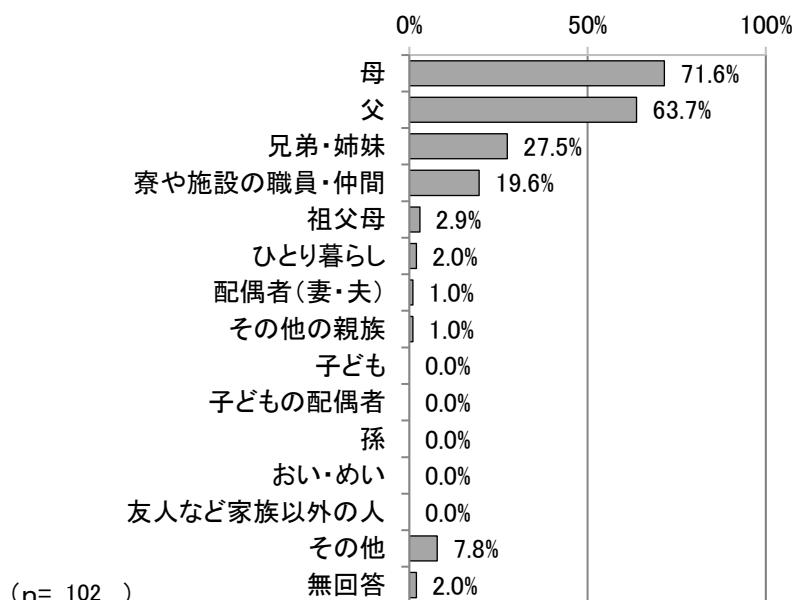
3 住まいや暮らしについて

(1)一緒に暮らしている人

問8 現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

「母」が 71.6%

「母」が71.6%と最も高く、次いで「父」が63.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代、60代以上では「寮や施設の職員・仲間」が最も高くなっています。

		回答者 数	ひとり 暮らし	配偶者 (妻・ 夫)	子ど も	子ど もの配偶 者	父	母	祖父母	兄弟・ 姉妹	孫	おい・め い	その他の 親族	友人な ど家族 以外の 人	寮や施 設の職 員・仲 間	その 他	無回答
全体	人数	102	2	1	0	0	65	73	3	28	0	0	1	0	20	8	2
	構成比		2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	63.7%	71.6%	2.9%	27.5%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	19.6%	7.8%	2.0%
20代以下	人数	42	0	0	0	0	38	40	2	21	0	0	1	0	0	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.5%	95.2%	4.8%	50.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%
30代	人数	22	0	0	0	0	12	14	1	2	0	0	0	0	5	2	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	63.6%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	9.1%	0.0%
40代	人数	22	1	1	0	0	11	14	0	3	0	0	0	0	7	4	0
	構成比		4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%	63.6%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%	18.2%	0.0%
50代	人数	9	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	5	1	0
	構成比		11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%
60代以上	人数	5	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

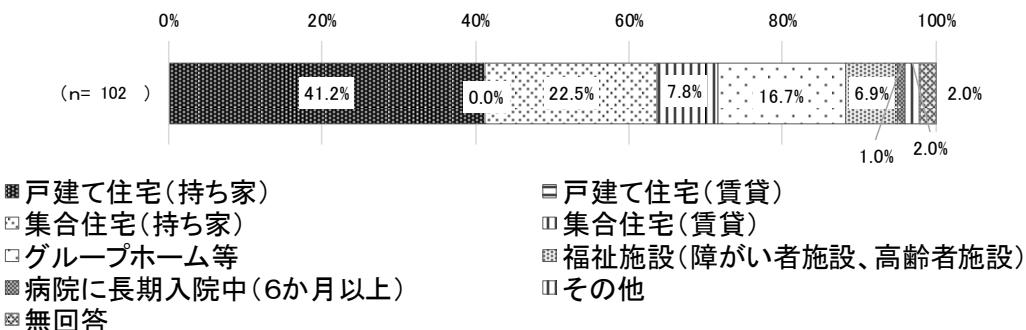
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)現在の住まい

問9 あなたの現在の住まいはどのようなものですか。(○は1つ)

「戸建て住宅（持ち家）」が41.2%

「戸建て住宅(持ち家)」が41.2%と最も高く、次いで「集合住宅(持ち家)」が22.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「グループホーム等」、50代では「グループホーム等」「福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)」、60代以上では「集合住宅(持ち家)」「福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)」が最も高くなっています。

		回答者数	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (賃貸)	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	グループ ホーム等	福祉施設 (障がい者 施設、高齢 者施設)	病院に長期 入院中(6 か月以上)	その他	無回答
全体	人数	102	42	0	23	8	17	7	1	2	2
	構成比		41.2%	0.0%	22.5%	7.8%	16.7%	6.9%	1.0%	2.0%	2.0%
20代以下	人数	42	26	0	10	4	1	0	1	0	0
	構成比		61.9%	0.0%	23.8%	9.5%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%
30代	人数	22	8	0	5	1	4	1	0	2	1
	構成比		36.4%	0.0%	22.7%	4.5%	18.2%	4.5%	0.0%	9.1%	4.5%
40代	人数	22	5	0	5	3	8	1	0	0	0
	構成比		22.7%	0.0%	22.7%	13.6%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	9	3	0	0	0	3	3	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
60代以上	人数	5	0	0	2	0	1	2	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

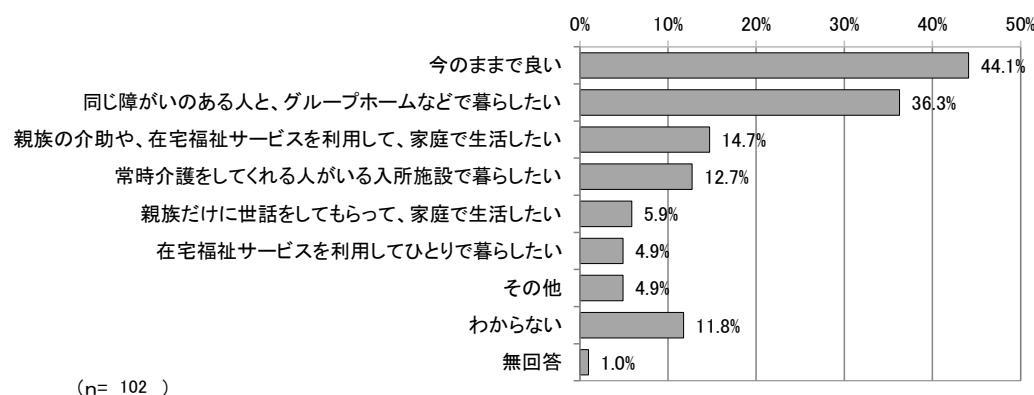
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3) 将来の生活について

問10 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○はいくつでも)

「今まで良い」が 44.1%

「今まで良い」が44.1%と最も高く、次いで「同じ障がいのある人と、グループホームなどで暮らしたい」が36.3%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「同じ障がいのある人と、グループホームなどで暮らしたい」40.5%が最も高くなっています。

		回答者数	今まで良い	親族だけに世話をもらって、家庭で生活したい	親族の介助や、在宅福祉サービスを利用して、家庭で生活したい	在宅福祉サービスを利用してひとりで暮らしたい	同じ障がいのある人と、グループホームなどで暮らしたい	常時介護をしてくれる人がいる入所施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	人数	102	45	6	15	5	37	13	5	12	1
	構成比		44.1%	5.9%	14.7%	4.9%	36.3%	12.7%	4.9%	11.8%	1.0%
20代以下	人数	42	16	3	8	3	17	8	3	6	0
	構成比		38.1%	7.1%	19.0%	7.1%	40.5%	19.0%	7.1%	14.3%	0.0%
30代	人数	22	10	1	3	0	6	2	0	3	0
	構成比		45.5%	4.5%	13.6%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	13.6%	0.0%
40代	人数	22	13	2	1	0	12	1	0	2	0
	構成比		59.1%	9.1%	4.5%	0.0%	54.5%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%
50代	人数	9	3	0	2	2	1	1	2	1	0
	構成比		33.3%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%
60代以上	人数	5	3	0	1	0	1	0	0	0	0
	構成比		60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、まるA、Aの1、Aの2では「同じ障がいのある人と、グループホームなどで暮らしたい」が最も高くなっています。(まるAとAの2は「今まで良い」と同率)

		回答者数	今まで 良い	親族だけに 世話をし もらって、家 庭で生活し たい	親族の介助 や、在宅福 祉サービス を利用して 家庭で生活 したい	在宅福祉 サービスを 利用してひ とりで暮ら したい	同じ障がい のある人 と、グル ープホームな どで暮ら したい	常時介護を てくれる人 がいる入所 施設で暮ら したい	その他	わから ない	無回答
全体	人数 構成比	102 44.1%	45 5.9%	6 14.7%	15 4.9%	5 36.3%	37 12.7%	13 4.9%	5 11.8%	12 0.0%	1 1.0%
まるA	人数 構成比	8 50.0%	4 0.0%	0 25.0%	2 0.0%	0 50.0%	4 25.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Aの1	人数 構成比	31 45.2%	14 3.2%	1 9.7%	3 0.0%	0 45.2%	14 6.5%	2 6.5%	2 3.2%	1 0.0%	0 0.0%
Aの2	人数 構成比	7 14.3%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	2 0.0%	0 0.0%
Bの1	人数 構成比	23 43.5%	10 4.3%	1 17.4%	4 8.7%	2 34.8%	8 17.4%	4 4.3%	1 17.4%	4 0.0%	0 0.0%
Bの2	人数 構成比	26 50.0%	13 11.5%	3 7.7%	2 11.5%	3 15.4%	4 7.7%	2 7.7%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	人数 構成比	7 42.9%	3 14.3%	1 57.1%	4 0.0%	0 42.9%	3 14.3%	1 0.0%	0 14.3%	1 14.3%	1 14.3%

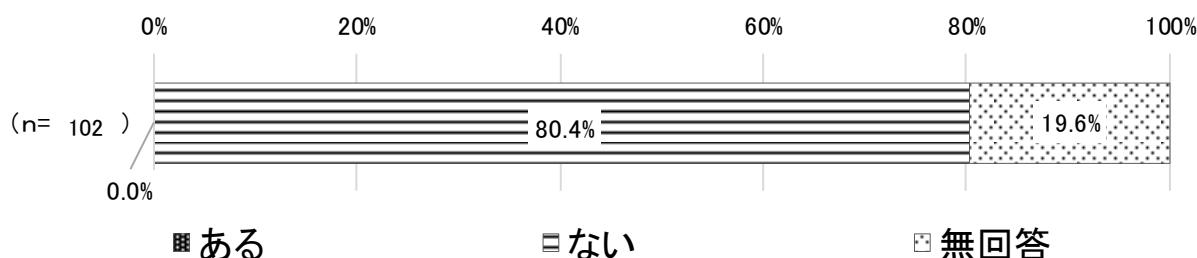
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)賃貸住宅を借りられなかった経験の有無

問 11 あなたは過去に賃貸住宅を借りようとして、借りられなかったことがありますか。(○は1つ)

「ない」が 80.4%

「ない」が80.4%となっています。「ある」への回答はありませんでした。



(4-1)賃貸住宅を借りられなかった理由

問 11-1 問 11 で「1」に回答した人のみ。賃貸住宅を借りられなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

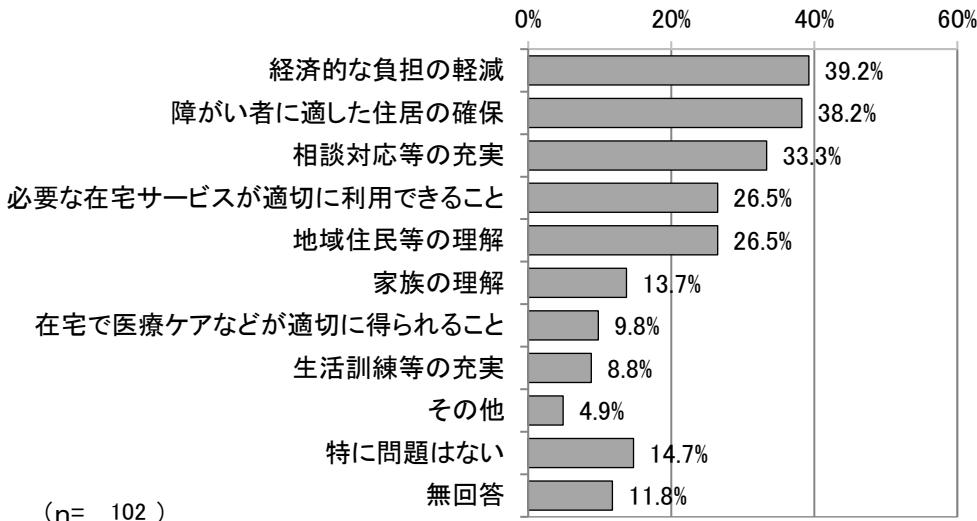
該当者なし

(5) 地域で生活するために必要な支援

問12 あなたは、地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(○はいくつでも)

「経済的な負担の軽減」が39.2%

「経済的な負担の軽減」が39.2%と最も高く、次いで「障がい者に適した住居の確保」が38.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「障がい者に適した住居の確保」54.8%、30代では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」「特に問題はない」が各々27.3%、40代では「障がい者に適した住居の確保」40.9%、「相談対応等の充実」各々40.0%が最も高くなっています。

		回答者数	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	家族の理解	地域住民等の理解	その他	特に問題はない	無回答
全体	人数 構成比	102	10 9.8%	39 38.2%	27 26.5%	9 8.8%	40 39.2%	34 33.3%	14 13.7%	27 26.5%	5 4.9%	15 14.7%	12 11.8%
20代以下	人数 構成比	42	6 14.3%	23 54.8%	12 28.6%	5 11.9%	22 52.4%	19 45.2%	3 7.1%	13 31.0%	2 4.8%	5 11.9%	1 2.4%
30代	人数 構成比	22	2 9.1%	3 13.6%	6 27.3%	3 13.6%	4 18.2%	4 18.2%	4 18.2%	4 18.2%	2 9.1%	6 27.3%	2 9.1%
40代	人数 構成比	22	1 4.5%	9 40.9%	6 27.3%	1 4.5%	8 36.4%	6 27.3%	6 27.3%	8 36.4%	0 0.0%	2 9.1%	5 22.7%
50代	人数 構成比	9	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%
60代以上	人数 構成比	5	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
無回答	人数 構成比	2	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

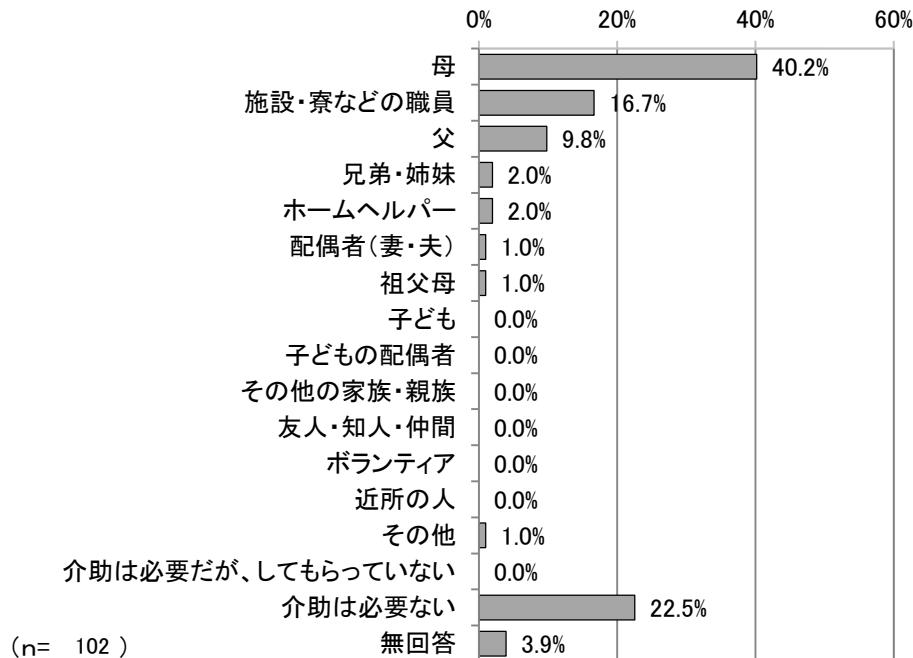
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6)介助者

問13 主に身の回りの介助をどなたにしてもらっていますか。(○は1つ)

「母」が 40.2%

「母」が40.2%と最も高く、次いで「介助は必要ない」が22.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「介助は必要ない」、50代、60代以上では「施設・寮などの職員」が最も高くなっています。

		回答者 数	配偶者 (妻・ 夫)	父	母	子ども	子ども の配偶 者	兄弟・ 姉妹	祖父母	その他の 家族・親族	ホーム ヘル パー	友人・ 知人・ 仲間	ボラン ティア	施設・ 寮など の職員	近所の 人	その他	介助は 必要だ が、し ても らって いない	介助は 必要な い	無回答
全体	人数	102	1	10	41	0	0	2	1	0	2	0	0	17	0	1	0	23	4
	構成比		1.0%	9.8%	40.2%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	1.0%	0.0%	22.5%	3.9%
20代以下	人数	42	0	2	28	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	11	0
	構成比		0.0%	4.8%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	26.2%	0.0%
30代	人数	22	0	4	6	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	6	1
	構成比		0.0%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	4.5%
40代	人数	22	1	1	7	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	5	2
	構成比		4.5%	4.5%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	9.1%
50代	人数	9	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	1	0	1	0
	構成比		0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
60代以上	人数	5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

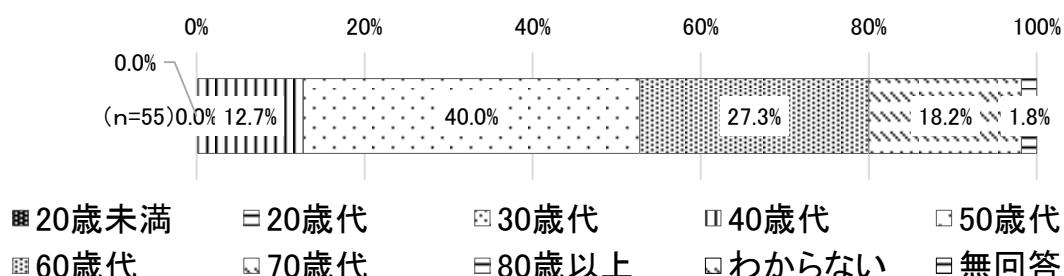
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6-1)介助者の年齢

問13-1 問13で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

「50歳代」が40.0%

「50歳代」が40.0%と最も高く、次いで「60歳代」が27.3%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「60歳代」72.7%、40代では「70歳代」88.9%、60代以上では「60歳代」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体	人数	55	0	0	0	7	22	15	10	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	12.7%	40.0%	27.3%	18.2%	1.8%	0.0%	0.0%
20代以下	人数	30	0	0	0	6	18	6	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	人数	11	0	0	0	0	1	8	1	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	72.7%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
40代	人数	9	0	0	0	1	0	0	8	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60代以上	人数	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

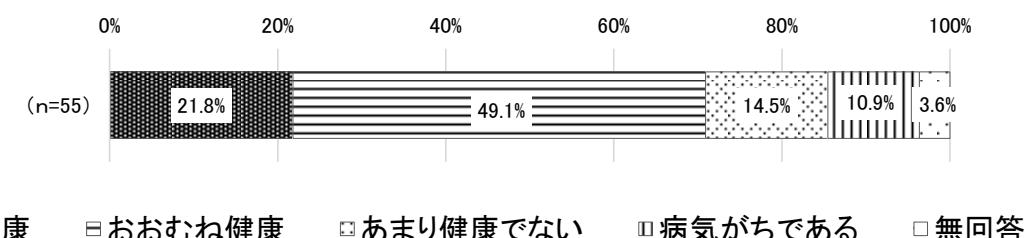
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6-2)介助者の健康状態

問13-2 問13で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の健康状態をお答えください。(○は1つ)

「おおむね健康」が49.1%

「おおむね健康」が49.1%と最も高く、次いで「健康」が21.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、60代以上では「あまり健康でない」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	健康	おおむね健康	あまり健康でない	病気がちである	無回答
全体	人数	55	12	27	8	6	2
	構成比		21.8%	49.1%	14.5%	10.9%	3.6%
20代以下	人数	30	9	12	4	3	2
	構成比		30.0%	40.0%	13.3%	10.0%	6.7%
30代	人数	11	3	6	1	1	0
	構成比		27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%
40代	人数	9	0	5	2	2	0
	構成比		0.0%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%
50代	人数	2	0	2	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60代以上	人数	2	0	1	1	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

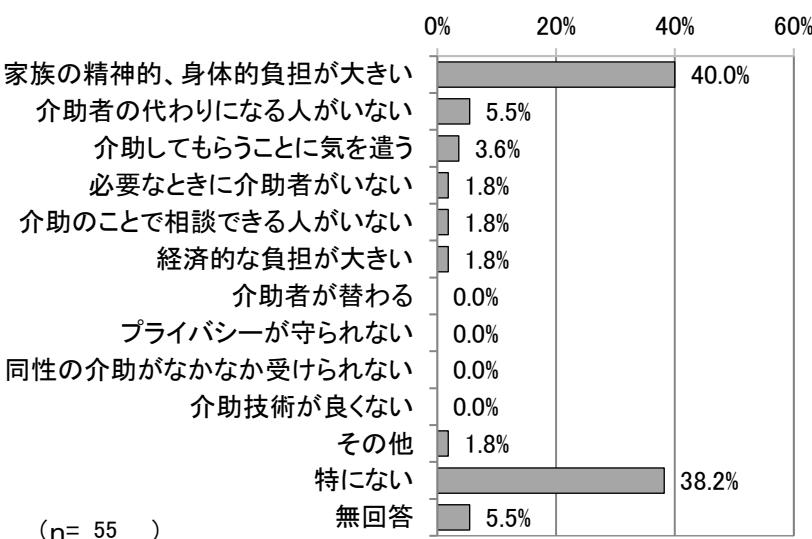
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6-3)介助を受ける上で問題となっていること

問13-3 問13で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。介助を受ける上で問題となっていることはありますか。(○は1つ)

「家族の精神的、身体的負担が大きい」が40.0%

「家族の精神的、身体的負担が大きい」が40.0%と最も高く、次いで「特がない」が38.2%となっています。



■ 等級別

等級別では、Aの2、Bの1、Bの2では「特がない」が最も高くなっています。

また、まるAの方は、「家族の精神的、身体的負担が大きい」が100%となっています。

		回答者数	介助してもらうことに気を遣う	必要なときに介助者がいない	介助者が替わる	プライバシーが守られない	同性の介助がなかなか受けられない	介助技術が良くない	介助者の代わりになる人がいない	介助のことで相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	家族の精神的、身体的負担が大きい	その他	特がない	無回答
全体	人数	55	2	1	0	0	0	0	3	1	1	22	1	21	3
	構成比		3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	1.8%	1.8%	40.0%	1.8%	38.2%	5.5%
まるA	人数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Aの1	人数	17	2	1	0	0	0	0	1	0	0	6	1	4	2
	構成比		11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%	5.9%	23.5%	11.8%
Aの2	人数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%
Bの1	人数	14	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	0	6	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%	42.9%	0.0%
Bの2	人数	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	77.8%	0.0%
無回答	人数	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

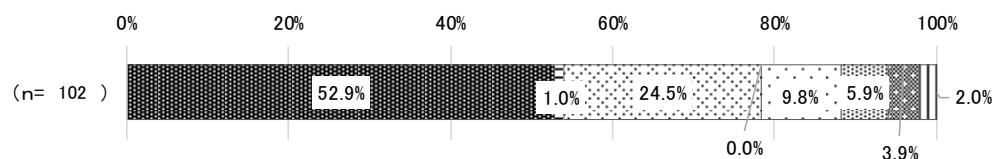
4 日頃の活動状況について

(1)普段の活動

問14 あなたは普段、主にどのような活動をしていますか。(○は1つ)

「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が52.9%

「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が52.9%と最も高く、次いで「通所施設や病院のデイケアなどに通っている」が24.5%となっています。



- 仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)
- 通園・通学している
- 通所施設や病院のデイケアなどに通っている
- 家事に専念している
- 入所施設や病院で過ごしている
- その他
- 特に何もしていない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、60代以上では「入所施設や病院で過ごしている」40.0%が最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)	通園・通学している	通所施設や病院のデイケアなどに通っている	家事に専念している	入所施設や病院で過ごしている	その他	特に何もしていない	無回答
全体	人数	102	54	1	25	0	10	6	4	2
	構成比		52.9%	1.0%	24.5%	0.0%	9.8%	5.9%	3.9%	2.0%
20代以下	人数	42	27	1	8	0	1	3	1	1
	構成比		64.3%	2.4%	19.0%	0.0%	2.4%	7.1%	2.4%	2.4%
30代	人数	22	9	0	8	0	2	2	1	0
	構成比		40.9%	0.0%	36.4%	0.0%	9.1%	9.1%	4.5%	0.0%
40代	人数	22	13	0	6	0	2	1	0	0
	構成比		59.1%	0.0%	27.3%	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%
50代	人数	9	4	0	1	0	3	0	1	0
	構成比		44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%
60代以上	人数	5	1	0	1	0	2	0	1	0
	構成比		20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

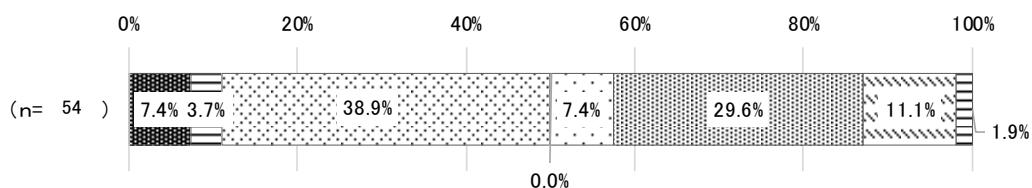
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2-1) 現在の仕事

問14-1 問14で「1」に回答した人のみ。あなたは、現在どのような仕事についていますか。(○は1つ)

「特例子会社 または障がい者雇用で働いている」が 38.9%

「特例子会社 または障がい者雇用で働いている」が38.9%と最も高く、次いで「就労継続支援B型などの福祉的就労をしている」が29.6%となっています。



- 一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)
- 一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用)
- ▣ 特例子会社 または障がい者雇用で働いている
- 自宅で仕事をしている
- 就労継続支援A型で就労をしている
- ▣ 就労継続支援B型などの福祉的就労をしている
- ▣ その他
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30～50代では「就労継続支援B型などの福祉的就労をしている」が最も高くなっています。

		回答者数	一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)	一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用)	特例子会社 または障がい者雇用で働いている	自宅で仕事をしている	就労継続支援A型で就労している	就労継続支援B型などの福祉的就労をしている	その他	無回答
全年代	人数	54	4	2	21	0	4	16	6	1
	構成比		7.4%	3.7%	38.9%	0.0%	7.4%	29.6%	11.1%	1.9%
20代以下	人数	27	1	1	18	0	0	5	3	1
	構成比		3.7%	3.7%	59.3%	0.0%	0.0%	18.5%	11.1%	3.7%
30代	人数	9	1	0	1	0	2	5	0	0
	構成比		11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%
40代	人数	13	2	1	2	0	2	4	2	0
	構成比		15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	15.4%	30.8%	15.4%	0.0%
50代	人数	4	0	0	1	0	0	2	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
60代以上	人数	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

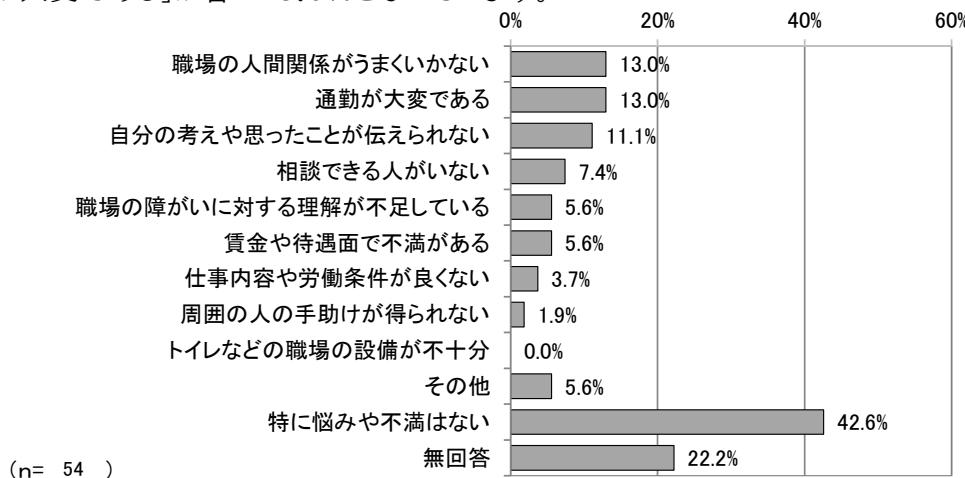
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2-2)現在の仕事についての悩み

問14-2 問14で「1」に回答した人のみ。現在の仕事について、悩みや不安、不満などはありますか。(○はいくつでも)

「特に悩みや不満はない」が42.6%

「特に悩みや不満はない」が42.6%と最も高く、次いで「職場の人間関係がうまくいかない」「通勤が大変である」が各々13.0%となっています。



■ 等級別

等級別では、まるAでは「自分の考えや思ったことが伝えられない」100.0%、Aの2では「職場の人間関係がうまくいかない」33.3%が最も高くなっています。

		回答者数	仕事内容や労働条件が良くない	職場の障がいに対する理解が不足している	職場の人間関係がうまくいかない	通勤が大変である	トイレなどの職場の設備が不十分	賃金や待遇面で不満がある	周囲の人の手助けが得られない	自分の考えや思ったことが伝えられない	相談できる人がいない	その他	特に悩みや不満はない	無回答
全般	人数	54	2	3	7	7	0	3	1	6	4	3	23	12
	構成比		3.7%	5.6%	13.0%	13.0%	0.0%	5.6%	1.9%	11.1%	7.4%	5.6%	42.6%	22.2%
まるA	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
まるA	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Aの1	人数	13	0	0	1	3	0	3	0	1	1	0	5	2
Aの1	構成比		0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	38.5%	15.4%
Aの2	人数	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Aの2	構成比		0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
Bの1	人数	17	1	2	1	3	0	0	1	2	1	1	10	2
Bの1	構成比		5.9%	11.8%	5.9%	17.8%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	58.8%	11.8%
Bの2	人数	20	1	1	4	1	0	0	0	2	2	2	8	6
Bの2	構成比		5.0%	5.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	40.0%	30.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

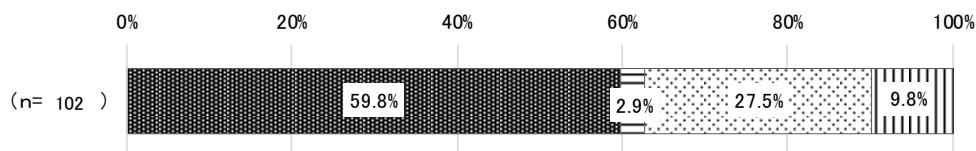
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)仕事に対する意欲

問15 あなたは今後、収入を得る仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（○は1つ）

「仕事をしたい（続けたい）」が 59.8%

「仕事をしたい（続けたい）」が59.8%と最も高く、次いで「仕事はできない」が27.5%となっています。



■ 仕事したい（続けたい） □ 仕事はしたくない・やめたい □ 仕事はできない □ 無回答

■ 年齢別

年齢別では、50代、60代以上では「仕事はできない」が最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしたい（続けたい）	仕事はしたくない・やめたい	仕事はできない	無回答
全体	人数	102	61	3	28	10
	構成比		59.8%	2.9%	27.5%	9.8%
20代以下	人数	42	32	1	8	1
	構成比		76.2%	2.4%	19.0%	2.4%
30代	人数	22	14	1	6	1
	構成比		63.6%	4.5%	27.3%	4.5%
40代	人数	22	10	1	6	5
	構成比		45.5%	4.5%	27.3%	22.7%
50代	人数	9	4	0	4	1
	構成比		44.4%	0.0%	44.4%	11.1%
60代以上	人数	5	1	0	3	1
	構成比		20.0%	0.0%	60.0%	20.0%
無回答	人数	2	0	0	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、まるA、Aの2では「仕事はできない」が最も高くなっています。(Aの2は「仕事をしたい(続けたい)」と同率)

		回答者数	仕事をした い(続けた い)	仕事をした くない・やめ たい	仕事はでき ない	無回答
全体	人数	102	61	3	28	10
	構成比		59.8%	2.9%	27.5%	9.8%
まるA	人数	8	1	0	5	2
	構成比		12.5%	0.0%	62.5%	25.0%
Aの1	人数	31	14	2	10	5
	構成比		45.2%	6.5%	32.3%	16.1%
Aの2	人数	7	3	0	3	1
	構成比		42.9%	0.0%	42.9%	14.3%
Bの1	人数	23	22	1	0	0
	構成比		95.7%	4.3%	0.0%	0.0%
Bの2	人数	26	21	0	5	0
	構成比		80.8%	0.0%	19.2%	0.0%
無回答	人数	7	0	0	5	2
	構成比		0.0%	0.0%	71.4%	28.6%

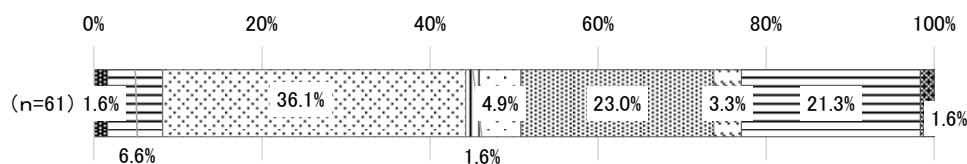
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(3-1) 希望する就労形態

問15-1 問15で「1」に回答した人のみ。今後は、どのような形で働きたいですか。(○は1つ)

「特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が36.1%

「特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が36.1%と最も高く、次いで「就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい」が23.0%となっています。



- 一般の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではなし)
- 一般の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい
- 特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい
- (引き続き)自宅で仕事をしたい
- 就労継続支援A型で(引き続き)就労をしたい
- 就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい
- その他
- わからない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、30代では「就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい」、40代では「一般的の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい」「就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい」、50代では「就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい」が最も高くなっています。

		回答者数	一般の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではなし)	一般の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい	特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい	(引き続き)自宅で仕事をしたい	就労継続支援A型で(引き続き)就労をしたい	就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい	その他	わからない	無回答
全体	人数	61	1	4	22	1	3	14	2	13	1
	構成比		1.6%	6.6%	36.1%	1.6%	4.9%	23.0%	3.3%	21.3%	1.6%
20代以下	人数	32	0	1	17	0	0	4	1	9	0
	構成比		0.0%	3.1%	53.1%	0.0%	0.0%	12.5%	3.1%	28.1%	0.0%
30代	人数	14	1	0	2	0	2	5	0	4	0
	構成比		7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	35.7%	0.0%	28.6%	0.0%
40代	人数	10	0	3	1	1	1	3	0	0	1
	構成比		0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%
50代	人数	4	0	0	1	0	0	2	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
60代以上	人数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

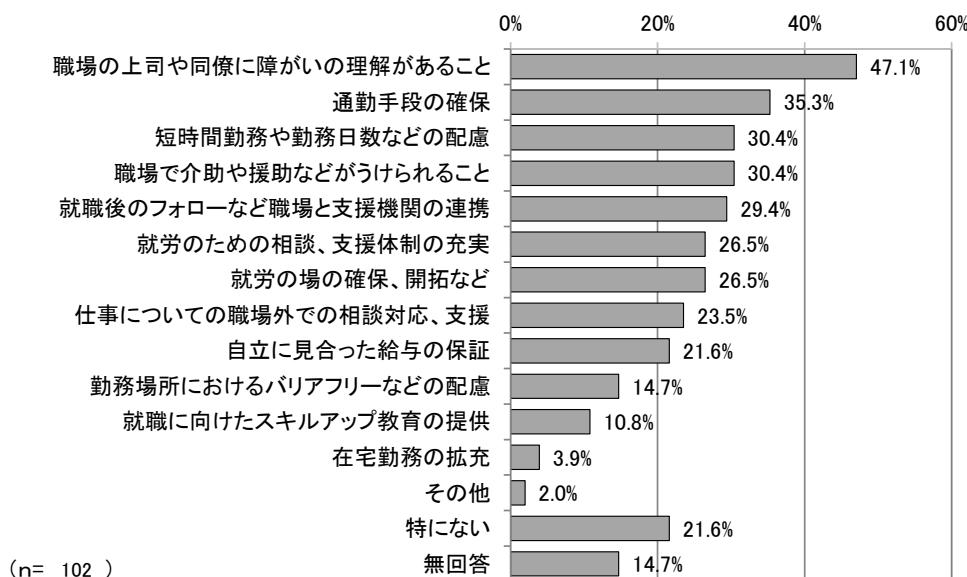
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)障がいのある人への就労支援として必要なこと

問16 あなたは、障がいのある人への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

**「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が
47.1%**

「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が47.1%と最も高く、次いで「通勤手段の確保」が35.3%となっています。



■ 等級別

等級別では、まるAでは「職場で介助や援助などがうけられること」、Aの1では「通勤手段の確保」、Aの2では「通勤手段の確保」、「職場で介助や援助などがうけられること」、「特はない」が最も高くなっています。

		回答者数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーや勤務日数などの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助などがうけられること	在宅勤務の拡充	自立に見合った給与の保証	就労のための相談、支援体制の充実	就職後のフォローなど職場と支援機関の連携	仕事についての職場外での相談対応、支援	就職に向けたスキルアップ教育の提供	就労の場の確保、開拓など	その他	特はない	無回答
全体	人数	102	36	15	31	48	31	4	22	27	30	24	11	27	2	22	15
	構成比		35.3%	14.7%	30.4%	47.1%	30.4%	3.9%	21.6%	26.5%	29.4%	23.5%	10.8%	26.5%	2.0%	21.6%	14.7%
まるA	人数	8	3	1	3	4	4	0	0	1	3	3	2	3	0	1	2
	構成比		37.5%	12.5%	37.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%
Aの1	人数	31	14	4	11	12	8	1	5	7	7	4	2	8	1	5	8
	構成比		45.2%	12.9%	35.5%	38.7%	25.8%	3.2%	16.1%	22.6%	22.6%	12.9%	6.5%	25.8%	3.2%	16.1%	25.8%
Aの2	人数	7	2	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
	構成比		28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%
Bの1	人数	23	11	5	10	16	10	2	6	10	11	9	5	8	1	4	0
	構成比		47.8%	21.7%	43.5%	69.6%	43.5%	8.7%	26.1%	43.5%	47.8%	39.1%	21.7%	34.8%	4.3%	17.4%	0.0%
Bの2	人数	26	4	2	4	13	5	1	9	8	8	7	1	5	0	7	1
	構成比		15.4%	7.7%	15.4%	50.0%	19.2%	3.8%	34.6%	30.8%	30.8%	26.9%	3.8%	19.2%	0.0%	26.9%	3.8%
無回答	人数	7	2	2	2	2	2	0	2	1	1	1	0	2	0	3	2
	構成比		28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

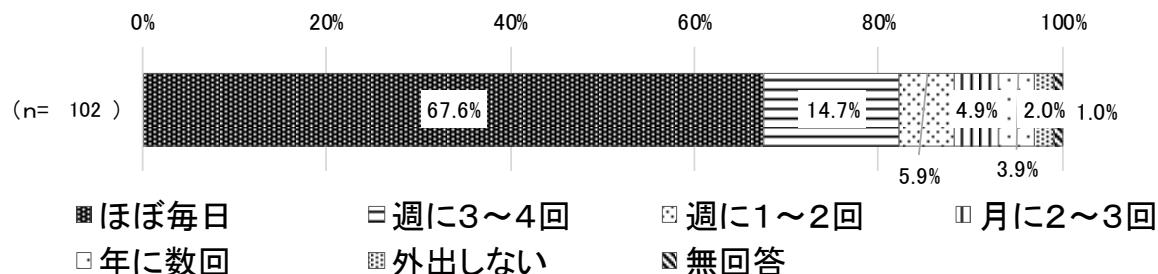
5 外出・活動等について

(1)外出頻度

問17 あなたは、日常どのくらい外出していますか（通勤・通学や通所を含む）。（○は1つ）

「ほぼ毎日」が67.6%

「ほぼ毎日」が67.6%と最も高く、次いで「週に3～4回」が14.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では大きな特徴は見られませんでした。

		回答者数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	つきに2～3回	年に数回	外出しない	無回答
全体	人数	102	69	15	6	5	4	2	1
	構成比		67.6%	14.7%	5.9%	4.9%	3.9%	2.0%	1.0%
20代以下	人数	42	32	4	3	1	0	2	0
	構成比		76.2%	9.5%	7.1%	2.4%	0.0%	4.8%	0.0%
30代	人数	22	16	4	1	0	1	0	0
	構成比		72.7%	18.2%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
40代	人数	22	14	5	2	1	0	0	0
	構成比		63.6%	22.7%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	9	4	1	0	1	3	0	0
	構成比		44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
60代以上	人数	5	3	0	0	2	0	0	0
	構成比		60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

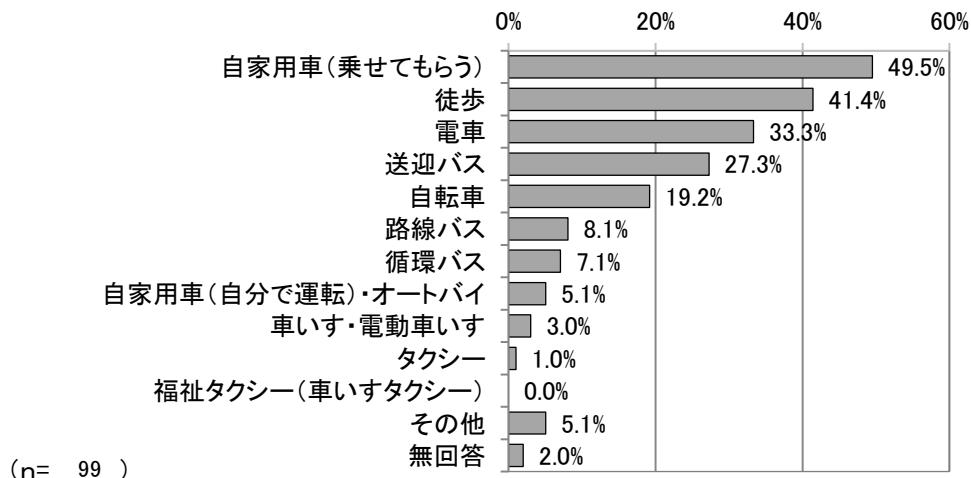
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1)外出時の交通手段

問17-1 問17で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あなたが外出する時の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

「自家用車(乗せてもらう)」が49.5%

「自家用車(乗せてもらう)」が49.5%と最も高く、次いで「徒歩」が41.4%となっています。



年齢別

年齢別では、40代では「徒歩」40.9%、50代では「徒歩」44.4%が最も高くなっています。

		回答者数	自家用車(自分で運転)・オートバイ	自家用車(乗せてもらう)	徒歩	自転車	車いす・電動車いす	タクシー	福祉タクシー(車いすタクシー)	電車	路線バス	循環バス	送迎バス	その他	無回答
	人数	99	5	49	41	19	3	1	0	33	8	7	27	5	2
	構成比		5.1%	49.5%	41.4%	19.2%	3.0%	1.0%	0.0%	33.3%	8.1%	7.1%	27.3%	5.1%	2.0%
20代以下	人数	40	1	22	21	9	1	1	0	21	4	5	13	0	1
	構成比		2.5%	55.0%	52.5%	22.5%	2.5%	2.5%	0.0%	52.5%	10.0%	12.5%	32.5%	0.0%	2.5%
30代	人数	22	1	10	6	7	0	0	0	5	2	1	5	2	0
	構成比		4.5%	45.5%	27.3%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	9.1%	4.5%	22.7%	9.1%	0.0%
40代	人数	22	3	9	9	3	1	0	0	5	1	0	6	2	0
	構成比		13.6%	40.9%	40.9%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%	22.7%	4.5%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%
50代	人数	9	0	3	4	0	1	0	0	1	1	1	2	1	0
	構成比		0.0%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%
60代以上	人数	5	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	構成比		0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
無回答	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

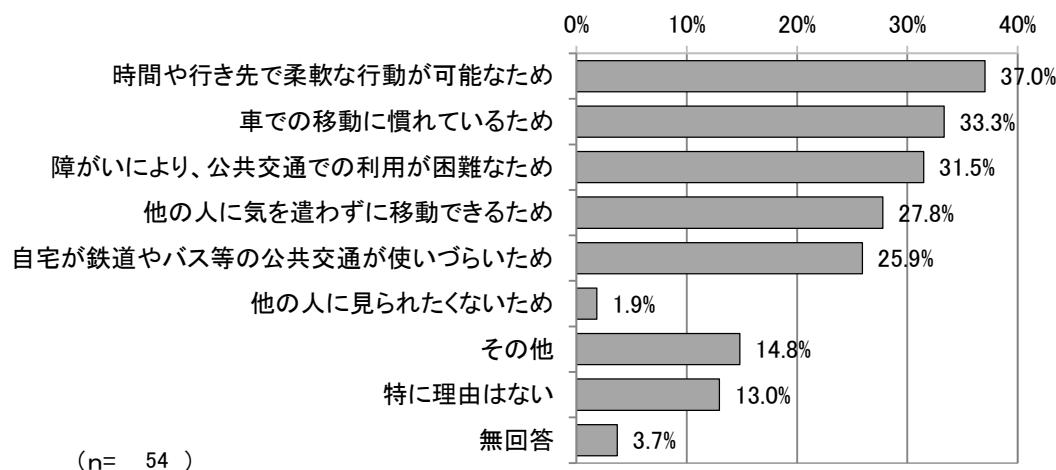
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-2)車で移動する理由

問17-2 問17-1で「1」～「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動する理由は何ですか。
(○はいくつでも)

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が37.0%

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が37.0%と最も高く、次いで「車での移動に慣れているため」が33.3%となっています。

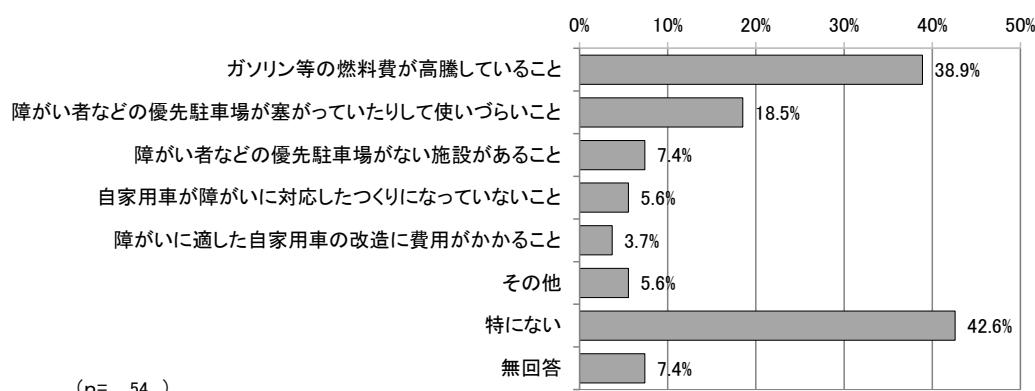


(1-3)車の移動で困ったこと

問17-3 問17-1で「1」～「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動するのに困ったことはありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が42.6%

「特にない」が42.6%と最も高く、次いで「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が38.9%となっています。

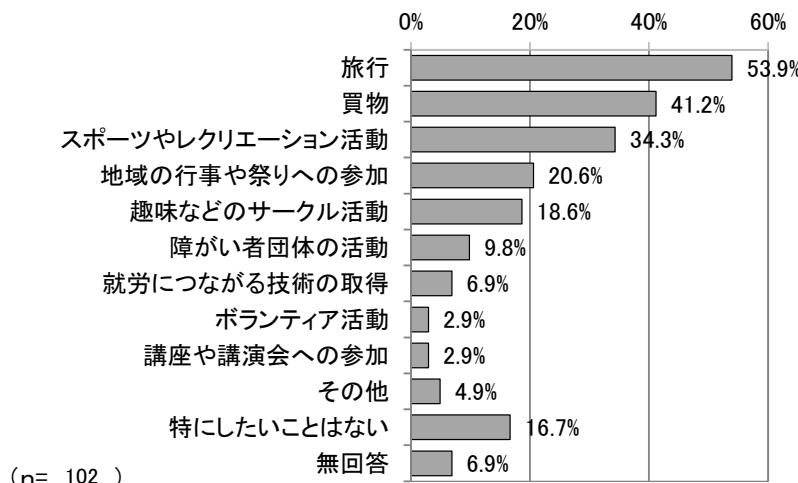


(2)今後やりたいこと

問18 あなたは、今後どのようなことをしたいですか。(○はいくつでも)

「旅行」が53.9%

「旅行」が53.9%と最も高く、次いで「買物」が41.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代では「買物」33.3%と最も高くなっています。

		回答者数	スポーツやレクリエーション活動	旅行	買物	ボランティア活動	障がい者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会への参加	地域の行事や祭りへの参加	就労につながる技術の取得	その他	特にしたいことはない	無回答
全体	人数	102	35	55	42	3	10	19	3	21	7	5	17	7
	構成比		34.3%	53.9%	41.2%	2.9%	9.8%	18.6%	2.9%	20.6%	6.9%	4.9%	16.7%	6.9%
20代以下	人数	42	22	23	21	2	8	9	2	12	2	1	7	0
	構成比		52.4%	54.8%	50.0%	4.8%	19.0%	21.4%	4.8%	28.6%	4.8%	2.4%	16.7%	0.0%
30代	人数	22	6	13	7	1	1	4	0	3	2	1	5	0
	構成比		27.3%	59.1%	31.8%	4.5%	4.5%	18.2%	0.0%	13.6%	9.1%	4.5%	22.7%	0.0%
40代	人数	22	5	12	6	0	1	5	1	2	3	1	3	4
	構成比		22.7%	54.5%	27.3%	0.0%	4.5%	22.7%	4.5%	9.1%	13.6%	4.5%	13.6%	18.2%
50代	人数	9	0	2	3	0	0	1	0	2	0	2	2	2
	構成比		0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	22.2%
60代以上	人数	5	2	5	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	構成比		40.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

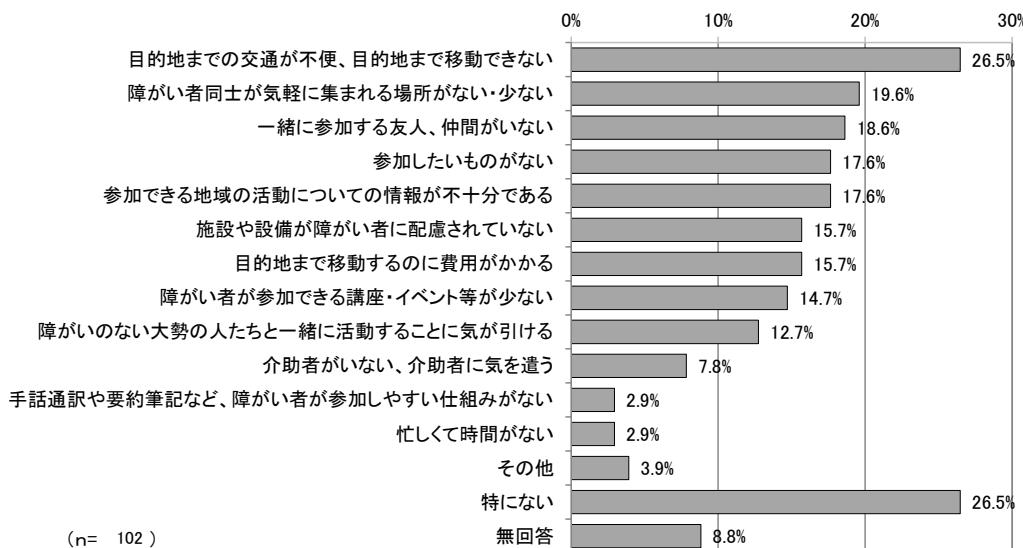
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)活動時に困ること

問19 あなたが、上記のような活動をしようとするときに困ること、または、活動を行っていない理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

「目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない」「特はない」が各々26.5%

「目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない」「特はない」が各々26.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「施設や設備が障がい者に配慮されていない」が27.3%と最も高くなっています。

		回答者数	施設や設備が障がい者に配慮されていない	目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない	目的地まで移動するのに費用かかる	障がい者が参加できる講座・イベント等が少ない	手話通訳や要約筆記など、障がい者が参加しやすい仕組みがない	障がい者同士が気軽に集まれる場所がない・少ない	障がいのない大勢の人たちと一緒に活動することに気が引ける	介助者がいない、介助者に気を遣う	一緒に参加する友人、仲間がいない	参加したいものがない	参加できる地域の活動についての情報が不十分である	忙しくて時間がない	その他	特はない	無回答
全体	人數	102	16	27	16	15	3	20	13	8	19	18	18	3	4	27	9
	構成比		15.7%	26.5%	15.7%	14.7%	2.9%	19.6%	12.7%	7.8%	18.6%	17.6%	17.6%	2.9%	3.9%	26.5%	8.8%
20代以下	人數	42	7	15	9	10	0	13	8	4	12	7	11	0	2	10	0
	構成比		16.7%	35.7%	21.4%	23.8%	0.0%	31.0%	19.0%	9.5%	28.6%	16.7%	26.2%	0.0%	4.8%	23.8%	0.0%
30代	人數	22	2	8	2	1	1	3	1	3	2	5	3	1	1	8	1
	構成比		9.1%	27.3%	9.1%	4.5%	4.5%	13.6%	4.5%	13.6%	9.1%	22.7%	13.6%	4.5%	4.5%	36.4%	4.5%
40代	人數	22	6	5	4	3	1	2	3	0	4	5	2	2	1	2	5
	構成比		27.3%	22.7%	18.2%	13.6%	4.5%	9.1%	13.6%	0.0%	18.2%	22.7%	9.1%	9.1%	4.5%	9.1%	22.7%
50代	人數	9	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4	2
	構成比		11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%
60代以上	人數	5	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	3	0
	構成比		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
無回答	人數	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

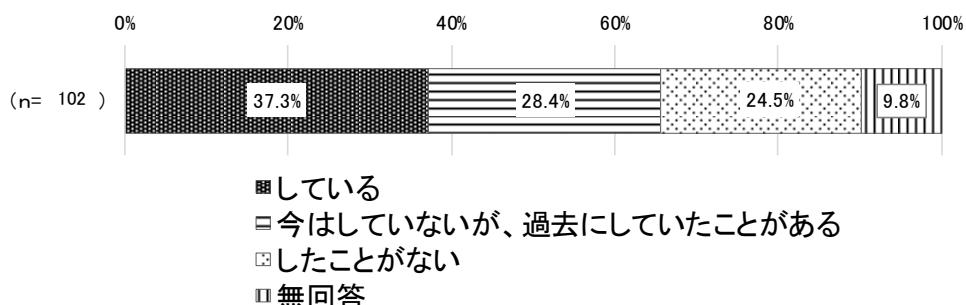
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(4)スポーツや運動について

問20 あなたは、スポーツや運動（体を動かすこと）をしていますか。（○は1つ）

「している」が37.3%

「している」が37.3%と最も高く、次いで「今はしていないが、過去にしていたことがある」が28.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代、60代以上では「したことがない」が最も高くなっています。

		回答者数	している	今はしていないが、過去にしていたことがある	したことがない	無回答
全体	人数	102	38	29	25	10
	構成比		37.3%	28.4%	24.5%	9.8%
20代以下	人数	42	16	12	11	3
	構成比		38.1%	28.6%	26.2%	7.1%
30代	人数	22	10	7	5	0
	構成比		45.5%	31.8%	22.7%	0.0%
40代	人数	22	8	7	3	4
	構成比		36.4%	31.8%	13.6%	18.2%
50代	人数	9	2	2	4	1
	構成比		22.2%	22.2%	44.4%	11.1%
60代以上	人数	5	1	1	2	1
	構成比		20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
無回答	人数	2	1	0	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

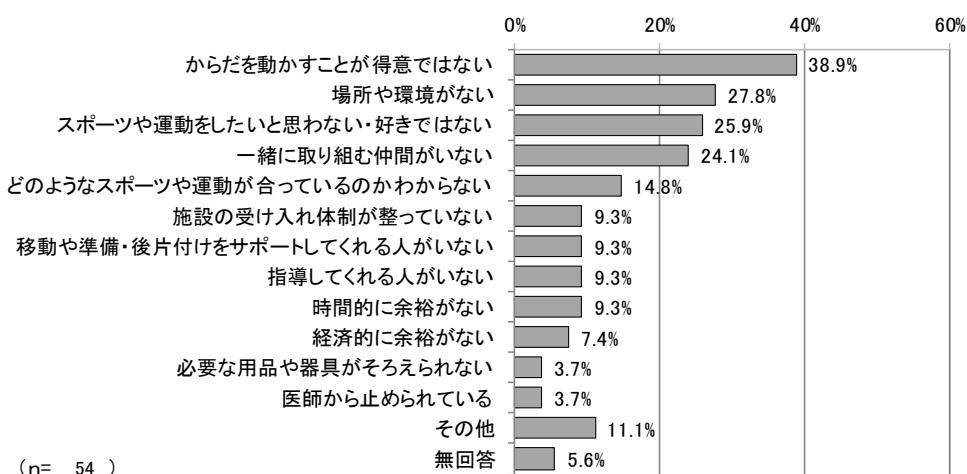
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4-1) スポーツや運動をしていない理由

問20-1 問20で「2」、「3」に回答した人のみ。現在、あなたがスポーツや運動をしていない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「からだを動かすことが得意ではない」が38.9%

「からだを動かすことが得意ではない」が38.9%と最も高く、次いで「場所や環境がない」が27.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代、40代では「場所や環境がない」、60代以上では「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」が最も高くなっています。

		回答者数	場所や環境がない	必要な用品や器具がそろえられない	施設の受け入れ体制が整っていない	一緒に取り組む仲間がない	移動や準備・後片付けをサポートしてくれる人がいない	指導してくれる人がいない	時間的に余裕がない	経済的に余裕がない	どのようなスポーツや運動が合っているのかわからない	からだを動かすことが得意ではない	医師から止められている	スポーツや運動をしたい・好きではない	その他	無回答
全体	人数	54	15	2	5	13	5	5	5	4	8	21	2	14	6	3
	構成比		27.8%	3.7%	9.3%	24.1%	9.3%	9.3%	9.3%	7.4%	14.8%	38.9%	3.7%	25.9%	11.1%	5.6%
20代以下	人数	23	7	1	3	10	3	3	1	3	6	11	2	6	1	1
	構成比		30.4%	4.3%	13.0%	43.5%	13.0%	13.0%	4.3%	13.0%	26.1%	47.8%	8.7%	26.1%	4.3%	4.3%
30代	人数	12	4	1	0	2	2	2	1	0	1	3	0	3	2	0
	構成比		33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%
40代	人数	10	3	0	2	1	0	0	2	0	0	3	0	2	1	2
	構成比		30.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	10.0%	20.0%
50代	人数	6	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	1	2	0
	構成比		16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
60代以上	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

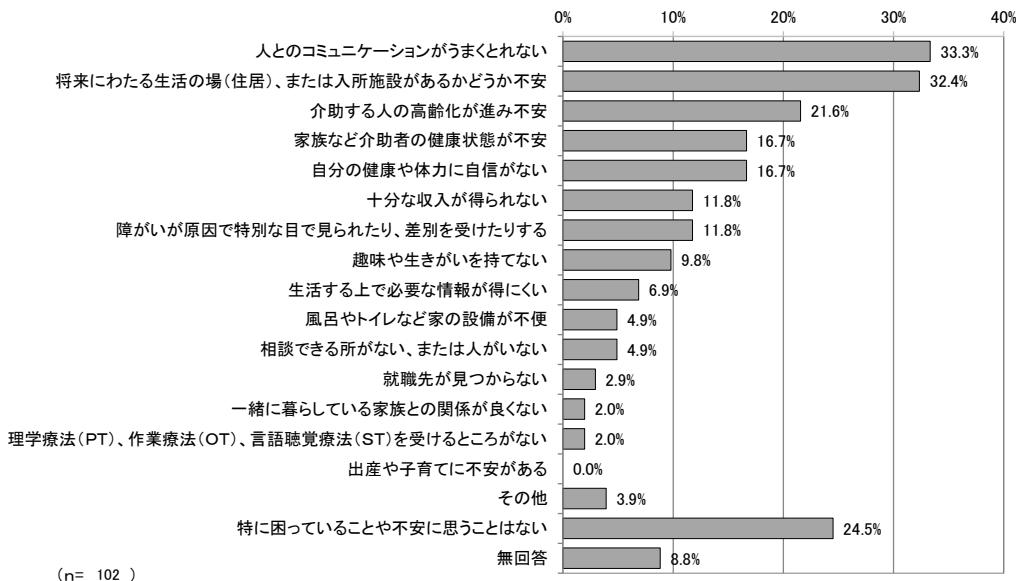
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(5)現在の生活で困っていること

問21 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(○はいくつでも)

**「人のコミュニケーションがうまくとれない」が
33.3%**

「人のコミュニケーションがうまくとれない」が33.3%と最も高く、次いで「将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安」が32.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安」、30代では「特に困っていることや不安に思うことはない」、50代では「将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安」が最も高くなっています。

		回答者数	一緒に暮らしている家族との関係が良くない	家族など介助者の健康状態が不安	出産や子育てに不安がある	就職先が見つからない	十分な収入が得られない	趣味や生きがいを持てない	生活する上で必要な情報が得にくい	自分の健康や体力に自信がない	人のコミュニケーションがうまくとれない	障がいが原因で特別な目で見られる、差別を受けたりする	介助する人の高齢化が進み不安	理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)を受けるところがない	風呂やトイレなどの家の設備が不便	将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安	相談できる所がない、または人がいない	その他	特に困っていることや不安に思うことはない	無回答
全体	人数	102	2	17	0	3	12	10	7	17	34	12	22	2	5	33	5	4	25	9
	構成比		2.0%	16.7%	0.0%	2.9%	11.8%	9.8%	6.9%	16.7%	33.3%	11.8%	21.6%	2.0%	4.9%	32.4%	4.9%	3.9%	24.5%	8.8%
20代以下	人数	42	1	4	0	1	6	4	4	7	18	5	10	2	1	21	4	0	13	0
	構成比		2.4%	9.5%	0.0%	2.4%	14.3%	9.5%	9.5%	16.7%	42.9%	11.9%	23.8%	4.8%	2.4%	60.0%	9.5%	0.0%	31.0%	0.0%
30代	人数	22	1	3	0	1	3	2	1	4	6	2	3	0	1	2	0	2	7	1
	構成比		4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	13.6%	9.1%	4.5%	18.2%	27.3%	9.1%	13.6%	0.0%	4.5%	9.1%	0.0%	9.1%	31.8%	4.5%
40代	人数	22	0	7	0	1	3	4	1	4	9	1	6	0	2	5	1	1	2	5
	構成比		0.0%	31.8%	0.0%	4.5%	13.6%	18.2%	4.5%	18.2%	40.9%	4.5%	27.3%	0.0%	9.1%	22.7%	4.5%	4.5%	9.1%	22.7%
50代	人数	9	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3	0	1	2	2
	構成比		0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%
60代以上	人数	5	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0
	構成比		0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

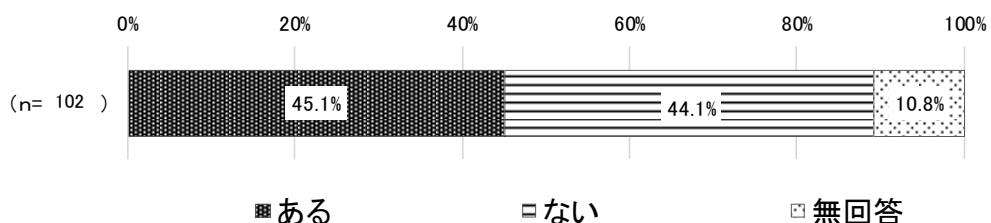
6 差別・権利擁護について

(1) 差別を受けた経験の有無

問22 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」が45.1%

「ある」が45.1%、「ない」が44.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代、50代では「ない」が高くなっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	102	46	45	11
	構成比		45.1%	44.1%	10.8%
20代以下	人数	42	21	20	1
	構成比		50.0%	47.6%	2.4%
30代	人数	22	9	12	1
	構成比		40.9%	54.5%	4.5%
40代	人数	22	10	7	5
	構成比		45.5%	31.8%	22.7%
50代	人数	9	2	5	2
	構成比		22.2%	55.6%	22.2%
60代以上	人数	5	3	1	1
	構成比		60.0%	20.0%	20.0%
無回答	人数	2	1	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%

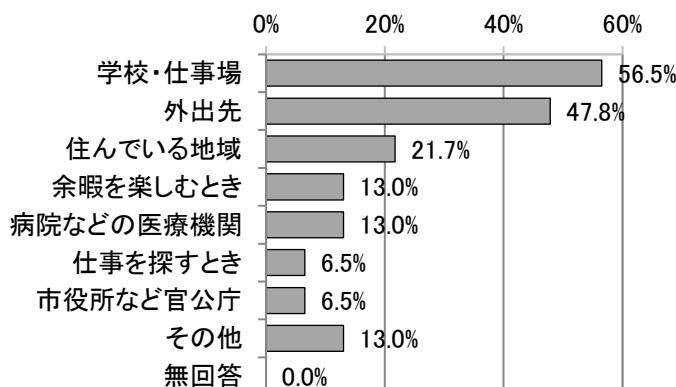
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1)差別を受けた場所

問22-1 問22で「1」に回答した人のみ。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

「学校・仕事場」が56.5%

「学校・仕事場」が56.5%と最も高く、次いで「外出先」が47.8%となっています。



(n= 46)

■ 年齢別

年齢別では、20代以下と40代では「学校・仕事場」の割合が高くなっています。

		回答者数	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	市役所など官公庁	住んでいる地域	その他	無回答
全体	人数	46	26	3	22	6	6	3	10	6	0
	構成比		56.5%	6.5%	47.8%	13.0%	13.0%	6.5%	21.7%	13.0%	0.0%
20代以下	人数	21	13	1	11	2	3	1	4	2	0
	構成比		61.9%	4.8%	52.4%	9.5%	14.3%	4.8%	19.0%	9.5%	0.0%
30代	人数	9	4	1	3	1	0	1	0	2	0
	構成比		44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
40代	人数	10	7	1	4	2	2	1	3	1	0
	構成比		70.0%	10.0%	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%
50代	人数	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
60代以上	人数	3	1	0	3	0	1	0	2	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

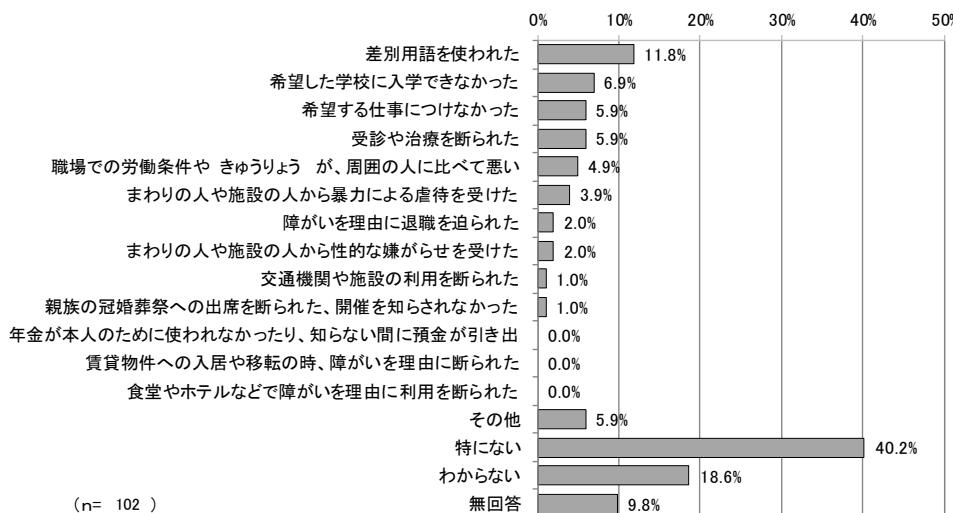
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 障がいがあることが原因で受けた経験

問23 あなたは、日常生活の中で、障がいがあることが原因で、次のような扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が40.2%

「特にない」が40.2%と最も高く、次いで「わからない」が18.6%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、60代以上では「わからない」が60.0%と最も高くなっています。

		回答者数	希望した学校に入学できなかつた	希望する仕事につけなかつた	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い	障がいを理由に退職を迫られた	差別用語を使われた	交通機関や施設の利用を断られた	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知られなかつた	まわりの人や施設の人から暴力による虐待を受けた	まわりの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた	年金が本人のために使われなかつたり、知らない間に預金が引き出された	賃貸物件への入居や移転の時、障がいを理由に断られた	食堂やホテルなどで障がいを理由に利用を利用を断られた	受診や治療を断られた	その他	特にない	わからない	無回答	
全体会	人数構成比	102	7	6	5	2	11.8%	1	1	4	2	0	0	0	6	6	41	19	10	
			6.9%	5.9%	4.9%	2.0%	11.8%	1.0%	1.0%	3.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	40.2%	18.6%	9.8%	
20代以下	人数構成比	42	5	2	1	1	6	0	0	2	0	0	0	0	2	3	17	8	1	
			11.9%	4.8%	2.4%	2.4%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	7.1%	40.5%	19.0%	2.4%	
30代	人数構成比	22	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	12	3	1
			9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	13.6%	54.5%	13.6%	4.5%	
40代	人数構成比	22	0	2	3	0	3	0	1	2	2	0	0	0	0	2	0	7	3	5
			0.0%	9.1%	13.6%	0.0%	13.6%	0.0%	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	31.8%	13.6%	22.7%	
50代	人数構成比	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	22.2%	11.1%	
60代以上	人数構成比	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
無回答	人数構成比	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

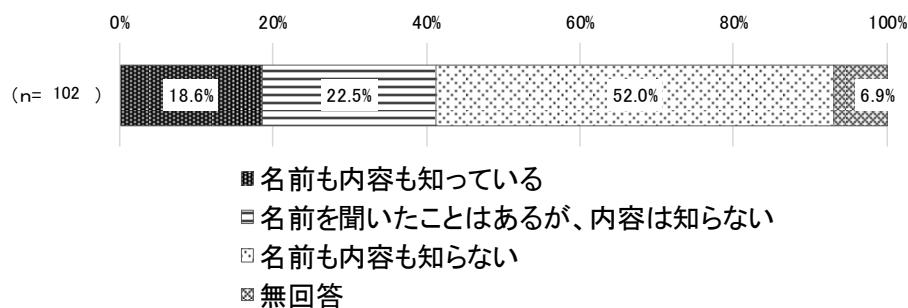
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)成年後見制度の認知状況

問24 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

「名前も内容も知らない」が52.0%

「名前も内容も知らない」が52.0%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が22.5%となっています。

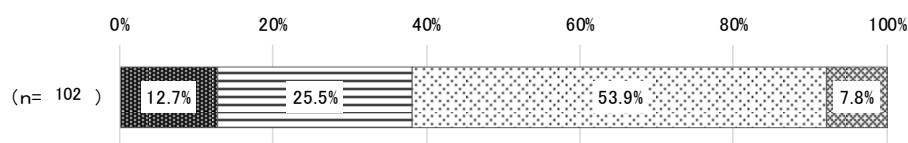


(4)合理的配慮の認知状況

問25 あなたは、「合理的配慮」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が53.9%

「知らない」が53.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が25.5%となっています。



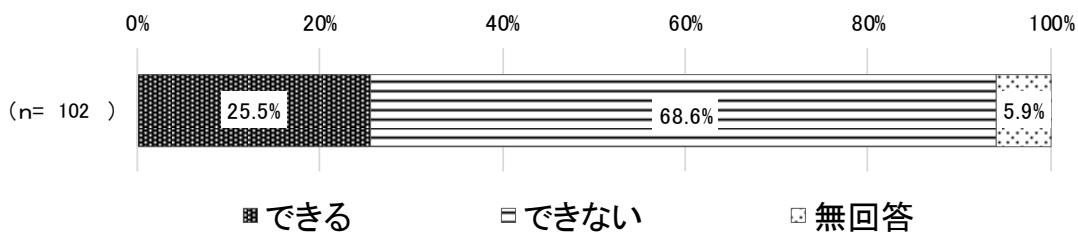
7 災害時の対応について

(1) 災害時の避難について

問26 台風や地震等の災害時でも、自宅で生活が可能であれば、在宅避難が原則となります。在宅避難が難しい場合、あなたは、ひとりで避難（または対処）できますか。（○は1つ）

「できない」が68.6%

「できない」が68.6%、「できる」が25.5%となっています。



■ 等級別

等級別では、Bの2では「できる」50.0%と最も高くなっています。また、重度になるほど「できる」の割合が減少し、まるAでは0%となっています。

		回答者数	できる	できない	無回答
全体	人数	102	26	70	6
	構成比		25.5%	68.6%	5.9%
まるA	人数	8	0	8	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
Aの1	人数	31	3	25	3
	構成比		9.7%	80.6%	9.7%
Aの2	人数	7	2	5	0
	構成比		28.6%	71.4%	0.0%
Bの1	人数	23	8	15	0
	構成比		34.8%	65.2%	0.0%
Bの2	人数	26	13	11	2
	構成比		50.0%	42.3%	7.7%
無回答	人数	7	0	6	1
	構成比		0.0%	85.7%	14.3%

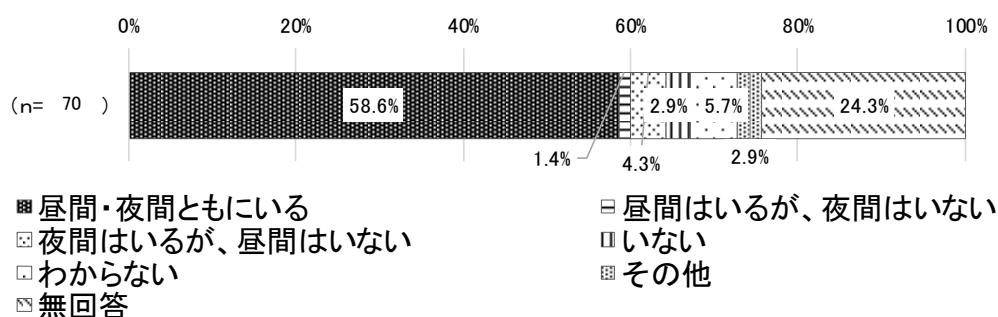
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)災害時に避難の手助けをしてくれる人

問26-1 問26で「2」に回答した人のみ。万一災害が起きた際に、避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいますか。(○は1つ)

「昼間・夜間にともにいる」が58.6%

「昼間・夜間にともにいる」が58.6%と最も高く、次いで「わからない」が5.7%となっています。



■ 等級別

等級別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	昼間・夜間にともにいる	昼間はいるが、夜間はない	夜間はいるが、昼間はない	いない	わからない	その他	無回答
全体	人数	70	41	1	3	2	4	2	17
	構成比		58.6%	1.4%	4.3%	2.9%	5.7%	2.9%	24.3%
まるA	人数	8	5	0	0	0	0	1	2
	構成比		62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%
Aの1	人数	25	17	1	0	0	1	0	6
	構成比		68.0%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	24.0%
Aの2	人数	5	3	0	0	0	0	1	1
	構成比		60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
Bの1	人数	15	6	0	2	1	1	0	5
	構成比		40.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	33.3%
Bの2	人数	11	6	0	1	1	1	0	2
	構成比		54.5%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%
無回答	人数	6	4	0	0	0	1	0	1
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%

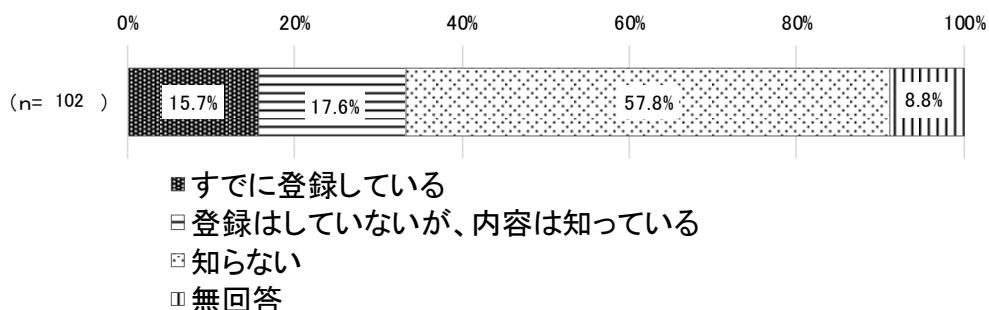
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況

問27 あなたは、市の「災害時避難行動要支援者名簿」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が57.8%

「知らない」が57.8%と最も高く、次いで「登録はしていないが、内容は知っている」が17.6%となっています。



■ 等級別

等級別では、まるAでは「すでに登録している」37.5%、Aの2では「すでに登録している」28.6%、「登録はしていないが、内容は知っている」28.6%が最も高くなっています。

		回答者数	すでに登録している	登録はしていないが、内容は知っている	知らない	無回答
全体	人数	102	16	18	59	9
	構成比		15.7%	17.6%	57.8%	8.8%
まるA	人数	8	3	1	3	1
	構成比		37.5%	12.5%	37.5%	12.5%
Aの1	人数	31	6	5	16	4
	構成比		19.4%	16.1%	51.6%	12.9%
Aの2	人数	7	2	2	2	1
	構成比		28.6%	28.6%	28.6%	14.3%
Bの1	人数	23	0	6	16	1
	構成比		0.0%	26.1%	69.6%	4.3%
Bの2	人数	26	1	3	21	1
	構成比		3.8%	11.5%	80.8%	3.8%
無回答	人数	7	4	1	1	1
	構成比		57.1%	14.3%	14.3%	14.3%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

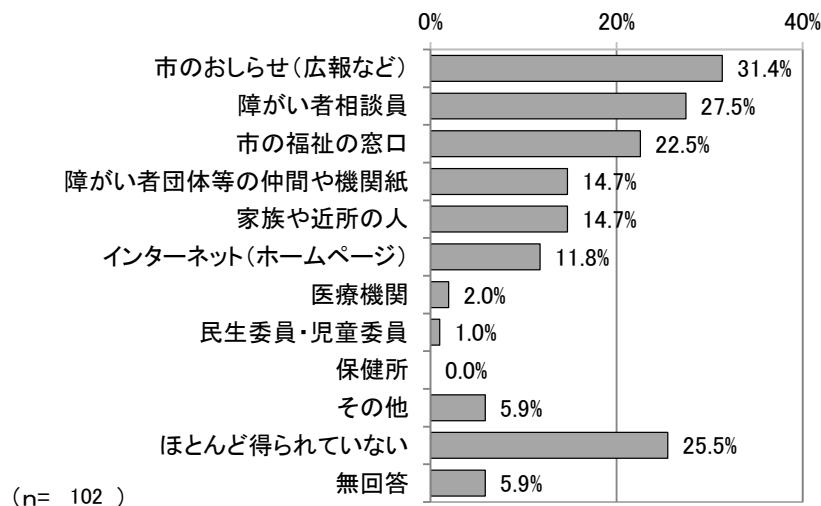
8 保健福祉サービス・施設サービスについて

(1) 障がいのある人に対するサービスについての情報源

問 28 市が行っている障がいのある人に対するサービスや施策についての情報は、どこから得てありますか。(○はいくつでも)

「市のおしらせ（広報など）」が31.4%

「市のおしらせ（広報など）」が31.4%と最も高く、次いで「障がい者相談員」が27.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「ほとんど得られていない」、30代では「障がい者相談員」、40代、50代では「市の福祉の窓口」、「ほとんど得られていない」、60代以上では「ほとんど得られていない」40.0%が最も高くなっています。

		回答者数	市のおしらせ（広報など）	市の福祉の窓口	保健所	医療機関	インターネット（ホームページ）	民生委員・児童委員	障がい者相談員	障がい者団体等の仲間や機関紙	家族や近所の人	その他	ほとんど得られていない	無回答
全般	構成比	102	32 31.4%	23 22.5%	0 0.0%	2 2.0%	12 11.8%	1 1.0%	28 27.5%	15 14.7%	15 14.7%	6 5.9%	26 25.5%	6 5.9%
20代以下	人数	42	14 33.3%	6 14.3%	0 0.0%	1 2.4%	5 11.9%	1 2.4%	13 31.0%	5 11.9%	7 16.7%	1 2.4%	14 33.3%	1 2.4%
	構成比													
30代	人数	22	7 31.8%	4 18.2%	0 0.0%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	7 31.8%	4 18.2%	4 18.2%	3 13.6%	4 18.2%	0 0.0%
	構成比													
40代	人数	22	9 40.9%	9 40.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 22.7%	5 22.7%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%
	構成比													
50代	人数	9	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%
	構成比													
60代以上	人数	5	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
	構成比													
無回答		2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

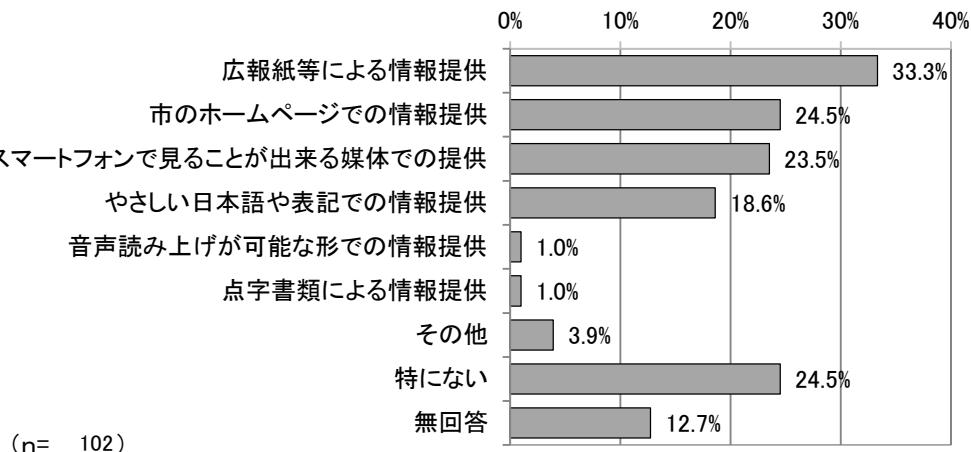
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 希望する情報提供の方法

問29 あなたが提供を希望する情報提供の方法はどのようなものですか。(○はいくつでも)

「広報紙等による情報提供」が33.3%

「広報紙等による情報提供」が33.3%と最も高く、次いで「市のホームページでの情報提供」が24.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「特にない」45.5%、60代以上では「やさしい日本語や表記での情報提供」60.0%と最も高くなっています。

		回答者数	広報紙等による情報提供	市のホームページでの情報提供	スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供	音声読み上げが可能な形での情報提供	やさしい日本語や表記での情報提供	点字書類による情報提供	その他	特にない	無回答
全体	構成比	人数	34 33.3%	25 24.5%	24 23.5%	1 1.0%	19 18.6%	1 1.0%	4 3.9%	25 24.5%	13 12.7%
20代以下		42	15 35.7%	14 33.3%	13 31.0%	0 0.0%	11 26.2%	1 2.4%	1 2.4%	10 23.8%	2 4.8%
30代		22	3 13.6%	4 18.2%	5 22.7%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	2 9.1%	10 45.5%	1 4.5%
40代		22	12 54.5%	6 27.3%	5 22.7%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	5 22.7%
50代		9	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%
60代以上		5	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
無回答		2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%

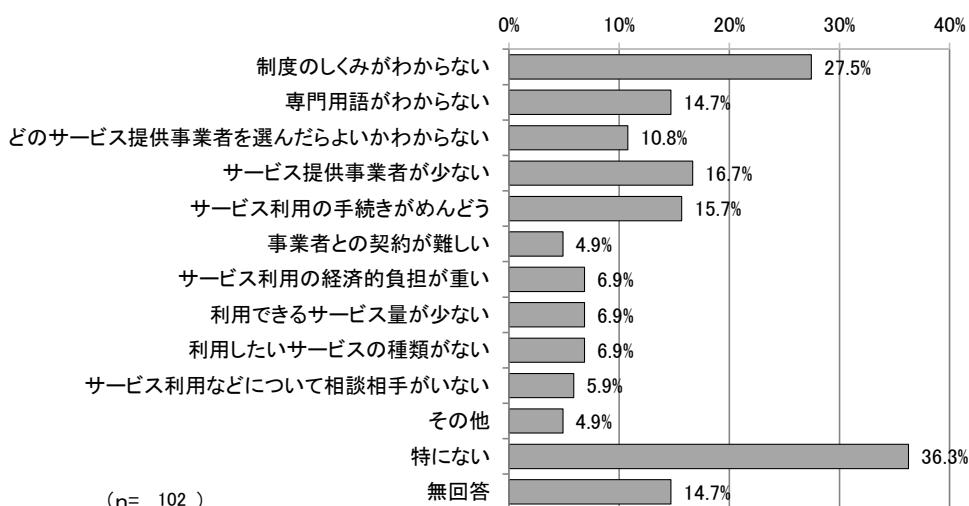
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)福祉サービスについて困っていること

問30 現在、市が行っている障がいのある人のための福祉サービスについて、困っていることや心配なことはありますか。(○はいくつでも)

「特になし」が36.3%

「特になし」が36.3%と最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」が27.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「制度のしくみがわからない」33.3%が最も高くなっています。

		回答者 数	制度のし くみがわ からない	専門用 語がわ からない	ど の サ ー ビ ス 提 供 事 業 者 を 選 ん だ ら よ い か わ か ら な い	サ ー ビ ス 提 供 事 業 者 が 少 ない	サ ー ビ ス 利 用 の 手 順 き が め ん ど く さ い	サ ー ビ ス 事 業 者 と の 契 約 が 難 し い	サ ー ビ ス 利 用 の 経 済 的 負 担 が 重 い	利 用 可 能 性 が 少 な い	利 用 可 能 性 が 少 な い	サ ー ビ ス 利 用 な ど に つ い て 相 談 相 手 が い な い	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体	人数	102	28	15	11	17	16	5	7	7	7	6	5	37	15
	構成比		27.5%	14.7%	10.8%	16.7%	15.7%	4.9%	6.9%	6.9%	6.9%	5.9%	4.9%	36.3%	14.7%
20代以下	人数	42	14	9	8	10	9	3	3	4	6	4	2	11	3
	構成比		33.3%	21.4%	19.0%	23.8%	21.4%	7.1%	7.1%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	26.2%	7.1%
30代	人数	22	6	2	1	3	3	1	2	3	0	1	2	11	1
	構成比		27.3%	9.1%	4.5%	13.6%	13.6%	4.5%	9.1%	13.6%	0.0%	4.5%	9.1%	50.0%	4.5%
40代	人数	22	6	4	2	2	3	1	1	0	0	1	0	8	7
	構成比		27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	13.6%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	36.4%	31.8%
50代	人数	9	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4	2
	構成比		22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%
60代以上	人数	5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

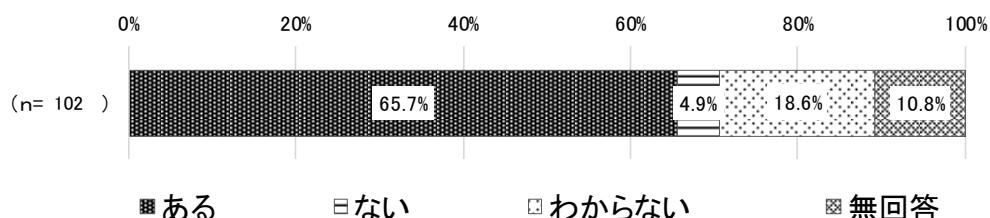
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4) 悩みを相談する場所の有無

問31 あなたは、悩みや困ったことがあった時、相談する場所がありますか。(○は1つ)

「ある」が65.7%

「ある」が65.7%と最も高く、次いで「わからない」が18.6%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	ある	ない	わからない	無回答
全体	人数	102	67	5	19	11
	構成比		65.7%	4.9%	18.6%	10.8%
20代以下	人数	42	29	1	10	2
	構成比		69.0%	2.4%	23.8%	4.8%
30代	人数	22	16	2	4	0
	構成比		72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
40代	人数	22	11	2	3	6
	構成比		50.0%	9.1%	13.6%	27.3%
50代	人数	9	6	0	2	1
	構成比		66.7%	0.0%	22.2%	11.1%
60代以上	人数	5	4	0	0	1
	構成比		80.0%	0.0%	0.0%	20.0%
無回答	人数	2	1	0	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

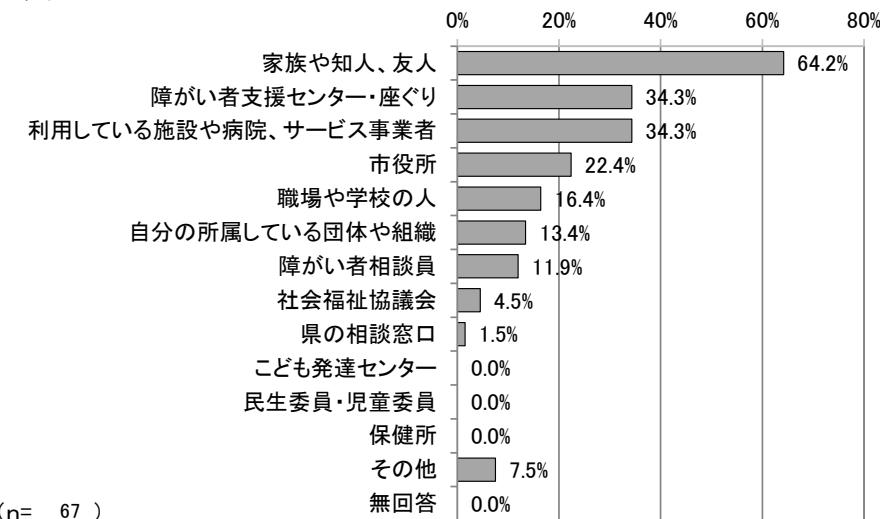
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4-1)相談相手

問31-1 問31で「1」に回答した人のみ。あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（○はいくつでも）

「家族や知人、友人」が 64.2%

「家族や知人、友人」が64.2%と最も高く、次いで「障がい者支援センター・座ぐり」が34.3%となっています。

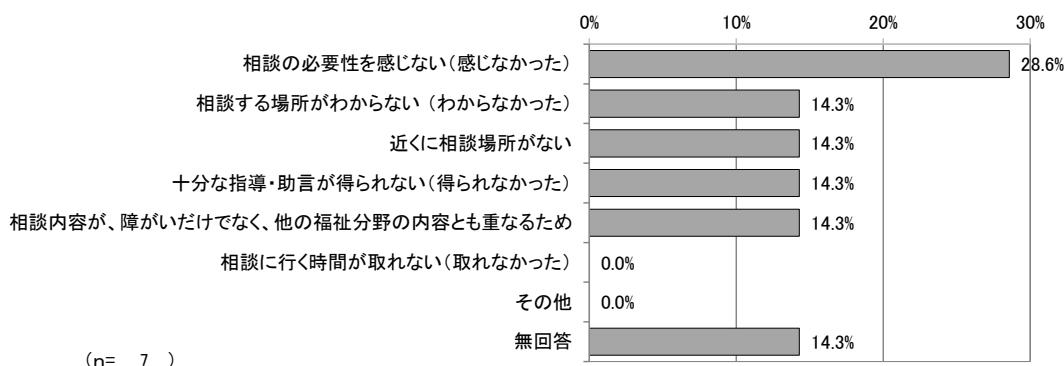


(4-2)相談しない理由

問31-2 問31で「2」に回答した人のみ。相談していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「相談の必要性を感じない（感じなかった）」が 28.6%

「相談の必要性を感じない（感じなかった）」が28.6%と最も高く、次いで「相談する場所がわからない（わからなかった）」が14.3%となっています。

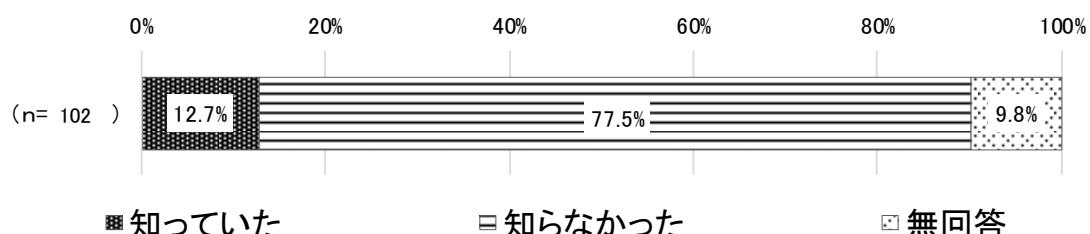


(5) 基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況

問 32 白井市では、令和7年4月から総合的な相談を担当する基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設しますが、ご存じですか。(○は1つ)

「知らなかった」が77.5%

「知らなかった」が77.5%、「知っていた」が12.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	知っていた	知らなかつた	無回答
全体	人数	102	13	79	10
	構成比		12.7%	77.5%	9.8%
20代以下	人数	42	4	37	1
	構成比		9.5%	88.1%	2.4%
30代	人数	22	5	17	0
	構成比		22.7%	77.3%	0.0%
40代	人数	22	2	16	4
	構成比		9.1%	72.7%	18.2%
50代	人数	9	2	5	2
	構成比		22.2%	55.6%	22.2%
60代以上	人数	5	0	3	2
	構成比		0.0%	60.0%	40.0%
無回答	人数	2	0	1	1
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

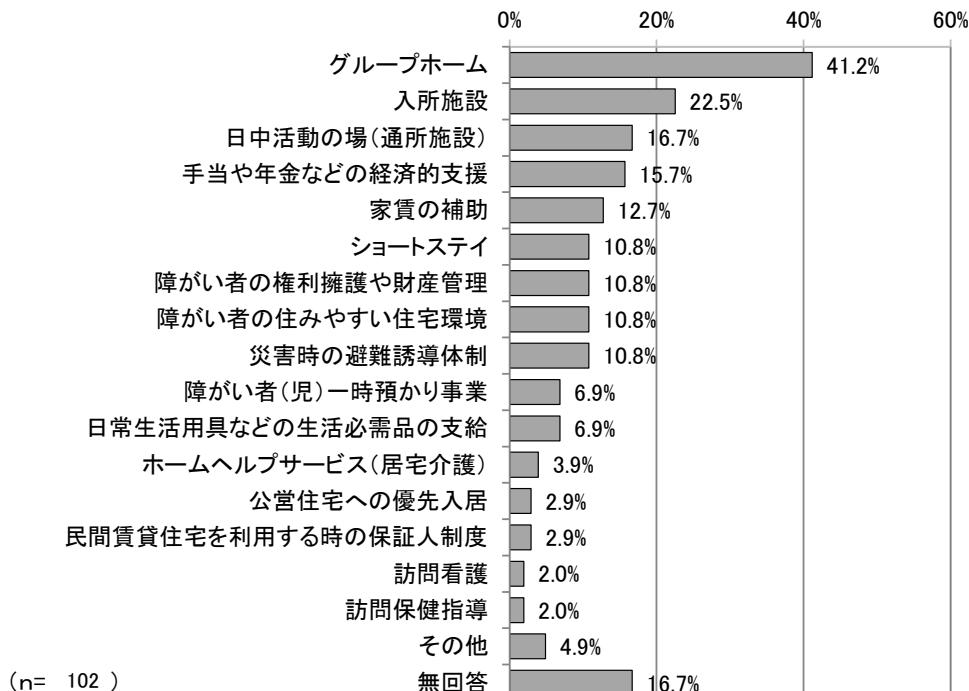
(6) 地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいもの

問33 あなたが地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいものはなんですか。以下の（ア）～（ウ）の各分野ごとにえらんでください。

(ア) 生活全般

「グループホーム」が41.2%

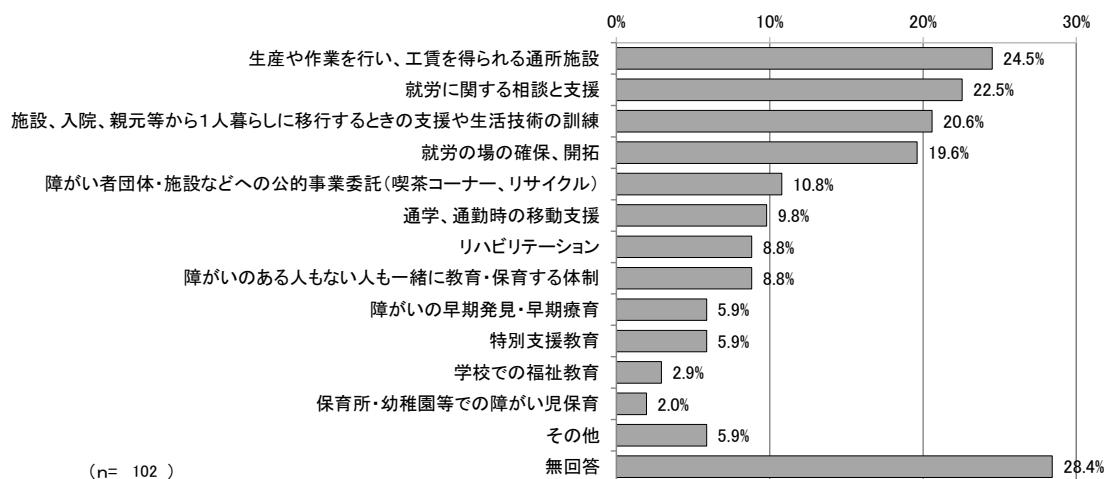
「グループホーム」が41.2%と最も高く、次いで「入所施設」が22.5%となっています。



(イ) 就労・訓練・教育

「生産や作業を行い、工賃を得られる通所施設」が 24.5%

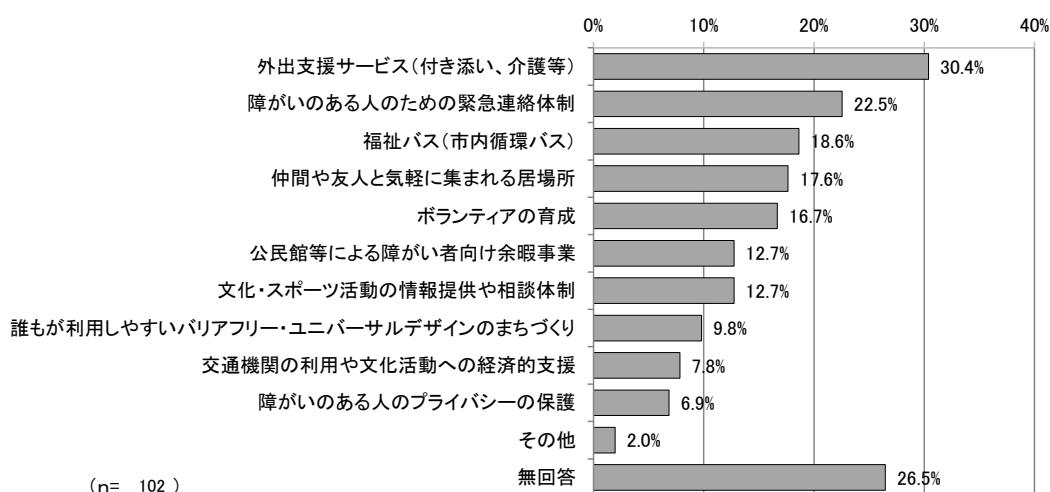
「生産や作業を行い、工賃を得られる通所施設」が24.5%と最も高く、次いで「就労に関する相談と支援」が22.5%となっています。



(ウ) 社会的活動

「外出支援サービス（付き添い、介護等）」が 30.4%

「外出支援サービス(付き添い、介護等)」が30.4%と最も高く、次いで「障がいのある人のための緊急連絡体制」が22.5%となっています。



(7)障がいや福祉に関する言葉の認知状況

問34 あなたは、次のようなことばを知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

「ヘルプマーク・ヘルプカード」が38.2%

内容まで知っている割合が高いのは「ヘルプマーク・ヘルプカード」が38.2%、「ふれあい広場(市内で開催)チャレンジパーソンスポーツ」が27.5%となっています。

		回答者数	内容まで 知っている	ことばを見 聞きしたこと はある	知らなかっ た	無回答
① 障害者権利条約	人数	102	3	20	66	13
	構成比		2.9%	19.6%	64.7%	12.7%
② 障害者週間(12月3~9日)	人数	102	4	23	63	12
	構成比		3.9%	22.5%	61.8%	11.8%
③ ヘルプマーク・ヘルプカード	人数	102	39	26	24	13
	構成比		38.2%	25.5%	23.5%	12.7%
④ 福祉避難所	人数	102	12	12	64	14
	構成比		11.8%	11.8%	62.7%	13.7%
⑤ ふれあい広場(市内で開催) チャレンジパーソンスポーツ	人数	102	28	6	58	10
	構成比		27.5%	5.9%	56.9%	9.8%
⑥白井市障害者計画	人数	102	8	25	58	11
	構成比		7.8%	24.5%	56.9%	10.8%
⑦ 白井市障害福祉計画・障害 児福祉計画	人数	102	9	19	62	12
	構成比		8.8%	18.6%	60.8%	11.8%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

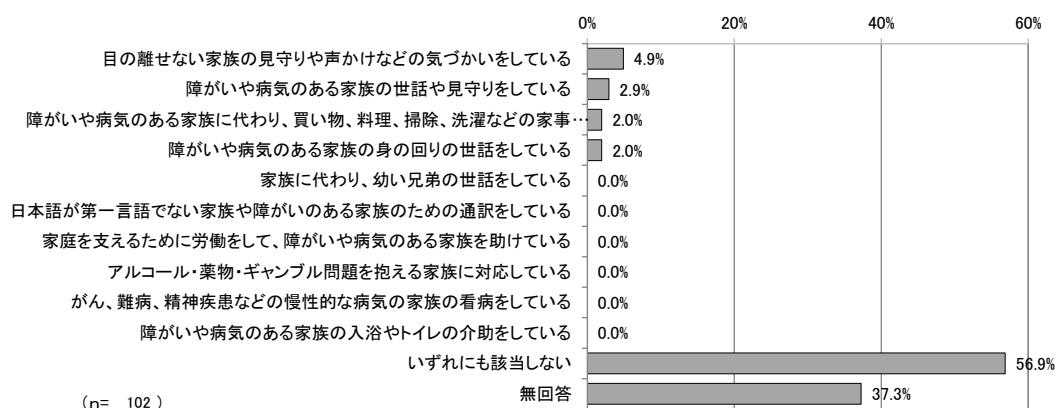
(8)ヤングケアラーについて

問 35 あなたの家庭で、18歳未満の人が、障がいのある人に対して以下のことを日常的に行うことがありますか（○はいくつでも）。

「いずれかに該当する」が5.9%

「いずれにも該当しない」が56.9%と最も高く、次いで「目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている」が4.9%となっています。

いずれかに該当する方は6人で、全体の5.9%となっています。



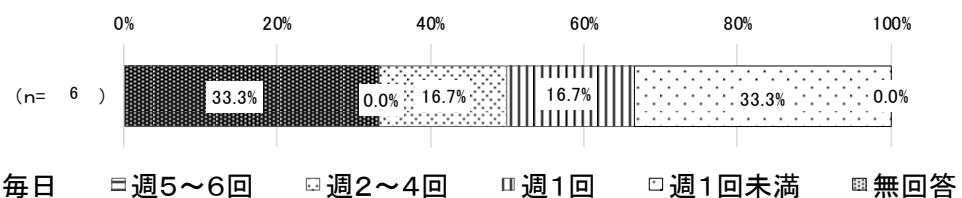
(9)お手伝いの頻度・時間

問35-1 問38で「1」～「10」と回答した人のみ。上記のお手伝いの頻度・時間はどのくらいですか（○はそれぞれ1つ）。

① 頻度

「毎日」「週1回未満」が各々33.3%

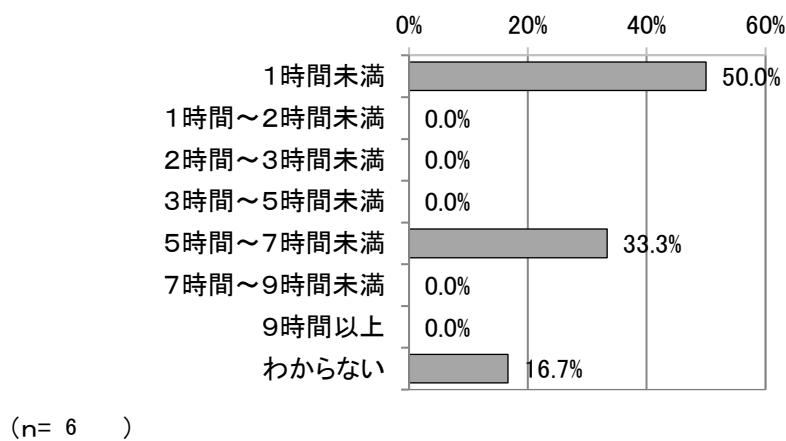
「毎日」「週1回未満」が各々33.3%となっています。



② 1日あたりの時間

「1時間未満」が50.0%

「1時間未満」が50.0%と最も高く、次いで「5時間～7時間未満」が33.3%となっています。

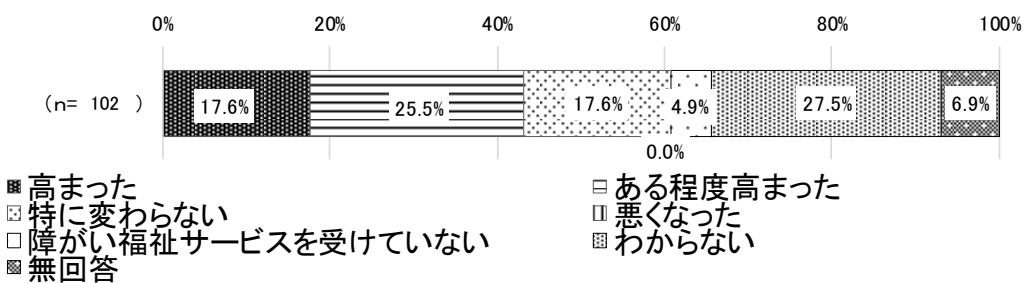


(10) 障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化

問36 あなたは、行政や民間が実施する障がい福祉サービスを受けることで、生活の質が高まったと思いますか（○は1つ）。

「わからない」が27.5%

「わからない」が27.5%と最も高く、次いで「ある程度高まった」が25.5%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「ある程度高まった」31.8%、40代では「特に変わらない」40.9%、60代以上では「ある程度高まった」40.0%が最も高くなっています。

平均点をみると、60代以上は1.00と高い反面、50代が0.50と低くなっています。

平均点算出方法	
高まった	2点
ある程度高まった	1点
特に変わらない	0点
悪くなつた	-2点
わからない	0点

		回答者数	高まった	ある程度高まった	特に変わらない	悪くなつた	障がい福祉サービスを受けている	わからない	無回答	平均点
全体	人数	102	18	26	18	0	5	28	7	0.69
	構成比		17.6%	25.5%	17.6%	0.0%	4.9%	27.5%	6.9%	
20代以下	人数	42	8	12	4	0	3	15	0	0.72
	構成比		19.0%	28.6%	9.5%	0.0%	7.1%	35.7%	0.0%	
30代	人数	22	4	7	4	0	1	4	2	0.79
	構成比		18.2%	31.8%	18.2%	0.0%	4.5%	18.2%	9.1%	
40代	人数	22	4	3	9	0	1	4	1	0.55
	構成比		18.2%	13.6%	40.9%	0.0%	4.5%	18.2%	4.5%	
50代	人数	9	1	2	1	0	0	4	1	0.50
	構成比		11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	
60代以上	人数	5	1	2	0	0	0	1	1	1.00
	構成比		20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	0	2	-
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、まるAでは「高まった」50.0%、Aの1では「ある程度高まった」29.0%、Aの2では「ある程度高まった」「特に変わらない」28.6%、Bの1では「ある程度高まった」26.1%と最も高くなっています。

平均点をみると、まるAは1.38と高い反面、Bの2が0.35と低くなっています。

		回答者数	高まった	ある程度高 まった	特に変わら ない	悪くなつた	障がい福祉 サービスを受けていな い	わからない	無回答	平均点
全体	人数	102	18	26	18	0	5	28	7	0.69
	構成比		17.6%	25.5%	17.6%	0.0%	4.9%	27.5%	6.9%	
まるA	人数	8	4	3	1	0	0	0	0	1.38
	構成比		50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Aの1	人数	31	7	9	3	0	1	9	2	0.82
	構成比		22.6%	29.0%	9.7%	0.0%	3.2%	29.0%	6.5%	
Aの2	人数	7	1	2	2	0	0	0	2	0.80
	構成比		14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	
Bの1	人数	23	3	6	5	0	2	6	1	0.60
	構成比		13.0%	26.1%	21.7%	0.0%	8.7%	26.1%	4.3%	
Bの2	人数	26	1	6	5	0	2	11	1	0.35
	構成比		3.8%	23.1%	19.2%	0.0%	7.7%	42.3%	3.8%	
無回答	人数	7	2	0	2	0	0	2	1	—
	構成比		28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

C 【精神障がい】**1 概要****(1)住まいや暮らしについて**

- ・一緒に住んでいる人は、「母」が47.7%(前回47.4%)と最も高くなっています。「ひとり暮らし」は14.2%(前回9.7%)とやや増加しています。
- ・今後の生活については、「今まで良い」が44.3%と最も高く、次いで「在宅福祉サービスを利用してひとり暮らししたい」が19.3%となっています。
- ・賃貸住宅を借りられなかった経験のある方は6.3%で、集合住宅(賃貸)に居住する方は18.5%となっています。貸せない理由は、「(連帯)保証人がいないので貸せないと言われた」が63.6%と最も高く、次いで「障がいのある人には貸せないと言われた」が45.5%となっています。
- ・地域で生活するために必要な支援は、前回、今回とも「経済的な負担の軽減」が67.0%(前回66.8%)と最も高く、次いで「相談対応等の充実」が42.6%(前回41.0%)の順となっています。
- ・介助の必要性は、「介助は必要ない」が42.0%となっています。介護者の年齢をみると、70代以上では今回は31.6%(前回30.6%)となっています。

(2)日頃の活動状況について

- ・普段の活動は、「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が47.7%が最も高く、前回の25.0%と比較して22.7ポイント増加しています。
- ・現在の仕事は、「特例子会社 または障がい者雇用で働いている」が31.0%と最も高くなっています。
- ・現在の仕事の悩みについては、「特に悩みや不満はない」が27.4%(前回24.5%)と最も高く、前回最も高かった「職場の人間関係がうまくいかない」が、前回の36.7%から13.1%に低下しています。
- ・今後、収入を得る仕事をしたいかどうかについては、「仕事をしたい(続けたい)」が62.5%(前回48.0%)となっています。また、今後の就労意向についてみると「特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が32.7%となっています。
- ・障がいのある人への就労支援として必要なことは、前回・今回とも「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が57.4%(前回72.9%)と最も高くなっています。

(3)外出・活動等について

- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が44.9%と最も高く、前回(41.3%)とほぼ同様です。
- ・車で移動する理由は「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」「他の人に気を遣わず移動できるため」が各々42.9%、困ることは、「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が49.5%と最も高くなっています。
- ・今後やりたいことは、「旅行」「買物」の順となっています。
- ・スポーツについては、「今はしていないが、過去にしていたことがある」が45.5%と最も高くなっています。スポーツをしない理由は、「体を動かすことが得意ではない」が34.5%と最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が30.2%となっています。
- ・現在の生活で困っていることは、「自分の健康や体力に自信がない」が42.0%となっています。なお、前回は「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が50.5%と最も多くなっていましたが、

今回は38.1%と12.4ポイント低下しています。

(4)差別・権利擁護について

- ・差別を受けた経験は、「ある」が今回は43.8%(前回43.9%)とほぼ同率となっています。
- ・差別を受けた場所は、「学校・仕事場」が55.8%(前回47.7%)となっており、8.1ポイント増加しています。
- ・障がいがあることが原因で、発生した問題は、「特にない(34.7%)」が最も高く、次いで「希望する仕事につけなかった」が16.5%となっています。
- ・成年後見制度の周知度は、「内容まで知っている」「聞いたことはあるが内容までは知らない」の合計が75.0%(前回68.9%)、「合理的配慮」の周知度は、「内容まで知っている」「聞いたことはあるが内容までは知らない」の合計が56.3%(前回33.6%)と、前回より22.7ポイント増加しています。

(5)災害時の対応について

- ・避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいるかどうかについては、「昼間・夜間ともにいる」が今回は38.6%ですが、前回は46.0%であったため、7.4ポイント減少しています。

(6)保健福祉サービス・施設サービスについて

- ・市の情報は、「市のおしらせ(広報など)」が40.3%と最も高く、次いで「市の福祉の窓口」が34.1%となっています。また、「ほとんど得られていない」も25.6%となっています。
- ・提供を希望する情報提供の方法は、「広報紙等による情報提供」が43.8%と最も高くなっていますが、20~40代は「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が最も高くなっています。
- ・福祉サービスで困っていることは、「制度のしくみがわからない」が38.1%と最も多くなっています。
- ・困ったことを相談する場所については、「ある」が57.4%となっています。
- ・相談する相手は、「家族や知人、友人」が79.2%と最も高くなっています。また、相談しない理由としては、「相談する場所がわからない（わからなかつた）」が43.6%(前回56.7%)と最も高くなっていますが、13.1ポイント前回より低下しています。
- ・基幹相談支援センターの周知度は、「知らなかつた」が90.9%となっています。
- ・地域で自立して暮らすために必要なことは、生活全般では「手当や年金などの経済的支援」が44.9%、就労・訓練・教育では、「就労の場の確保、開拓」が33.5%、社会的活動では「交通機関の利用や文化活動への経済的支援」が39.2%と最も高くなっています。
- ・障がいや福祉に関する言葉の認知状況は、「ヘルプマーク・ヘルプカード」は、内容まで知っている方の割合が56.8%(前回25.0%)と31.8ポイント増加していますが、それ以外は前回とほぼ同様です。
- ・ヤングケアラーの疑いのある人は、全体の6.8%となっています。
- ・障がい福祉サービスを受けることによる変化としては、「ある程度高まった」が29.0%と最も高く、次いで「わからない」が22.7%となっています。

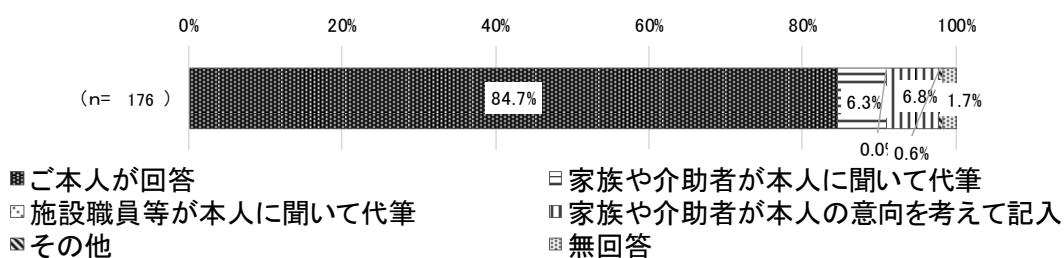
2 あなた自身について

(1)回答者

問1 このアンケートを記入する人はどなたですか。(○は1つ)

「ご本人が回答」が84.7%

「ご本人が回答」が84.7%と最も高く、次いで「家族や介助者が本人の意向を考えて記入」が6.8%となっています。



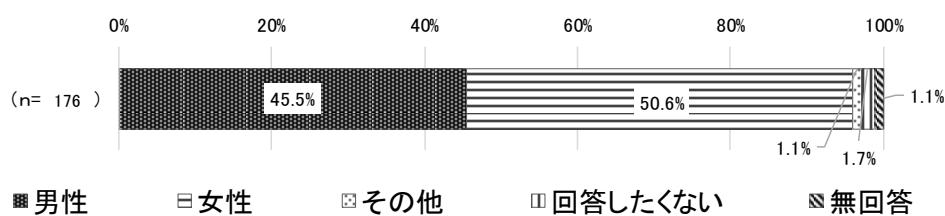
(2)性別と年齢

問2 あなたの性別と年齢をお答えください。

① 性別

「女性」が50.6%

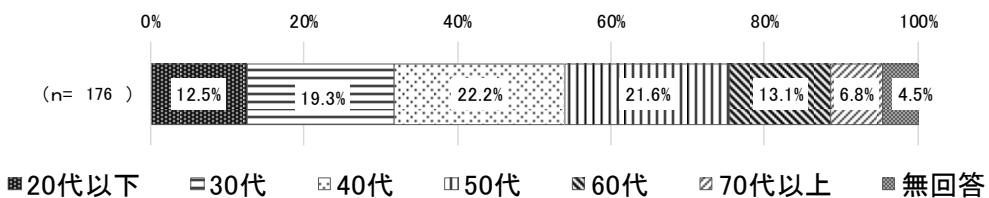
「女性」が50.6%と最も高く、次いで「男性」が45.5%となっています。



② 年齢

「40代」が 22.2%

「40代」が22.2%と最も高く、次いで「50代」が21.6%となっています。

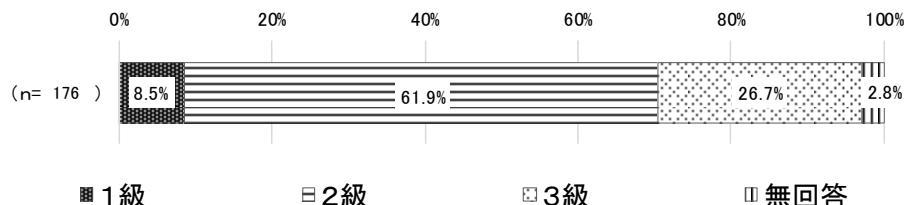


(3)精神障害者保健福祉手帳の等級

問3 あなたがお持ちの精神障害者保健福祉手帳の等級をおたずねします。(手帳を見て1つに○)

「2級」が 61.9%

「2級」が61.9%と最も高く、次いで「3級」が26.7%となっています。

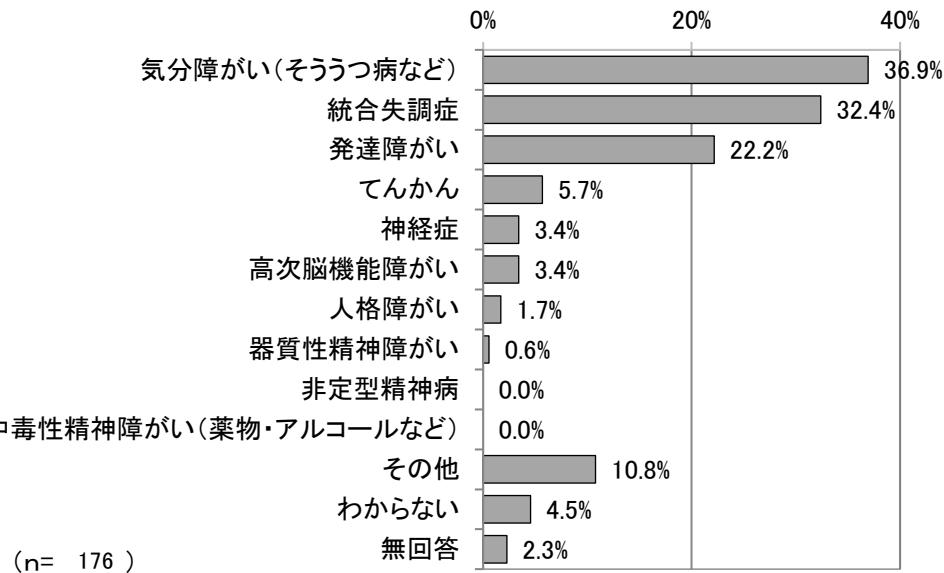


(4) 障がいの種類

問4 あなたの障がいの種類についておたずねします。(○はいくつでも)

「気分障がい（そううつ病など）」が36.9%

「気分障がい（そううつ病など）」が36.9%と最も高く、次いで「統合失調症」が32.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代、40代、50代、70代以上では「統合失調症」が最も高くなっています。

		回答者 数	統合失 調症	気分障 がい(そ ううつ病 など)	非定型 精神病	人格障 がい	てんか ん	器質性 精神障 がい	中毒性 精神障 がい(薬物 ・アル コール など)	神経症	発達障 がい	高次脳 機能障 がい	その他	わから ない	無回答
全体	人数 構成比	176	57 32.4%	65 36.9%	0 0.0%	3 1.7%	10 5.7%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.4%	39 22.2%	6 3.4%	19 10.8%	8 4.5%	4 2.3%
20代以下	人数 構成比	22	2 9.1%	11 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%	1 4.5%	1 0.0%	0 0.0%
30代	人数 構成比	34	13 38.2%	9 26.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	12 35.3%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.9%	0 0.0%
40代	人数 構成比	39	14 35.9%	11 28.2%	0 0.0%	1 2.6%	2 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 28.2%	2 5.1%	6 15.4%	2 5.1%	0 0.0%
50代	人数 構成比	38	16 42.1%	15 39.5%	0 0.0%	1 2.6%	2 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.3%	3 7.9%	1 2.6%	5 13.2%	2 5.3%	0 0.0%
60代	人数 構成比	23	4 17.4%	11 47.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%	4 17.4%	1 4.3%	1 4.3%
70代以上	人数 構成比	12	4 33.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 8.3%
無回答	人数 構成比	8	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(5)初めて精神科・神経科で診療を受けた年齢

問5 あなたが初めて精神科・神経科で診療を受けたのは何歳ごろですか。(○は1つ)

「18~39歳」が51.7%

「18~39歳」が51.7%と最も高く、次いで「40歳以上」が16.5%となっています。

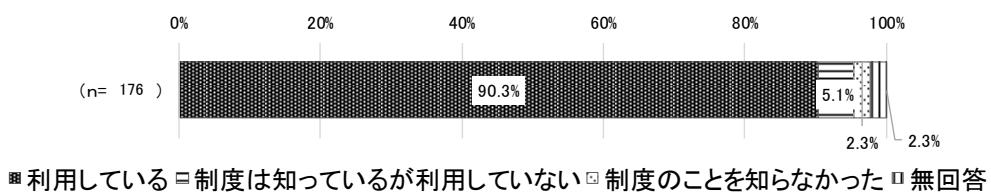


(6)自立支援医療精神通院制度の利用状況

問6 あなたは、「自立支援医療精神通院制度」を利用していますか。(○は1つ)

「利用している」が90.3%

「利用している」が90.3%と最も高く、次いで「制度は知っているが利用していない」が5.1%となっています。



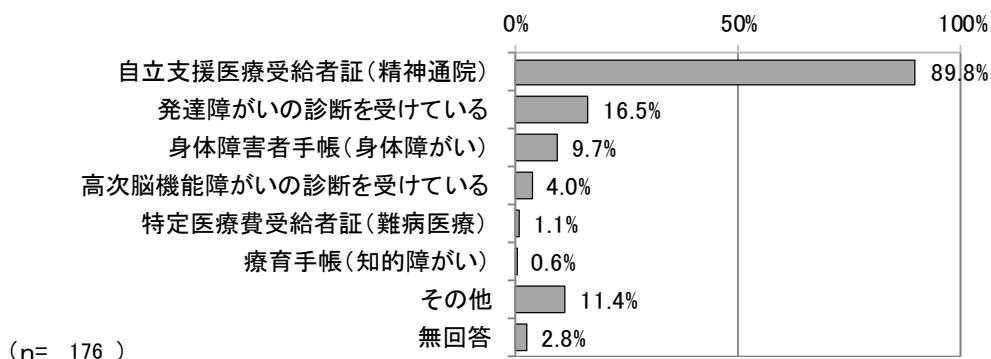
C 【精神障がい】

(7)お持ちの手帳や障がいについて

問7 あなたがお持ちの手帳や障がいについてお答えください。(○はいくつでも)

「自立支援医療受給者証（精神通院）」が89.8%

「自立支援医療受給者証（精神通院）」が89.8%と最も高く、次いで「発達障がいの診断を受けている」が16.5%となっています。

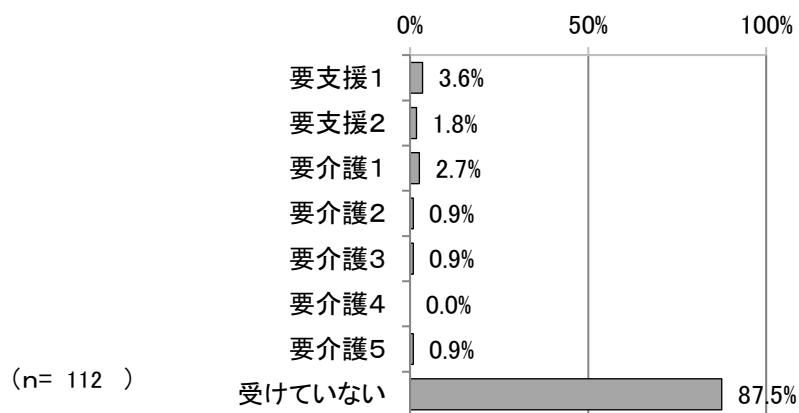


(8)介護保険の認定状況

問8 (40歳以上のみ) あなたは介護保険の認定を受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が87.5%

「受けていない」が87.5%と最も高く、次いで「要支援1」が3.6%となっています。

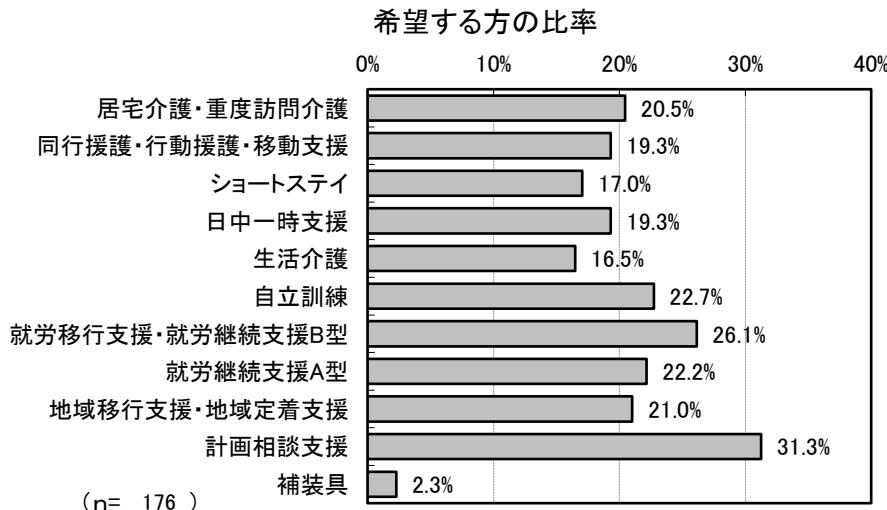


(9)サービスの利用意向

問9 あなたは、新たに利用したいサービスや今後利用を増やしたいサービスはありますか。(増やしたい回数を記載、または選択肢を選んでください)

計画相談支援が31.3%

計画相談支援が31.3%と最も多く、次いで「就労移行支援・就労継続支援B型」となっています。

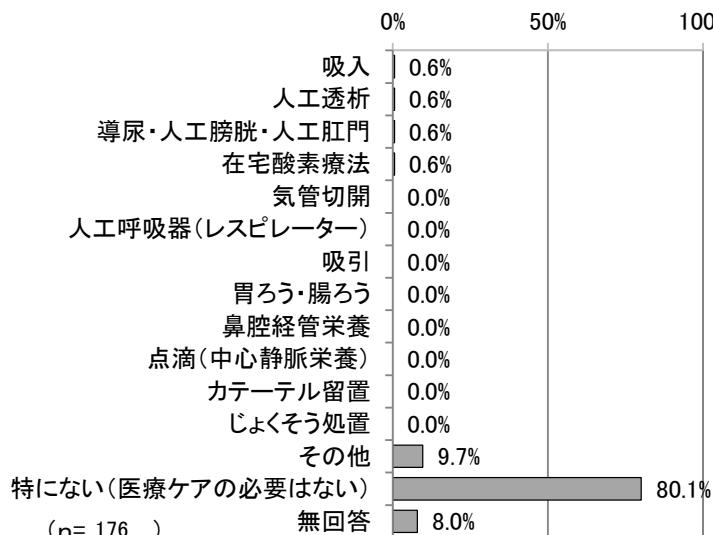


(10)受けている医療的ケア

問10 あなたが現在受けている医療的ケアはどれですか。(○はいくつでも)

「特にない(医療ケアの必要はない)」が80.1%

「特にない(医療ケアの必要はない)」が80.1%と最も高く、次いで「その他」が9.7%となっています。



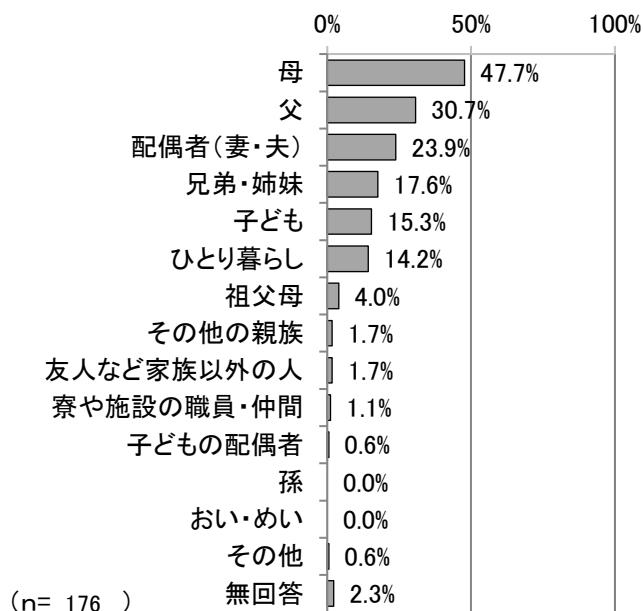
3 住まいや暮らしについて

(1)一緒に暮らしている人

問11 現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

「母」が47.7%

「母」が47.7%と最も高く、次いで「父」が30.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代～70代以上では「配偶者(妻・夫)」が最も高くなっています。

		回答者 数	ひとり 暮らし	配偶者 (妻・ 夫)	子ども	子どもの 配偶者	父	母	祖父母	兄弟・ 姉妹	孫	おい・ めい	その他の 親族	友人な ど家族 以外の 人	療や施 設の職 員・仲 間	その他	無回答
全体	人数	176	25	42	27	1	54	84	7	31	0	0	3	3	2	1	4
	構成比		14.2%	23.9%	15.3%	0.6%	30.7%	47.7%	4.0%	17.6%	0.0%	0.0%	1.7%	1.7%	1.1%	0.6%	2.3%
20代以下	人数	22	0	1	1	0	16	19	3	9	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	72.7%	86.4%	13.6%	40.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	人数	34	3	4	1	0	15	24	4	7	0	0	0	1	1	0	1
	構成比		8.8%	11.8%	2.9%	0.0%	44.1%	70.6%	11.8%	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%
40代	人数	39	6	7	4	0	14	20	0	8	0	0	2	1	0	0	1
	構成比		15.4%	17.9%	10.3%	0.0%	35.9%	51.3%	0.0%	20.5%	0.0%	0.0%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%
50代	人数	38	6	12	10	0	5	12	0	3	0	0	1	1	0	0	1
	構成比		15.8%	31.6%	26.3%	0.0%	13.2%	31.6%	0.0%	7.9%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%
60代	人数	23	4	11	8	1	0	5	0	2	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		17.4%	47.8%	34.8%	4.3%	0.0%	21.7%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
70代以上	人数	12	4	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比		33.3%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	8	2	1	0	0	4	4	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%

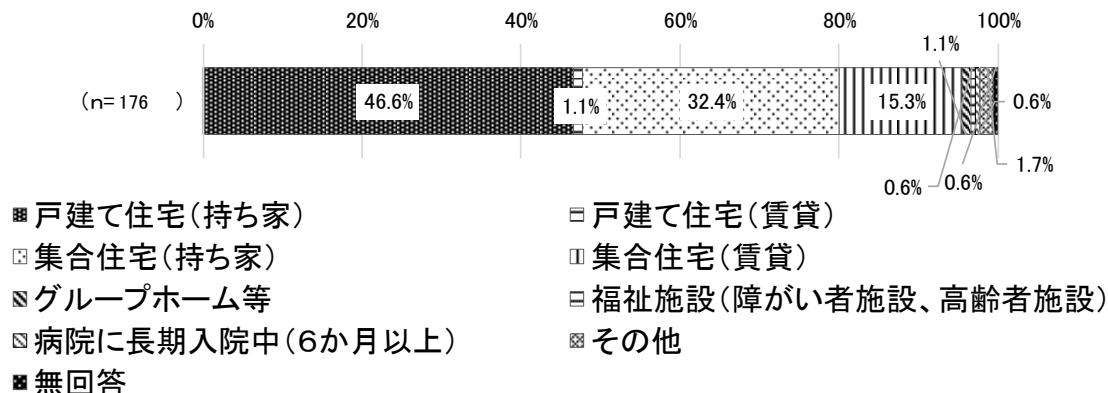
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2)現在の住まい

問12 あなたの現在の住まいはどのようなものですか。(○は1つ)

「戸建て住宅（持ち家）」が46.6%

「戸建て住宅(持ち家)」が46.6%と最も高く、次いで「集合住宅(持ち家)」が32.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代、70代以上では「集合住宅(持ち家)」が最も高くなっています。

		回答者数	戸建て 住宅 (持ち 家)	戸建て 住宅 (賃貸)	集合住 宅(持 ち家)	集合住 宅(賃 貸)	グル ープホー ム等	福 祉施 設(障 がい 者施 設、 高 齢 者 施 設)	病 院に 長 期 入 院 中 (6 か 月 以 上)	その 他	無 回 答
全体	人数	176	82	2	57	27	2	1	1	3	1
	構成比		46.6%	1.1%	32.4%	15.3%	1.1%	0.6%	0.6%	1.7%	0.6%
20代以下	人数	22	15	0	4	3	0	0	0	0	0
	構成比		68.2%	0.0%	18.2%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	人数	34	17	0	11	3	1	0	0	1	1
	構成比		50.0%	0.0%	32.4%	8.8%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%
40代	人数	39	15	0	13	10	0	0	0	1	0
	構成比		38.5%	0.0%	33.3%	25.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
50代	人数	38	14	1	15	6	1	0	0	1	0
	構成比		36.8%	2.6%	39.5%	15.8%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
60代	人数	23	12	0	7	3	0	0	1	0	0
	構成比		52.2%	0.0%	30.4%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	12	4	0	6	1	0	1	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	8	5	1	1	1	0	0	0	0	0
	構成比		62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

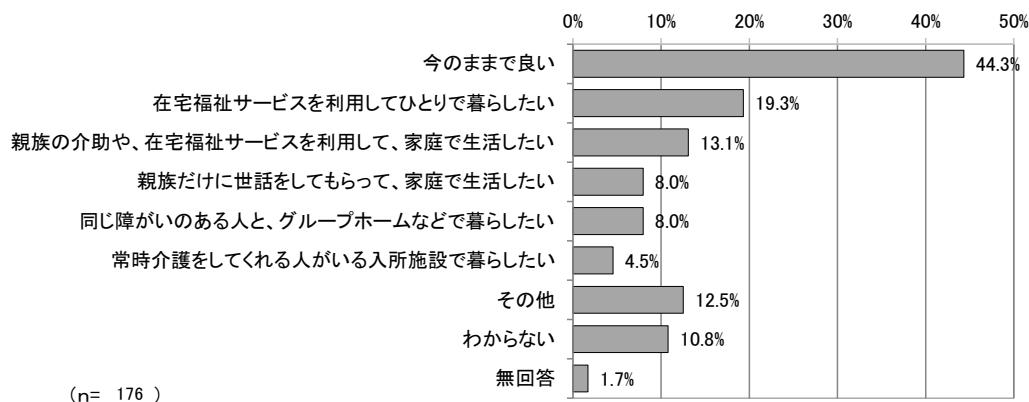
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3) 将来の生活について

問13 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○はいくつでも)

「今まで良い」が44.3%

「今まで良い」が44.3%と最も高く、次いで「在宅福祉サービスを利用してひとりで暮らしたい」が19.3%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	今まで 良い	親族だけに 世話をもらって、家 庭で生活し たい	親族の介助 や、在宅福 祉サービス を利用し て、家庭で 生活したい	在宅福 祉サービス を利用して ひとりで暮 らしたい	同じ障がい のある人 と、グル ープホームな どで暮 らしたい	常時介護を てくれる人 がいる入所 施設で暮 らしたい	その他	わから ない	無回答
全般	人数 構成比	176	78 44.3%	14 8.0%	23 13.1%	34 19.3%	14 8.0%	8 4.5%	22 12.5%	19 10.8%	3 1.7%
20代以下	人数 構成比	22	7 31.8%	1 4.5%	2 9.1%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%
30代	人数 構成比	34	13 38.2%	3 8.8%	1 2.9%	9 26.5%	3 8.8%	0 0.0%	9 26.5%	2 5.9%	2 5.9%
40代	人数 構成比	39	24 61.5%	3 7.7%	5 12.8%	5 12.8%	1 2.6%	0 0.0%	6 15.4%	2 5.1%	0 0.0%
50代	人数 構成比	38	15 39.5%	3 7.9%	8 21.1%	8 21.1%	6 15.8%	2 5.3%	2 5.3%	3 7.9%	0 0.0%
60代	人数 構成比	23	11 47.8%	3 13.0%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%
70代以上	人数 構成比	12	7 58.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%
無回答	人数 構成比	8	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)賃貸住宅を借りられなかつた経験の有無

問14 あなたは過去に賃貸住宅を借りようとして、借りられなかつたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が81.3%

「ない」が81.3%、「ある」が6.3%となっています。



■ 住宅種別

住宅種別では、集合住宅(賃貸)にお住まいの方は「ある」が18.5%と高くなっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	176	11	143	22
	構成比		6.3%	81.3%	12.5%
戸建て住宅(持ち家)	人数	82	2	73	7
	構成比		2.4%	89.0%	8.5%
戸建て住宅(賃貸)	人数	2	0	1	1
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%
集合住宅(持ち家)	人数	57	4	43	10
	構成比		7.0%	75.4%	17.5%
集合住宅(賃貸)	人数	27	5	19	3
	構成比		18.5%	70.4%	11.1%
グループホーム等	人数	2	0	2	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
福祉施設(障がい者施設、高齢者施設)	人数	1	0	1	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
病院に長期入院中(6か月以上)	人数	1	0	1	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
その他	人数	3	0	3	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%

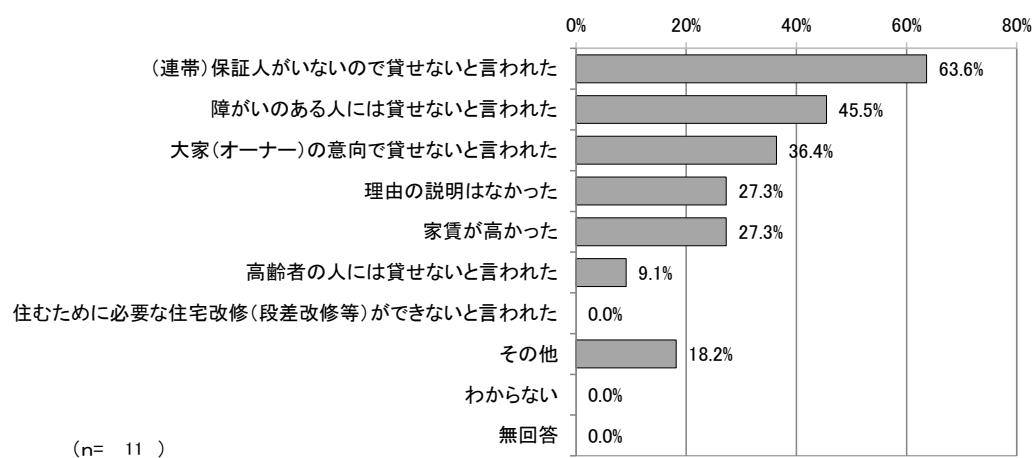
1位:全體が黒で白文字、2位:全體が灰色で太文字

(4-1)賃貸住宅を借りられなかった理由

問14-1 問14で「1」に回答した人のみ。賃貸住宅を借りられなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

「(連帯)保証人がいないので貸せないとと言われた」が
63.6%

「(連帯)保証人がいないので貸せないとと言われた」が63.6%と最も高く、次いで「障がいのある人には貸せないとと言われた」が45.5%となっています。

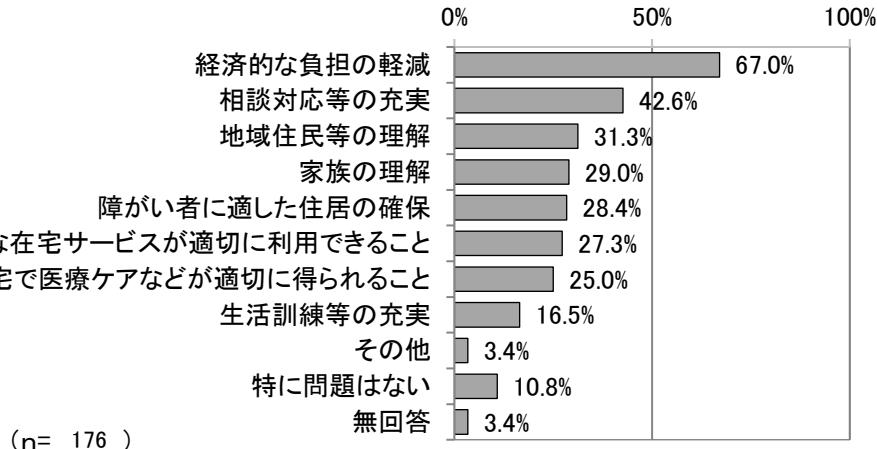


(5)地域で生活するために必要な支援

問15 あなたは、地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(○はいくつでも)

「経済的な負担の軽減」が67.0%

「経済的な負担の軽減」が67.0%と最も高く、次いで「相談対応等の充実」が42.6%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	家族の理解	地域住民等の理解	その他	特に問題はない	無回答
全体	人数	176	44	50	48	29	118	75	51	55	6	19	6
	構成比		25.0%	28.4%	27.3%	16.5%	67.0%	42.6%	29.0%	31.3%	3.4%	10.8%	3.4%
20代以下	人数	22	6	8	5	6	19	10	7	8	0	1	0
	構成比		27.3%	36.4%	22.7%	27.3%	86.4%	45.5%	31.8%	36.4%	0.0%	4.5%	0.0%
30代	人数	34	3	7	6	2	22	16	11	9	1	3	1
	構成比		8.8%	20.6%	17.6%	5.9%	84.7%	47.1%	32.4%	26.5%	2.9%	8.8%	2.9%
40代	人数	39	8	12	10	7	27	19	13	15	3	6	0
	構成比		20.5%	30.8%	25.6%	17.9%	88.2%	48.7%	33.3%	38.5%	7.7%	15.4%	0.0%
50代	人数	38	10	12	12	8	22	12	8	11	1	6	4
	構成比		26.3%	31.6%	31.6%	21.1%	57.9%	31.6%	21.1%	28.9%	2.6%	15.8%	10.5%
60代	人数	23	8	4	5	1	14	8	3	4	1	2	0
	構成比		34.8%	17.4%	21.7%	4.3%	80.9%	34.8%	13.0%	17.4%	4.3%	8.7%	0.0%
70代以上	人数	12	6	3	6	3	7	4	3	3	0	1	1
	構成比		50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	58.3%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%
無回答	人数	8	3	4	4	2	7	6	6	5	0	0	0
	構成比		37.5%	50.0%	50.0%	25.0%	87.5%	75.0%	75.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%

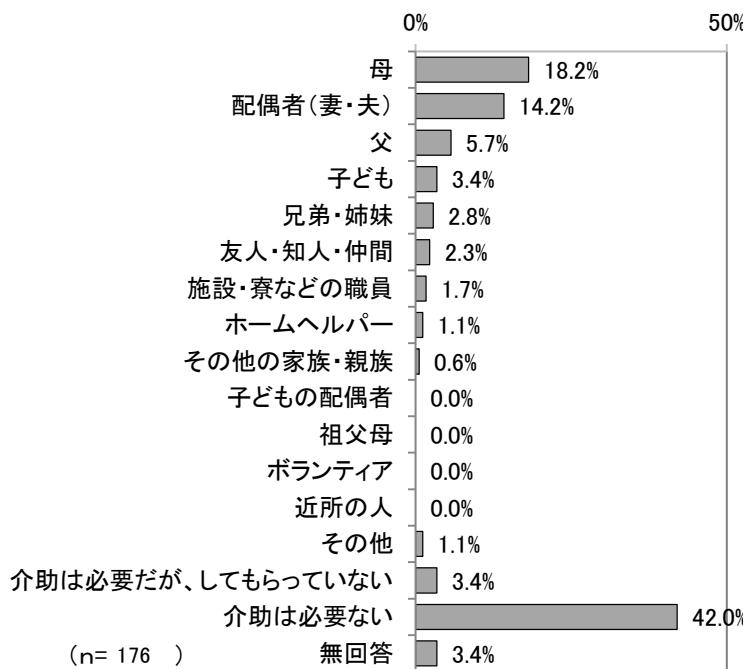
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6)介助者

問16 主に身の回りの介助をどなたにしてもらっていますか。(○は1つ)

「介助は必要ない」が42.0%

「介助は必要ない」が42.0%と最も高く、次いで「母」が18.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、「介護は必要ない」を除くと、40代以下は「母」、50代以上は「配偶者(妻・夫)」が多くなっています。

		回答者 数	配偶者 (妻・ 夫)	父	母	子ども	子どもの配偶者	兄弟・ 姉妹	祖父母	その他の 家族・親族	ホーム ヘル パー	友人・ 知人・ 仲間	ボラン ティア	施設・ 寮などの 職員	近所の 人	その他	介助は 必要だ が、して もらっ ていな い	介助は 必要な い	無回答		
年齢	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
全体		176		25	5.7%	10	18.2%	32	3.4%	6	0.0%	0	2.8%	5	0.0%	1	0.6%	2	1.1%	6	3.4%
20代以下		22		1	4.5%	2	9.1%	8	36.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	45.5%
30代		34		3	8.8%	4	11.8%	9	26.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	38.2%
40代		39		5	12.8%	3	7.7%	8	20.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	46.2%
50代		38		7	18.4%	1	2.6%	6	15.8%	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	39.5%
60代		23		6	26.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%	0	47.8%
70代以上		12		3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	4	33.3%
無回答		8		0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	37.5%

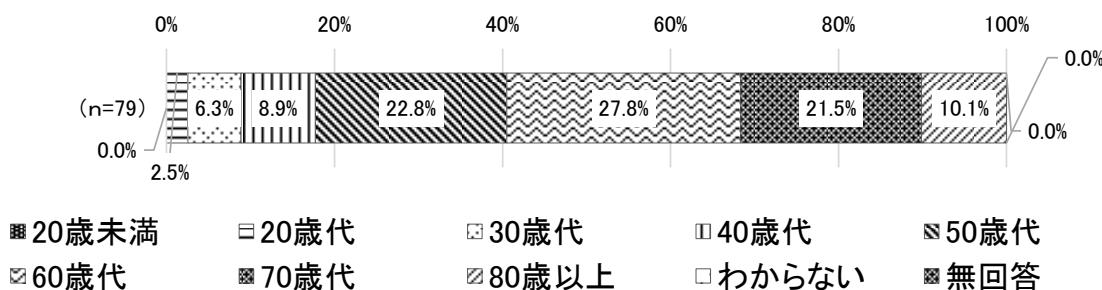
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(6-1)介助者の年齢

問16-1 問16で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

「60歳代」が27.8%

「60歳代」が27.8%と最も高く、次いで「50歳代」が22.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「50歳代」81.8%、40代では「70歳代」35.3%、50代では「80歳以上」29.4%、70代以上では「70歳代」60.0%が最も高くなっています。

		回答者数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体	人数	79	0	2	5	7	18	22	17	8	0	0
	構成比		0.0%	2.5%	6.3%	8.9%	22.8%	27.8%	21.5%	10.1%	0.0%	0.0%
20代以下	人数	11	0	0	0	0	9	2	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	人数	17	0	0	2	1	2	8	4	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	11.8%	47.1%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	17	0	0	1	4	1	2	6	3	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	5.9%	11.8%	35.3%	17.6%	0.0%	0.0%
50代	人数	17	0	2	0	1	4	3	2	5	0	0
	構成比		0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	23.5%	17.6%	11.8%	29.4%	0.0%	0.0%
60代	人数	9	0	0	1	0	0	7	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	5	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

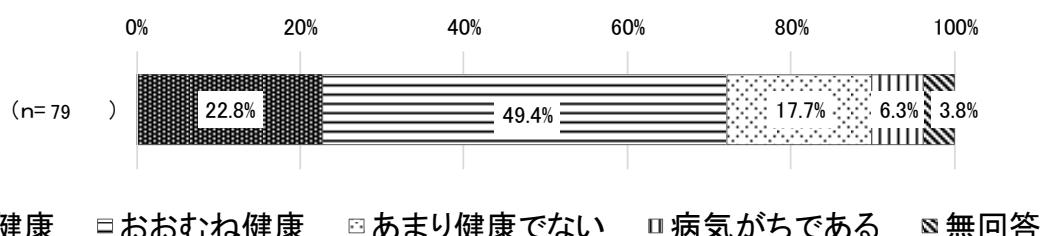
C 【精神障がい】

(6-2)介助者の健康状態

問16-2 問16で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。主にあなたの身の回りの介助をしている人の健康状態をお答えください。(○は1つ)

「おおむね健康」が49.4%

「おおむね健康」が49.4%と最も高く、次いで「健康」が22.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、60代では「健康」が33.3%と最も高くなっています。

		回答者数	健康	おおむね健康	あまり健康でない	病気がちである	無回答
全体	人数	79	18	39	14	5	3
	構成比		22.8%	49.4%	17.7%	6.3%	3.8%
20代以下	人数	11	2	7	2	0	0
	構成比		18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%
30代	人数	17	6	8	3	0	0
	構成比		35.3%	47.1%	17.6%	0.0%	0.0%
40代	人数	17	2	9	4	0	2
	構成比		11.8%	52.9%	23.5%	0.0%	11.8%
50代	人数	17	4	9	2	2	0
	構成比		23.5%	52.9%	11.8%	11.8%	0.0%
60代	人数	9	3	3	0	2	1
	構成比		33.3%	33.3%	0.0%	22.2%	11.1%
70代以上	人数	5	1	3	1	0	0
	構成比		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	2	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

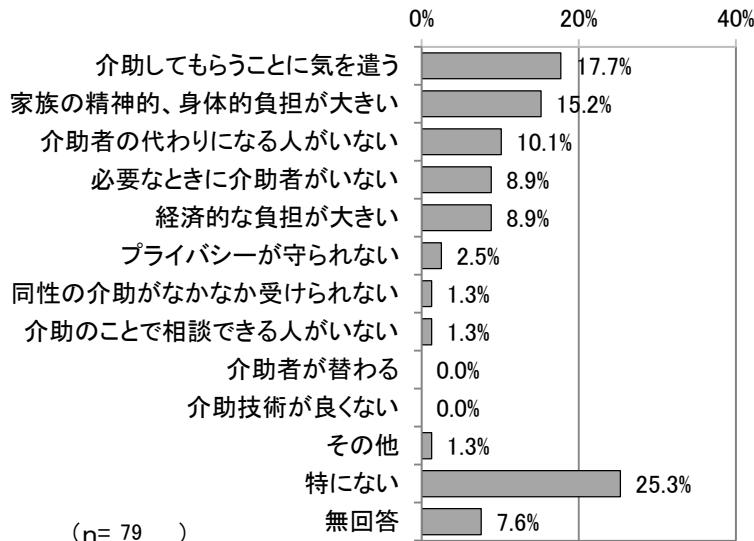
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(6-3)介助を受ける上で問題となっていること

問16-3 問16で「1」～「8」のいずれかに回答した人のみ。介助を受ける上で問題となっていることはありますか。(○は1つ)

「特がない」が25.3%

「特がない」が25.3%と最も高く、次いで「介助してもらうことに気を遣う」が17.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「介助してもらうことに気を遣う」17.6%、「必要なときに介助者がいない」17.6%、60代、70代以上では「介助してもらうことに気を遣う」が最も高くなっています。

		回答者数	介助してもらうことに気を遣う	必要なときに介助者がいない	介助者が替わる	プライバシーが守られない	同性の介助がなかなか受けられない	介助技術が良くない	介助者の代わりになる人がいない	介助のことで相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	家族の精神的、身体的負担が大きい	その他	特がない	無回答
全体	人数 構成比	79 14 17.7%	14 7 8.9%	0 0 0.0%	2 0 0.0%	1 0 1.3%	0 0 0.0%	8 1 10.1%	1 1 1.3%	7 8.9% 15.2%	12 9.1% 1.3%	1 1.3% 25.3%	1 1.3% 7.6%	20 25.3%	6 9.1%
20代以下	人数 構成比	11 9.1%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	1 9.1%
30代	人数 構成比	17 11.8%	2 5.9%	1 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.8%	1 5.9%	1 47.1%	8 0.0%	0 0.0%
40代	人数 構成比	17 17.6%	3 17.6%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	1 17.6%	3 0.0%
50代	人数 構成比	17 11.8%	2 11.8%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 29.4%	0 0.0%
60代	人数 構成比	9 33.3%	3 11.1%	1 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
70代以上	人数 構成比	5 40.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 0.0%	0 0.0%
無回答	人数 構成比	3 33.3%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

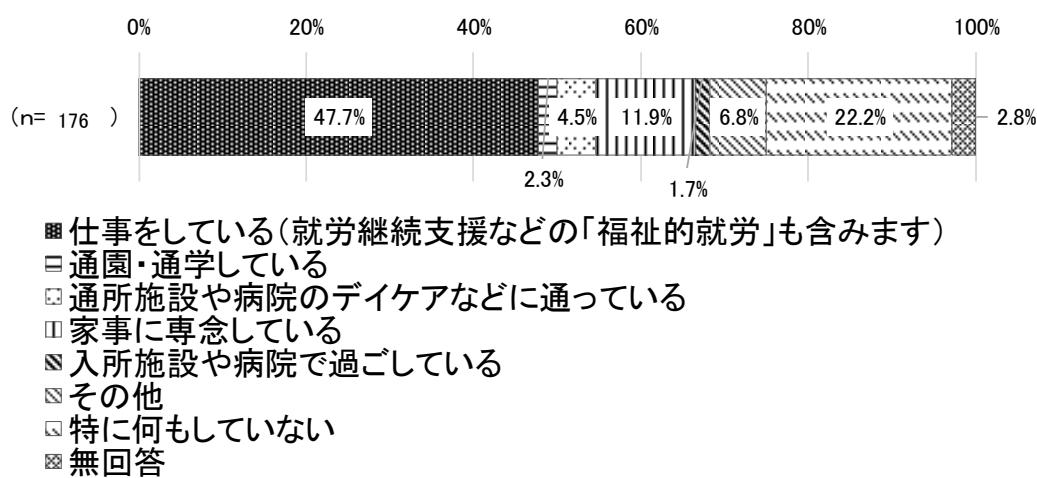
4 日頃の活動状況について

(1)普段の活動

問17 あなたは普段、主にどのような活動をしていますか。(○は1つ)

「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が47.7%

「仕事をしている(就労継続支援などの「福祉的就労」も含みます)」が47.7%と最も高く、次いで「特に何もしていない」が22.2%となっています。

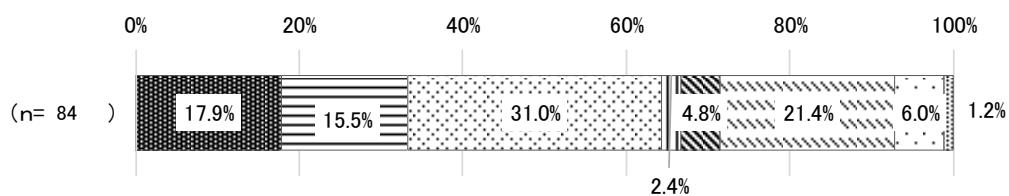


(1-1)現在の仕事

問17-1 問17で「1」に回答した人のみ。あなたは、現在どのような仕事についていますか。(○は1つ)

「特例子会社または障がい者雇用で働いている」が31.0%

「特例子会社または障がい者雇用で働いている」が31.0%と最も高く、次いで「就労継続支援B型などの福祉的就労をしている」が21.4%となっています。



- 一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)
- 一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)
- 特例子会社または障がい者雇用で働いている
- 自宅で仕事をしている
- 就労継続支援A型で就労をしている
- 就労継続支援B型などの福祉的就労をしている
- その他
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)」「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」、60代では「一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)」、70代以上では「一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)」が最も高くなっています。

		回答者数	一般の会社等に常勤で就労している(障がい者雇用ではない)	一般の会社等でパート・アルバイトとして働いている(障がい者雇用ではない)	特例子会社または障がい者雇用で働いている	自宅で仕事をしている	就労継続支援A型で就労をしている	就労継続支援B型などの福祉的就労をしている	その他	無回答
全体	人数	84	15	13	26	2	4	18	5	1
	構成比		17.9%	15.5%	31.0%	2.4%	4.8%	21.4%	6.0%	1.2%
20代以下	人数	12	3	3	3	1	0	1	1	0
	構成比		25.0%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%
30代	人数	17	2	2	7	0	1	4	1	0
	構成比		11.8%	11.8%	41.2%	0.0%	5.9%	23.5%	5.9%	0.0%
40代	人数	22	5	2	6	0	2	5	2	0
	構成比		22.7%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	22.7%	9.1%	0.0%
50代	人数	18	1	2	7	1	1	5	0	1
	構成比		5.6%	11.1%	38.9%	5.6%	5.6%	27.8%	0.0%	5.6%
60代	人数	10	2	4	3	0	0	1	0	0
	構成比		20.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	3	2	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	2	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

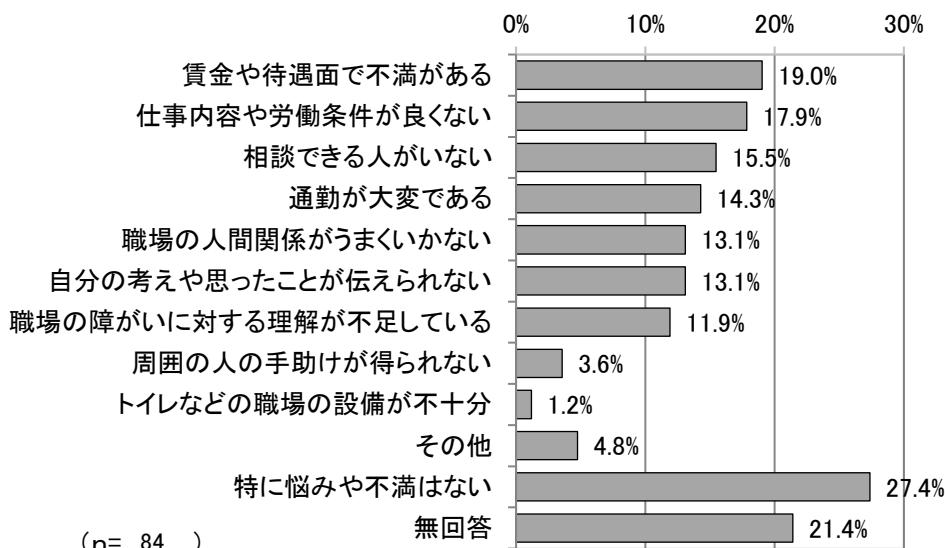
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(1-2) 現在の仕事についての悩み

問17-2 問17で「1」に回答した人のみ。現在の仕事について、悩みや不安、不満などはありますか。(○はいくつでも)

「特に悩みや不満はない」が27.4%

「特に悩みや不満はない」が27.4%と最も高く、次いで「賃金や待遇面で不満がある」が19.0%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、20代以下では「仕事内容や労働条件が良くない」33.3%、「賃金や待遇面で不満がある」33.3%、50代では「仕事内容や労働条件が良くない」22.2%、「職場の人間関係がうまくいかない」22.2%、「賃金や待遇面で不満がある」22.2%、70代以上では「仕事内容や労働条件が良くない」66.7%、「相談できる人がいない」66.7%が最も高くなっています。

		回答者数	仕事内容や労働条件が良くない	職場の障がいに対する理解が不足している	職場の人間関係がうまくいかない	通勤が大変である	トイレなどの職場の設備が不十分	賃金や待遇面で不満がある	周囲の人の手助けが得られない	自分の考えや思ったことが伝えられない	相談できる人がいない	その他	特に悩みや不満はない	無回答
全体	人数	84	15	10	11	12	1	16	3	11	13	4	23	18
	構成比		17.9%	11.9%	13.1%	14.3%	1.2%	19.0%	3.6%	13.1%	15.5%	4.8%	27.4%	21.4%
20代以下	人数	12	4	2	2	1	0	4	2	3	3	0	4	1
	構成比		33.3%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	33.3%	16.7%	25.0%	25.0%	0.0%	33.3%	8.3%
30代	人数	17	1	1	2	3	0	2	0	1	0	3	4	3
	構成比		5.9%	5.9%	11.8%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%	23.5%	17.6%
40代	人数	22	1	2	1	3	0	4	0	2	2	1	6	6
	構成比		4.5%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	4.5%	27.3%	27.3%
50代	人数	18	4	2	4	3	0	4	1	3	3	0	3	6
	構成比		22.2%	11.1%	22.2%	16.7%	0.0%	22.2%	5.6%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%
60代	人数	10	3	1	1	0	1	2	0	2	3	0	4	2
	構成比		30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	40.0%	20.0%
70代以上	人数	3	2	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1	0
	構成比		66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

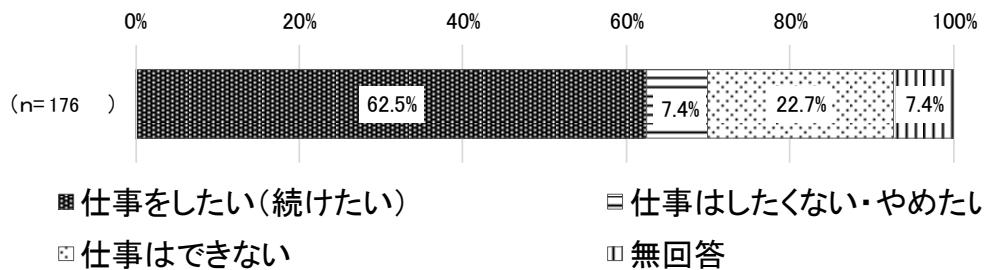
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)仕事に対する意欲

問18 あなたは今後、収入を得る仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（○は1つ）

「仕事をしたい（続けたい）」が 62.5%

「仕事をしたい（続けたい）」が62.5%と最も高く、次いで「仕事はできない」が22.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代以上では「仕事はできない」33.3%、と最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしたい(続けたい)	仕事はしたくない・やめたい	仕事はできない	無回答
全体	人数	176	110	13	40	13
	構成比		62.5%	7.4%	22.7%	7.4%
20代以下	人数	22	18	3	0	1
	構成比		81.8%	13.6%	0.0%	4.5%
30代	人数	34	23	1	8	2
	構成比		67.6%	2.9%	23.5%	5.9%
40代	人数	39	31	0	6	2
	構成比		79.5%	0.0%	15.4%	5.1%
50代	人数	38	18	5	11	4
	構成比		47.4%	13.2%	28.9%	10.5%
60代	人数	23	14	1	8	0
	構成比		60.9%	4.3%	34.8%	0.0%
70代以上	人数	12	2	3	4	3
	構成比		16.7%	25.0%	33.3%	25.0%
無回答	人数	8	4	0	3	1
	構成比		50.0%	0.0%	37.5%	12.5%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、1級では「仕事はできない」46.7%が最も高くなっています。

		回答者数	仕事をしたい(続けたい)	仕事はしたくない・やめたい	仕事はできない	無回答
全体	人数	176	110	13	40	13
	構成比		62.5%	7.4%	22.7%	7.4%
1級	人数	15	5	2	7	1
	構成比		33.3%	13.3%	46.7%	6.7%
2級	人数	109	67	6	28	8
	構成比		61.5%	5.5%	25.7%	7.3%
3級	人数	47	35	5	5	2
	構成比		74.5%	10.6%	10.6%	4.3%
無回答	人数	5	3	0	0	2
	構成比		60.0%	0.0%	0.0%	40.0%

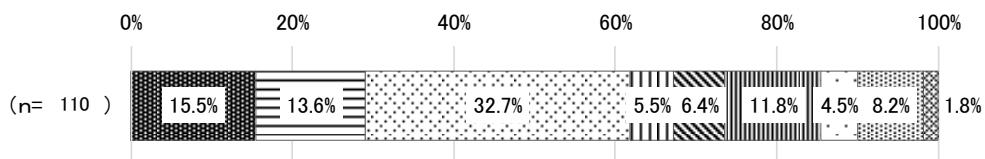
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2-1) 希望する就労形態

問18-1 問18で「1」に回答した人のみ。今後は、どのような形で働きたいですか。(○は1つ)

「特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が32.7%

「特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい」が32.7%と最も高く、次いで「一般の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)」が15.5%となっています。



- 一般的の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)
- 一般的の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)
- 特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい
- (引き続き)自宅で仕事をしたい
- 就労継続支援A型で(引き続き)就労をしたい
- 就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい
- その他
- わからない
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、60代では「一般的の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)」35.7%、70代以上では「一般的の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)」50.0%、「一般的の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	一般的の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)	一般的の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)	特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい	(引き続き)自宅で仕事をしたい	就労継続支援A型で(引き続き)就労をしたい	就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい	その他	わからない	無回答
全体	人数	110	17	15	36	6	7	13	5	9	2
	構成比		15.5%	13.6%	32.7%	5.5%	6.4%	11.8%	4.5%	8.2%	1.8%
20代以下	人数	18	3	3	5	2	1	1	1	1	1
	構成比		16.7%	16.7%	27.8%	11.1%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%
30代	人数	23	4	2	9	1	3	1	1	2	0
	構成比		17.4%	8.7%	39.1%	4.3%	13.0%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%
40代	人数	31	6	2	11	0	2	6	2	2	0
	構成比		19.4%	6.5%	35.5%	0.0%	6.5%	19.4%	6.5%	6.5%	0.0%
50代	人数	18	2	2	6	1	1	4	0	2	0
	構成比		11.1%	11.1%	33.3%	5.6%	5.6%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
60代	人数	14	1	5	4	2	0	0	1	0	1
	構成比		7.1%	35.7%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%
70代以上	人数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	4	0	0	1	0	0	1	0	2	0
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、1級では「就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい」60.0%が最も高くなっています。

		回答者数	一般的の会社等に常勤で(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)	一般の会社等でパート・アルバイトとして(引き続き)働きたい(障がい者雇用ではない)	特例子会社または障がい者雇用で(引き続き)働きたい	(引き続き)自宅で仕事をしたい	就労継続支援A型で(引き続き)就労をしたい	就労継続支援B型などの福祉的就労を(引き続き)したい	その他	わからない	無回答
全体	人数	110	17	15	36	6	7	13	5	9	2
	構成比		15.5%	13.6%	32.7%	5.5%	6.4%	11.8%	4.5%	8.2%	1.8%
1級	人数	5	0	0	0	0	0	3	1	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
2級	人数	67	6	8	22	5	7	9	3	6	1
	構成比		9.0%	11.9%	32.8%	7.5%	10.4%	13.4%	4.5%	9.0%	1.5%
3級	人数	35	11	5	14	1	0	1	1	1	1
	構成比		31.4%	14.3%	40.0%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
無回答	人数	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

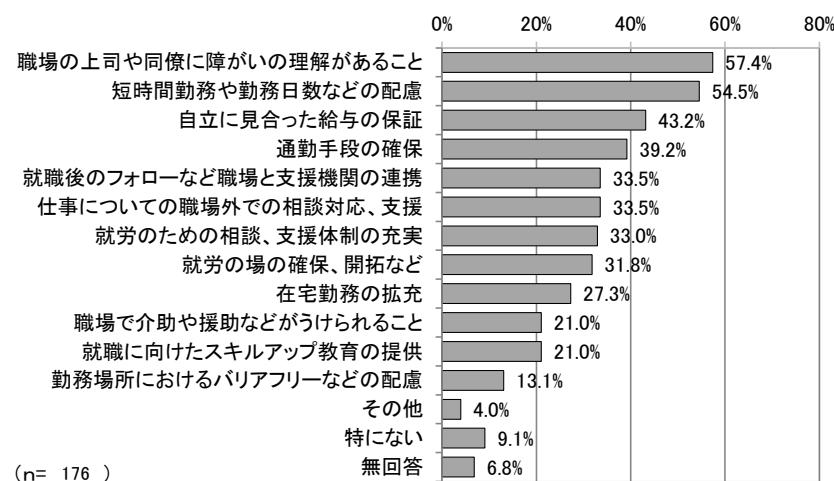
C 【精神障がい】

(3) 障がいのある人への就労支援として必要なこと

問19 あなたは、障がいのある人への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

**「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が
57.4%**

「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が57.4%と最も高く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が54.5%となっています。



■ 等級別

等級別では、2級では「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が最も高くなっています。

		回答者数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助などが受けられること	在宅勤務の拡充	自立に見合った給与の保証	就労のための相談、支援体制の充実	就職後のフォローなど職場と支援機関の連携	仕事についての職場外での相談対応、支援	就職に向けたスキルアップ教育の提供	就労の場の確保、開拓など	その他	特にない	無回答
全体	人数	176	69	23	96	101	37	48	76	58	59	59	37	56	7	16	12
	構成比		39.2%	13.1%	54.5%	57.4%	21.0%	27.3%	43.2%	33.0%	33.5%	33.5%	21.0%	31.8%	4.0%	9.1%	6.8%
1級	人数	15	4	2	6	9	5	4	5	7	4	4	4	5	0	2	2
	構成比		26.7%	13.3%	40.0%	60.0%	33.3%	26.7%	33.3%	46.7%	26.7%	26.7%	26.7%	33.3%	0.0%	13.3%	13.3%
2級	人数	109	47	11	64	61	23	28	45	31	35	36	16	30	6	8	7
	構成比		43.1%	10.1%	58.7%	56.0%	21.1%	25.7%	41.3%	28.4%	32.1%	33.0%	14.7%	27.5%	5.5%	7.3%	6.4%
3級	人数	47	17	10	26	30	8	16	25	19	19	18	16	19	1	5	1
	構成比		36.2%	21.3%	55.3%	63.8%	17.0%	34.0%	53.2%	40.4%	40.4%	38.3%	34.0%	40.4%	2.1%	10.6%	2.1%
無回答	人数	5	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	2
	構成比		20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

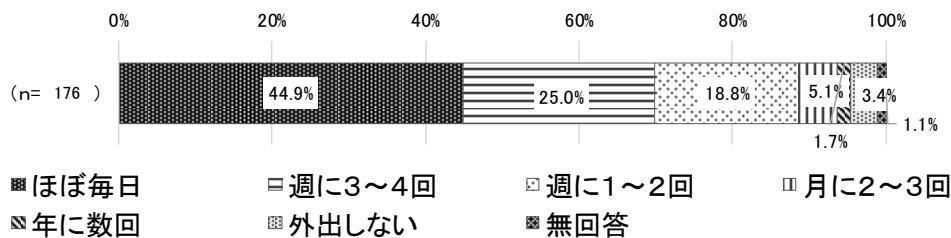
5 外出・活動等について

(1)外出頻度

問20 あなたは、日常どのくらい外出していますか（通勤・通学や通所を含む）。（○は1つ）

「ほぼ毎日」が44.9%

「ほぼ毎日」が44.9%と最も高く、次いで「週に3～4回」が25.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代以上では「週に3～4回」41.7%と最も高くなっています。

		回答者数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	年に数回	外出しない	無回答
全体	人数	176	79	44	33	9	3	6
	構成比		44.9%	25.0%	18.8%	5.1%	1.7%	3.4%
20代以下	人数	22	13	5	3	1	0	0
	構成比		59.1%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%
30代	人数	34	13	10	7	2	1	0
	構成比		38.2%	29.4%	20.6%	5.9%	2.9%	2.9%
40代	人数	39	25	4	6	0	1	2
	構成比		64.1%	10.3%	15.4%	0.0%	2.6%	5.1%
50代	人数	38	13	10	8	4	1	2
	構成比		34.2%	26.3%	21.1%	10.5%	2.6%	5.3%
60代	人数	23	10	7	4	1	0	1
	構成比		43.5%	30.4%	17.4%	4.3%	0.0%	4.3%
70代以上	人数	12	2	5	4	0	0	0
	構成比		16.7%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%
無回答		8	3	3	1	1	0	0
			37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%

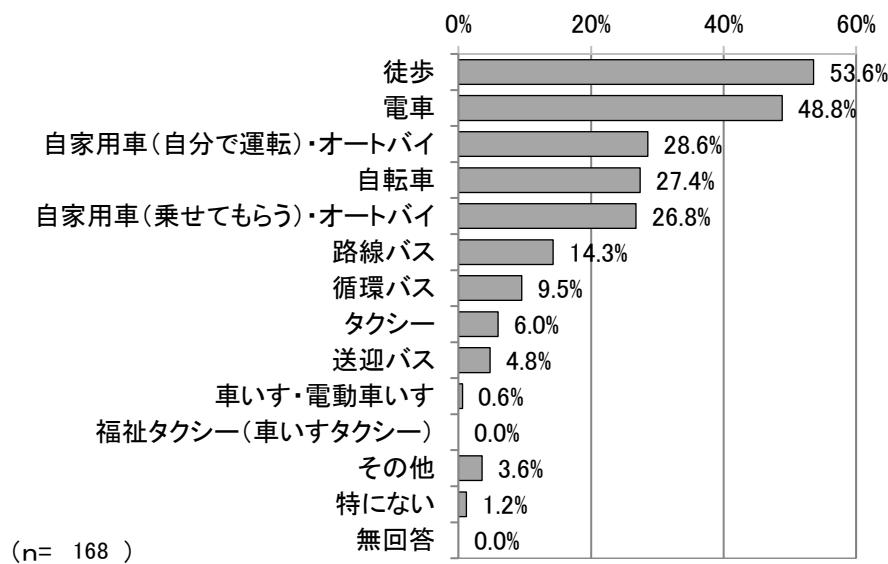
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-1)外出時の交通手段

問20-1 問20で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あなたが外出する時の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

「歩く」が53.6%

「歩く」が53.6%と最も高く、次いで「電車」が48.8%となっています。



■ 等級別

等級別では、3級では「電車」51.1%と最も高くなっています。

		回答者数	自家用車 (自分で 運転) ・ オートバ イ	自家用車 (乗せ て もら う) ・ オートバ イ	歩く	自転車	車いす・ 電動車い す	タクシー	福祉タク シー(車 いすタク シー)	電車	路線バス	循環バス	送迎バス	その他	特にない	無回答
全体	人数	168	48	45	90	46	1	10	0	82	24	16	8	6	2	0
	構成比		28.6%	26.8%	53.6%	27.4%	0.6%	6.0%	0.0%	48.8%	14.3%	9.5%	4.8%	3.6%	1.2%	0.0%
1級	人数	12	1	6	7	3	0	1	0	5	1	1	2	0	0	0
	構成比		8.3%	50.0%	58.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	41.7%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2級	人数	106	29	27	57	31	0	4	0	51	14	10	3	5	1	0
	構成比		27.4%	25.5%	53.8%	29.2%	0.0%	3.8%	0.0%	48.1%	13.2%	9.4%	2.8%	4.7%	0.9%	0.0%
3級	人数	45	17	12	21	11	0	3	0	23	6	3	1	0	1	0
	構成比		37.8%	26.7%	46.7%	24.4%	0.0%	6.7%	0.0%	51.1%	13.3%	6.7%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%
無回答	人数	5	1	0	5	1	1	2	0	3	3	2	2	1	0	0
	構成比		20.0%	0.0%	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%

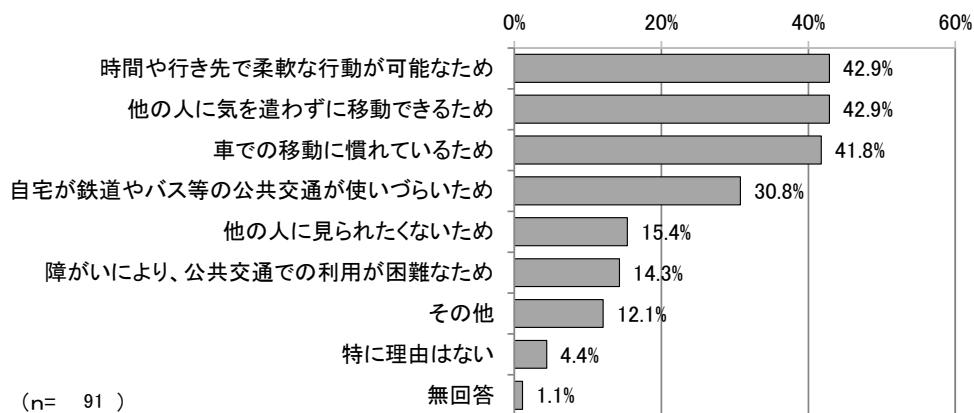
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-2)車で移動する理由

問20-2 問20-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動する理由は何ですか。(○はいくつでも)

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」
「他の人に気を遣わずに移動できるため」が各々42.9%

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」「他の人に気を遣わずに移動できるため」が各々42.9%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代、70代以上では「車での移動に慣れているため」が最も高くなっています。

		回答者数	障がいにより、公共交通での利用が困難なため	自宅が鉄道やバス等の公共交通が使いづらいため	時間や行き先で柔軟な行動が可能なため	他の人に気を遣わずに移動できるため	他の人に見られたくないため	車での移動に慣れているため	その他	特に理由はない	無回答
全体	人数	91	13	28	39	39	14	38	11	4	1
	構成比		14.3%	30.8%	42.9%	42.9%	15.4%	41.8%	12.1%	4.4%	1.1%
20代以下	人数	11	3	3	4	6	4	2	2	1	0
	構成比		27.3%	27.3%	36.4%	54.5%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%
30代	人数	20	3	7	8	10	2	6	2	1	0
	構成比		15.0%	35.0%	40.0%	50.0%	10.0%	30.0%	10.0%	5.0%	0.0%
40代	人数	18	0	4	4	7	2	12	2	1	1
	構成比		0.0%	22.2%	22.2%	38.9%	11.1%	66.7%	11.1%	5.6%	5.6%
50代	人数	17	3	7	8	6	4	4	2	0	0
	構成比		17.6%	41.2%	47.1%	35.3%	23.5%	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%
60代	人数	16	1	3	10	7	1	9	2	1	0
	構成比		6.3%	18.8%	62.5%	43.8%	6.3%	56.3%	12.5%	6.3%	0.0%
70代以上	人数	5	1	2	3	1	0	4	0	0	0
	構成比		20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	4	2	2	2	2	1	1	1	0	0
	構成比		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%

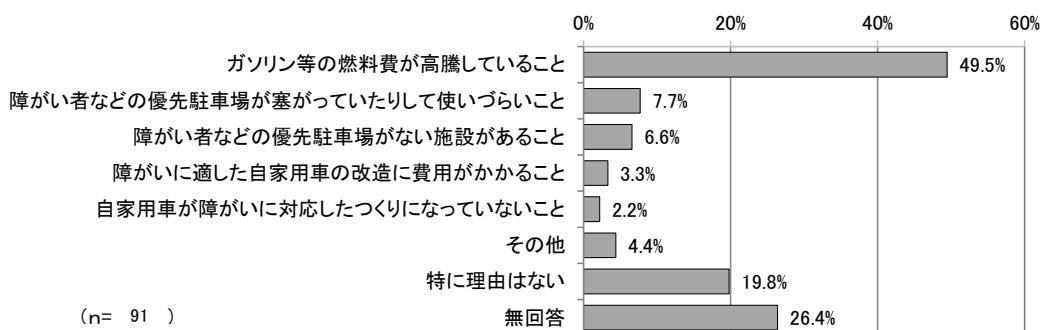
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-3)車の移動で困ったこと

問20-3 問20-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。車で移動するのに困ったことはありますか。(○はいくつでも)

「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が49.5%

「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が49.5%と最も高く、次いで「特に理由はない」が19.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	障がい者などの優先駐車場がない施設があること	障がい者などの優先駐車場が塞がっていたりして使いづらいこと	ガソリン等の燃料費が高騰していること	自家用車が障がいに対応したつくりになっていないこと	障がいに適した自家用車の改造に費用がかかること	その他	特に理由はない	無回答
全体	人数	91	6	7	45	2	3	4	18	24
	構成比		6.6%	7.7%	49.5%	2.2%	3.3%	4.4%	19.8%	26.4%
20代以下	人数	11	0	0	3	0	0	1	2	5
	構成比		0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	45.5%
30代	人数	20	1	0	5	0	1	1	4	8
	構成比		5.0%	0.0%	25.0%	0.0%	5.0%	5.0%	20.0%	40.0%
40代	人数	18	1	1	10	0	0	2	3	4
	構成比		5.6%	5.6%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	16.7%	22.2%
50代	人数	17	2	2	11	2	2	0	4	2
	構成比		11.8%	11.8%	64.7%	11.8%	11.8%	0.0%	23.5%	11.8%
60代	人数	16	1	2	10	0	0	0	3	3
	構成比		6.3%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	18.8%
70代以上	人数	5	0	1	3	0	0	0	1	1
	構成比		0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
無回答	人数	4	1	1	3	0	0	0	1	1
	構成比		25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%

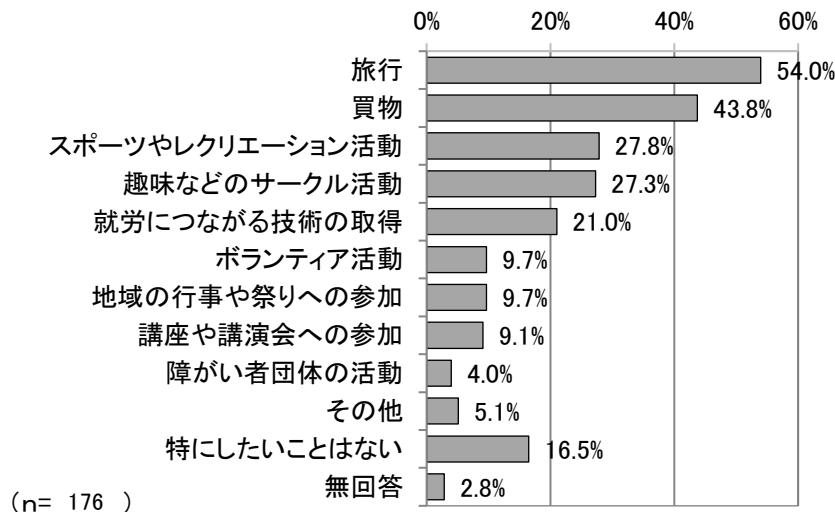
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)今後やりたいこと

問21 あなたは、今後どのようなことをしたいですか。(○はいくつでも)

「旅行」が54.0%

「旅行」が54.0%と最も高く、次いで「買物」が43.8%となっています。



■ 等級別

等級別では、1級では「スポーツやレクリエーション活動」46.7%と最も高くなっています。

		回答者数	スポーツやレクリエーション活動	旅行	買物	ボランティア活動	障がい者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会への参加	地域の行事や祭りへの参加	就労につながる技術の取得	その他	特にしたいことはない	無回答
全体	人数	176	49	95	77	17	7	48	16	17	37	9	29	5
	構成比		27.8%	54.0%	43.8%		9.7%	4.0%	27.3%	9.1%	9.7%	21.0%	5.1%	16.5%
1級	人数	15	7	4	6	1	0	3	0	0	1	1	1	3
	構成比		46.7%	26.7%	40.0%		6.7%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	20.0%
2級	人数	109	28	61	41	11	6	30	12	11	20	6	24	0
	構成比		25.7%	56.0%	37.6%		10.1%	5.5%	27.5%	11.0%	10.1%	18.3%	5.5%	22.0%
3級	人数	47	13	28	27	4	1	15	3	6	15	2	3	2
	構成比		27.7%	59.8%	57.4%		8.5%	2.1%	31.9%	6.4%	12.8%	31.9%	4.3%	6.4%
無回答	人数	5	1	2	3	1	0	0	1	0	1	0	1	0
	構成比		20.0%	40.0%	60.0%		20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%

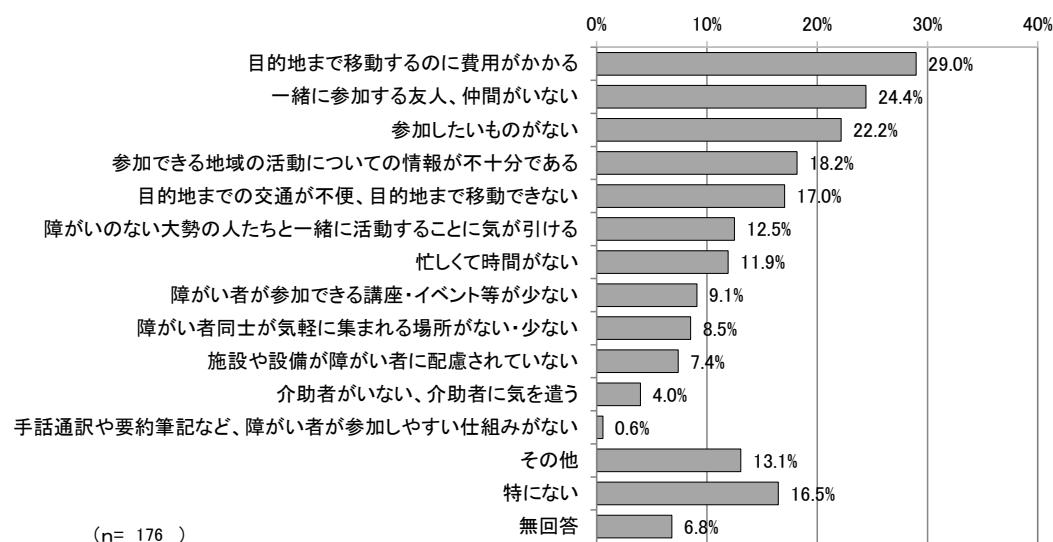
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(3)活動時に困ること

問22 あなたが、上記のような活動をしようとするときに困ること、または、活動を行っていない理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

「目的地まで移動するのに費用がかかる」が29.0%

「目的地まで移動するのに費用がかかる」が29.0%と最も高く、次いで「一緒に参加する友人、仲間がいない」が24.4%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、30代では「一緒に参加する友人、仲間がいない」20.6%、40代では「一緒に参加する友人、仲間がいない」30.8%、70代以上では「特はない」41.7%が最も高くなっています。

		回答者数	施設や設備が障がい者に配慮されていない	目的地までの交通が不便、目的地まで移動できない	目的地まで移動するのに費用がかかる	障がい者が参加できる講座・イベント等が少ない	手話通訳や要約筆記など、障がい者が参加しやすい仕組みがない	障がい者同士が気軽に集まれる場所がない・少ない	障がいのない大勢の人たちと一緒に活動することに気が引ける	介助者がいない、介助者に気を遣う	一緒に参加する友人、仲間がない	参加したいものがない	参加できる地域の活動についての情報が不十分である	忙しくて時間がない	その他	特はない	無回答
全体	人数	176	13	30	51	16	1	15	22	7	43	39	32	21	23	29	12
	構成比		7.4%	17.0%	29.0%	9.1%	0.6%	8.5%	12.5%	4.0%	24.4%	22.2%	18.2%	11.9%	13.1%	16.5%	6.8%
20代以下	人数	22	2	8	13	1	1	2	1	1	8	8	2	5	3	2	1
	構成比		9.1%	38.4%	59.1%	4.5%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	36.4%	36.4%	9.1%	22.7%	13.6%	9.1%	4.5%
30代	人数	34	1	6	4	2	0	2	5	0	7	6	4	2	7	6	2
	構成比		2.9%	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	14.7%	0.0%	20.6%	17.6%	11.8%	5.9%	20.6%	17.6%	5.9%
40代	人数	39	3	1	12	3	0	3	5	2	12	9	11	6	6	7	4
	構成比		7.7%	2.6%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	12.8%	5.1%	30.8%	23.1%	28.2%	15.4%	15.4%	17.9%	10.3%
50代	人数	38	4	5	11	4	0	5	7	3	8	8	7	6	3	9	1
	構成比		10.5%	13.2%	28.9%	10.5%	0.0%	13.2%	18.4%	7.9%	21.1%	18.4%	15.8%	7.9%	23.7%	2.6%	
60代	人数	23	0	4	7	4	0	1	1	0	5	5	6	1	3	0	0
	構成比		0.0%	17.4%	30.4%	17.4%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	21.7%	21.7%	26.1%	4.3%	13.0%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	12	2	3	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5	2	
	構成比		16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	41.7%	16.7%	
無回答	人数	8	1	3	2	2	0	2	3	0	2	2	1	1	1	0	2
	構成比		12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	

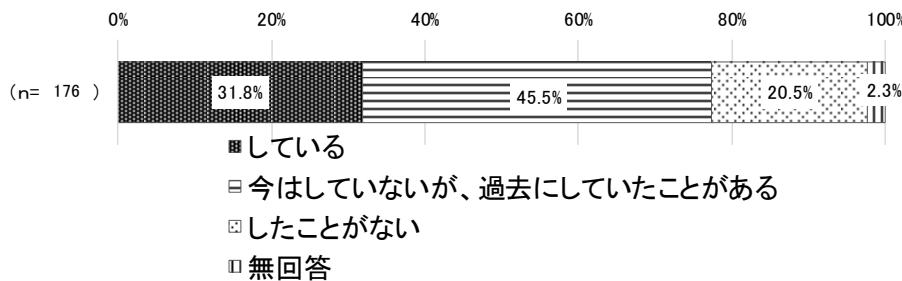
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)スポーツや運動について

問23 あなたは、スポーツや運動（体を動かすこと）をしていますか（○は1つ）。

「今はしていないが、過去にしていたことがある」が
45.5%

「今はしていないが、過去にしていたことがある」が45.5%と最も高く、次いで「している」が31.8%となっています。



■ 等級別

等級別では、1級では「したことがない」33.3%と最も高くなっています。（「今はしていないが、過去にしていたことがある」と同率）

		回答者数	している	今はしていないが、過去にしていたことがある	したことがない	無回答
全体	人数	176	56	80	36	4
	構成比		31.8%	45.5%	20.5%	2.3%
1級	人数	15	4	5	5	1
	構成比		26.7%	33.3%	33.3%	6.7%
2級	人数	109	37	46	24	2
	構成比		33.9%	42.2%	22.0%	1.8%
3級	人数	47	13	27	6	1
	構成比		27.7%	57.4%	12.8%	2.1%
無回答	人数	5	2	2	1	0
	構成比		40.0%	40.0%	20.0%	0.0%

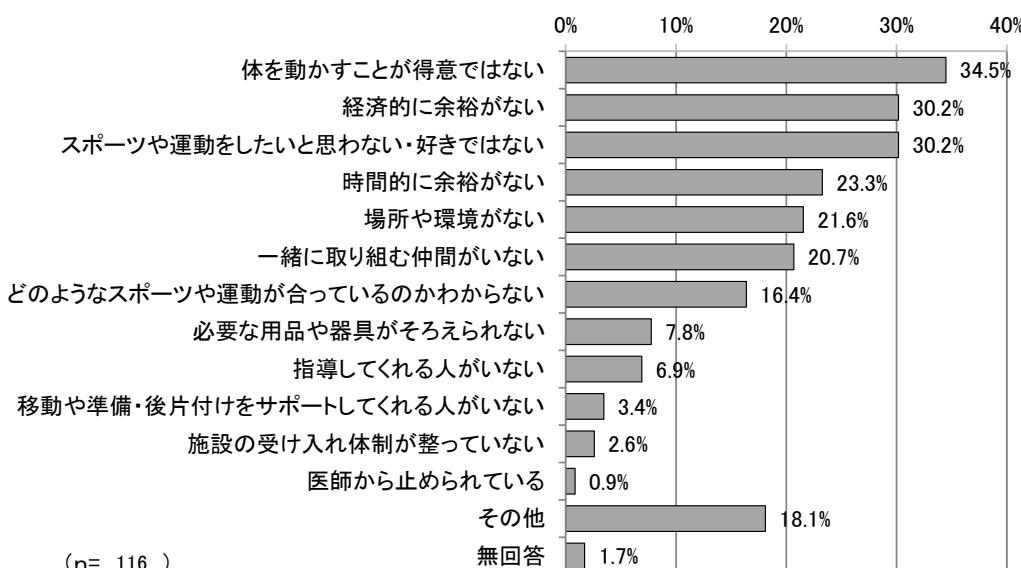
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4-1) スポーツや運動をしていない理由

問23-1 問23で「2」「3」に回答した人のみ。現在、あなたがスポーツや運動をしていない理由をお答えください（○はいくつでも）。

「体を動かすことが得意ではない」が34.5%

「体を動かすことが得意ではない」が34.5%と最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が30.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「場所や環境がない」、30代では「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」、40代では「経済的に余裕がない」、50代では「一緒に取り組む仲間がない」、70代以上では「スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない」が最も高くなっています。

		回答者数	場所や環境がない	必要な用品や器具がそろえられない	施設の受け入れ体制が整っていない	一緒に取り組む仲間がない	移動や準備・後片付けをサポートしてくれる人がいない	指導してくれる人がいない	時間的に余裕がない	経済的に余裕がない	どのようなスポーツや運動が合っているのかわからない	体を動かすことが得意ではない	医師から止められている	スポーツや運動をしたいと思わない・好きではない	その他	無回答
全体	人数	116	25	9	3	24	4	8	27	35	19	40	1	35	21	2
	構成比		21.6%	7.8%	2.6%	20.7%	3.4%	6.9%	23.3%	30.2%	16.4%	34.5%	0.9%	30.2%	18.1%	1.7%
20代以下	人数	17	8	3	1	7	2	3	4	5	4	8	0	6	3	0
	構成比		47.1%	17.6%	5.9%	41.2%	11.8%	17.6%	23.5%	29.4%	23.5%	47.1%	0.0%	35.3%	17.6%	0.0%
30代	人数	22	3	1	0	2	0	1	4	7	4	5	0	10	4	2
	構成比		13.6%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%	4.5%	18.2%	31.8%	18.2%	22.7%	0.0%	45.5%	18.2%	9.1%
40代	人数	22	1	2	1	3	0	0	7	9	1	6	1	2	6	0
	構成比		4.5%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	0.0%	31.8%	40.9%	4.5%	27.3%	4.5%	9.1%	27.3%	0.0%
50代	人数	26	8	3	1	10	2	3	5	7	7	8	0	5	2	0
	構成比		30.8%	11.5%	3.8%	38.5%	7.7%	11.5%	19.2%	26.9%	26.9%	30.8%	0.0%	19.2%	7.7%	0.0%
60代	人数	17	4	0	0	2	0	1	4	4	3	9	0	6	2	0
	構成比		23.5%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	23.5%	23.5%	17.6%	52.9%	0.0%	35.3%	11.8%	0.0%
70代以上	人数	9	1	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	4	3	0
	構成比		11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	44.4%	33.3%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	

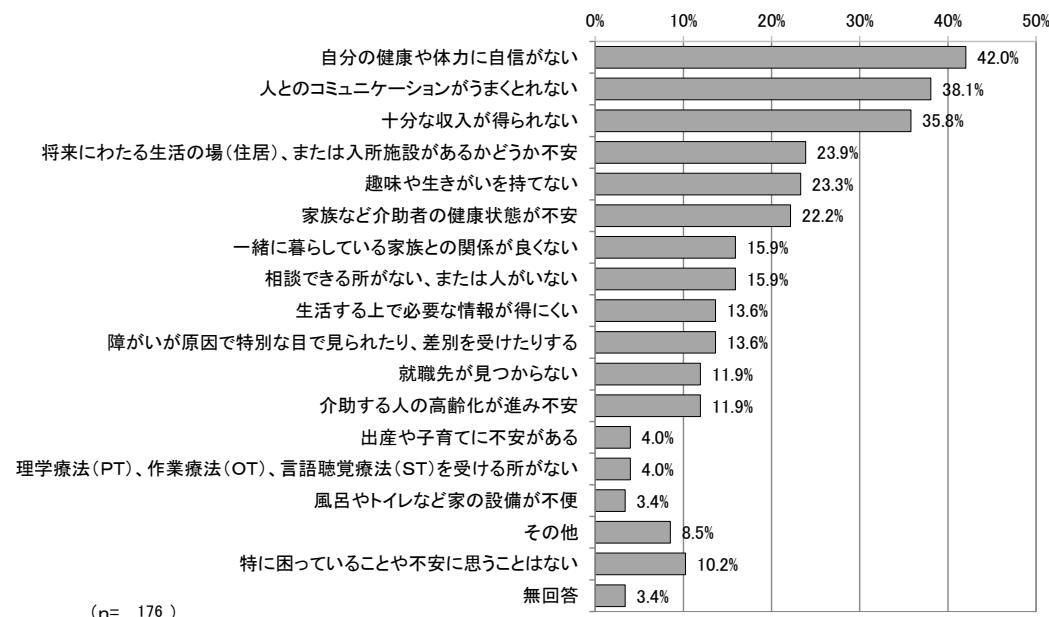
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(5)現在の生活で困っていること

問24 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(○はいくつでも)

「自分の健康や体力に自信がない」が42.0%

「自分の健康や体力に自信がない」が42.0%と最も高く、次いで「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が38.1%となっています。



■ 等級別

等級別では、1級では「人とのコミュニケーションがうまくとれない」46.7%、3級では「十分な収入が得られない」46.8%が最も高くなっています。

		回答者数	一緒に暮らしている家族との関係が良くない	家族など介助者の健康状態が不安	出産や子育てに不安がある	就職先が見つからない	十分な収入が得られない	趣味や生きがいを持てない	生活する上で必要な情報が得にくい	自分の健康や体力に自信がない	人とコミュニケーションがうまくとれない	障がいが原因で特別な目で見られたり、差別を受けたりする	介助する人の高齢化が進み不安	理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)を受ける所がない	風呂やトイレなどの家の設備が不便	将来にわたる生活の場(住居)、または入所施設があるかどうか不安	相談できる所がない、または人がいない	その他	特に困っていることや不安に思うことはない	無回答
全体	人数 構成比	176 15.9%	28 22.2%	39 4.0%	7 11.9%	21 35.8%	63 23.3%	41 13.6%	24 42.0%	74 38.1%	24 13.6%	21 11.9%	7 4.0%	6 3.4%	42 23.9%	42 15.9%	15 8.5%	18 10.2%	6 3.4%	
1級	人数 構成比	15 6.7%	1 33.3%	5 6.7%	1 6.7%	1 13.3%	2 26.7%	4 0.0%	0 46.7%	7 46.7%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	4 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	
2級	人数 構成比	109 17.4%	19 22.9%	25 0.9%	1 12.8%	14 35.8%	39 26.6%	29 11.9%	13 41.3%	45 38.5%	13 11.9%	12 11.0%	3 2.8%	4 3.7%	23 21.1%	17 15.6%	13 11.9%	11 10.1%	2 1.8%	
3級	人数 構成比	47 17.0%	8 19.1%	9 10.6%	5 10.6%	22 46.8%	8 17.0%	11 23.4%	18 38.3%	18 38.3%	9 19.1%	6 12.8%	3 6.4%	2 4.3%	23 27.7%	13 21.3%	10 4.3%	2 10.6%	5 2.1%	
無回答	人数 構成比	5 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

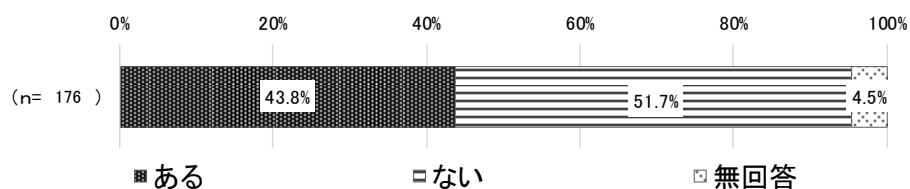
6 差別・権利擁護について

(1)差別を受けた経験の有無

問25 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が51.7%

「ない」が51.7%、「ある」が43.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下、30代、50代では「ある」が高くなっています(50代は「ない」と同率)。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	176	77	91	8
	構成比		43.8%	51.7%	4.5%
20代以下	人数	22	14	8	0
	構成比		63.6%	36.4%	0.0%
30代	人数	34	16	15	3
	構成比		47.1%	44.1%	8.8%
40代	人数	39	17	21	1
	構成比		43.6%	53.8%	2.6%
50代	人数	38	18	18	2
	構成比		47.4%	47.4%	5.3%
60代	人数	23	4	18	1
	構成比		17.4%	78.3%	4.3%
70代以上	人数	12	3	9	0
	構成比		25.0%	75.0%	0.0%
無回答	人数	8	5	2	1
	構成比		62.5%	25.0%	12.5%

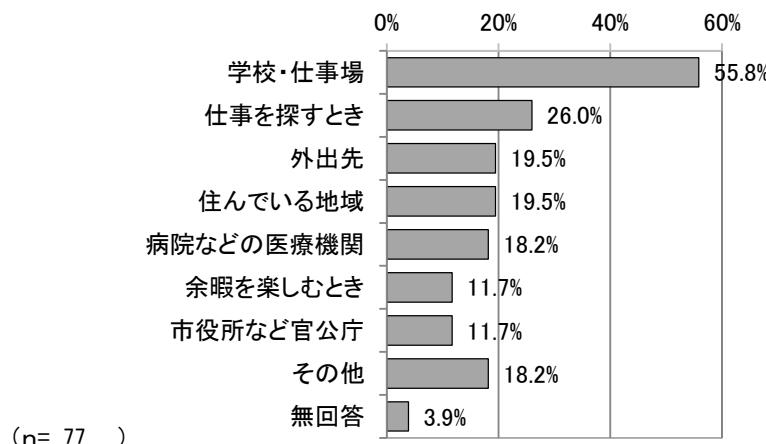
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(1-1)差別を受けた場所

問25-1 問25で「1」に回答した人のみ。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

「学校・仕事場」が55.8%

「学校・仕事場」が55.8%と最も高く、次いで「仕事を探すとき」が26.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では、「学校・仕事場」が85.7%と高い割合であるのが特徴となっています。

		回答者数	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	市役所など官公庁	住んでいる地域	その他	無回答
	人数 構成比										
全体		77	43 55.8%	20 26.0%	15 19.5%	9 11.7%	14 18.2%	9 11.7%	15 19.5%	14 18.2%	3 3.9%
20代以下	人数 構成比	14	12 85.7%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%
30代	人数 構成比	16	9 56.3%	5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%
40代	人数 構成比	17	9 52.9%	4 23.5%	5 29.4%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%
50代	人数 構成比	18	10 55.6%	8 44.4%	4 22.2%	1 5.6%	6 33.3%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	0 0.0%
60代	人数 構成比	4	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%
70代以上	人数 構成比	3	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	人数 構成比	5	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%

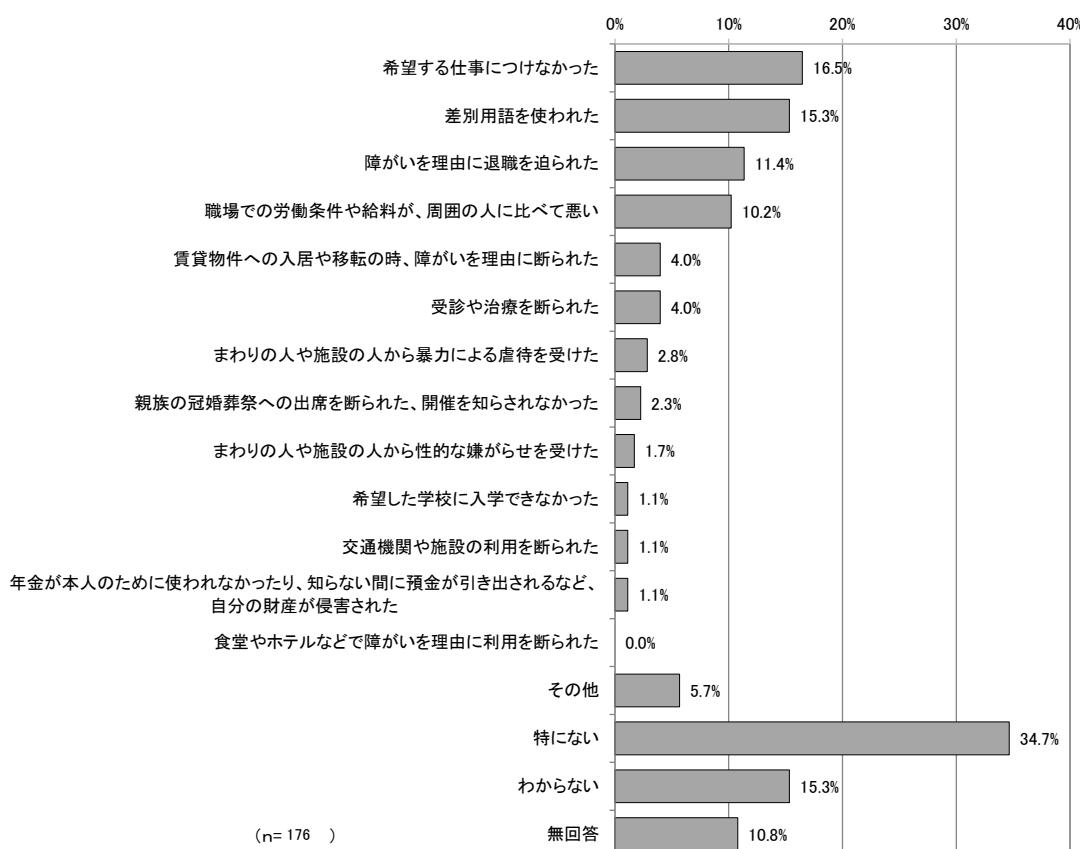
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 障がいがあることが原因で受けた経験

問26 あなたは、日常生活の中で、障がいがあることが原因で、次のような扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が34.7%

「特にない」が34.7%と最も高く、次いで「希望する仕事につけなかった」が16.5%となっています。

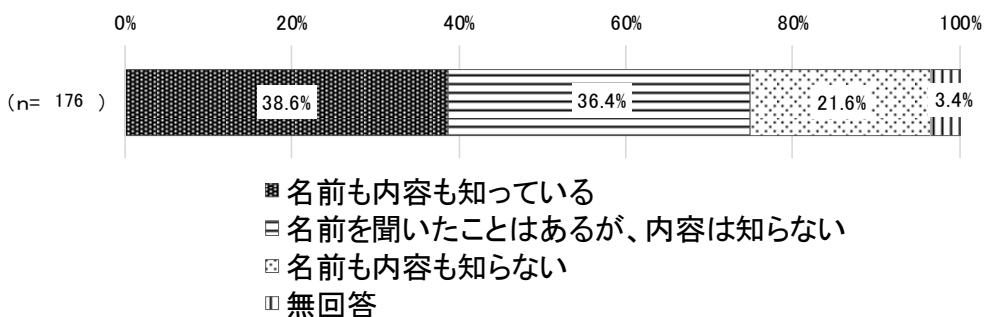


(3)成年後見制度の認知状況

問27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

「名前も内容も知っている」が38.6%

「名前も内容も知っている」が38.6%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が36.4%となっています。

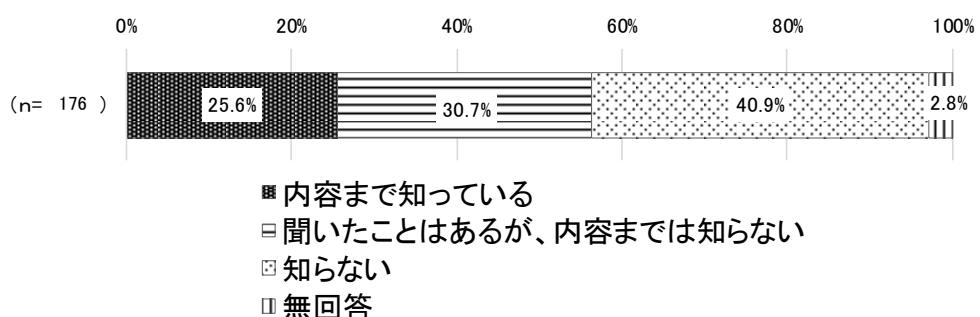


(4)合理的配慮の認知状況

問28 あなたは、「合理的配慮」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が40.9%

「知らない」が40.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が30.7%となっています。



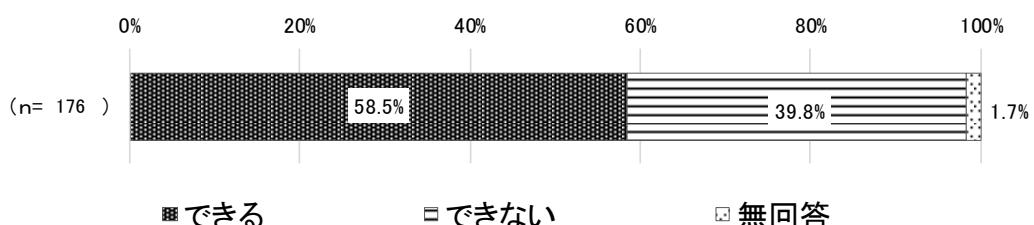
7 災害時の対応について

(1) 災害時の避難について

問29 台風や地震等の災害時でも、自宅で生活が可能であれば、在宅避難が原則となります。在宅避難が難しい場合、あなたは、ひとりで避難（または対処）できますか。（○は1つ）

「できる」が58.5%

「できる」が58.5%、「できない」が39.8%となっています。



■ 等級別

等級別では、1級では「できない」73.3%と最も高くなっています。

		回答者数	できる	できない	無回答
全体	人数	176	103	70	3
	構成比		58.5%	39.8%	1.7%
1級	人数	15	4	11	0
	構成比		26.7%	73.3%	0.0%
2級	人数	109	66	42	1
	構成比		60.6%	38.5%	0.9%
3級	人数	47	31	14	2
	構成比		66.0%	29.8%	4.3%
無回答	人数	5	2	3	0
	構成比		40.0%	60.0%	0.0%

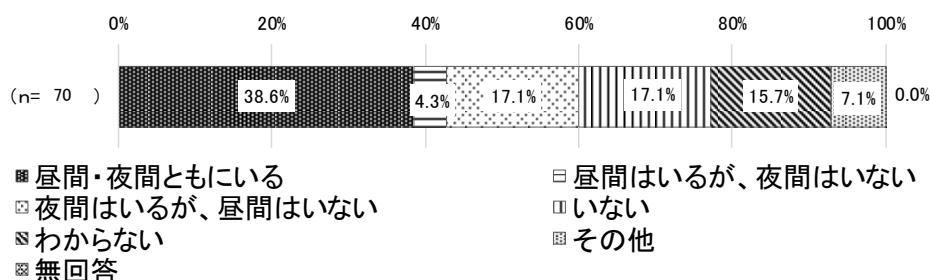
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)災害時に避難の手助けをしてくれる人

問29-1 問29で「2」に回答した人のみ。万一災害が起きた際に、避難の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいますか。(○は1つ)

「昼間・夜間にともにいる」が38.6%

「昼間・夜間にともにいる」が38.6%と最も高く、次いで「夜間はいるが、昼間はいない」が17.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「夜間はいるが、昼間はいない」41.7%、50代では「いない」28.6%が最も高くなっています。

		回答者数	昼間・夜間にともにいる	昼間はいるが、夜間はいない	夜間はいるが、昼間はいない	いない	わからない	その他	無回答
全体	人数	70	27	3	12	12	11	5	0
	構成比		38.6%	4.3%	17.1%	17.1%	15.7%	7.1%	0.0%
20代以下	人数	9	6	0	2	0	1	0	0
	構成比		66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
30代	人数	11	6	0	1	0	3	1	0
	構成比		54.5%	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%
40代	人数	12	2	1	5	2	0	2	0
	構成比		16.7%	8.3%	41.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
50代	人数	14	3	2	3	4	1	1	0
	構成比		21.4%	14.3%	21.4%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%
60代	人数	10	4	0	0	2	3	1	0
	構成比		40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%
70代以上	人数	8	6	0	0	1	1	0	0
	構成比		75.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
無回答	人数	6	0	0	1	3	2	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%

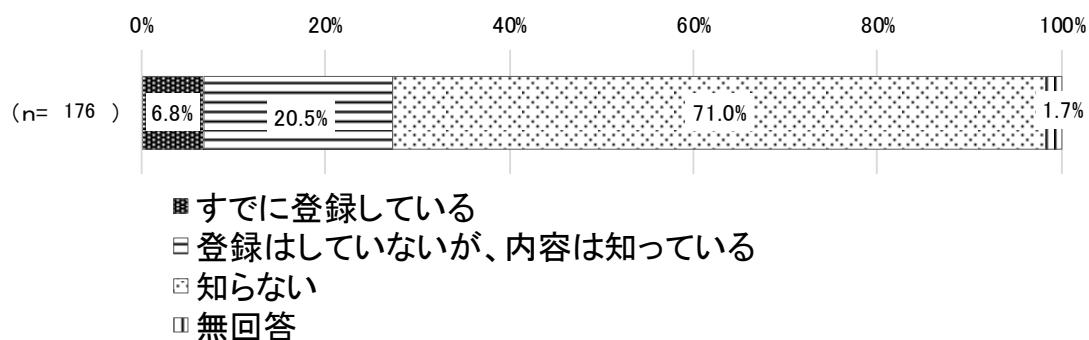
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)災害時避難行動要支援者名簿の認知状況

問30 あなたは、市の「災害時避難行動要支援者名簿」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が71.0%

「知らない」が71.0%と最も高く、次いで「登録はしていないが、内容は知っている」が20.5%となっています。



■ 等級別

等級別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	すでに登録している	登録はしていないが、内容は知っている	知らない	無回答
全体	人数	176	12	36	125	3
	構成比		6.8%	20.5%	71.0%	1.7%
1級	人数	15	1	4	9	1
	構成比		6.7%	26.7%	60.0%	6.7%
2級	人数	109	11	22	75	1
	構成比		10.1%	20.2%	68.8%	0.9%
3級	人数	47	0	9	37	1
	構成比		0.0%	19.1%	78.7%	2.1%
無回答	人数	5	0	1	4	0
	構成比		0.0%	20.0%	80.0%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

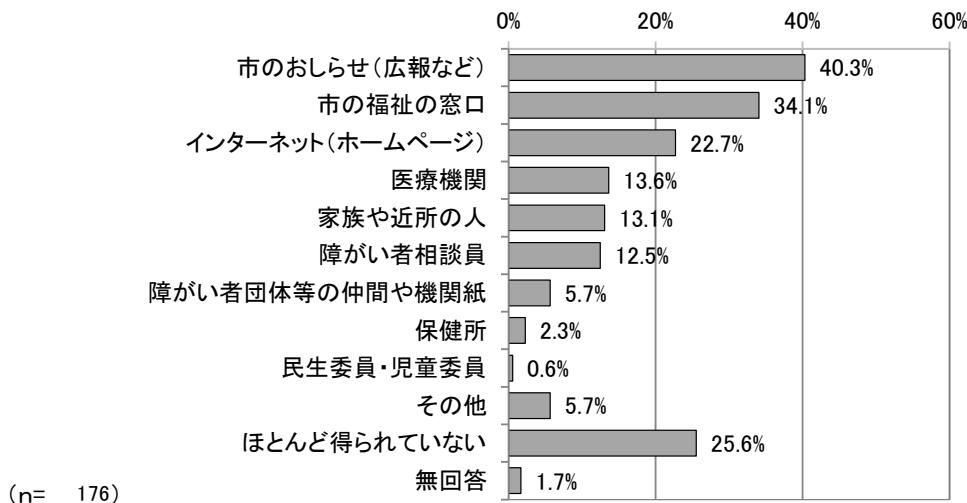
8 保健福祉サービス・施設サービスについて

(1) 障がいのある人に対するサービスについての情報源

問 31 市が行っている障がいのある人に対するサービスや施策についての情報は、どこから得てありますか。(○はいくつでも)

「市のおしらせ（広報など）」が40.3%

「市のおしらせ（広報など）」が40.3%と最も高く、次いで「市の福祉の窓口」が34.1%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「インターネット（ホームページ）」「ほとんど得られていない」が各々32.4%、70代以上では「市の福祉の窓口」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	市のおしらせ（広報など）	市の福祉の窓口	保健所	医療機関	インターネット（ホームページ）	民生委員・児童委員	障がい者相談員	障がい者団体等の仲間や機関紙	家族や近所の人	その他	ほとんど得られていない	無回答
	人数	176	71	60	4	24	40	1	22	10	23	10	45	3
全体	構成比		40.3%	34.1%	2.3%	13.6%	22.7%	0.6%	12.5%	5.7%	13.1%	5.7%	25.6%	1.7%
20代以下	人数	22	9	7	0	2	6	0	1	0	6	1	6	0
構成比			40.9%	31.8%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	4.5%	0.0%	27.3%	4.5%	27.3%	0.0%
30代	人数	34	7	10	0	8	11	0	8	2	8	1	11	1
構成比			20.6%	29.4%	0.0%	23.5%	32.4%	0.0%	23.5%	5.9%	23.5%	2.9%	32.4%	2.9%
40代	人数	39	16	12	2	5	9	0	6	3	4	5	12	0
構成比			41.0%	30.8%	5.1%	12.8%	23.1%	0.0%	15.4%	7.7%	10.3%	12.8%	30.8%	0.0%
50代	人数	38	17	14	1	5	7	0	4	3	0	2	9	1
構成比			44.7%	36.8%	2.6%	13.2%	18.4%	0.0%	10.5%	7.9%	0.0%	5.3%	23.7%	2.6%
60代	人数	23	11	9	1	3	4	0	1	1	2	1	6	0
構成比			47.8%	39.1%	4.3%	13.0%	17.4%	0.0%	4.3%	4.3%	8.7%	4.3%	26.1%	0.0%
70代以上	人数	12	6	6	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0
構成比			50.0%	50.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	8	5	2	0	0	2	0	2	1	1	0	1	1
	構成比		62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%

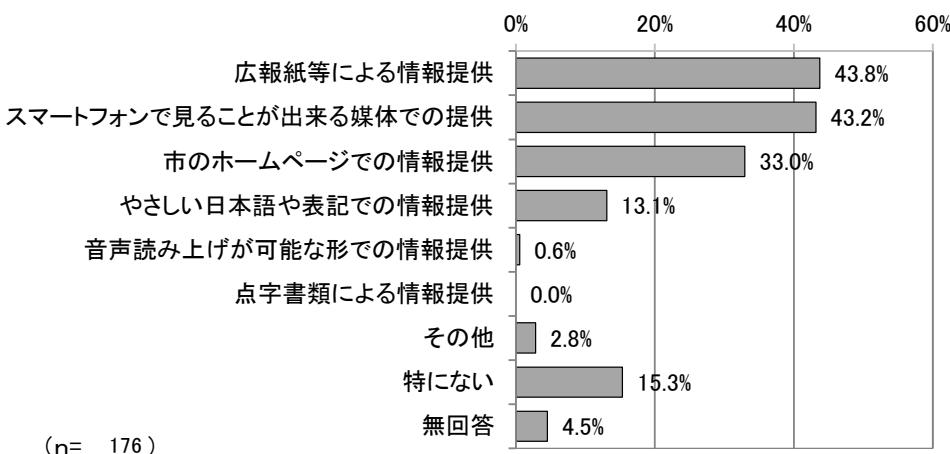
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 希望する情報提供の方法

問32 あなたが提供を希望する情報提供の方法はどのようなものですか。(○はいくつでも)

「広報紙等による情報提供」が43.8%

「広報紙等による情報提供」が43.8%と最も高く、次いで「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が43.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下、30代、40代では「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が最も高くなっています。

		回答者数	広報紙等による情報提供	市のホームページでの情報提供	スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供	音声読み上げが可能な形での情報提供	やさしい日本語や表記での情報提供	点字書類による情報提供	その他	特はない	無回答
全般	人数構成比	176	77 43.8%	58 33.0%	76 43.2%	1 0.6%	23 13.1%	0 0.0%	5 2.8%	27 15.3%	8 4.5%
20代以下	人数構成比	22	10 45.5%	5 22.7%	14 63.6%	0 0.0%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	3 13.6%	0 0.0%
30代	人数構成比	34	9 26.5%	11 32.4%	13 38.2%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	8 23.5%	3 8.8%
40代	人数構成比	39	18 46.2%	15 38.5%	22 56.4%	0 0.0%	6 15.4%	0 0.0%	2 5.1%	3 7.7%	2 5.1%
50代	人数構成比	38	14 36.8%	11 28.9%	13 34.2%	0 0.0%	3 7.9%	0 0.0%	1 2.6%	9 23.7%	1 2.6%
60代	人数構成比	23	13 56.5%	11 47.8%	9 39.1%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%
70代以上	人数構成比	12	8 66.7%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%
無回答	人数構成比	8	5 62.5%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

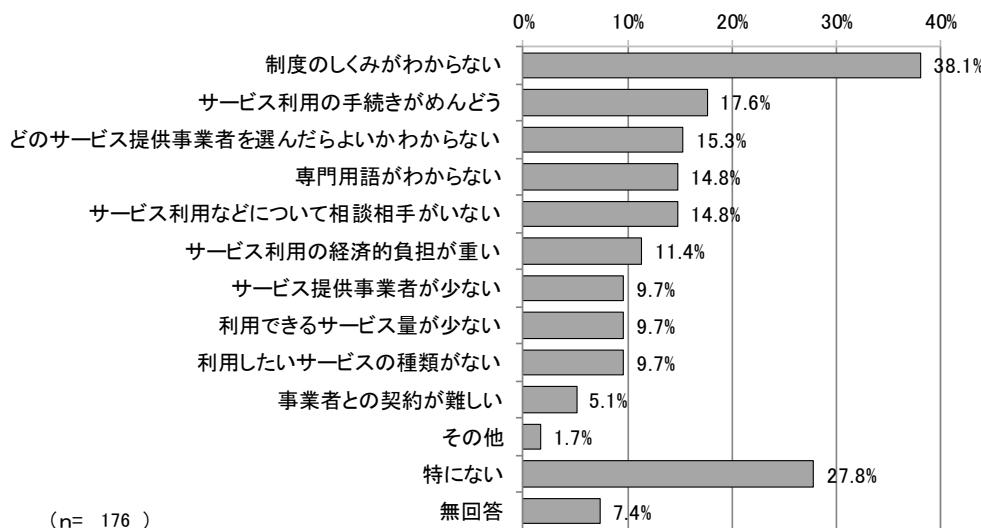
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)福祉サービスについて困っていること

問33 現在、市が行っている障がいのある人のための福祉サービスについて、困っていることや心配なことはありますか。(○はいくつでも)

「制度のしくみがわからない」が38.1%

「制度のしくみがわからない」が38.1%と最も高く、次いで「特がない」が27.8%となっています。

**■ 年齢別**

年齢別では、特に顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	制度のしくみがわからぬ	専門用語がわからぬ	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからぬ	サービス提供事業者が少ぬ	サービス利用の手続きがめんどくさい	事業者との契約が難しい	サービス利用の経済的負担が重い	利用できるサービス量が少ぬ	利用したいサービスの種類がない	サービス利用などについて相談相手がない	その他	特がない	無回答
全体	人数 構成比	176	67 38.1%	26 14.8%	27 15.3%	17 9.7%	31 17.6%	9 5.1%	20 11.4%	17 9.7%	17 9.7%	26 14.8%	3 1.7%	49 27.8%	13 7.4%
20代以下	人数 構成比	22	10 45.5%	5 22.7%	5 22.7%	4 18.2%	7 31.8%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	8 36.4%	0 0.0%
30代	人数 構成比	34	11 32.4%	3 8.8%	5 14.7%	1 2.9%	5 14.7%	0 0.0%	3 8.8%	1 2.9%	2 5.9%	3 8.8%	1 2.9%	10 29.4%	3 8.8%
40代	人数 構成比	39	13 33.3%	6 15.4%	5 12.8%	3 7.7%	7 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.7%	3 7.7%	7 17.9%	1 2.6%	11 28.2%	3 7.7%
50代	人数 構成比	38	14 36.8%	6 15.8%	7 18.4%	5 13.2%	5 13.2%	3 7.9%	8 21.1%	5 13.2%	5 13.2%	7 18.4%	1 2.6%	9 23.7%	3 7.9%
60代	人数 構成比	23	12 52.2%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	2 8.7%	3 13.0%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	7 30.4%	0 0.0%
70代以上	人数 構成比	12	5 41.7%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	3 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%
無回答	人数 構成比	8	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%

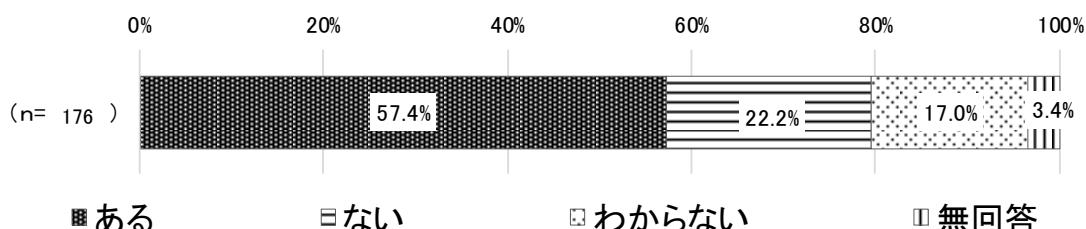
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4) 悩みを相談する場所の有無

問34 あなたは、悩みや困ったことがあった時、相談する場所がありますか。(○は1つ)

「ある」が57.4%

「ある」が57.4%と最も高く、次いで「ない」が22.2%となっています。

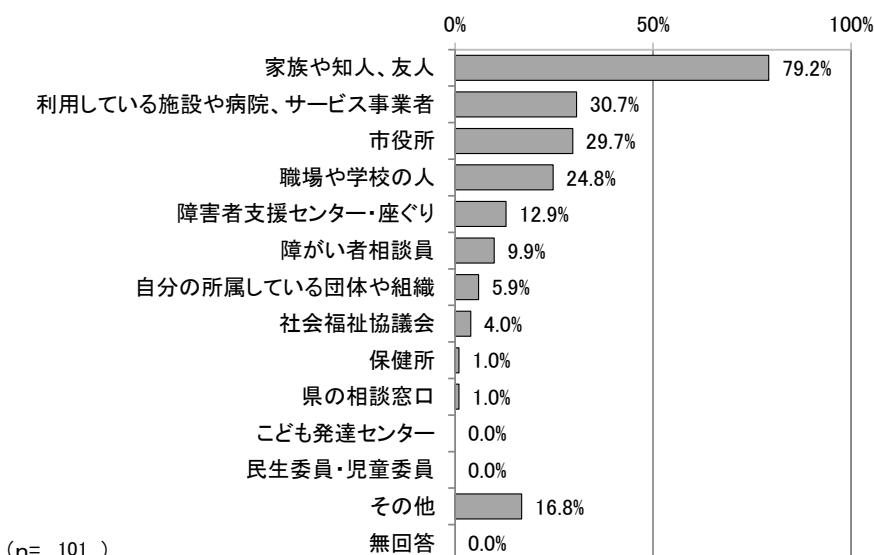


(4-1) 相談相手

問34-1 問34で「1」に回答した人のみ。あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。(○はいくつでも)

「家族や知人、友人」が79.2%

「家族や知人、友人」が79.2%と最も高く、次いで「利用している施設や病院、サービス事業者」が30.7%となっています。

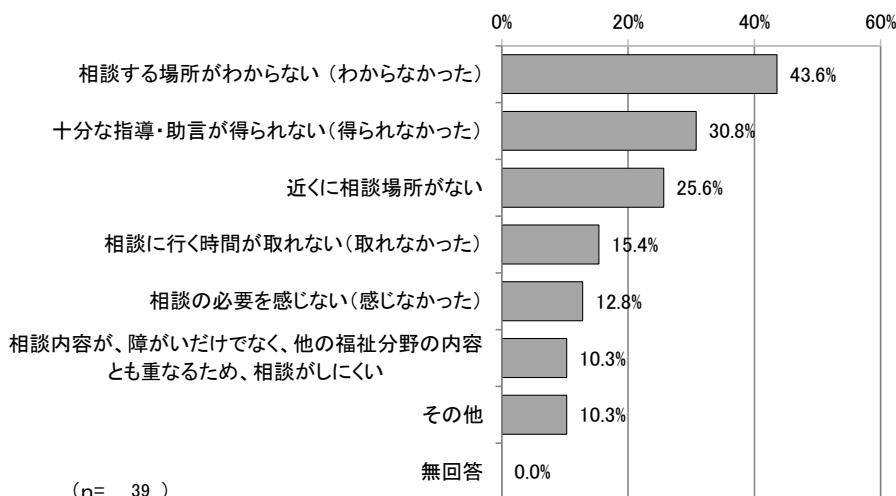


(4-2)相談しない理由

問34-2 問34で「2」に回答した人のみ。相談していない（しなかった）理由は何ですか。（○はいくつでも）

**「相談する場所がわからない（わからなかった）」が
43.6%**

「相談する場所がわからない（わからなかった）」が43.6%と最も高く、次いで「十分な指導・助言が得られない（得られなかった）」が30.8%となっています。

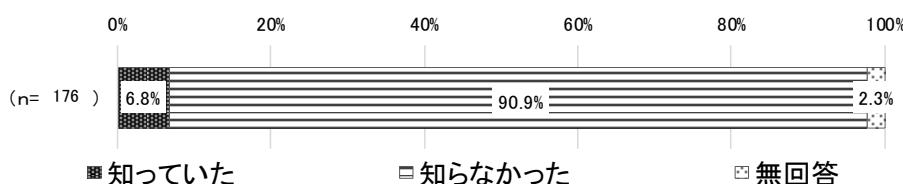


(5)基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設することについての認知状況

問35 白井市では、令和7年4月から総合的な相談を担当する基幹相談支援センターを保健福祉センター内に開設しますが、ご存じですか。（○は1つ）

「知らなかった」が90.9%

「知らなかった」が90.9%、「知っていた」が6.8%となっています。



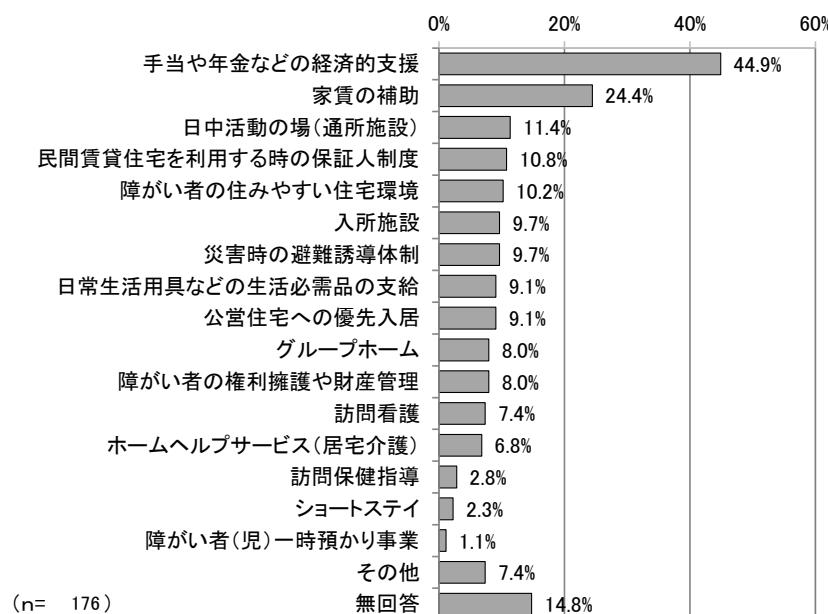
(6) 地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいもの

問36 あなたが地域で自立して暮らしていくために、特に力を入れてほしいものはなんですか。以下の（ア）～（ウ）の各分野ごとにえらんでください。

(ア) 生活全般

「手当や年金などの経済的支援」が44.9%

「手当や年金などの経済的支援」が44.9%と最も高く、次いで「家賃の補助」が24.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「家賃の補助」45.5%と最も高くなっています。

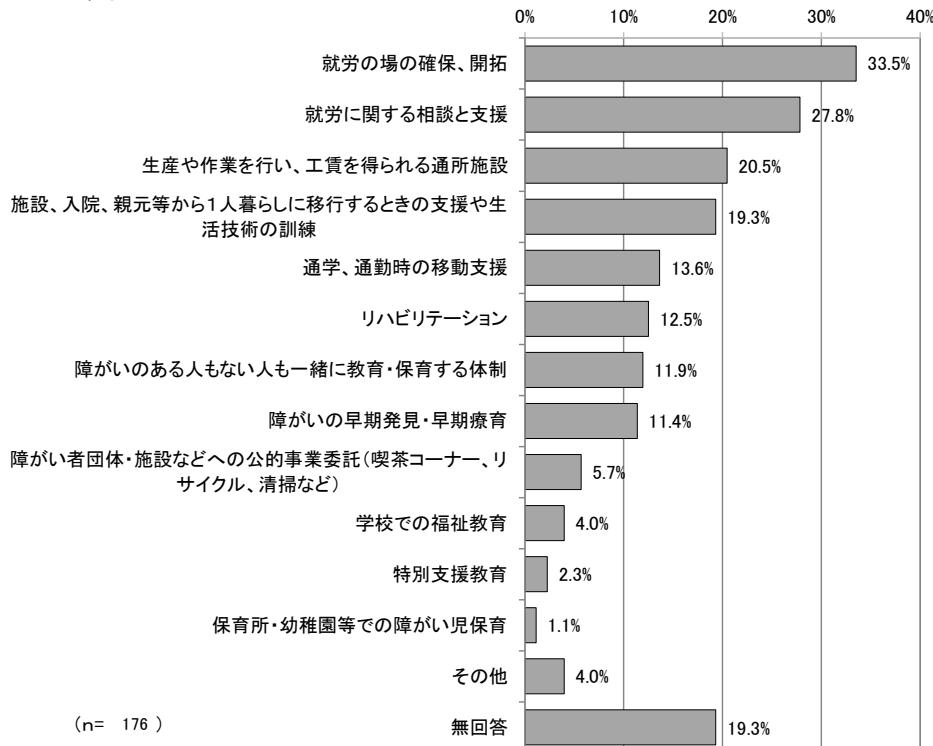
		回答者数	入所施設	グループホーム	ホームヘルプサービス(住宅介護)	日中活動の場(通所施設)	ショートステイ	障がい者の(児)一時預かり事業	障がい者の権利擁護や財産管理	手当や年金などの経済的支援	日常生活用具などの生活必需品の支給	訪問看護	訪問保健指導	障がい者の住みやすい住宅環境	家賃の補助	公営住宅への優先入居	民間賃貸住宅を利用する時の保証人制度	災害時の避難誘導体制	その他	無回答
全体	人数 構成比	176	17	14	12	20	4	2	14	79	16	13	5	18	43	16	19	17	13	26
20代以下	人数 構成比	22	1	2	0	2	0	0	2	10	2	1	0	4	10	1	1	4	1	3
30代	人数 構成比	34	3	6	1	3	0	0	4	14	1	2	1	2	7	2	3	4	1	5
40代	人数 構成比	39	2	2	4	7	0	0	5	19	7	2	1	3	8	2	5	2	7	4
50代	人数 構成比	38	4	2	2	5	3	1	0	17	2	3	1	3	8	6	6	2	3	8
60代	人数 構成比	23	4	2	2	2	1	1	3	10	4	1	1	3	5	3	1	1	1	3
70代以上	人数 構成比	12	2	0	1	1	0	0	0	5	0	2	1	2	1	0	1	2	0	2
無回答	人数 構成比	8	1	0	2	0	0	0	0	5	0	2	0	1	4	2	2	0	0	1

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(イ) 就労・訓練・教育

「就労の場の確保、開拓」が33.5%

「就労の場の確保、開拓」が33.5%と最も高く、次いで「就労に関する相談と支援」が27.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「就労に関する相談と支援」30.8%と、「就労の場の確保、開拓」と同率で最も高くなっています。

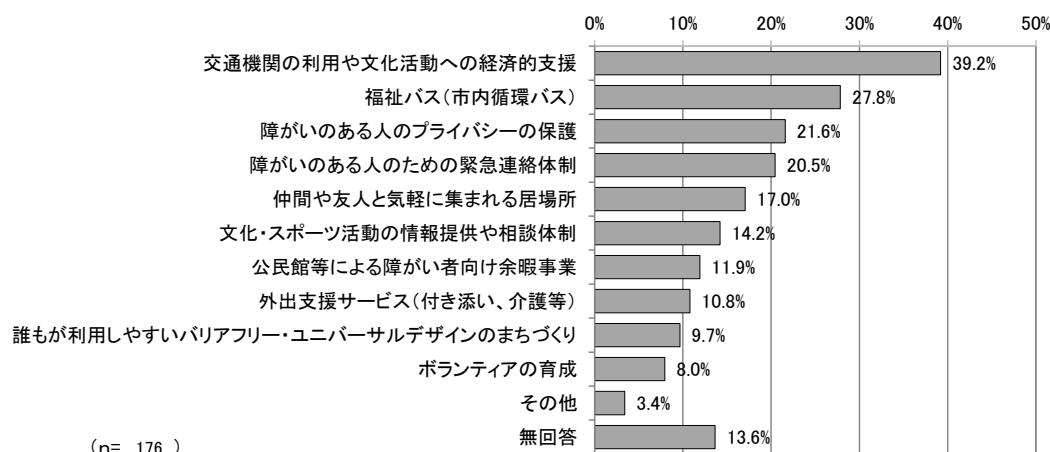
		回答者数	生産や作業を行なう、工賃を得られる通所施設	施設、入院、親元等から1人暮らしに移行するときの支援や生活技術の訓練	障がい者団体・施設などへの公的事業委託(喫茶コーナー、リサイクル、清掃など)	障がいの早期発見・早期療育	就労に関する相談と支援	リハビリテーション	保育所・幼稚園等での障がい児保育	特別支援教育	学校での福祉教育	障がいのある人も一緒に教育・保育する体制	通学、通勤時の移動支援	就労の場の確保、開拓	その他	無回答
全体	人数構成比	176 20.5%	36 19.3%	34 5.7%	10 11.4%	20 27.8%	49 12.5%	22 1.1%	2 2.3%	4 4.0%	7 11.9%	21 13.6%	24 33.5%	59 4.0%	7 19.3%	34
20代以下	人数構成比	22 22.7%	5 31.8%	7 0.0%	0 22.7%	5 31.8%	7 4.5%	1 0.0%	0 0.0%	0 18.2%	4 22.7%	5 27.3%	6 40.9%	9 0.0%	0 9.1%	2
30代	人数構成比	34 14.7%	5 17.6%	6 0.0%	0 8.8%	3 38.2%	13 11.8%	4 0.0%	0 2.9%	1 2.9%	1 5.9%	2 14.7%	5 44.1%	3 8.8%	5 14.7%	5
40代	人数構成比	39 28.2%	11 23.1%	9 5.1%	2 15.4%	6 30.8%	12 12.8%	5 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 15.4%	6 15.4%	6 30.8%	12 5.1%	2 15.4%	6
50代	人数構成比	38 23.7%	9 18.4%	7 15.8%	6 5.3%	21 21.1%	8 10.5%	4 2.6%	1 2.6%	1 0.0%	0 7.9%	3 7.9%	3 26.3%	10 2.6%	1 28.9%	11
60代	人数構成比	23 8.7%	2 8.7%	2 8.7%	3 13.0%	8 26.1%	4 17.4%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	1 17.4%	4 8.7%	2 34.8%	8 0.0%	0 13.0%	3
70代以上	人数構成比	12 16.7%	2 8.3%	1 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 41.7%	5
無回答	構成比	8 25.0%	2 25.0%	2 0.0%	0 12.5%	0 12.5%	1 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(ウ) 社会的活動

「交通機関の利用や文化活動への経済的支援」が39.2%

「交通機関の利用や文化活動への経済的支援」が39.2%と最も高く、次いで「福祉バス(市内循環バス)」が27.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代、70代以上では「福祉バス(市内循環バス)」が最も高くなっています。

		回答者数	公民館等による障がい者向け余暇事業	ボランティアの育成	文化・スポーツ活動の情報提供や相談体制	交通機関の利用や文化活動への経済的支援	福祉バス(市内循環バス)	外出支援サービス(付き添い、介護等)	誰もが利用しやすいバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	障がいのある人のプライバシーの保護	障がいのある人のための緊急連絡体制	仲間や友人と気軽に集まる居場所	その他	無回答
年齢	性別	人数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全体		176	21	14	25	69	49	19	17	38	36	30	6	24
			11.9%	8.0%	14.2%	39.2%	27.8%	10.8%	9.7%	21.6%	20.5%	17.0%	34%	13.6%
20代以下		22	3	3	2	12	4	3	5	4	2	5	0	3
			13.6%	13.6%	9.1%	54.5%	18.2%	13.6%	22.7%	18.2%	9.1%	22.7%	0.0%	13.6%
30代		34	3	0	4	11	6	4	3	10	7	7	1	6
			8.8%	0.0%	11.8%	32.4%	17.6%	11.8%	8.8%	29.4%	20.6%	20.6%	2.9%	17.6%
40代		39	6	3	10	17	10	2	4	9	9	6	1	3
			15.4%	7.7%	25.6%	43.6%	25.6%	5.1%	10.3%	23.1%	23.1%	15.4%	2.6%	7.7%
50代		38	4	3	4	11	13	4	3	7	6	4	3	8
			10.5%	7.9%	10.5%	28.9%	34.2%	10.5%	7.9%	18.4%	15.8%	10.5%	7.9%	21.1%
60代		23	3	3	5	9	6	2	0	3	7	7	1	1
			13.0%	13.0%	21.7%	39.1%	26.1%	8.7%	0.0%	13.0%	30.4%	30.4%	4.3%	4.3%
70代以上		12	1	2	0	4	6	1	2	2	2	0	0	2
			8.3%	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
無回答		8	1	0	0	5	4	3	0	3	3	1	0	1
			12.5%	0.0%	0.0%	62.5%	50.0%	37.5%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%

1位:全體が黒で白文字、2位:全體が灰色で太文字

(7)障がいや福祉に関する言葉の認知状況

問37 あなたは、次のようなことばを知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

**ヘルプマーク・ヘルプカードは「内容まで知っている」が
56.8%**

ヘルプマーク・ヘルプカードは「内容まで知っている」が56.8%となっています。

		回答者数	内容まで 知っている	ことばを見 聞きしたこと はある	知らなかっ た	無回答
① 障害者権利条約	人数	176	8	47	114	7
	構成比		4.5%	26.7%	64.8%	4.0%
② 障害者週間(12月3~9日)	人数	176	3	43	123	7
	構成比		1.7%	24.4%	69.9%	4.0%
③ ヘルプマーク・ヘルプカード	人数	176	100	45	26	5
	構成比		56.8%	25.6%	14.8%	2.8%
④ 福祉避難所	人数	176	6	36	125	9
	構成比		3.4%	20.5%	71.0%	5.1%
⑤ ふれあい広場(市内で開催) チャレンジパーソンスポーツ	人数	176	8	24	137	7
	構成比		4.5%	13.6%	77.8%	4.0%
⑥白井市障害者計画	人数	176	2	28	139	7
	構成比		1.1%	15.9%	79.0%	4.0%
⑦ 白井市障害福祉計画・障害 児福祉計画	人数	176	2	27	140	7
	構成比		1.1%	15.3%	79.5%	4.0%

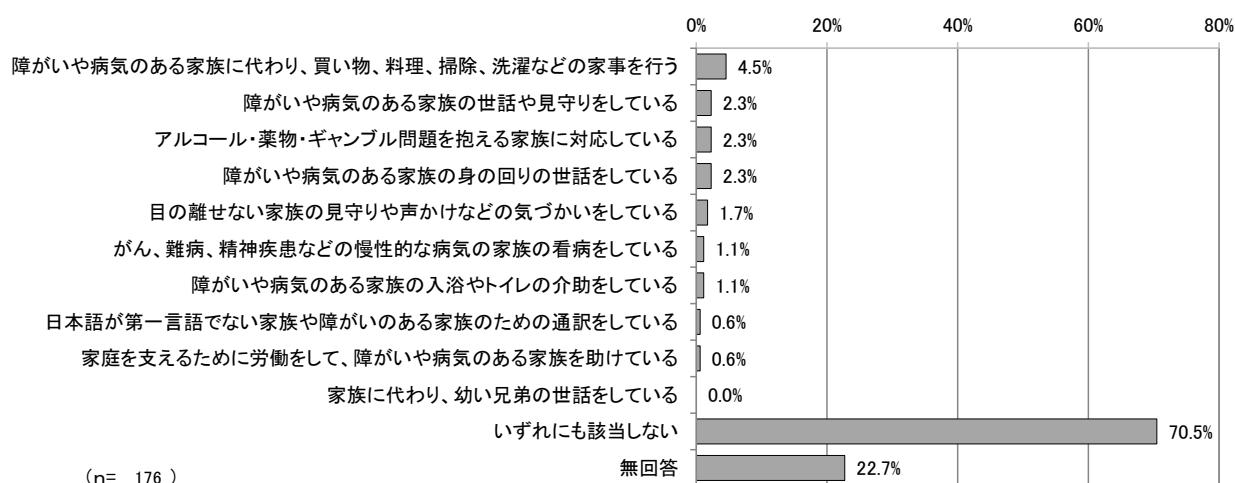
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(8)ヤングケアラーについて

問 38 あなたの家庭で、18歳未満の人が、障がいのある人に対して以下のことを日常的に行うことがありますか（○はいくつでも）。

いずれかに該当する人は 12人 (6.8%)

「いずれにも該当しない」が70.5%と最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、買い物、料理、掃除、洗濯などの家事を行う」が4.5%となっています。いずれかに該当する人は12人(6.8%)となっています。



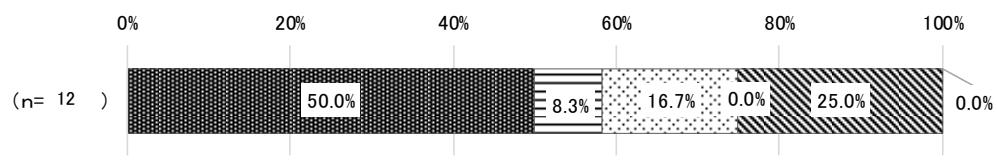
(9)お手伝いの頻度・時間

問 38-1 問 38 で「1」～「10」と回答した人のみ。上記のお手伝いの頻度・時間はどのくらいですか（○はそれぞれ1つ）。

① 頻度

「毎日」が 50.0%

「毎日」が50.0%と最も高く、次いで「週1回未満」が25.0%となっています。

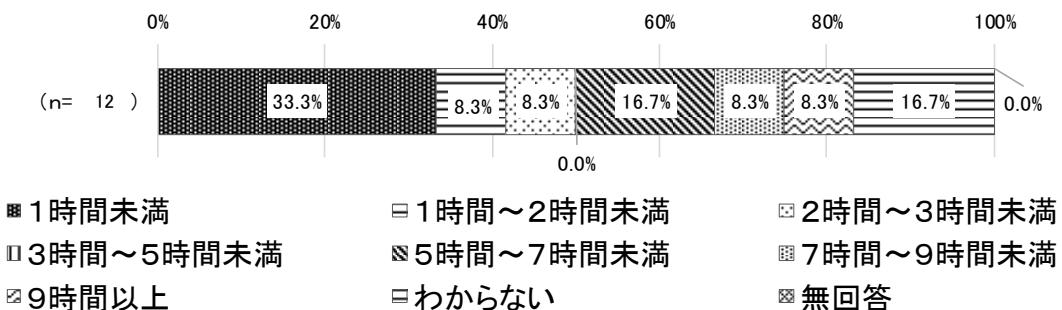


■毎日 □週5～6回 □週2～4回 □週1回 □週1回未満 □無回答

② 1日あたりの時間

3時間以上の方は4人（33.3%）

「1時間未満」が33.3%と最も高く、次いで「5時間～7時間未満」が16.7%となっています。なお、3時間以上の方は4人(33.3%)となっています。

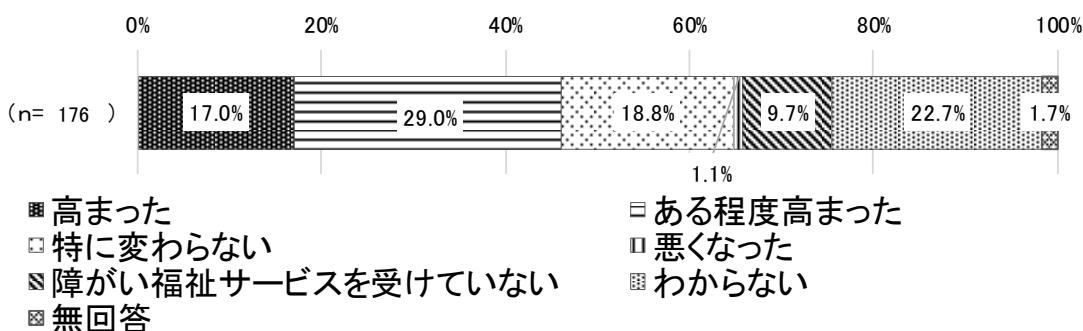


(10) 障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化

問39 あなたは、行政や民間が実施する障がい福祉サービスを受けることで、生活の質が高まったと思いますか（○は1つ）。

「ある程度高まった」が 29.0%

「ある程度高まった」が29.0%と最も高く、次いで「わからない」が22.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、50代～70代以上では「わからない」が最も高くなっています。

平均点では、60代は0.37と低くなっています。

平均点算出方法	
高まった	2点
ある程度高まった	1点
特に変わらない	0点
悪くなった	-2点
わからない	0点

		回答者数	高まった	ある程度高まった	特に変わらない	悪くなった	障がい福祉サービスを受けていない	わからない	無回答	平均点
全体	人数	176	30	51	33	2	17	40	3	0.69
	構成比		17.0%	29.0%	18.8%	1.1%	9.7%	22.7%	1.7%	
20代以下	人数	22	3	8	6	1	2	2	0	0.60
	構成比		13.6%	36.4%	27.3%	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%	
30代	人数	34	7	11	3	0	4	8	1	0.86
	構成比		20.6%	32.4%	8.8%	0.0%	11.8%	23.5%	2.9%	
40代	人数	39	8	14	6	0	3	7	1	0.86
	構成比		20.5%	35.9%	15.4%	0.0%	7.7%	17.9%	2.6%	
50代	人数	38	6	9	9	1	2	10	1	0.54
	構成比		15.8%	23.7%	23.7%	2.6%	5.3%	26.3%	2.6%	
60代	人数	23	2	3	6	0	4	8	0	0.37
	構成比		8.7%	13.0%	26.1%	0.0%	17.4%	34.8%	0.0%	
70代以上	人数	12	1	3	2	0	2	4	0	0.50
	構成比		8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	
無回答	人数	8	3	3	1	0	0	1	0	1.13
	構成比		37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 等級別

等級別では、1級では「わからない」46.7%が最も高くなっています。

平均点では、特に顕著な差は見られませんでした。

		回答者数	高まった	ある程度高 まつた	特に変わら ない	悪くなった	障がい福祉 サービスを受けていな い	わからない	無回答	平均点
全体	人数	176	30	51	33	2	17	40	3	0.69
	構成比		17.0%	29.0%	18.8%	1.1%	9.7%	22.7%	1.7%	
1級	人数	15	3	2	2	0	0	7	1	0.57
	構成比		20.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	46.7%	6.7%	
2級	人数	109	21	32	21	1	9	23	2	0.73
	構成比		19.3%	29.4%	19.3%	0.9%	8.3%	21.1%	1.8%	
3級	人数	47	5	15	10	1	7	9	0	0.58
	構成比		10.6%	31.9%	21.3%	2.1%	14.9%	19.1%	0.0%	
無回答	人数	5	1	2	0	0	1	1	0	1.00
	構成比		20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

D【障がい児】**1 概要****(1)子どもの状況**

- ・手帳などの所持状況は、身体障害者手帳が9.3%、療育手帳が32.2%、精神障害者保健福祉手帳が0.7%、指定難病2.1%、発達障がい62.9%となっています。
- ・支援が必要な項目は、「他者に自分の気持ちを伝えることが困難」が54.3%と最も高く、次いで「読み書きが困難(学習障がいによるものを含む)」が45.0%となっています。
- ・医療的ケアを受けている方が1.4%で、内容としては「人工呼吸器(レスピレーター)」が60.0%と最も高くなっています。医療的ケアを行うための設備がないため利用できない施設は、「利用できない施設はない」が40.0%を除くと、「保育園・幼稚園・認定こども園」「児童館」「小学校・中学校・高等学校」が各々20.0%となっています。

(2)外出について

- ・外出の頻度は、ほぼ毎日が96.4%と最も高くなっています。外出時の交通手段は、「徒歩」が70.7%と最も高く、次いで「自家用車(乗せてもらう)・オートバイ」が64.3%となっています。
- ・車で移動する理由は「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が56.1%と最も高くなっています。困ることは「特にない」が44.7%と最も高く、次いで「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が40.7%となっています。

(3)住まいや暮らしについて

- ・一緒に暮らしている人は、「母」が99.3%と最も高く、次いで「父」が91.4%となっています。
- ・保護者の就労状況は、「フルタイム勤務1人、パートタイム・時短勤務が1人」が47.9%と最も高く、次いで「フルタイム勤務1人」が28.6%となっています。
- ・保護者が就労時にお子さんが過ごしている場所は、「学校」が51.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス事業所」が50.7%となっています。「1人で過ごしている」は10.7%です。
- ・保護者が就労する上で困っていることは、「就労と、療育施設の利用・通学・通院とのスケジュール調整が難しい」が41.4%と最も高く、次いで「新たに就労したり、勤務日を増やすことが出来ない」が25.7%となっています。
- ・介助者は、「母」が68.6%と最も高く、次いで「父」が45.7%となっています。年齢は、「40歳代」が54.6%と最も高く、次いで「30歳代」が29.9%となっています。健康状態は、「健康」が55.7%と最も高くなっています。
- ・介助を受ける上で問題となっていることは、「特にない」が50.5%と最も高く、次いで「家族の精神的、身体的負担が大きい」が20.6%となっています。
- ・悩みの相談場所は、「家族・親族」が70.0%と最も高く、次いで「通所している療育施設」が60.0%となっています。
- ・療育施設や行政に充実を求めるることは、「支援の専門性や質の向上」が57.9%と最も高くなっています。
- ・サービスの利用意向は、「放課後等デイサービス」が47.9%と最も高く、次いで「補装具」が39.3%となっています。
- ・ヤングケアラーについては、該当する可能性のある方の割合は14.3%となっており、そのうちの

半数が毎日支援を行っています。時間は、「1時間未満」が45.0%と最も高くなっていますが、2時間以上も40.0%となっています。

(4) 日頃の活動状況について

- ・平日の日中の過ごし方は、「放課後等デイサービス(就学後のお子さん)」が44.3%と最も高く、次いで「小学校・中学校(特別支援学級)」が38.6%となっています。
- ・通園や通学で困っていることは、「特になし」が54.3%と最も高く、次いで「通園・通学が大変である(送迎を含む)」が22.9%となっています。
- ・スポーツや運動については、「している」が52.1%と最も高く、次いで「していない」が43.6%となっています。

(5) 差別・権利擁護について

- ・差別を受けた経験は、「ある」が30.7%となっています。
- ・差別を受けた場所は、「学校」が60.5%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園」「買い物や外食の際」が各々27.9%となっています。
- ・障がいがあることが原因で、発生した問題は、「特にない」が75.7%と最も高く、次いで「希望した学校に入学できなかった」が5.0%となっています。

(6) 保健福祉サービス・施設サービスについて

- ・市の情報は、「児童発達支援や放課後等デイサービス」が47.1%と最も高く、次いで「市のおしらせ(広報など)」が43.6%となっています。また、「ほとんど得られていない」も21.4%となっています。
- ・提供を希望する情報提供の方法は、「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が66.4%となっています。
- ・「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」が30.0%と最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」が27.9%となっています。
- ・障がい福祉サービスを受けることによる変化としては「ある程度高まった」が45.0%と最も高く、次いで「高まった」が31.4%となっており、障がい福祉サービスの効果が大きいのが特徴です。

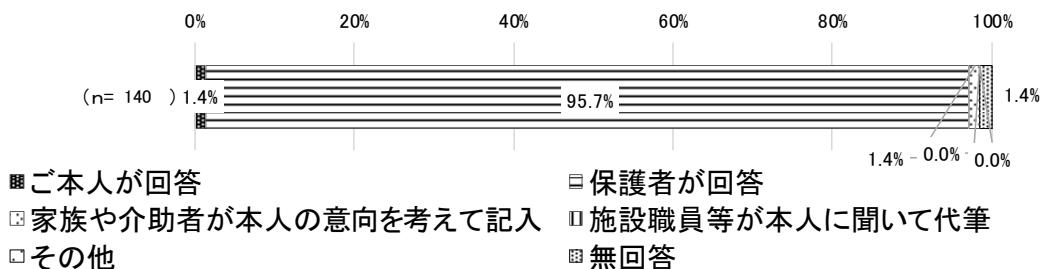
2 あなた自身について

(1)回答者

問1 このアンケートを記入する人はどなたですか。(○は1つ)

「保護者が回答」が95.7%

「保護者が回答」が95.7%と最も高く、次いで「ご本人が回答」が1.4%となっています。



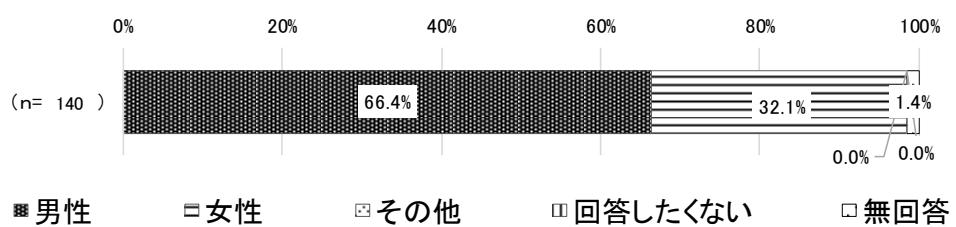
(2)性別と年齢

問2 あて名のお子さんの性別と年齢をお答えください。

① 性別

「男性」が66.4%

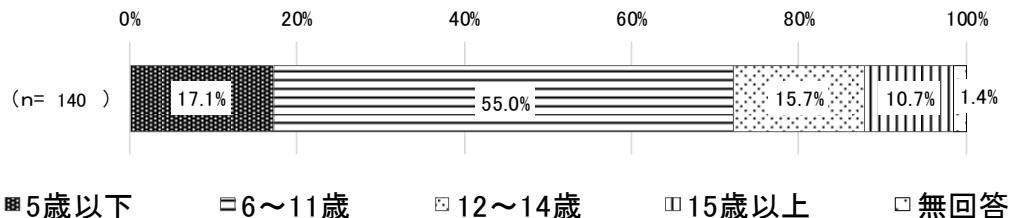
「男性」が66.4%と最も高く、次いで「女性」が32.1%となっています。



② 年齢

「6~11歳」が55.0%

「6~11歳」が55.0%と最も高く、次いで「5歳以下」が17.1%となっています。

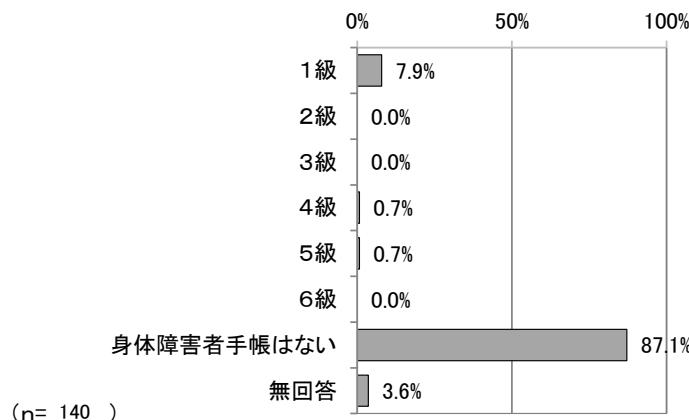


(3)身体障害者手帳の等級

問3 あて名のお子さんの身体障害者手帳の等級はいくつですか。(○は1つ)

「身体障害者手帳はない」が87.1%

「身体障害者手帳はない」が87.1%と最も高く、次いで「1級」が7.9%となっています。

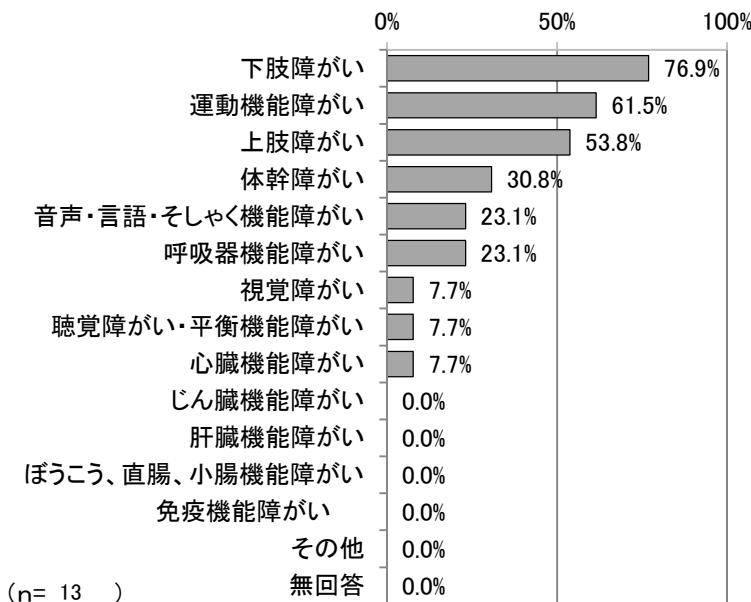


(3-1) 障がいの種類、部位

問3-1 問3で「1」～「6」に回答した人のみ。あて名のお子さんの障がいの種類、部位について、おたずねします。(○はいくつでも)

「下肢障がい」が76.9%

「下肢障がい」が76.9%と最も高く、次いで「運動機能障がい」が61.5%となっています。

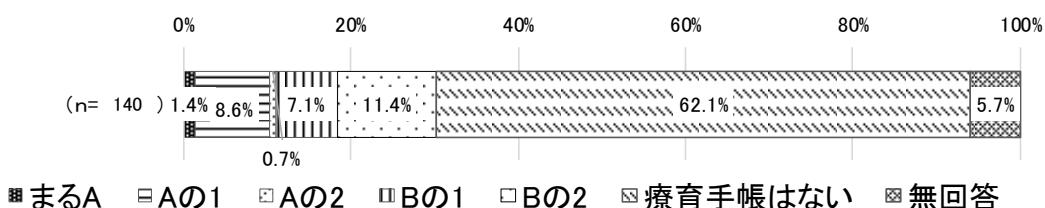


(4) 療育手帳の等級

問4 あて名のお子さんの療育手帳の等級はいくつですか。(○は1つ)

「療育手帳はない」が62.1%

「療育手帳はない」が62.1%と最も高く、次いで「Bの2」が11.4%となっています。

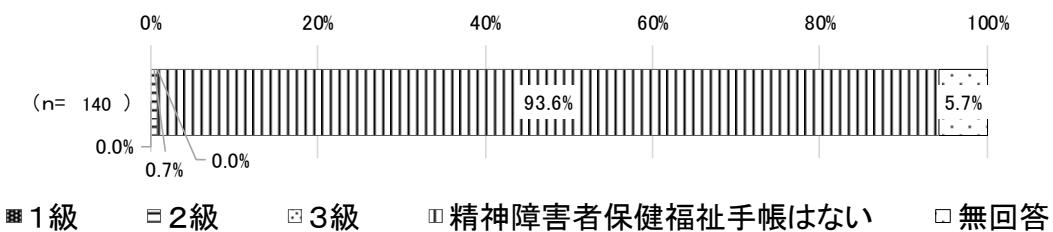


(5)精神障害者保健福祉手帳の等級

問5 あて名のお子さんの精神障害者保健福祉手帳の等級をおたずねします。(○は1つ)

「精神障害者保健福祉手帳はない」が93.6%

「精神障害者保健福祉手帳はない」が93.6%と最も高く、次いで「2級」が0.7%となっています。

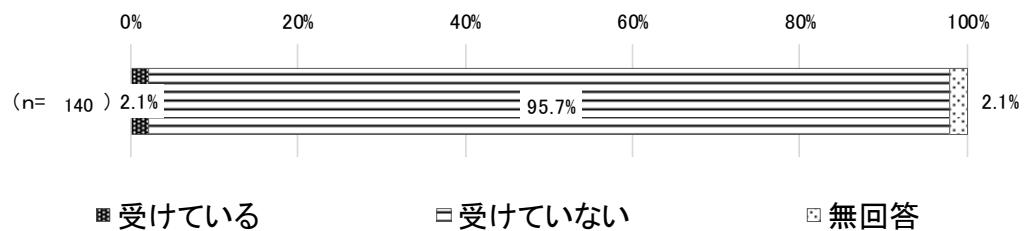


(6)指定難病の認定の有無

問6 あて名のお子さんは指定難病の認定を受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が95.7%

「受けていない」が95.7%、「受けている」が2.1%となっています。

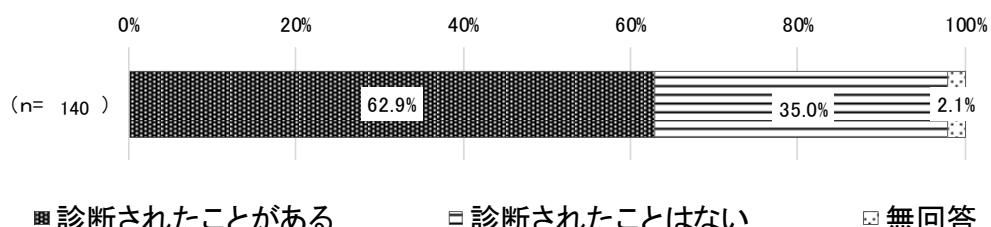


(7)発達障がいの診断の有無

問7 あて名のお子さんは発達障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つ)

「診断されたことがある」が62.9%

「診断されたことがある」が62.9%、「診断されたことはない」が35.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、5歳以下では「診断されたことはない」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	診断されたことがある	診断されたことはない	無回答
全体	人数	140	88	49	3
	構成比		62.9%	35.0%	2.1%
5歳以下	人数	24	12	12	0
	構成比		50.0%	50.0%	0.0%
6～11歳	人数	77	47	30	0
	構成比		61.0%	39.0%	0.0%
12～14歳	人数	22	15	6	1
	構成比		68.2%	27.3%	4.5%
15歳以上	人数	15	13	0	2
	構成比		86.7%	0.0%	13.3%
無回答	人数	2	1	1	0
	構成比		50.0%	50.0%	0.0%

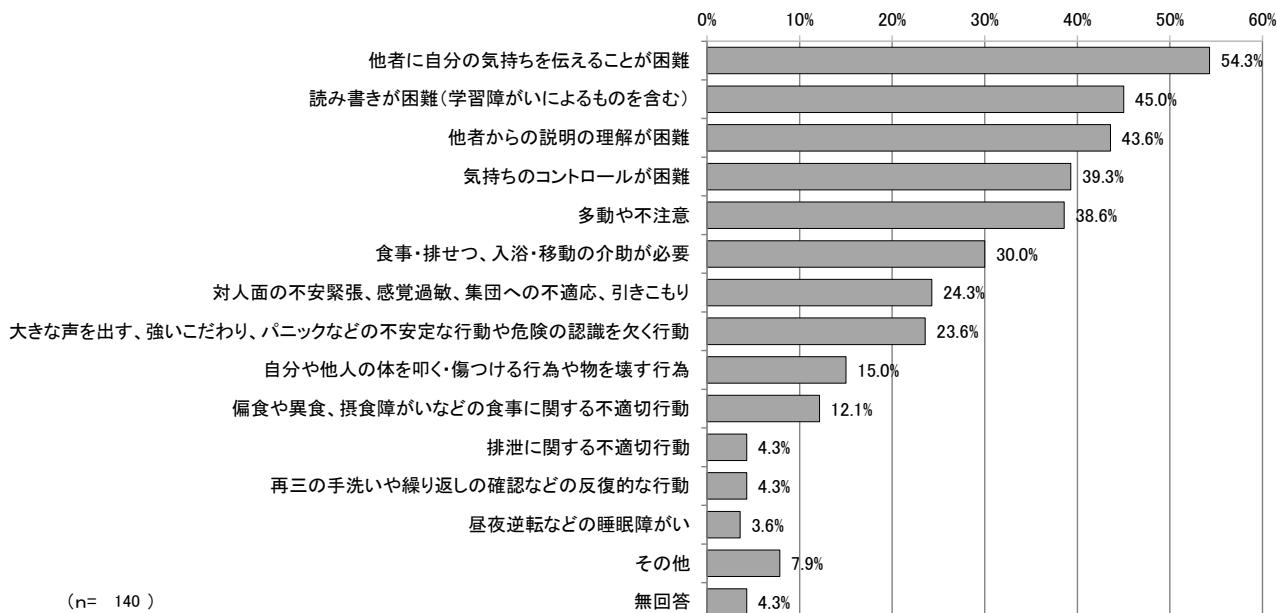
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(8)必要な支援

問8 あて名のお子さんの支援が必要な項目はありますか。(○はいくつでも)

「他者に自分の気持ちを伝えることが困難」が 54.3%

「他者に自分の気持ちを伝えることが困難」が54.3%と最も高く、次いで「読み書きが困難(学習障がいによるものを含む)」が45.0%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「食事・排せつ、入浴・移動の介助が必要」が最も高くなっています。

		回答者数	食事・排せつ、入浴・移動の介助が必要	大きな声を出す、強いこだわり、パニックなどの不安定な行動や危険の認識を欠く行動	多動や不注意	昼夜逆転などの睡眠障がい	偏食や異食、摂食障がいなどの食事に関する不適切行動	排泄に関する不適切行動	自分や他人の体を叩く・傷つける行為や物を壊す行為	気持ちのコントロールが困難	再三の手洗いや繰り返しの確認などの反復的な行動	対人面の不安緊張、感覚過敏、集団への不適応、引きこもり	読み書きが困難(学習障がいによるものを含む)	他者に自分の気持ちを伝えることが困難	他者からの説明の理解が困難	その他	無回答
全体	人数	140	42	33	54	5	17	6	21	55	6	34	83	76	61	11	6
	構成比		30.0%	23.6%	38.6%	3.6%	12.1%	4.3%	15.0%	39.3%	4.3%	24.3%	45.0%	54.3%	43.6%	7.9%	4.3%
身体障がい	人数	13	12	1	0	1	0	1	0	0	1	0	10	8	6	0	0
	構成比		92.3%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	76.9%	61.5%	46.2%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	26	17	19	4	11	6	11	19	6	11	35	36	32	1	0
	構成比		57.8%	37.8%	42.2%	8.9%	24.4%	13.3%	24.4%	42.2%	13.3%	24.4%	77.8%	80.0%	71.1%	2.2%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	9	16	35	1	6	0	10	36	0	23	23	37	26	10	6
	構成比		10.2%	18.2%	39.8%	1.1%	6.8%	0.0%	11.4%	40.9%	0.0%	26.1%	26.1%	42.0%	29.5%	11.4%	6.8%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(9) 医療的ケアについて

問9 あて名のお子さんは、医療的ケアを受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が92.1%

「受けていない」が92.1%と最も高く、次いで「わからない」が3.6%となっています。

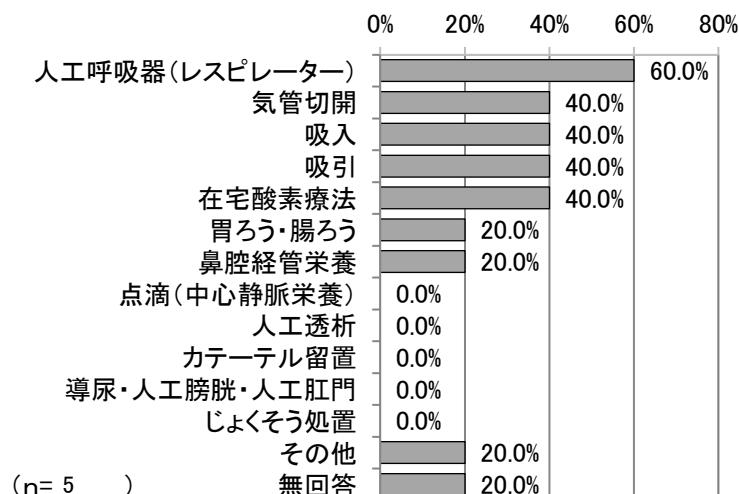


(9-1) 受けている医療的ケア

問9-1 問9で「1」に回答したのみ。あて名のお子さんが現在受けている医療的ケアはどれですか。(○はいくつでも)

「人工呼吸器（レスピレーター）」が60.0%

「人工呼吸器（レスピレーター）」が60.0%と最も高く、次いで「気管切開」「吸入」「吸引」「在宅酸素療法」が各々40.0%となっています。

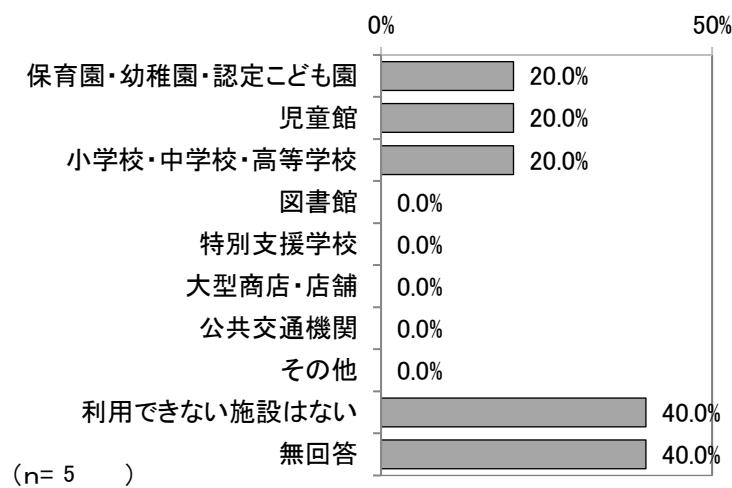


(9-2) 医療的ケアを行うための設備がないため利用できない施設

問9-2 問9で「1」に回答した人のみ。あて名のお子さんが医療的ケアを行うための設備がないため、利用できない施設があればお答えください。(○はいくつでも)

「利用できない施設はない」が40.0%

「利用できない施設はない」が40.0%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園」「児童館」「小学校・中学校・高等学校」が各々20.0%となっています。

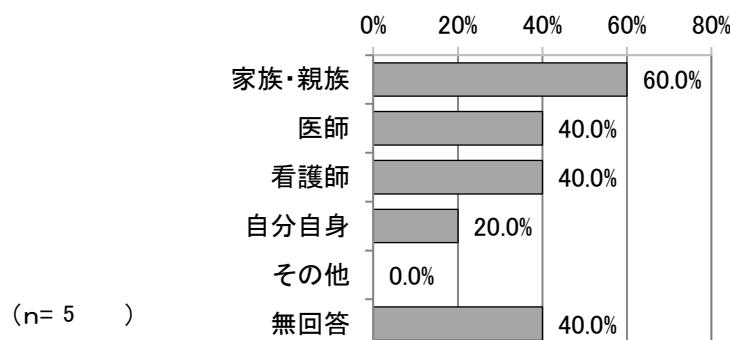


(9-3) 医療的ケアをしている人

問9-3 問9で「1」に回答した人のみ。あて名のお子さんの医療的ケアをしている人はどなたですか。(○はいくつでも)

「家族・親族」が60.0%

「家族・親族」が60.0%と最も高く、次いで「医師」が40.0%となっています。



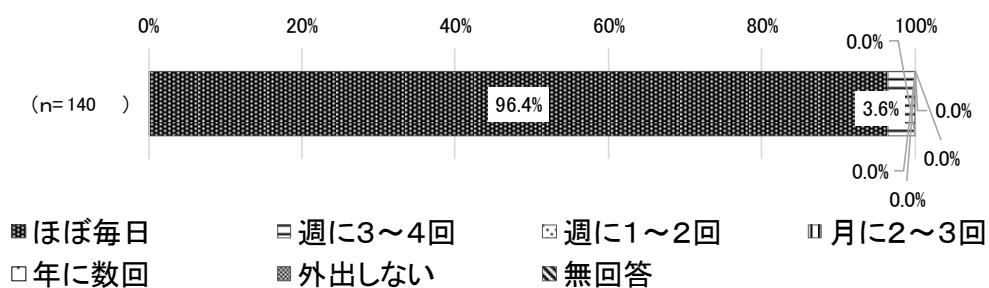
3 外出について

(1) 外出頻度

問10 あて名のお子さんは、日常どのくらい外出していますか（通勤・通学や通所を含む）。（1つに○）

「ほぼ毎日」が96.4%

「ほぼ毎日」が96.4%と最も高く、次いで「週に3～4回」が3.6%となっています。

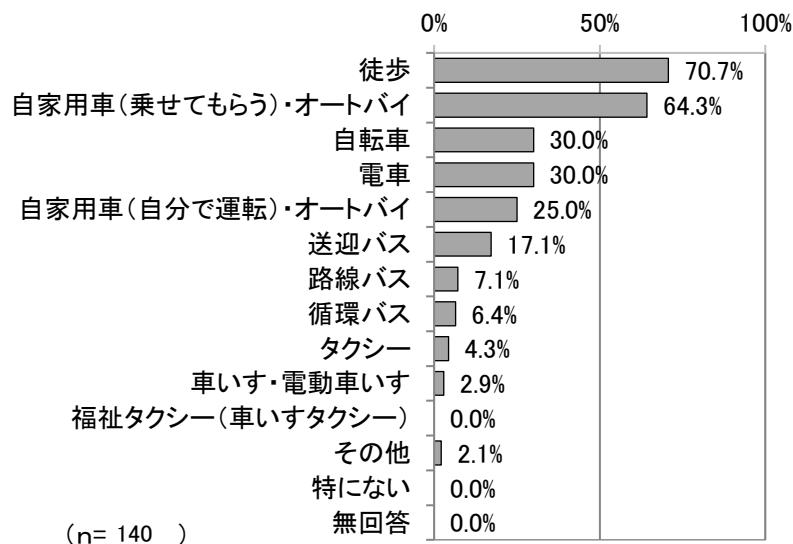


(1-1)外出時の交通手段

問10-1 問10で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんが外出する時の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

「歩行」が70.7%

「歩行」が70.7%と最も高く、次いで「自家用車(乗せてもらう)・オートバイ」が64.3%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がい、知的障がいで「自家用車(乗せてもらう)・オートバイ」が最も高くなっています。

		回答者数	自家用車(自分で運転)・オートバイ	自家用車(乗せてもらう)・オートバイ	歩行	自転車	車いす・電動車いす	タクシー	福祉タクシー(車いすタクシー)	電車	路線バス	循環バス	送迎バス	その他	特にならない	無回答
全体	人数	140	35	90	99	42	4	6	0	42	10	9	24	3	0	0
	構成比		25.0%	64.3%	70.7%	30.0%	2.9%	4.3%	0.0%	30.0%	7.1%	6.4%	17.1%	2.1%	0.0%	0.0%
身体障がい	人数	13	4	9	3	0	4	0	0	3	0	0	3	1	0	0
	構成比		30.8%	69.2%	23.1%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	7	35	29	6	2	2	0	15	2	3	16	2	0	0
	構成比		15.6%	77.8%	64.4%	13.3%	4.4%	4.4%	0.0%	33.3%	4.4%	6.7%	35.6%	4.4%	0.0%	0.0%
精神障がい	人数	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	24	52	69	36	0	4	0	25	8	6	7	0	0	0
	構成比		27.3%	59.1%	78.4%	40.9%	0.0%	4.5%	0.0%	28.4%	9.1%	6.8%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%

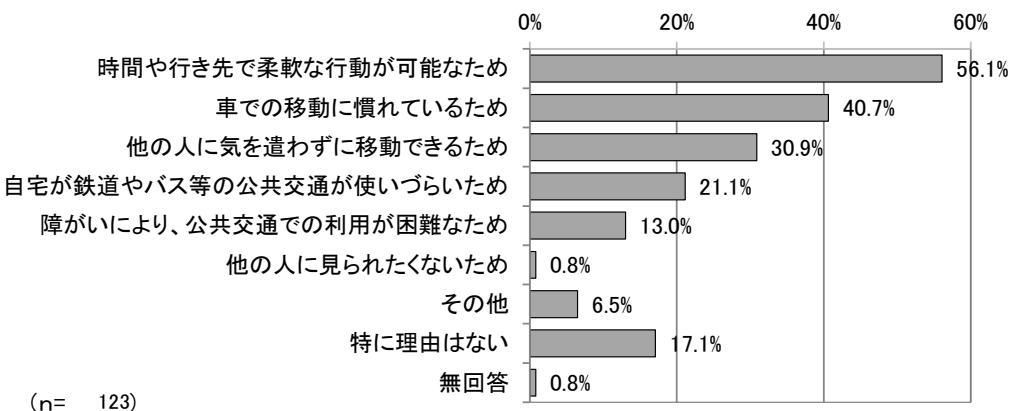
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(1-2)車で移動する理由

問10-2 問10-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんが車で移動する理由は何か。(○はいくつでも)

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が56.1%

「時間や行き先で柔軟な行動が可能なため」が56.1%と最も高く、次いで「車での移動に慣れているため」が40.7%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「障がいにより、公共交通での利用が困難なため」53.8%、「他の人に気を遣わずに移動できるため」53.8%、「車での移動に慣れているため」53.8%が最も高くなっています。

		回答者数	障がいにより、公共交通での利用が困難なため	自宅が鉄道やバス等の公共交通が使いづらいため	時間や行き先で柔軟な行動が可能なため	他の人に気を遣わずに移動できるため	他の人に見られたくないため	車での移動に慣れているため	その他	特に理由はない	無回答
全体	人数	123	16	26	69	38	1	50	8	21	1
	構成比		13.0%	21.1%	56.1%	30.9%	0.8%	40.7%	6.5%	17.1%	0.8%
身体障がい	人数	13	7	3	7	7	0	7	0	0	0
	構成比		53.8%	23.1%	53.8%	53.8%	0.0%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	42	12	9	25	21	1	17	4	6	0
	構成比		28.6%	21.4%	59.5%	50.0%	2.4%	40.5%	9.5%	14.3%	0.0%
精神障がい	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無回答	人数	74	0	15	40	14	0	28	4	15	1
	構成比		0.0%	20.3%	54.1%	18.9%	0.0%	37.8%	5.4%	20.3%	1.4%

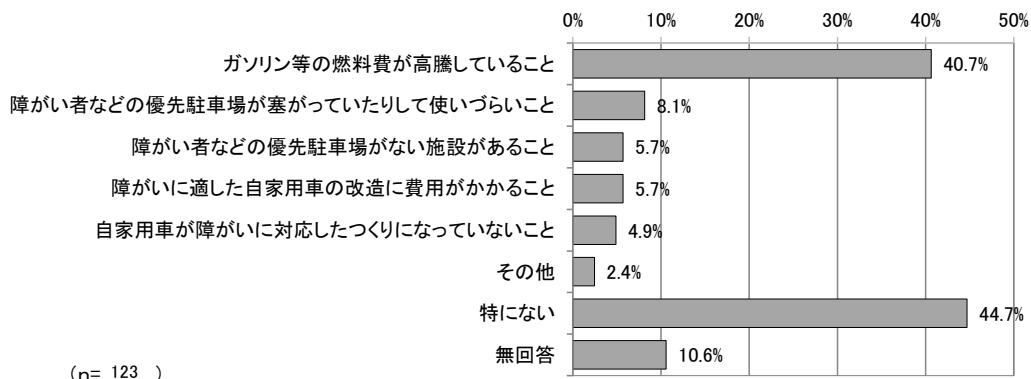
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(1-3)車の移動で困ったこと

問10-3 問10-1で「1」、「2」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんが車で移動するのに困ったことはありますか。(○はいくつでも)

「特になく」が44.7%

「特になく」が44.7%と最も高く、次いで「ガソリン等の燃料費が高騰していること」が40.7%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「障がい者などの優先駐車場が塞がっていたりして使いづらいこと」61.5%、「ガソリン等の燃料費が高騰していること」61.5%、知的障がいでは「ガソリン等の燃料費が高騰していること」52.4%が最も高くなっています。

		回答者数	障がい者などの優先駐車場がない施設があること	障がい者などの優先駐車場が塞がっていたりして使いづらいこと	ガソリン等の燃料費が高騰していること	自家用車が障がいに対応したつくりになっていないこと	障がいに適した自家用車の改造に費用がかかること	その他	特になく	無回答
全体	人数	123	7	10	50	6	7	3	55	13
	構成比		5.7%	8.1%	40.7%	4.9%	5.7%	2.4%	44.7%	10.6%
身体障がい	人数	13	5	8	8	5	6	2	1	0
	構成比		38.5%	61.5%	61.5%	38.5%	46.2%	15.4%	7.7%	0.0%
知的障がい	人数	42	4	4	22	3	3	3	13	6
	構成比		9.5%	9.5%	52.4%	7.1%	7.1%	7.1%	31.0%	14.3%
精神障がい	人数	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	74	0	0	25	0	0	0	42	7
	構成比		0.0%	0.0%	33.8%	0.0%	0.0%	0.0%	56.8%	9.5%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

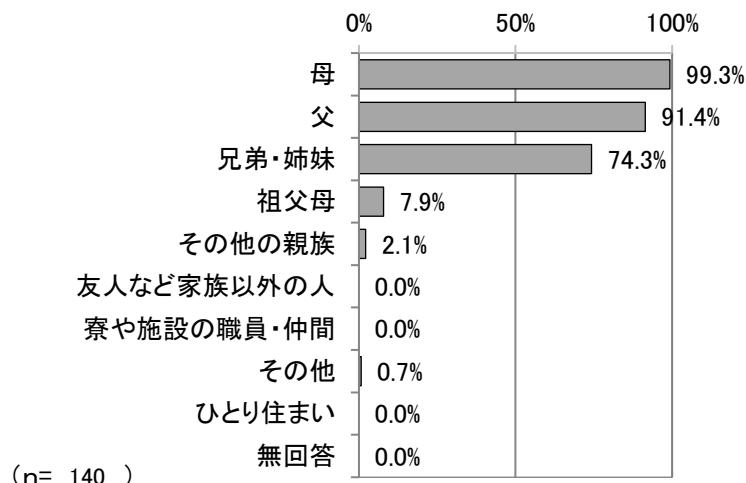
4 住まいや暮らしについて

(1)一緒に暮らしている人

問11 現在、あて名のお子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

「母」が99.3%

「母」が99.3%と最も高く、次いで「父」が91.4%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「父」100.0%が最も高くなっています。

		回答者数	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の親族	友人など家族以外の人	寮や施設の職員・仲間	その他	ひとり住まい	無回答
全体	人数	140	128	139	104	11	3	0	0	1	0	0
	構成比		91.4%	99.3%	74.3%	7.9%	2.1%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
身体障がい	人数	13	13	13	10	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	76.9%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	43	45	35	2	1	0	0	0	0	0
	構成比		95.6%	100.0%	77.8%	4.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	78	87	64	8	2	0	0	1	0	0
	構成比		88.6%	98.9%	72.7%	9.1%	2.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%

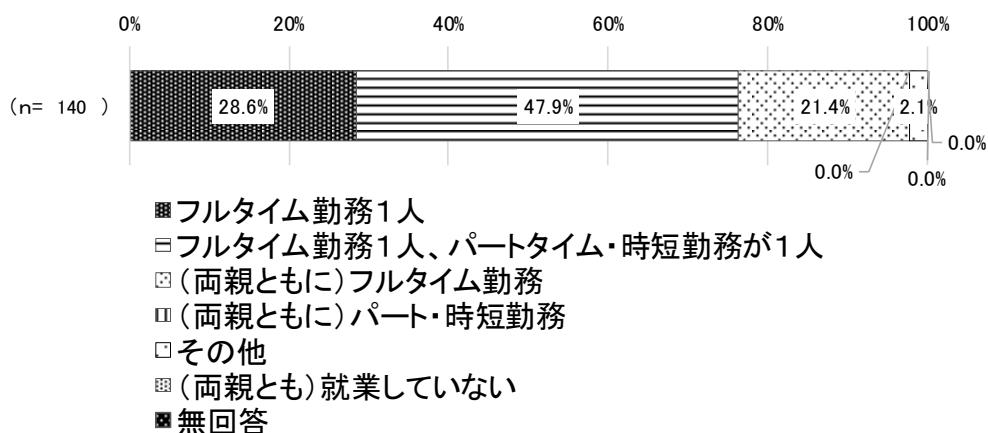
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2)保護者の就労状況

問12 あて名のお子さんの保護者の就労状況はどれになりますか。(○は1つ)

「フルタイム勤務1人、パートタイム・時短勤務が1人」 が47.9%

「フルタイム勤務1人、パートタイム・時短勤務が1人」が47.9%と最も高く、次いで「フルタイム勤務1人」が28.6%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「フルタイム勤務1人」46.2%が最も高くなっています。

		回答者数	フルタイム勤務1人	フルタイム勤務1人、パートタイム・時短勤務が1人	(両親ともに)フルタイム勤務	(両親ともに)パート・時短勤務	その他	(両親とも)就業していない	無回答
全体	人数	140	40	67	30	0	3	0	0
	構成比		28.6%	47.9%	21.4%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
身体障がい	人数	13	6	6	1	0	0	0	0
	構成比		46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	10	27	7	0	1	0	0
	構成比		22.2%	60.0%	15.6%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%
精神障がい	人数	1	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	26	37	23	0	2	0	0
	構成比		29.5%	42.0%	26.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%

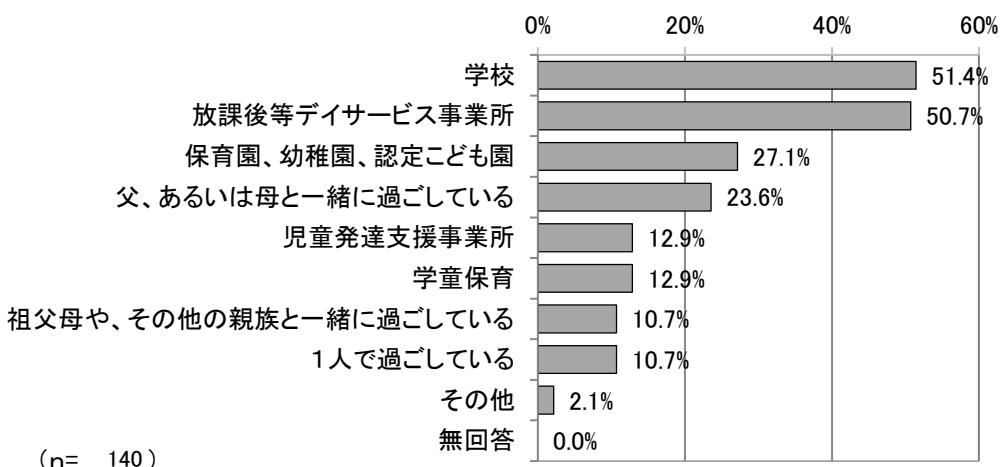
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)保護者が就労時にお子さんが過ごしている場所

問12-1 問12で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。保護者が就労時に、あて名のお子さんはどこで過ごしていますか。(○はいくつでも)

「学校」が51.4%

「学校」が51.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス事業所」が50.7%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「放課後等デイサービス事業所」76.9%、知的障がいでは「放課後等デイサービス事業所」60.0%が最も高くなっています。

		回答者数	児童発達支援事業所	放課後等デイサービス事業所	学童保育	保育園、幼稚園、認定こども園	学校	父、あるいは母と一緒に過ごしている	祖父母や、その他の親族と一緒に過ごしている	1人で過ごしている	その他	無回答
全体	人数	140	18	71	18	38	72	33	15	15	3	0
	構成比		12.9%	50.7%	12.9%	27.1%	51.4%	23.6%	10.7%	10.7%	2.1%	0.0%
身体障がい	人数	13	3	10	0	1	7	6	0	0	0	0
	構成比		23.1%	76.9%	0.0%	7.7%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	9	27	1	11	23	9	6	4	1	0
	構成比		20.0%	60.0%	2.2%	24.4%	51.1%	20.0%	13.3%	8.9%	2.2%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	7	39	17	27	45	19	9	11	2	0
	構成比		8.0%	44.3%	19.3%	30.7%	51.1%	21.6%	10.2%	12.5%	2.3%	0.0%

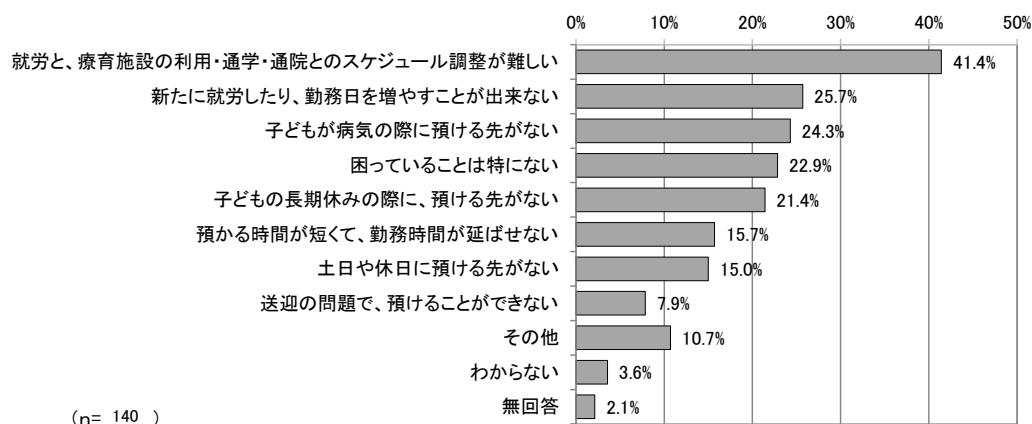
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)保護者が就労する上で困っていること

問13 保護者が就労する上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

「就労と、療育施設の利用・通学・通院とのスケジュール調整が難しい」が41.4%

「就労と、療育施設の利用・通学・通院とのスケジュール調整が難しい」が41.4%と最も高く、次いで「新たに就労したり、勤務日を増やすことが出来ない」が25.7%となっています。

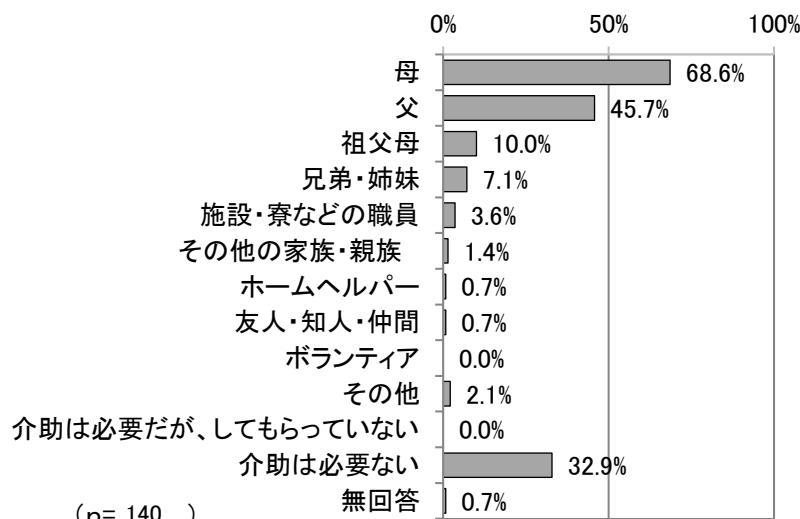


(5)介助者

問14 あて名のお子さんは身の回りの介助をどなたにしてもらっていますか。(○はいくつでも)

「母」が68.6%

「母」が68.6%と最も高く、次いで「父」が45.7%となっています。

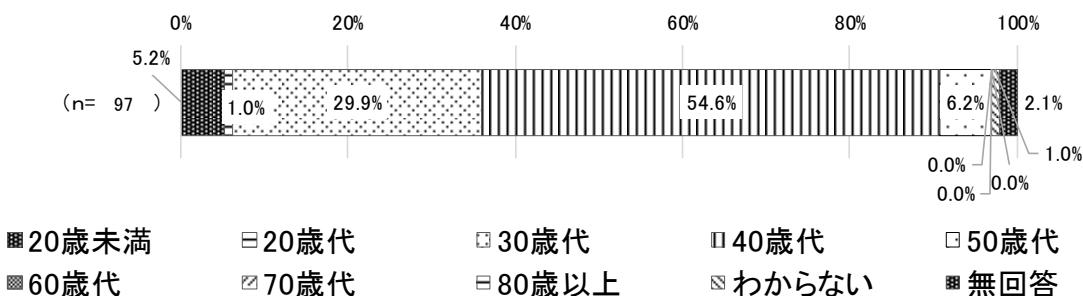


(5-1)介助者の年齢

問14-1 問14で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんの身の回りの介助をしている人の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

「40歳代」が54.6%

「40歳代」が54.6%と最も高く、次いで「30歳代」が29.9%となっています。

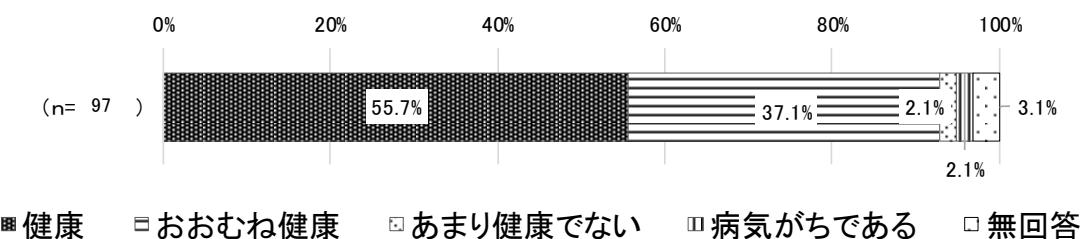


(5-2)介助者の健康状態

問14-2 問14で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんの身の回りの介助をしている人の健康状態をお答えください。(○は1つ)

「健康」が55.7%

「健康」が55.7%と最も高く、次いで「おおむね健康」が37.1%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「おおむね健康」46.2%が最も高くなっています。

		回答者数	健康	おおむね健康	あまり健康でない	病気がちである	無回答
全体	人数	97	54	36	2	2	3
	構成比		55.7%	37.1%	2.1%	2.1%	3.1%
身体障がい	人数	13	5	6	0	1	1
	構成比		38.5%	46.2%	0.0%	7.7%	7.7%
知的障がい	人数	38	18	16	0	1	3
	構成比		47.4%	42.1%	0.0%	2.6%	7.9%
精神障がい	人数	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	52	32	18	2	0	0
	構成比		61.5%	34.6%	3.8%	0.0%	0.0%

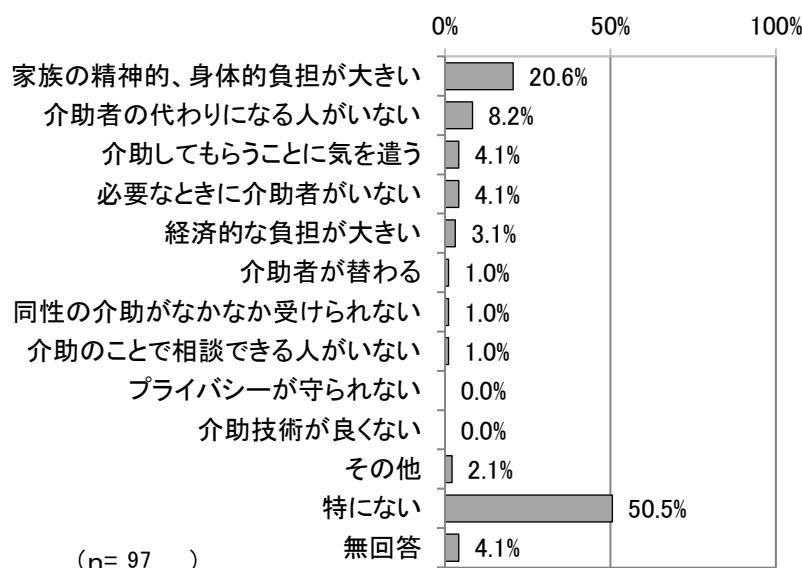
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(5-3)介助を受ける上で問題となっていること

問14-3 問14で「1」～「5」のいずれかに回答した人のみ。あて名のお子さんが介助を受ける上で問題となっていることはありますか。(○は1つ)

「特がない」が50.5%

「特がない」が50.5%と最も高く、次いで「家族の精神的、身体的負担が大きい」が20.6%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「介助者の代わりになる人がいない」23.1%、「家族の精神的、身体的負担が大きい」23.1%が最も高くなっています。

		回答者数	介助してもらうことに気を遣う	必要なときに介助者がいない	介助者が替わる	プライバシーが守られない	同性の介助がなかなか受けられない	介助技術が良くない	介助者の代わりになる人がいない	介助のことで相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	家族の精神的、身体的負担が大きい	その他	特がない	無回答
全体	人数	97	4	4	1	0	1	0	8	1	3	20	2	49	4
	構成比		4.1%	4.1%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	8.2%	1.0%	3.1%	20.6%	2.1%	50.5%	4.1%
身体障がい	人数	13	2	1	0	0	1	0	3	0	0	3	1	1	1
	構成比		15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%
知的障がい	人数	38	1	1	1	0	1	0	4	1	1	10	1	14	3
	構成比		2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	10.5%	2.6%	2.6%	26.3%	2.6%	36.8%	7.9%
精神障がい	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	52	2	2	0	0	0	0	2	0	2	8	1	34	1
	構成比		3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	1.9%	65.4%	1.9%

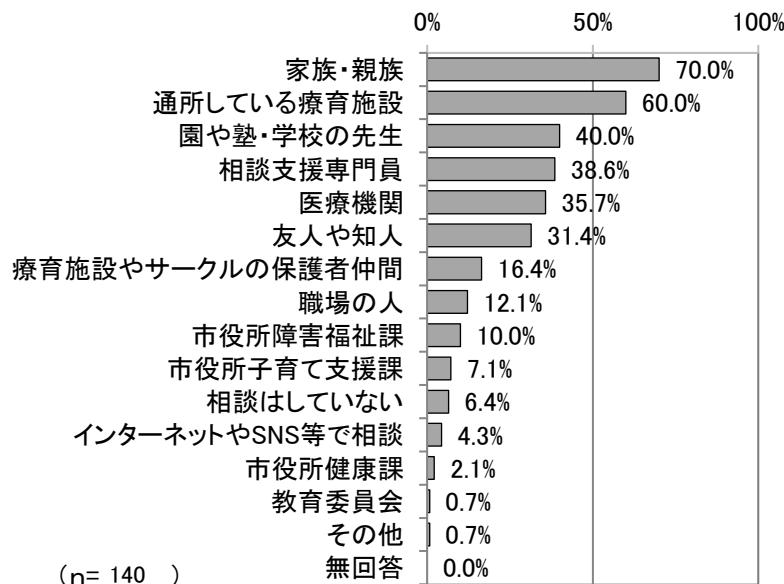
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(6)悩みの相談場所

問15 保護者は普段、子育てや発達などの悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（○はいくつでも）

「家族・親族」が70.0%

「家族・親族」が70.0%と最も高く、次いで「通所している療育施設」が60.0%となっています。

**■ 障がい区分別**

障がい区分別では、身体障がいでは「通所している療育施設」76.9%が最も高くなっています。

		回答者数	家族・親族	医療機関	市役所健康課	市役所障害福祉課	市役所子育て支援課	教育委員会	園や塾・学校の先生	通所している療育施設	相談支援専門員	友人や知人	療育施設やサークルの保護者仲間	インターネットやSNS等で相談	職場の人	相談はしていない	その他	無回答
全体	人数	140	98	50	3	14	10	1	56	84	54	44	23	6	17	9	1	0
	構成比		70.0%	35.7%	2.1%	10.0%	7.1%	0.7%	40.0%	60.0%	38.6%	31.4%	16.4%	4.3%	12.1%	6.4%	0.7%	0.0%
身体障がい	人数	13	9	8	0	1	0	0	2	10	9	6	3	1	1	0	0	0
	構成比		69.2%	61.5%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	76.9%	69.2%	46.2%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	30	19	1	4	2	0	21	29	20	15	13	2	3	4	0	0
	構成比		66.7%	42.2%	2.2%	8.9%	4.4%	0.0%	46.7%	64.4%	44.4%	33.3%	28.9%	4.4%	6.7%	8.9%	0.0%	0.0%
精神障がい	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	64	25	2	9	8	1	33	49	28	26	8	3	13	5	1	0
	構成比		72.7%	28.4%	2.3%	10.2%	9.1%	1.1%	37.5%	55.7%	31.8%	29.5%	9.1%	3.4%	14.8%	5.7%	1.1%	0.0%

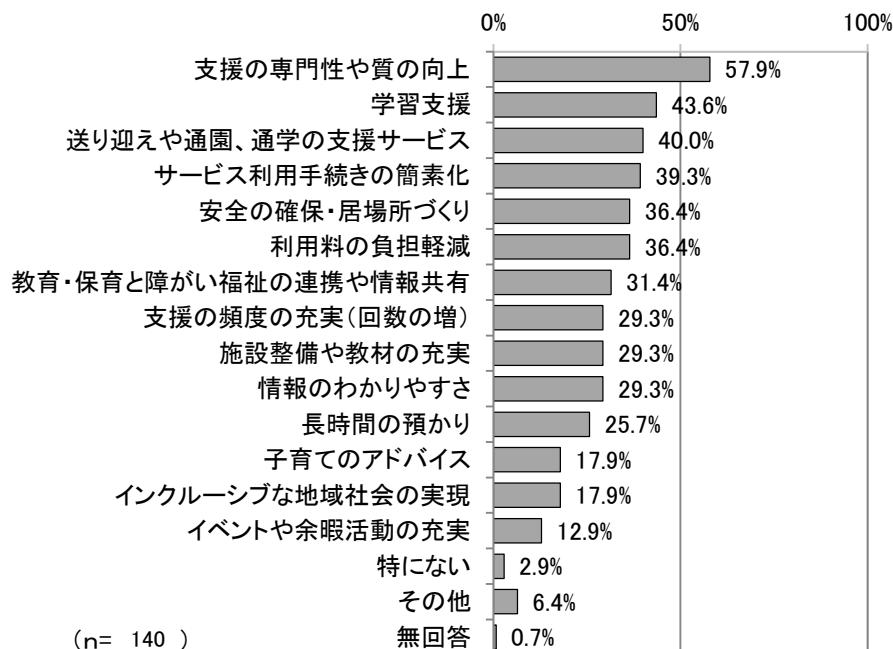
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(7)療育施設や行政に充実を求めるこ

問16 あなたが療育施設や行政に充実を求めるることは何ですか。(○はいくつでも)

「支援の専門性や質の向上」が 57.9%

「支援の専門性や質の向上」が57.9%と最も高く、次いで「学習支援」が43.6%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「送り迎えや通園、通学の支援サービス」61.5%が最も高くなっています。

		回答者数	支援の専門性や質の向上	支援の頻度の充実(回数の増)	施設整備や教材の充実	子育てのアドバイス	学習支援	安全の確保・居場所づくり	イベントや余暇活動の充実	長時間の預かり	インクルーシブな地域社会の実現	情報のわかりやすさ	教育・保育と障がい福祉の連携や情報共有	サービス利用手続きの簡素化	利用料の負担軽減	送り迎えや通園、通学の支援サービス	特になし	その他	無回答
全体	人数 構成比	140 57.9%	81 29.3%	41 29.3%	41 17.9%	25 43.6%	61 36.4%	51 12.9%	18 25.7%	36 17.9%	25 29.3%	41 31.4%	44 39.3%	55 36.4%	51 40.0%	56 2.9%	4 6.4%	9 0.7%	1
身体障がい	人数 構成比	13 46.2%	6 30.8%	4 23.1%	3 15.4%	2 15.4%	2 46.2%	2 23.1%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	5 38.5%	6 46.2%	6 38.5%	5 61.5%	8 0.0%	0 7.7%	1 0.0%	0
知的障がい	人数 構成比	45 62.2%	28 37.8%	17 31.1%	14 15.6%	7 42.2%	19 37.8%	17 17.8%	8 37.8%	17 17.8%	13 28.9%	14 31.1%	14 31.1%	16 35.6%	17 37.8%	1 2.2%	1 8.9%	4 0.0%	0 0.0%
精神障がい	人数 構成比	1 0.0%	0 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
無回答	人数 構成比	88 56.8%	50 25.0%	22 28.4%	25 18.2%	16 46.6%	41 33.0%	29 9.1%	8 20.5%	18 14.8%	13 31.8%	28 30.7%	27 42.0%	37 37.5%	33 38.6%	34 3.4%	3 5.7%	5 1.1%	1

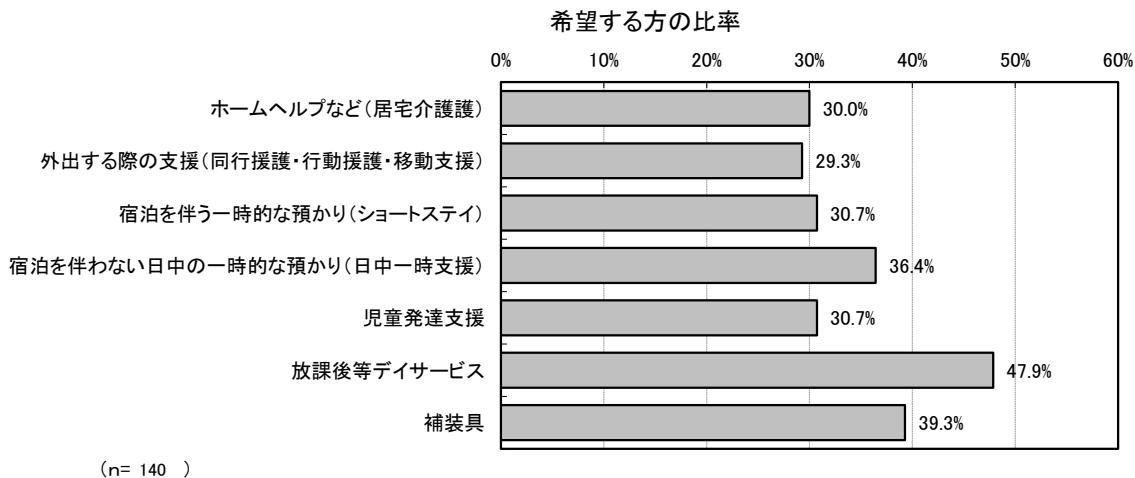
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(8)サービスの利用意向

問 17 あて名のお子さんが、新たに利用したいサービスや今後利用を増やしたいサービスはありますか。(増やしたい回数を記載、または選択肢を選んでください)

「放課後等デイサービス」が 47.9%

「放課後等デイサービス」が47.9%と最も高く、次いで「補装具」が39.3%となっています。

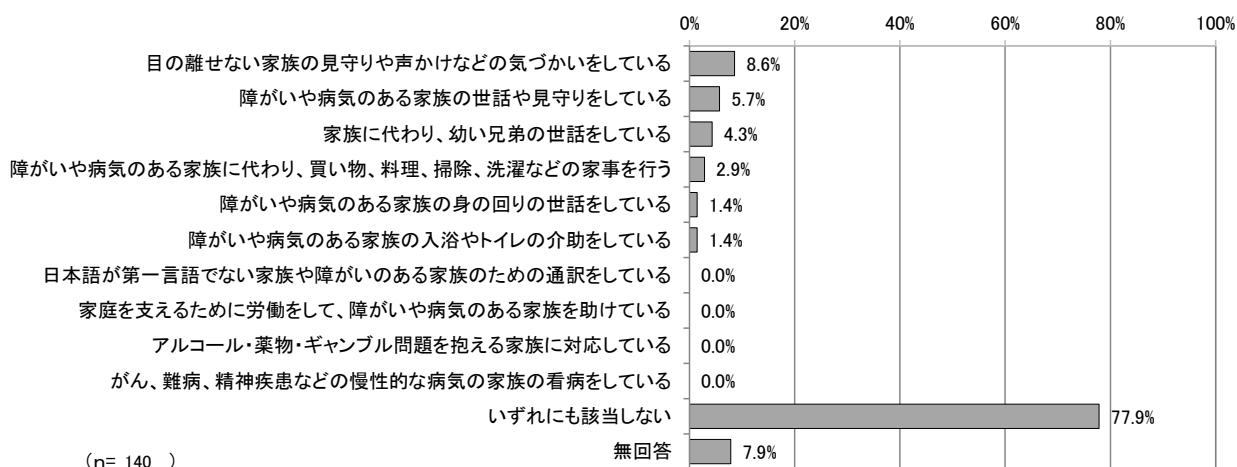


(9)ヤングケアラーについて

問 18 あて名のお子さんの家庭で、18歳未満の人が、障がいのある人（こども）に対して以下のことを日常的に行なっていますか（○はいくつでも）。

「いずれにも該当しない」が 77.9%

「いずれにも該当しない」が77.9%と最も高く、次いで「目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている」が8.6%となっています。



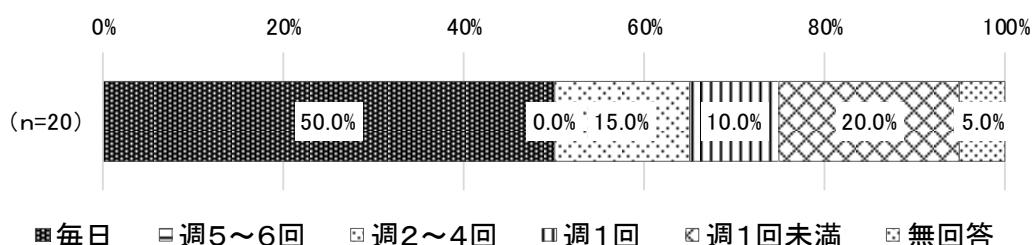
(9-1)お手伝いの頻度・時間

問18-1 問18で「1」～「10」と回答した人のみ。あて名のお子さんのお手伝いの頻度・時間はどのくらいですか（○はそれぞれ1つ）。

① 頻度

「毎日」が50.0%

「毎日」が50.0%と最も高く、次いで「週1回未満」が20.0%となっています。



■ 発達診断別

発達診断別では、診断されたことはないでは「週1回」50.0%が最も高くなっています。

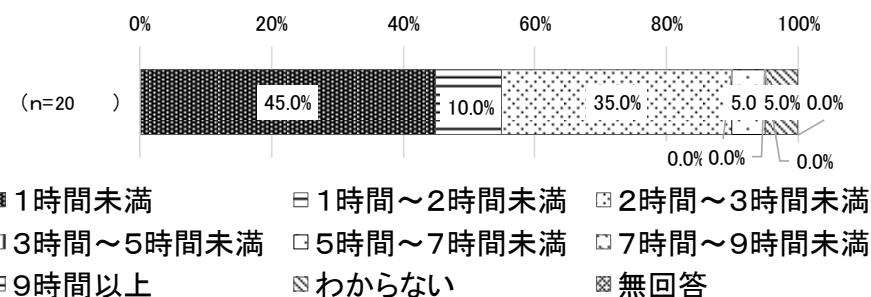
		回答者数	毎日	週5～6回	週2～4回	週1回	週1回未満	無回答
全体	人数	20	10	0	3	2	4	1
	構成比		50.0%	0.0%	15.0%	10.0%	20.0%	5.0%
診断されたことがある	人数	15	8	0	3	0	4	0
	構成比		53.3%	0.0%	20.0%	0.0%	26.7%	0.0%
診断されたことはない	人数	4	2	0	0	2	0	0
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 1日あたりの時間

「1時間未満」が45.0%

「1時間未満」が45.0%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が35.0%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「2時間～3時間未満」100.0%が最も高くなっています。

		回答者数	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～9時間未満	9時間以上	わからない	無回答
全体	人数	20	9	2	7	0	1	0	0	1	0
	構成比		45.0%	10.0%	35.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
身体障がい	人数	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	11	5	1	4	0	1	0	0	0	0
	構成比		45.5%	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	7	4	1	1	0	0	0	0	1	0
	構成比		57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

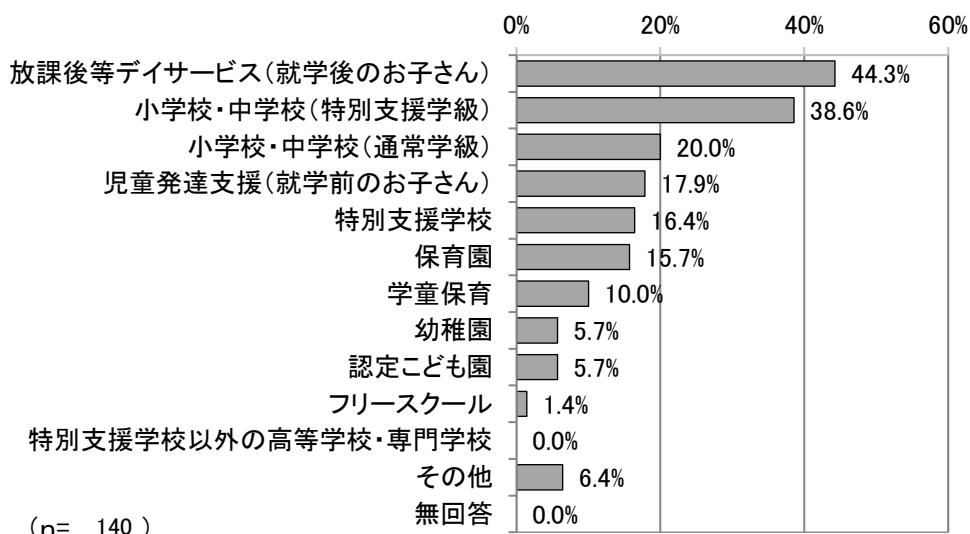
5 日頃の活動状況について

(1) 平日の日中の過ごし方

問19 平日の日中、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか（〇はいくつでも）。

「放課後等デイサービス（就学後のお子さん）」が44.3%

「放課後等デイサービス（就学後のお子さん）」が44.3%と最も高く、次いで「小学校・中学校（特別支援学級）」が38.6%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「特別支援学校」53.8%が最も高くなっています。

		回答者数	保育園	幼稚園	認定こども園	児童発達支援 (就学前のお子さん)	特別支援学校	放課後等デイサービス (就学後のお子さん)	小学校・中学校 (特別支援学級)	小学校・中学校 (通常学級)	特別支援学校以外の高等学 校・専門学校	フリースクール	学童保育	その他	無回答
全体	人数	140	22	8	8	25	23	62	54	28	0	2	14	9	0
	構成比		15.7%	5.7%	5.7%	17.9%	16.4%	44.3%	38.6%	20.0%	0.0%	1.4%	10.0%	6.4%	0.0%
身体障がい	人数	13	1	0	0	3	7	7	2	0	0	0	0	3	0
	構成比		7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	53.8%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%
知的障がい	人数	45	8	1	2	9	19	23	11	0	0	1	1	1	0
	構成比		17.8%	2.2%	4.4%	20.0%	42.2%	51.1%	24.4%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	14	7	6	14	0	35	42	28	0	1	13	6	0
	構成比		15.9%	8.0%	6.8%	15.9%	0.0%	39.8%	47.7%	31.8%	0.0%	1.1%	14.8%	6.8%	0.0%

1位:全體が黒で白文字、2位:全體が灰色で太文字

■ 発達診断別

発達診断別では、診断されたことはない、では「小学校・中学校(特別支援学級)」42.9%が最も高くなっています。

		回答者数	保育園	幼稚園	認定こども園	児童発達支援 (就学前のお子さん)	特別支援学校	放課後等デイサービス(就学後のお子さん)	小学校・中学校(特別支援学級)	小学校・中学校(通常学級)	特別支援学校以外の高等学校・専門学校	フリースクール	学童保育	その他	無回答
全体	人数	140	22	8	8	25	23	62	54	28	0	2	14	9	0
	構成比		15.7%	5.7%	5.7%	17.9%	16.4%	44.3%	38.6%	20.0%	0.0%	1.4%	10.0%	6.4%	0.0%
診断されたことがある	人数	88	14	5	3	15	17	40	33	16	0	2	11	4	0
	構成比		15.9%	5.7%	3.4%	17.0%	19.3%	45.5%	37.5%	18.2%	0.0%	2.3%	12.5%	4.5%	0.0%
診断されたことはない	人数	49	8	3	5	10	3	20	21	12	0	0	3	5	0
	構成比		16.3%	6.1%	10.2%	20.4%	6.1%	40.8%	42.9%	24.5%	0.0%	0.0%	6.1%	10.2%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

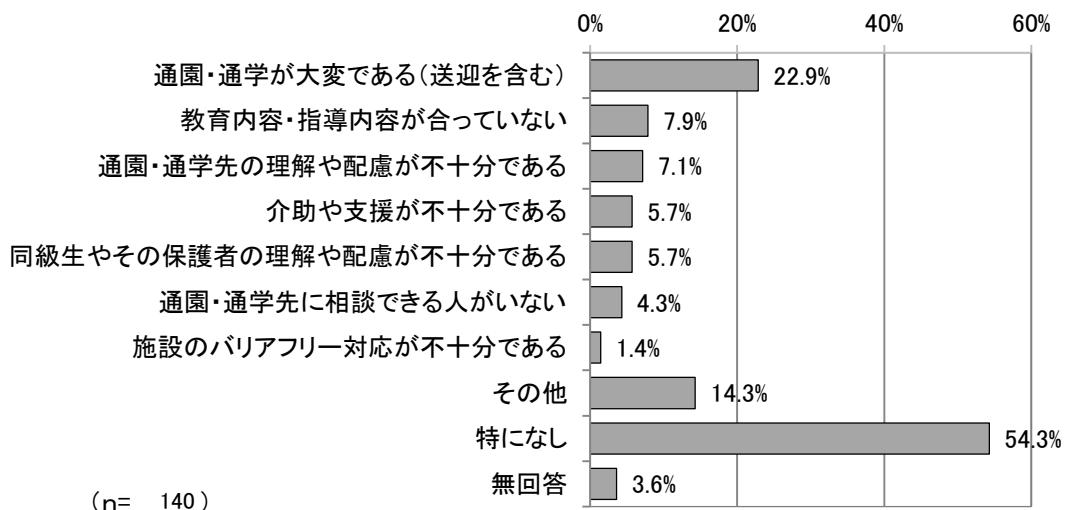
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2) 通園や通学で困っていること

問20 あて名のお子さんが通園や通学で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)。

「特になし」が54.3%

「特になし」が54.3%と最も高く、次いで「通園・通学が大変である(送迎を含む)」が22.9%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「通園・通学が大変である(送迎を含む)」46.2%が最も高くなっています。

		回答者数	通園・通学が大変である(送迎を含む)	介助や支援が不十分である	施設のバリアフリー対応が不十分である	通園・通学先の理解や配慮が不十分である	同級生やその保護者の理解や配慮が不十分である	通園・通学先に相談できる人がいない	教育内容・指導内容が合っていない	その他	特になし	無回答
全体	人数	140	32	8	2	10	8	6	11	20	76	5
	構成比		22.9%	5.7%	1.4%	7.1%	5.7%	4.3%	7.9%	14.3%	54.3%	3.6%
身体障がい	人数	13	6	2	1	1	0	0	0	2	5	1
	構成比		46.2%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	7.7%
知的障がい	人数	45	13	4	2	4	4	2	4	8	22	1
	構成比		28.9%	8.9%	4.4%	8.9%	8.9%	4.4%	8.9%	17.8%	48.9%	2.2%
精神障がい	人数	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	15	3	0	6	4	4	7	10	53	3
	構成比		17.0%	3.4%	0.0%	6.8%	4.5%	4.5%	8.0%	11.4%	60.2%	3.4%

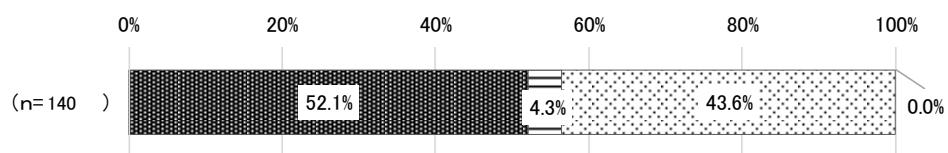
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)スポーツや運動について

問21 あて名のお子さんは、学校の授業以外でスポーツや運動（体を動かすこと）をしていますか（〇は1つ）。

「している」が52.1%

「している」が52.1%と最も高く、次いで「していない」が43.6%となっています。



■ している □ 今はしていないが、過去にしていたことがある □ していない □ 無回答

■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「していない」53.8%、知的障がいでは「していない」51.1%が最も高くなっています。

		回答者数	している	今はして いない が、過去 にしてい たことが ある	していな い	無回答
全体	人数	140	73	6	61	0
	構成比		52.1%	4.3%	43.6%	0.0%
身体障がい	人数	13	6	0	7	0
	構成比		46.2%	0.0%	53.8%	0.0%
知的障がい	人数	45	19	3	23	0
	構成比		42.2%	6.7%	51.1%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	50	3	35	0
	構成比		56.8%	3.4%	39.8%	0.0%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 発達診断別

発達診断別では、診断されたことはないでは「していない」49.0%が最も高くなっています。

		回答者数	している	今はして いない が、過去 にしてい たことが ある	していな い	無回答
全体	人数	140	73	6	61	0
	構成比		52.1%	4.3%	43.6%	0.0%
診断されたことがあ る	人数	88	48	5	35	0
	構成比		54.5%	5.7%	39.8%	0.0%
診断されたことはな い	人数	49	24	1	24	0
	構成比		49.0%	2.0%	49.0%	0.0%
無回答	人数	3	1	0	2	0
	構成比		33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

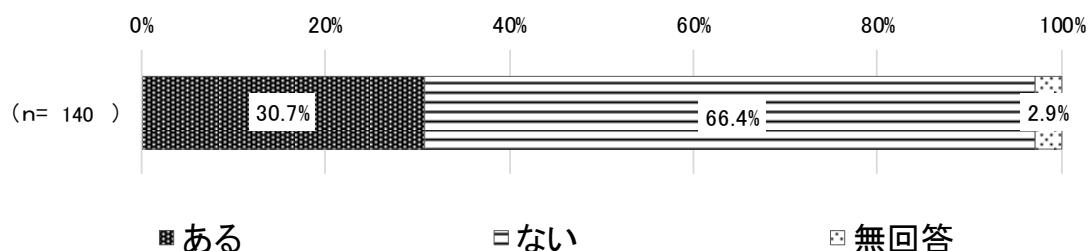
6 差別・権利擁護について

(1)差別を受けた経験の有無

問22 あて名のお子さんは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が66.4%

「ない」が66.4%と、「ある」が30.7%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、知的障がいでは「ある」51.1%が最も高くなっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	140	43	93	4
	構成比		30.7%	66.4%	2.9%
身体障がい	人数	13	2	9	2
	構成比		15.4%	69.2%	15.4%
知的障がい	人数	45	23	20	2
	構成比		51.1%	44.4%	4.4%
精神障がい	人数	1	0	1	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%
無回答	人数	88	19	68	1
	構成比		21.6%	77.3%	1.1%

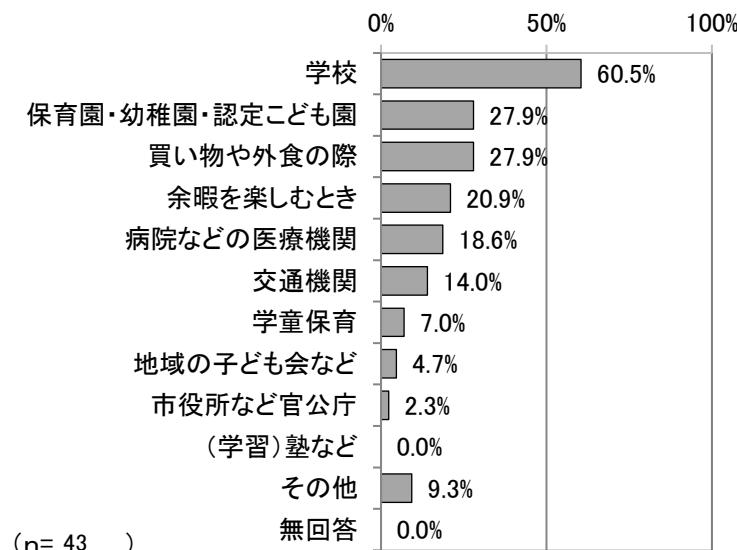
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(1-1)差別を受けた場所

問22-1 問22で「1」に回答した人のみ。あて名のお子さんはどのようないかで差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

「学校」が60.5%

「学校」が60.5%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園」「買い物や外食の際」が各々27.9%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「買い物や外食の際」100.0%、「余暇を楽しむとき」100.0%が最も高くなっています。

		回答者数	学校	保育園・幼稚園・認定こども園	(学習)塾など	学童保育	買い物や外食の際	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	市役所など官公庁	地域の子ども会など	交通機関	その他	無回答
全体	人数	43	26	12	0	3	12	9	8	1	2	6	4	0
	構成比		60.5%	27.9%	0.0%	7.0%	27.9%	20.9%	18.6%	2.3%	4.7%	14.0%	9.3%	0.0%
身体障がい	人数	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	23	11	4	0	1	8	6	5	1	2	5	4	0
	構成比		47.8%	17.4%	0.0%	4.3%	34.8%	26.1%	21.7%	4.3%	8.7%	21.7%	17.4%	0.0%
精神障がい	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	19	15	8	0	2	3	2	3	0	0	1	0	0
	構成比		78.9%	42.1%	0.0%	10.5%	15.8%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%

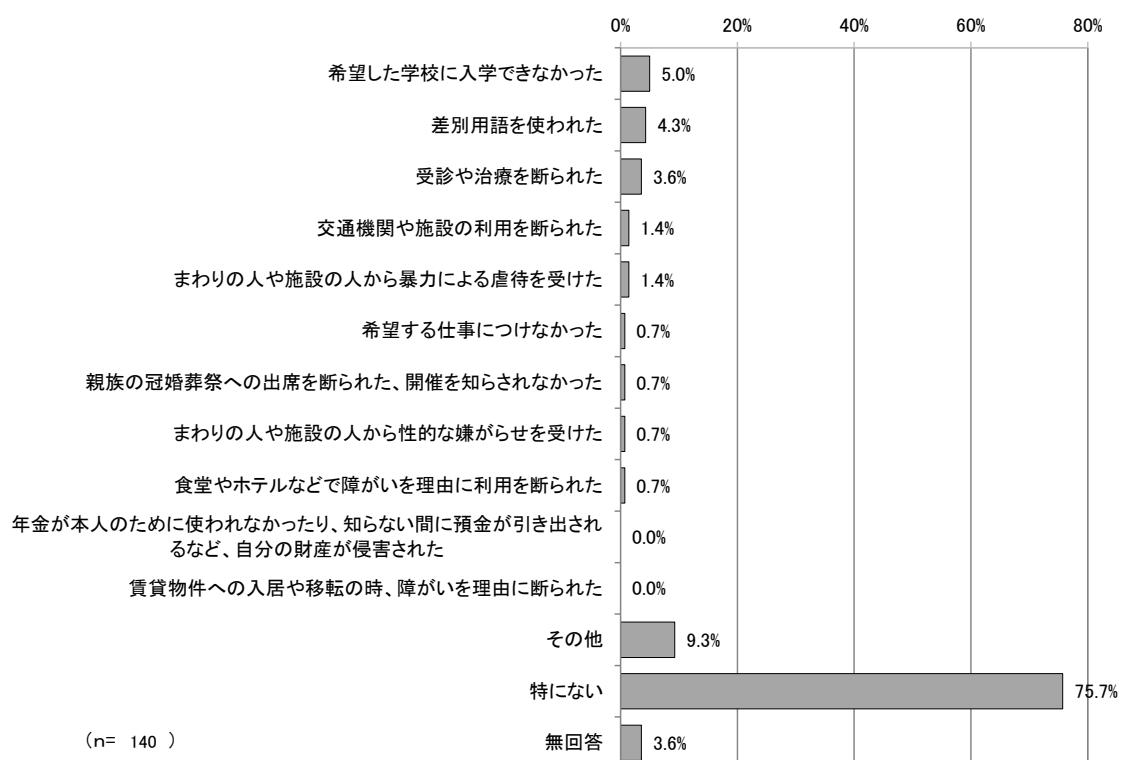
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2)障がいがあることが原因で受けた経験

問23 あて名のお子さんは、日常生活の中で、障がいがあることが原因で、次のような扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が75.7%

「特にない」が75.7%と最も高く、次いで「希望した学校に入学できなかった」が5.0%となっています。

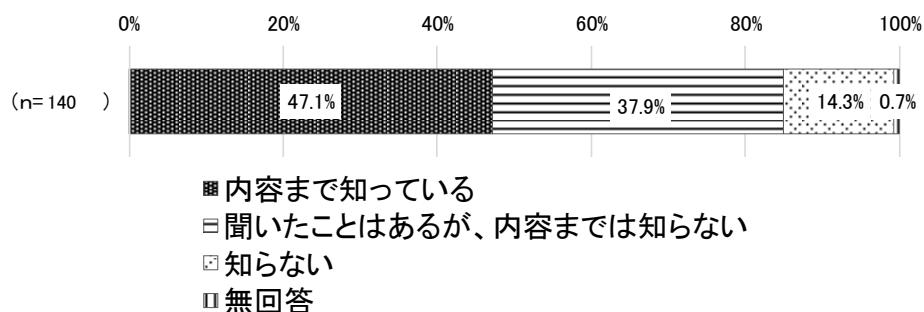


(3)合理的配慮の認知状況

問24 あなたは、「合理的配慮」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「内容まで知っている」が47.1%

「内容まで知っている」が47.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が37.9%となっています。



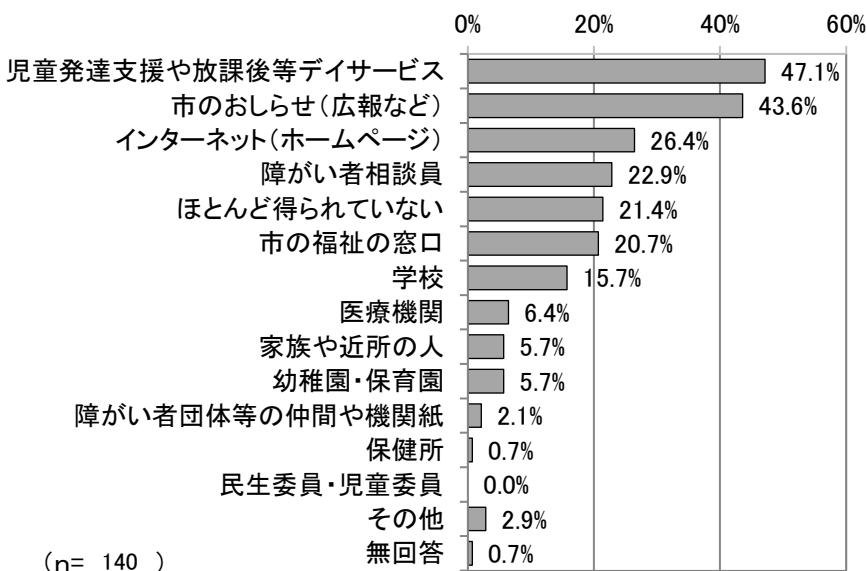
7 保健福祉サービス・施設サービスについて

(1) 障がいのある人に対するサービスについての情報源

問25 あなたは、市が行っている障がいのある人に対するサービスや施策についての情報は、どこから得ていますか。(○はいくつでも)

「児童発達支援や放課後等デイサービス」が47.1%

「児童発達支援や放課後等デイサービス」が47.1%と最も高く、次いで「市のおしらせ(広報など)」が43.6%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「市のおしらせ(広報など)」61.5%が最も高くなっています。

		回答者数	市のおしらせ(広報など)	市の福祉の窓口	保健所	医療機関	インターネット(ホームページ)	民生委員・児童委員	障がい者相談員	障がい者団体等の仲間や機関紙	家族や近所の人	幼稚園・保育園	学校	児童発達支援や放課後等デイサービス	ほとんど得られていない	その他	無回答
全体	人数	140	61	29	1	9	37	0	32	3	8	8	22	66	30	4	1
	構成比		43.6%	20.7%	0.7%	6.4%	26.4%	0.0%	22.9%	2.1%	5.7%	5.7%	15.7%	47.1%	21.4%	2.9%	0.7%
身体障がい	人数	13	8	3	0	1	5	0	6	1	1	0	3	8	2	0	0
	構成比		61.5%	23.1%	0.0%	7.7%	38.5%	0.0%	46.2%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%	0.0%
知的障がい	人数	45	21	10	1	1	12	0	17	2	4	1	10	26	7	2	0
	構成比		46.7%	22.2%	2.2%	2.2%	26.7%	0.0%	37.8%	4.4%	8.9%	2.2%	22.2%	57.8%	15.6%	4.4%	0.0%
精神障がい	人数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	37	17	0	7	24	0	11	1	4	7	11	35	22	2	1
	構成比		42.0%	19.3%	0.0%	8.0%	27.3%	0.0%	12.5%	1.1%	4.5%	8.0%	12.5%	39.8%	25.0%	2.3%	1.1%

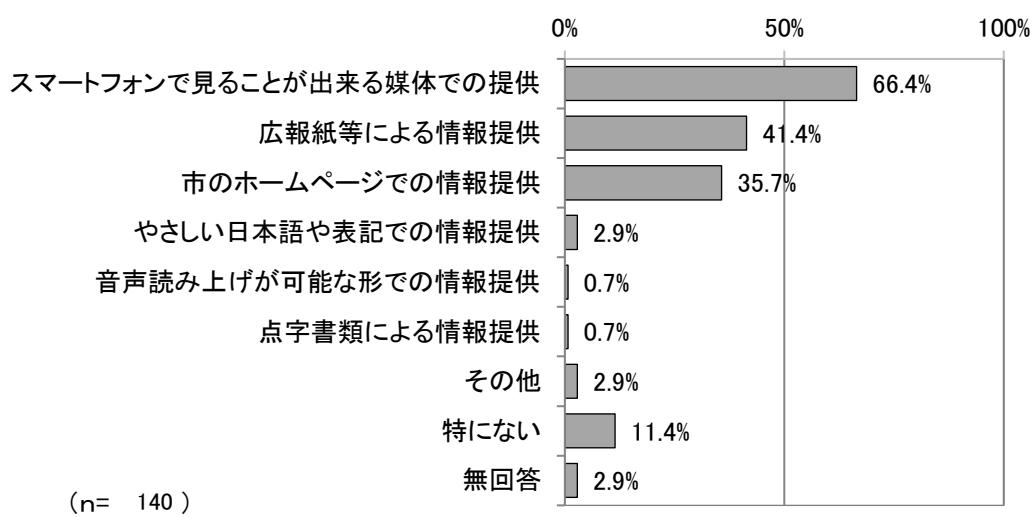
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2)希望する情報提供の方法

問26 あなたが提供を希望する情報提供の方法はどのようなものですか。(○はいくつでも)

**「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が
66.4%**

「スマートフォンで見ることが出来る媒体での提供」が66.4%と最も高く、次いで「広報紙等による情報提供」が41.4%となっています。

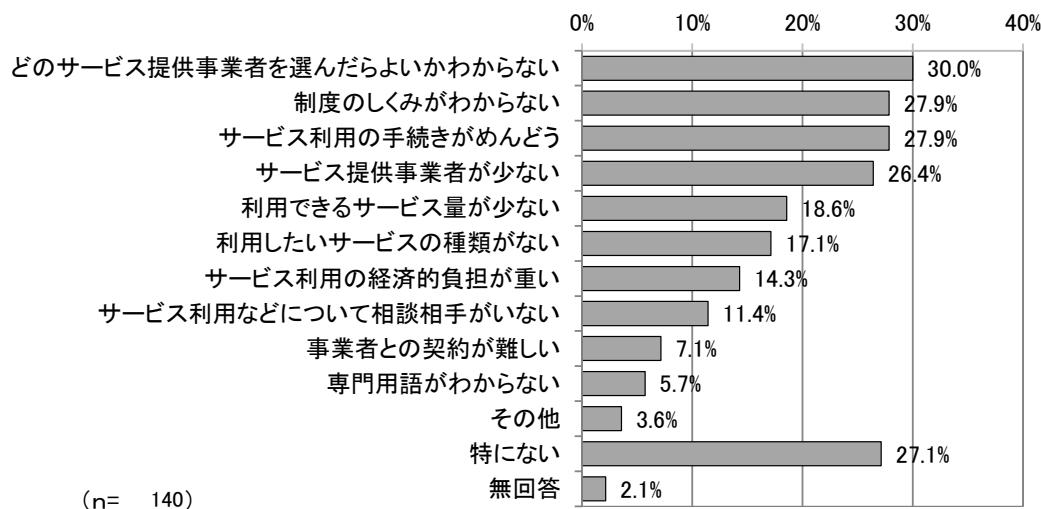


(3)福祉サービスについて困っていること

問27 現在、市が行っている障がいのある人のための福祉サービスについて、あなたが困っていることや心配なことはありますか。(○はいくつでも)

「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」
が30.0%

「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」が30.0%と最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」が27.9%となっています。



■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「サービス利用の手続きがめんどう」46.2%、知的障がいでは「制度のしくみがわからない」37.8%が最も高くなっています。

		回答者数	制度のしくみがわからない	専門用語がわからない	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない	サービス提供事業者が少ない	サービス利用の手続きがめんどう	事業者との契約が難しい	サービス利用の経済的負担が重い	利用できるサービス量が少ない	利用したいサービスの種類がない	サービス利用などについて相談相手がない	その他	特にない	無回答
全体	人数	140	39	8	42	37	39	10	20	26	24	16	5	38	3
	構成比		27.9%	5.7%	30.0%	26.4%	27.9%	7.1%	14.3%	18.6%	17.1%	11.4%	3.6%	27.1%	2.1%
身体障がい	人数	13	3	0	3	5	6	1	2	4	2	0	0	3	1
	構成比		23.1%	0.0%	23.1%	38.5%	46.2%	7.7%	15.4%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%
知的障がい	人数	45	17	3	15	13	7	3	7	9	9	3	0	12	1
	構成比		37.8%	6.7%	33.3%	28.9%	15.6%	6.7%	15.6%	20.0%	20.0%	6.7%	0.0%	26.7%	2.2%
精神障がい	人数	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	88	21	5	25	20	28	6	12	15	14	13	5	25	2
	構成比		23.9%	5.7%	28.4%	22.7%	31.8%	6.8%	13.6%	17.0%	15.9%	14.8%	5.7%	28.4%	2.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 発達診断別

発達診断別では、診断されたことはないでは「特にない」30.6%が最も高くなっています。

		回答者数	制度のしくみがわからぬ	専門用語がわからぬ	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからぬ	サービス提供事業者が少ない	サービス利用の手続きがめんどう	事業者との契約が難しい	サービス利用の経済的負担が重い	利用できるサービス量が少ない	利用したいサービスの種類がない	サービス利用などについて相談相手がない	その他	特にない	無回答
全体	人数	140	39	8	42	37	39	10	20	26	24	16	5	38	3
	構成比		27.9%	5.7%	30.0%	26.4%	27.9%	7.1%	14.3%	18.6%	17.1%	11.4%	3.6%	27.1%	2.1%
診断されたことがある	人数	88	25	6	26	23	25	8	16	17	18	8	5	21	3
	構成比		28.4%	6.8%	29.5%	26.1%	28.4%	9.1%	18.2%	19.3%	20.5%	9.1%	5.7%	23.9%	3.4%
診断されたことはない	人数	49	14	2	15	13	13	2	4	9	6	8	0	15	0
	構成比		28.6%	4.1%	30.6%	26.5%	26.5%	4.1%	8.2%	18.4%	12.2%	16.3%	0.0%	30.6%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	構成比		0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%

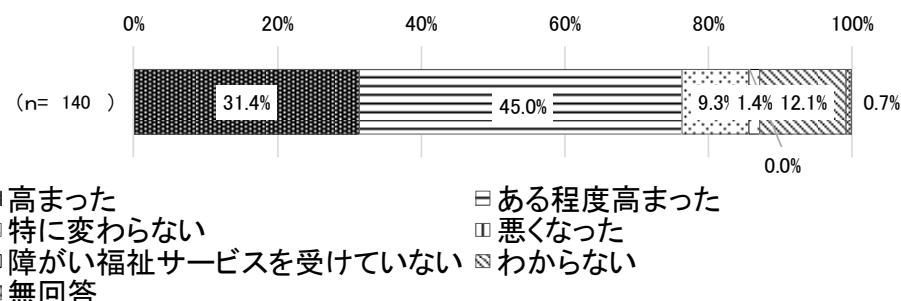
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(4) 障がい福祉サービスを受けたことによる生活の質の変化

問28 あなたは、行政や民間が実施する障がい福祉サービスを受けることで、あて名のお子さんの生活の質が高まったと思いますか。(○は1つ)

「ある程度高まった」が45.0%

「ある程度高まった」が45.0%と最も高く、次いで「高まった」が31.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、15歳以上では「高まった」33.3%と最も高くなっています。

平均点では、顕著な特徴はありませんでした。

平均点算出方法	
高まった	2点
ある程度高まった	1点
特に変わらない	0点
悪くなった	-2点
わからない	0点

		回答者数	高まった	ある程度高まった	特に変わらない	悪くなった	障がい福祉サービスを受けていない	わからない	無回答	平均点
全体	人数	140	44	63	13	0	2	17	1	1.10
	構成比		31.4%	45.0%	9.3%	0.0%	1.4%	12.1%	0.7%	
5歳以下	人数	24	7	14	1	0	0	2	0	1.17
	構成比		29.2%	58.3%	4.2%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	
6~11歳	人数	77	26	34	8	0	0	8	1	1.13
	構成比		33.8%	44.2%	10.4%	0.0%	0.0%	10.4%	1.3%	
12~14歳	人数	22	6	9	2	0	2	3	0	1.05
	構成比		27.3%	40.9%	9.1%	0.0%	9.1%	13.6%	0.0%	
15歳以上	人数	15	5	5	1	0	0	4	0	1.00
	構成比		33.3%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	26.7%	0.0%	
無回答	人数	2	0	1	1	0	0	0	0	0.50
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

D 【障がい児】

■ 障がい区分別

障がい区分別では、身体障がいでは「高まった」38.5%が最も高くなっています。

平均点では、顕著な特徴はありませんでした。

		回答者数	高まった	ある程度 高まった	特に変 わらない	悪くなっ た	障がい 福祉 サービス を受けて いない	わからな い	無回答	平均点
全体	人数	140	44	63	13	0	2	17	1	1.10
	構成比		31.4%	45.0%	9.3%	0.0%	1.4%	12.1%	0.7%	
身体障がい	人数	13	5	4	2	0	0	2	0	1.08
	構成比		38.5%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	
知的障がい	人数	45	15	22	3	0	0	5	0	1.16
	構成比		33.3%	48.9%	6.7%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	
精神障がい	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	1.00
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	人数	88	25	40	9	0	2	11	1	1.06
	構成比		28.4%	45.5%	10.2%	0.0%	2.3%	12.5%	1.1%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字



E【一般】

1 概要

(1) 障がいのある人との交流などについて

- ・障がいのある人と日常生活の中で接する機会については、「家族や親戚に障がいのある人がいる・いた」が30.8%(前回29.4%)と最も高く、次いで「職場で一緒に働いている・働いた」が23.6%(前回16.5%)となっています。また、前回2番目に高かった「ふれ合う(接する)機会はなかった」は今回は20.7%(前回は25.3%)となっており、障がいのある人とふれあう機会が増えています。
- ・障がいのある人が困っているのを見かけたときの行動は、「自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、または手伝えると思う」が39.9%と、前回の23.2%と比較して16.7ポイント高くなっています。
- ・障がい等に関することについての体験や学んだ経験は、「車いすの使い方」が33.2%と最も高く、次いで「上記のようなことを学んだことはない」が29.3%(前回44.1%)と14.8ポイント前回と比べて低下しています。
- ・障がいのある人と一緒に活動した経験の有無は、「ある」が47.1%、「ない」が42.8%となっています。障がいのある人と一緒に活動した場所は、「職場の中で」が64.3%と最も高く、次いで「学校の授業で」が25.5%となっています。
- ・障がいのある人への差別・偏見については、「ある」の割合が最も高いのは精神障がいが45.7%、次いで知的障がいが42.8%となっています。前回と比較すると「ある」の割合は、知的障がい、精神障がい、難病患者、発達障がいで5ポイント以上低下しています。
- ・障がいのある人に対する理解の深まりについては、「かなり深まっている」「ある程度深まっている」が56.2%となっており、前回の49.5%と比較すると6.7ポイント増加しています。
- ・障がいのある人が就労するために必要な条件は、「その人に合う仕事の紹介、あっせん」が65.4%(前回60.1%)と最も高く、次いで「周囲の理解、職場の人間関係形成」が63.0%(前回64.4%)となっています。
- ・障がいのある人とない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくために必要なことは、「障がいの状況に応じて働くよう、職場の就労環境を改善する」が46.2%(前回42.5%)と最も高く、次いで「障がいのない人が障がいについての理解を深められるよう、情報提供を充実する」が42.3%(前回32.0%)となっています。

(2) ボランティアについて

- ・ボランティア活動についての関心の有無は、「関心がある」「ある程度関心がある」あわせて55.8%(前回62.4%)となっています。
- ・障がいのある人に対するボランティア活動の参加状況は、「たびたびある」「何度がある」あわせて19.7%(前回21.4%)となっています。
- ・障がいのある人に対するボランティア活動への参加意向は、「活動したい」「機会があれば活動したい」あわせて42.8%(前回40.2%)と半数近くの方が希望しています。
- ・希望する活動内容は、「話し相手や安否の確認」「災害時の避難や救助」が各々33.7%となっています。

- ・ボランティア活動に参加しようとした際に困ることは、「どんな活動があるのかわからない」が47.2%と最も高く、次いで「どのような手伝いをしたらいいのかわからない」が42.7%となっています。

(3)福祉のまちづくりについて

- ・障がい福祉に関する言葉の認知状況は、「内容まで知っている」は成年後見制度で24.0%(前回28.1%)と最も高く、他は1桁台となっています。
- ・障がいのある人、ない人がお互いの理解のために必要なことは、「小さなときから、障がいのある人と一緒に学んだり、遊んだりする」が48.1%と最も高く、次いで「職場で障がいのある人が雇用される」が44.2%となっています。
- ・合理的配慮の認知状況は、「知らない」が63.0%(前回67.5%)と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が23.6%(前回22.4%)、「内容まで知っている」は10.6%(前回5.7%)となっています。
- ・合理的配慮が必要な場面は、「障がいのある人が公共交通を使うとき」が77.9%と最も高く、次いで「障がいのある人が買い物をするとき」が58.7%となっています。
- ・障がいに関するマーク等の認知状況は、「知っている」が最も高いのは、「障害者のための国際シンボルマーク」が81.7%であり、次いで「ヘルプマーク」が63.5%の順となります。

2 あなた自身について

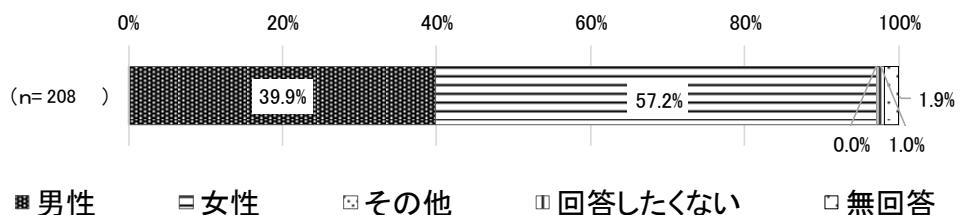
(1)回答者の年齢と性別

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

① 性別

「女性」が 57.2%

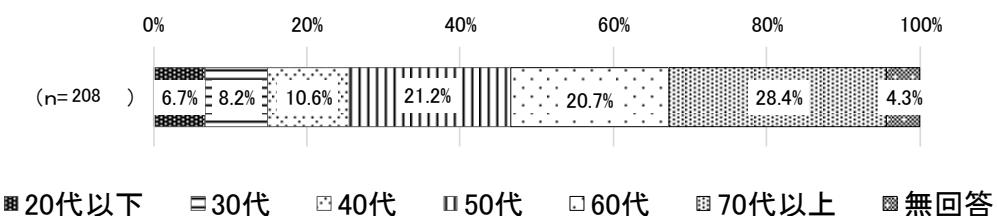
「女性」が57.2%と最も高く、次いで「男性」が39.9%となっています。



② 年齢

「70代以上」が 28.4%

「70代以上」が28.4%と最も高く、次いで「50代」が21.2%となっています。

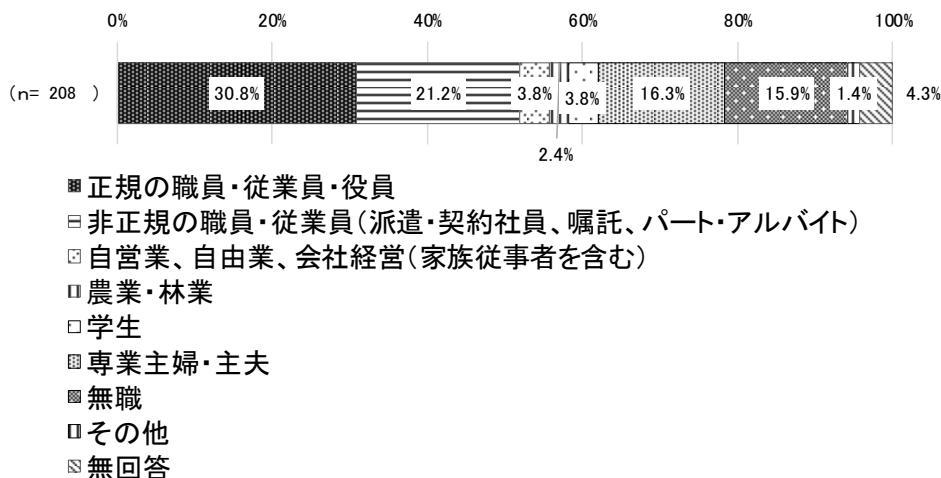


(2)職業

問2 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

「正規の職員・従業員・役員」が30.8%

「正規の職員・従業員・役員」が30.8%と最も高く、次いで「非正規の職員・従業員(派遣・契約社員、嘱託、パート・アルバイト)」が21.2%となっています。

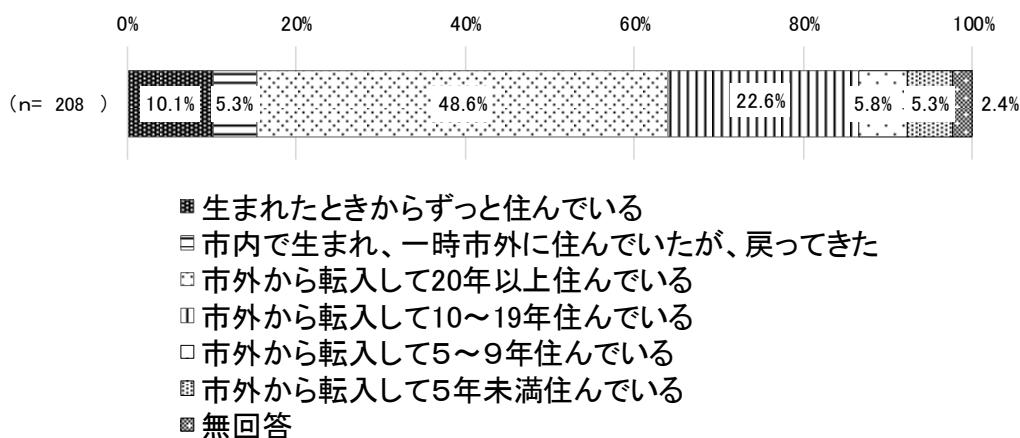


(3)居住年数

問3 あなたは白井市に住んでどのくらいになりますか。(○は1つ)

「市外から転入して20年以上住んでいる」が48.6%

「市外から転入して20年以上住んでいる」が48.6%と最も高く、次いで「市外から転入して10～19年住んでいる」が22.6%となっています。



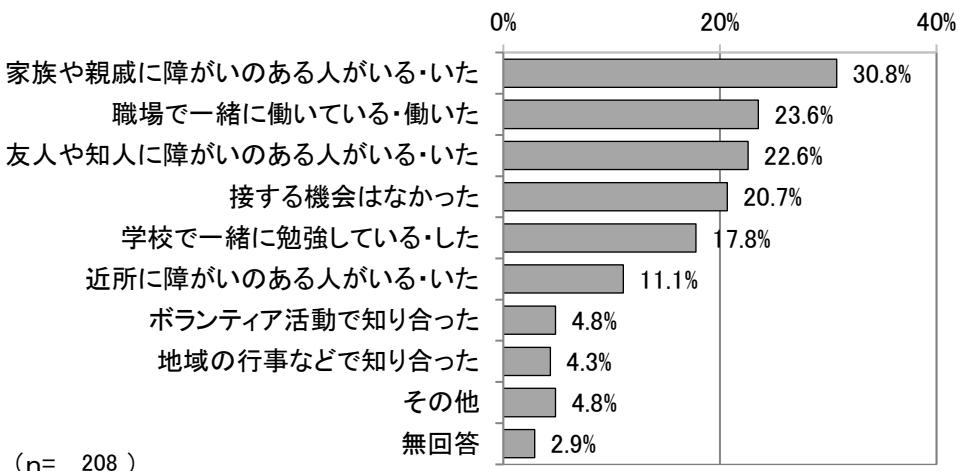
3 障がいのある人との交流などについて

(1) 障がいのある人と日常生活の中で接する機会について

問4 あなたは、今まで障がいのある人と、日常生活の中で接する機会がありましたか。(○はいくつでも)

「家族や親戚に障がいのある人がいる・いた」が30.8%

「家族や親戚に障がいのある人がいる・いた」が30.8%と最も高く、次いで「職場で一緒に働いている・働いた」が23.6%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「学校で一緒に勉強している・した」、30代では「友人や知人に障がいのある人がいる・いた」「学校で一緒に勉強している・した」「職場で一緒に働いている・働いた」29.4%、40代では「職場で一緒に働いている・働いた」が最も高くなっています。

		回答者数	家族や親戚に障がいのある人がいる・いた	友人や知人に障がいのある人がいる・いた	近所に障がいのある人がいる・いた	学校で一緒に勉強している・した	職場で一緒に働いている・働いた	地域の行事などで知り合った	ボランティア活動で知り合った	接する機会はなかった	その他	無回答
全体	人数	208	64	47	23	37	49	9	10	43	10	6
	構成比		30.8%	22.6%	11.1%	17.8%	23.6%	4.3%	4.8%	20.7%	4.8%	2.9%
20代以下	人数	14	1	4	1	10	0	1	2	2	1	0
	構成比		7.1%	28.6%	7.1%	71.4%	0.0%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%
30代	人数	17	2	5	1	5	5	1	1	3	1	0
	構成比		11.8%	29.4%	5.9%	29.4%	29.4%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%
40代	人数	22	5	5	5	5	6	2	2	3	1	0
	構成比		22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	27.3%	9.1%	9.1%	13.6%	4.5%	0.0%
50代	人数	44	15	13	6	10	14	3	0	8	0	0
	構成比		34.1%	29.5%	13.6%	22.7%	31.8%	6.8%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%
60代	人数	43	17	7	5	1	15	1	2	9	3	0
	構成比		39.5%	16.3%	11.6%	2.3%	34.9%	2.3%	4.7%	20.9%	7.0%	0.0%
70代以上	人数	59	22	12	5	4	9	1	3	17	3	2
	構成比		37.3%	20.3%	8.5%	6.8%	15.3%	1.7%	5.1%	28.8%	5.1%	3.4%
無回答	人数	9	2	1	0	2	0	0	0	1	1	4
	構成比		22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%

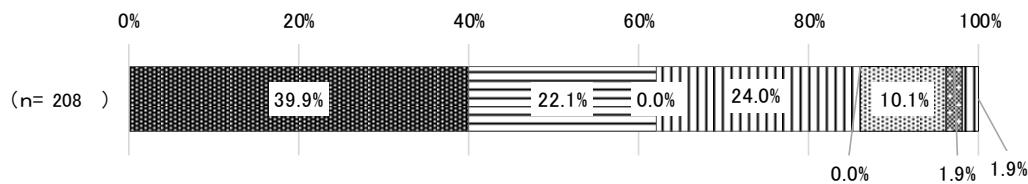
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)障がいのある人が困っているのを見かけたときの行動

問5 あなたは、障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたとき、どのような行動をとりましたか、または、どうすると思いますか。(○は1つ)

「自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、または手伝えると思う」が39.9%

「自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、または手伝えると思う」が39.9%と最も高く、次いで「できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う」が24.0%となっています。



- 自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、または手伝えると思う
- 困っている人に頼まれて手伝ったことがある、または手伝えると思う
- 困っている人に頼まれたが、手伝わなかつた、または手伝えないと思う
- できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う
- 困っているような場面を見かけても、できることはないとと思う
- 困っているような場面は見かけたことがない、想像することができない
- その他
- 無回答

■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う」28.6%と最も高くなっています。

		回答者数	自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、または手伝えると思う	困っている人に頼まれて手伝ったことがある、または手伝えると思う	困っている人に頼まれたが、手伝わなかつた、または手伝えないと思う	できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う	困っているような場面を見かけても、できることはないとと思う	困っているような場面は見かけたことがない、想像することができない	その他	無回答
全体	人数	208	83	46	0	50	0	21	4	4
	構成比		39.9%	22.1%	0.0%	24.0%	0.0%	10.1%	1.9%	1.9%
20代以下	人数	14	4	3	0	4	0	2	1	0
	構成比		28.6%	21.4%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%
30代	人数	17	7	2	0	4	0	3	1	0
	構成比		41.2%	11.8%	0.0%	23.5%	0.0%	17.6%	5.9%	0.0%
40代	人数	22	8	6	0	7	0	1	0	0
	構成比		36.4%	27.3%	0.0%	31.8%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
50代	人数	44	19	14	0	8	0	3	0	0
	構成比		43.2%	31.8%	0.0%	18.2%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%
60代	人数	43	17	11	0	11	0	4	0	0
	構成比		39.5%	25.6%	0.0%	25.6%	0.0%	9.3%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	59	27	10	0	13	0	7	1	1
	構成比		45.8%	16.9%	0.0%	22.0%	0.0%	11.9%	1.7%	1.7%
無回答	人数	9	1	0	0	3	0	1	1	3
	構成比		11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%

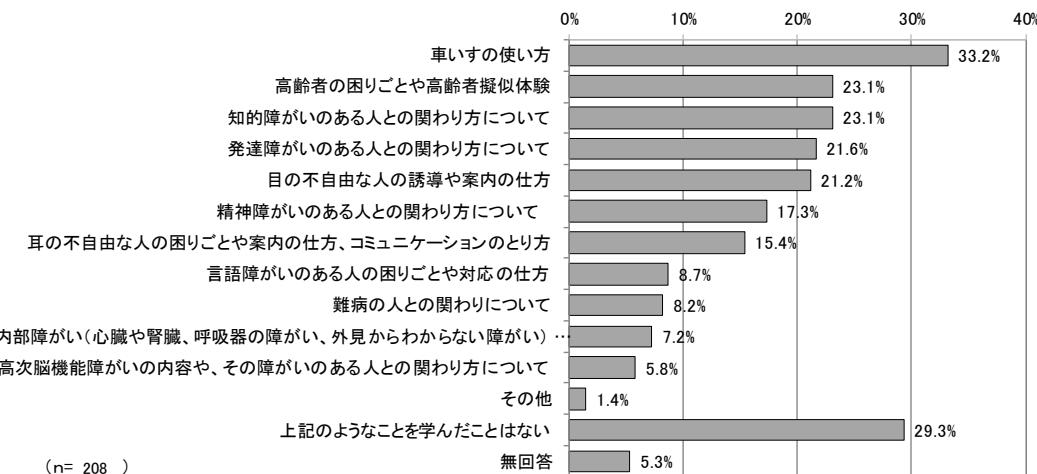
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3) 障がい等に関することについての体験や学んだ経験

問6 あなたは、今までに下記で挙げているようなことについて、体験したり学んだりした経験はありますか。(○はいくつでも)

「車いすの使い方」が 33.2%

「車いすの使い方」が33.2%と最も高く、次いで「上記のようなことを学んだことはない」が29.3%となっています。



■年齢別

年齢別では、40代では「知的障がいのある人の関わり方について」、50代、70代以上では「上記のようなことを学んだことはない」が最も高くなっています。

		回答者数	目の不自由な人の誘導や案内の仕方	耳の不自由な人の困りごとや案内の仕方、コミュニケーションのとり方	言語障がいのある人の困りごとや対応の仕方	車いすの使い方	高齢者の困りごとや高齢者擬似体験	内部障がい(心臓や腎臓、呼吸器の障がい、外見からわからぬ障がい)の内容について	知的障がいのある人の関わり方について	精神障がいのある人の関わり方について	難病の人との関わり方について	発達障がいのある人の関わり方について	高次脳機能障がいの内容や、その障がいのある人の関わり方について	その他	上記のようなことを学んだことはない	無回答
全体	人数	208	44	32	18	69	48	15	48	36	17	45	12	3	81	11
	構成比		21.2%	15.4%	8.7%	33.2%	23.1%	7.2%	23.1%	17.3%	8.2%	21.6%	5.8%	1.4%	29.3%	5.3%
20代以下	人数	14	3	4	2	7	6	2	3	2	1	4	1	0	2	0
	構成比		21.4%	28.6%	14.3%	50.0%	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%
30代	人数	17	3	3	2	8	5	2	5	2	1	3	1	0	4	0
	構成比		17.6%	17.6%	11.8%	47.1%	29.4%	11.8%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	23.5%	0.0%
40代	人数	22	1	4	2	5	5	1	11	10	1	9	2	0	5	0
	構成比		4.5%	18.2%	9.1%	22.7%	22.7%	4.5%	50.0%	45.5%	4.5%	40.9%	9.1%	0.0%	22.7%	0.0%
50代	人数	44	12	5	4	10	8	3	9	8	2	9	1	1	16	2
	構成比		27.3%	11.4%	9.1%	22.7%	18.2%	6.8%	20.5%	18.2%	4.5%	20.5%	2.3%	2.3%	36.4%	4.5%
60代	人数	43	15	9	5	19	13	3	10	7	8	11	6	1	12	0
	構成比		34.9%	20.9%	11.6%	44.2%	30.2%	7.0%	23.3%	16.3%	18.6%	25.6%	14.0%	2.3%	27.9%	0.0%
70代以上	人数	59	9	7	3	19	11	4	9	7	3	8	1	1	19	5
	構成比		15.3%	11.9%	5.1%	32.2%	18.6%	6.8%	15.3%	11.9%	5.1%	13.6%	1.7%	1.7%	32.2%	8.5%
無回答	人数	9	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	3	4
	構成比		11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	44.4%

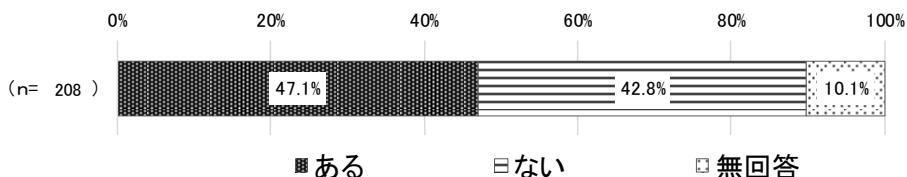
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)障がいのある人と一緒に活動した経験の有無

問7 学校や職場、地域で障がいのある人と一緒に活動した経験がありますか。(○は1つ)

「ある」が47.1%

「ある」が47.1%、「ない」が42.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代以上では「ない」61.0%と最も高くなっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	208	98	89	21
	構成比		47.1%	42.8%	10.1%
20代以下	人数	14	8	5	1
	構成比		57.1%	35.7%	7.1%
30代	人数	17	11	5	1
	構成比		64.7%	29.4%	5.9%
40代	人数	22	13	7	2
	構成比		59.1%	31.8%	9.1%
50代	人数	44	23	16	5
	構成比		52.3%	36.4%	11.4%
60代	人数	43	24	17	2
	構成比		55.8%	39.5%	4.7%
70代以上	人数	59	17	36	6
	構成比		28.8%	61.0%	10.2%
無回答	人数	9	2	3	4
	構成比		22.2%	33.3%	44.4%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

■ 職業別

職業別では、自営業、自由業、会社経営(家族従事者を含む)、農業・林業、専業主婦・主夫、無職では「ない」が最も高くなっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体	人数	208	98	89	21
	構成比		47.1%	42.8%	10.1%
正規の職員・従業員・役員	人数	64	36	22	6
	構成比		56.3%	34.4%	9.4%
非正規の職員・従業員(派遣・契約社員、嘱託、パート・アルバイト)	人数	44	28	10	6
	構成比		63.6%	22.7%	13.6%
自営業、自由業、会社経営(家族従事者を含む)	人数	8	2	6	0
	構成比		25.0%	75.0%	0.0%
農業・林業	人数	5	1	3	1
	構成比		20.0%	60.0%	20.0%
学生	人数	8	5	3	0
	構成比		62.5%	37.5%	0.0%
専業主婦・主夫	人数	34	15	18	1
	構成比		44.1%	52.9%	2.9%
無職	人数	33	8	22	3
	構成比		24.2%	66.7%	9.1%
無回答	人数	9	2	3	4
	構成比		22.2%	33.3%	44.4%

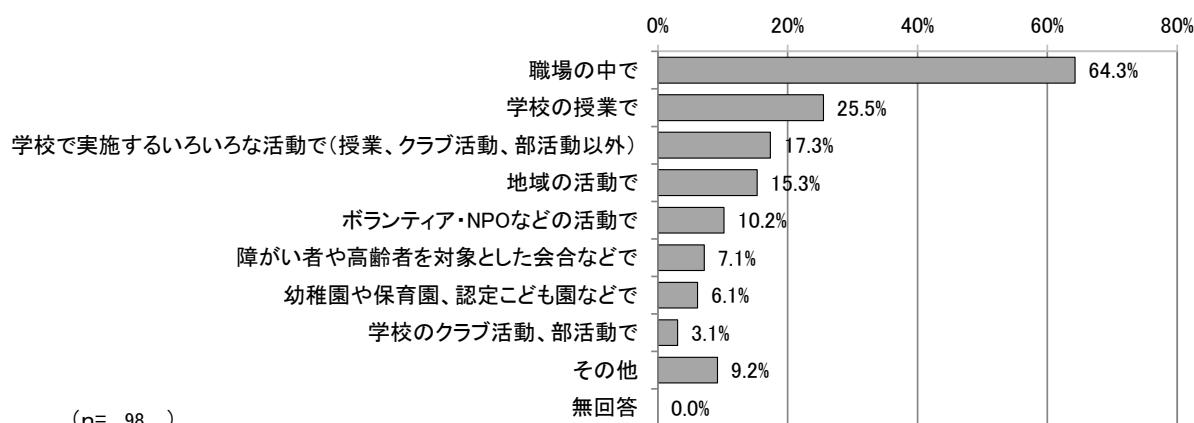
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4-1) 障がいのある人と一緒に活動した場所

問7-1 それはどのような場所ですか。(○はいくつでも)

「職場の中で」が 64.3%

「職場の中で」が 64.3%と最も高く、次いで「学校の授業で」が 25.5%となっています。



(5)障がいのある人への差別・偏見について

問8 あなたは、地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見があると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

「(差別・偏見が) ある」の割合が最も高いのは精神障がい

「ある」の割合が最も高いのは精神障がいが45.7%、次いで知的障がいが42.8%となっています。

		回答者数	ある	ない	わからない	無回答	合計
① 身体障がいのある人に対して	人数	208	69	73	54	12	208
	構成比		33.2%	35.1%	26.0%	5.8%	100.0%
② 知的障がいのある人に対して	人数	208	89	53	52	14	208
	構成比		42.8%	25.5%	25.0%	6.7%	100.0%
③ 精神障がいのある人に対して	人数	208	95	37	63	13	208
	構成比		45.7%	17.8%	30.3%	6.3%	100.0%
④ 難病患者の人に対して	人数	208	51	63	81	13	208
	構成比		24.5%	30.3%	38.9%	6.3%	100.0%
⑤ 発達障がいのある人に対して	人数	208	77	45	74	12	208
	構成比		37.0%	21.6%	35.6%	5.8%	100.0%
⑥ 高次脳機能障がいのある人に対して	人数	208	60	44	91	13	208
	構成比		28.8%	21.2%	43.8%	6.3%	100.0%

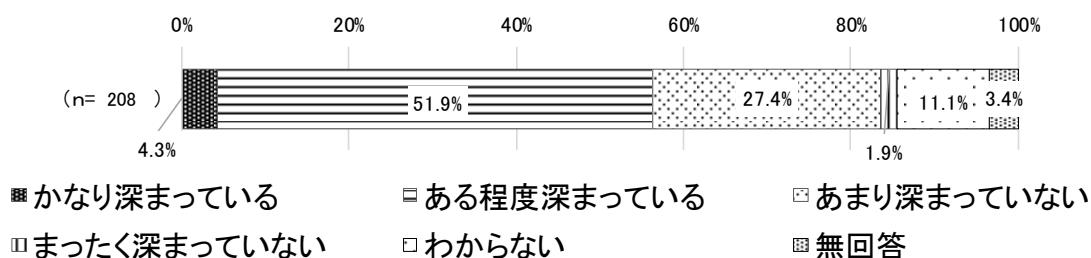
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(6) 障がいのある人に対する理解の深まりについて

問9 あなたは、ここ数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まっていると思いますか。(○は1つ)

「ある程度深まっている」が51.9%

「ある程度深まっている」が51.9%と最も高く、次いで「あまり深まっていない」が27.4%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「あまり深まっていない」41.2%（「ある程度深まっている」と同率）が最も高くなっています。

		回答者数	かなり深まっている	ある程度深まっている	あまり深まっていない	まったく深まっていない	わからない	無回答
全体	人数	208	9	108	57	4	23	7
	構成比		4.3%	51.9%	27.4%	1.9%	11.1%	3.4%
20代以下	人数	14	0	7	4	1	2	0
	構成比		0.0%	50.0%	28.6%	7.1%	14.3%	0.0%
30代	人数	17	0	7	7	0	2	1
	構成比		0.0%	41.2%	41.2%	0.0%	11.8%	5.9%
40代	人数	22	2	10	7	0	3	0
	構成比		9.1%	45.5%	31.8%	0.0%	13.6%	0.0%
50代	人数	44	2	23	14	0	5	0
	構成比		4.5%	52.3%	31.8%	0.0%	11.4%	0.0%
60代	人数	43	2	21	10	2	6	2
	構成比		4.7%	48.8%	23.3%	4.7%	14.0%	4.7%
70代以上	人数	59	2	36	14	1	4	2
	構成比		3.4%	61.0%	23.7%	1.7%	6.8%	3.4%
無回答	人数	9	1	4	1	0	1	2
	構成比		11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%

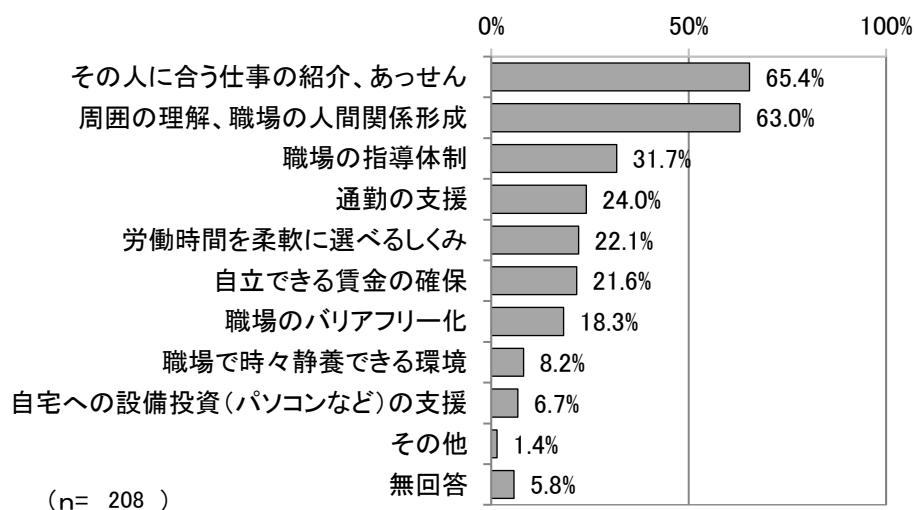
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(7)障がいのある人が就労するために必要な条件

問 10 あなたは、障がいのある人が就労するためには、どのような条件が整えばよいと思いますか。(○は3つまで)

「その人に合う仕事の紹介、あっせん」が65.4%

「その人に合う仕事の紹介、あっせん」が65.4%と最も高く、次いで「周囲の理解、職場の人間関係形成」が63.0%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下、40代、60代では「周囲の理解、職場の人間関係形成」が最も高くなっています。

		回答者 数	通勤の 支援	職場の 指導体 制	その人 に合う仕 事の紹 介、あっ せん	労働時 間を柔 軟に選 べるしく み	職場で 時々静 養でき る環 境	自宅へ の設備 投資(パ ソコンな ど)の支 援	職場の バリアフ リー化	周囲の 理解、職 場の人 間関係 形成	自立でき る賃金 の確保	その他	無回答
全体	人数	208	50	66	136	46	17	14	38	131	45	3	12
	構成比		24.0%	31.7%	65.4%	22.1%	8.2%	6.7%	18.3%	63.0%	21.6%	1.4%	5.8%
20代以下	人数	14	4	4	6	5	5	1	5	10	2	0	0
	構成比		28.6%	28.6%	42.9%	35.7%	35.7%	7.1%	35.7%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%
30代	人数	17	2	8	15	2	0	1	4	9	4	1	1
	構成比		11.8%	47.1%	88.2%	11.8%	0.0%	5.9%	23.5%	52.9%	23.5%	5.9%	5.9%
40代	人数	22	6	9	12	6	3	3	5	15	4	0	0
	構成比		27.3%	40.9%	54.5%	27.3%	13.6%	13.6%	22.7%	68.2%	18.2%	0.0%	0.0%
50代	人数	44	10	17	33	8	2	2	11	31	9	1	0
	構成比		22.7%	38.6%	75.0%	18.2%	4.5%	4.5%	25.0%	70.5%	20.5%	2.3%	0.0%
60代	人数	43	13	13	27	7	4	4	6	29	7	1	2
	構成比		30.2%	30.2%	62.8%	16.3%	9.3%	9.3%	14.0%	67.4%	16.3%	2.3%	4.7%
70代以上	人数	59	13	15	39	14	2	3	7	34	17	0	6
	構成比		22.0%	25.4%	66.1%	23.7%	3.4%	5.1%	11.9%	57.6%	28.8%	0.0%	10.2%
無回答	人数	9	2	0	4	4	1	0	0	3	2	0	3
	構成比		22.2%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%

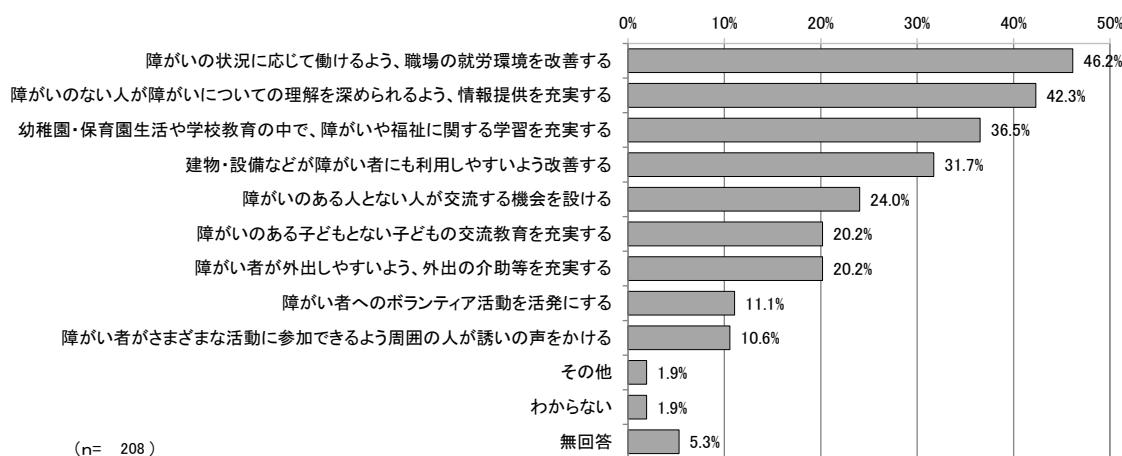
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(8)障がいのある人とない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくために必要なこと

問11 障がいのある人とない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が46.2%

「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が46.2%と最も高く、次いで「障がいのない人が障がいについての理解を深められるよう、情報提供を充実する」が42.3%となっています。



年齢別

年齢別では、20代以下では「障がいのない人が障がいについての理解を深められるよう、情報提供を充実する」「建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する」、30代では「障がいのある人との交流する機会を設ける」「建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する」、40代では「障がいのない人が障がいについての理解を深められるよう、情報提供を充実する」、50代では「幼稚園・保育園生活や学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」が最も高くなっています。

		回答者数	障がいのある人とない人が交流する機会を設ける	障がいのない人が障がいについての理解を深められるよう、情報提供を充実する	幼稚園・保育園生活や学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する	障がいのある子どもとの交流教育を充実する	障がい者のボランティア活動を活発にする	障がい者がさまざまな活動に参加できるよう周囲の人々が誘いの声をかける	障がい者が外出しやすいよう、外出の介助等を充実する	建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する	障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する	その他	わからない	無回答
全体	人数	208	50	88	76	42	23	22	42	66	96	4	4	11
	構成比		24.0%	42.3%	36.5%	20.2%	11.1%	10.6%	20.2%	31.7%	46.2%	1.9%	1.9%	5.3%
20代以下	人数	14	5	6	2	3	0	3	1	6	6	0	0	1
	構成比		35.7%	42.9%	14.3%	21.4%	0.0%	21.4%	7.1%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	7.1%
30代	人数	17	7	4	6	3	2	2	2	7	4	1	0	1
	構成比		41.2%	23.5%	35.3%	17.6%	11.8%	11.8%	11.8%	41.2%	23.5%	5.9%	0.0%	5.9%
40代	人数	22	4	11	5	4	3	1	9	8	11	0	2	0
	構成比		18.2%	50.0%	22.7%	18.2%	13.6%	4.5%	40.9%	36.4%	50.0%	0.0%	9.1%	0.0%
50代	人数	44	10	20	25	10	4	3	10	15	18	1	0	0
	構成比		22.7%	45.5%	56.8%	22.7%	9.1%	6.8%	22.7%	34.1%	40.9%	2.3%	0.0%	0.0%
60代	人数	43	10	21	15	8	6	3	4	16	22	0	1	2
	構成比		23.3%	48.8%	34.9%	18.6%	14.0%	7.0%	9.3%	37.2%	51.2%	0.0%	2.3%	4.7%
70代以上	人数	59	13	24	18	13	7	9	14	10	33	2	1	5
	構成比		22.0%	40.7%	30.5%	22.0%	11.9%	15.3%	23.7%	16.9%	55.9%	3.4%	1.7%	8.5%
無回答	人数	9	1	2	5	1	1	1	2	4	2	0	0	2
	構成比		11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

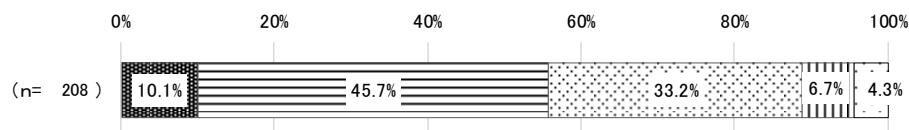
4 ボランティアについて

(1)ボランティア活動についての関心の有無

問12 「ボランティア活動」に関心をお持ちですか。(○は1つ)

「ある程度関心がある」が45.7%

「ある程度関心がある」が45.7%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が33.2%となっています。



■ 関心がある ● ある程度関心がある □ あまり関心がない □ 関心がない □ 無回答

年齢別

年齢別では、60代では「あまり関心がない」39.5%と最も高くなっています。

		回答者数	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全体	人数	208	21	95	69	14	9
	構成比		10.1%	45.7%	33.2%	6.7%	4.3%
20代以下	人数	14	1	6	5	2	0
	構成比		7.1%	42.9%	35.7%	14.3%	0.0%
30代	人数	17	3	7	6	1	0
	構成比		17.6%	41.2%	35.3%	5.9%	0.0%
40代	人数	22	3	9	8	2	0
	構成比		13.6%	40.9%	36.4%	9.1%	0.0%
50代	人数	44	3	23	15	3	0
	構成比		6.8%	52.3%	34.1%	6.8%	0.0%
60代	人数	43	3	17	17	3	3
	構成比		7.0%	39.5%	39.5%	7.0%	7.0%
70代以上	人数	59	7	30	16	3	3
	構成比		11.9%	50.8%	27.1%	5.1%	5.1%
無回答	人数	9	1	3	2	0	3
	構成比		11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%

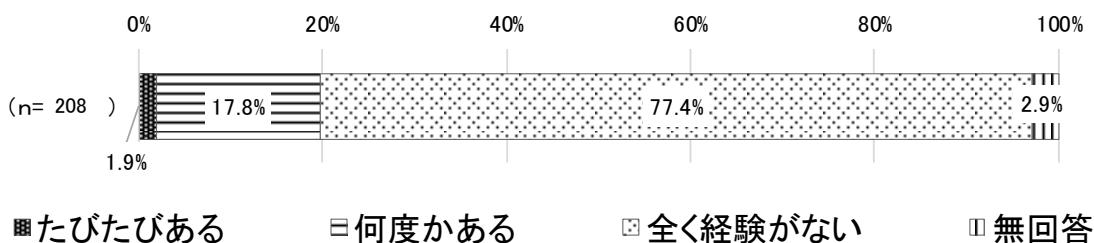
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2) 障がいのある人に対するボランティア活動の参加状況

問13 障がいのある人に対するボランティア活動に参加した経験がありますか。(○は1つ)

「全く経験がない」が77.4%

「全く経験がない」が77.4%と最も高く、次いで「何度かある」が17.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、70代以上でも20%以上の方が「たびたびある」「何度かある」のいずれかに回答しており、年齢による大きな差は見られませんでした。

		回答者数	たびたびある	何度かある	全く経験がない	無回答
全体	人数	208	4	37	161	6
	構成比		1.9%	17.8%	77.4%	2.9%
20代以下	人数	14	1	1	11	1
	構成比		7.1%	7.1%	78.6%	7.1%
30代	人数	17	0	2	15	0
	構成比		0.0%	11.8%	88.2%	0.0%
40代	人数	22	1	4	17	0
	構成比		4.5%	18.2%	77.3%	0.0%
50代	人数	44	0	8	36	0
	構成比		0.0%	18.2%	81.8%	0.0%
60代	人数	43	1	10	31	1
	構成比		2.3%	23.3%	72.1%	2.3%
70代以上	人数	59	1	11	45	2
	構成比		1.7%	18.6%	76.3%	3.4%
無回答	人数	9	0	1	6	2
	構成比		0.0%	11.1%	66.7%	22.2%

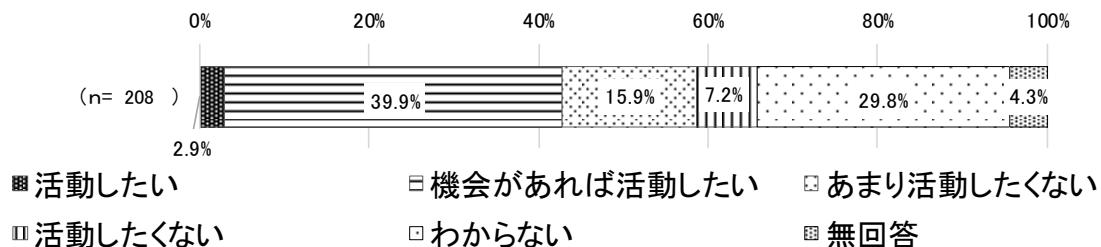
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)障がいのある人に対するボランティア活動への参加意向

問14 今後、障がいのある人に対するボランティア活動をしたいと思いますか。(○は1つ)

「機会があれば活動したい」が39.9%

「機会があれば活動したい」が39.9%と最も高く、次いで「わからない」が29.8%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、30代では「わからない」41.2%と最も高くなっています。

		回答者数	活動したい	機会があれば活動したい	あまり活動したくない	活動したくない	わからない	無回答
全体	人数	208	6	83	33	15	62	9
	構成比		2.9%	39.9%	15.9%	7.2%	29.8%	4.3%
20代以下	人数	14	1	6	4	0	3	0
	構成比		7.1%	42.9%	28.6%	0.0%	21.4%	0.0%
30代	人数	17	1	6	1	2	7	0
	構成比		5.9%	35.3%	5.9%	11.8%	41.2%	0.0%
40代	人数	22	1	9	2	2	8	0
	構成比		4.5%	40.9%	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%
50代	人数	44	1	21	7	4	10	1
	構成比		2.3%	47.7%	15.9%	9.1%	22.7%	2.3%
60代	人数	43	1	15	9	3	14	1
	構成比		2.3%	34.9%	20.9%	7.0%	32.6%	2.3%
70代以上	人数	59	1	22	9	4	18	5
	構成比		1.7%	37.3%	15.3%	6.8%	30.5%	8.5%
無回答	人数	9	0	4	1	0	2	2
	構成比		0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%

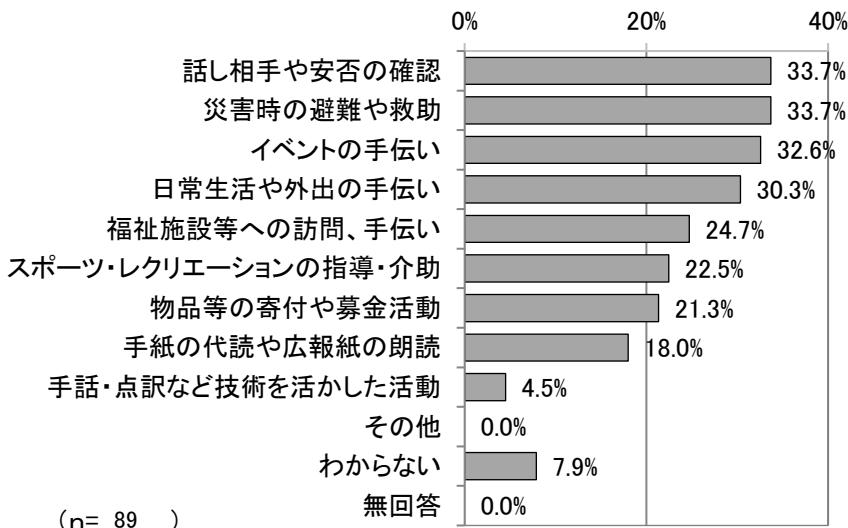
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3-1) 希望する活動内容

問14-1 問14で「1」「2」のいずれかに回答した人のみ。どのような活動をしてみたいですか。
(○はいくつでも)

「話し相手や安否の確認」「災害時の避難や救助」が各々33.7%

「話し相手や安否の確認」「災害時の避難や救助」が各々33.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「イベントの手伝い」42.9%、30代では「スポーツ・レクリエーションの指導・介助」57.1%、60代では「日常生活や外出の手伝い」50.0%が最も高くなっています。

		回答者数	話し相手や安否の確認	福祉施設等への訪問、手伝い	日常生活や外出の手伝い	手話・点訳など技術を活かした活動	手紙の代読や広報紙の朗読	スポーツ・レクリエーションの指導・介助	災害時の避難や救助	物品等の寄付や募金活動	イベントの手伝い	その他	わからない	無回答
全体	人数	89	30	22	27	4	16	20	30	19	29	0	7	0
	構成比		33.7%	24.7%	30.3%	4.5%	18.0%	22.5%	33.7%	21.3%	32.6%	0.0%	7.9%	0.0%
20代以下	人数	7	1	2	2	0	1	1	1	2	3	0	1	0
	構成比		14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%
30代	人数	7	3	2	2	1	0	4	3	1	3	0	0	0
	構成比		42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	57.1%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	人数	10	3	4	5	2	1	4	6	3	5	0	0	0
	構成比		30.0%	40.0%	50.0%	20.0%	10.0%	40.0%	60.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	人数	22	3	3	4	0	1	4	13	4	6	0	3	0
	構成比		13.6%	13.6%	18.2%	0.0%	4.5%	18.2%	59.1%	18.2%	27.3%	0.0%	13.6%	0.0%
60代	人数	16	7	4	8	0	5	2	6	3	4	0	1	0
	構成比		43.8%	25.0%	50.0%	0.0%	31.3%	12.5%	37.5%	18.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.0%
70代以上	人数	23	12	5	5	1	6	5	1	4	6	0	1	0
	構成比		52.2%	21.7%	21.7%	4.3%	26.1%	21.7%	4.3%	17.4%	26.1%	0.0%	4.3%	0.0%
無回答	人数	4	1	2	1	0	2	0	0	2	2	0	1	0
	構成比		25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%

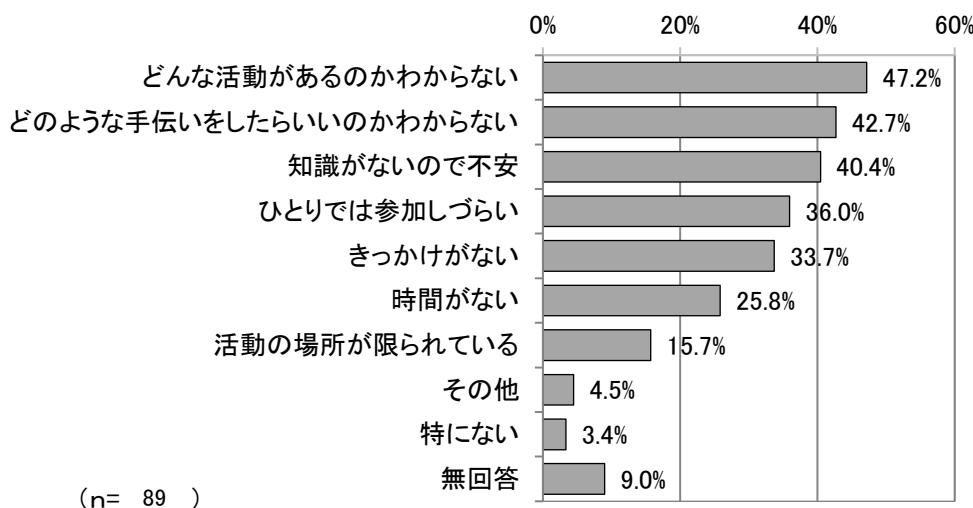
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3-2)ボランティア活動に参加しようとした際に困ること

問14-2 問14で「1」「2」のいずれかに回答した人のみ。ボランティア活動に参加しようとした際に、困ることはありますか。(○はいくつでも)

「どんな活動があるのかわからない」が47.2%

「どんな活動があるのかわからない」が47.2%と最も高く、次いで「どのような手伝いをしたらいいのかわからない」が42.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「きっかけがない」「時間がない」「知識がないので不安」、30代では「ひとりでは参加しづらい」「時間がない」、50代では「知識がないので不安」、60代、70代以上では「どのような手伝いをしたらいいのかわからない」が最も高くなっています。

		回答者数	どんな活動があるのかわからぬ	どのような手伝いをしたらいいのかわからぬ	活動の場所が限られている	ひとりでは参加しづらい	きっかけがない	時間がな	知識がないので不	その他	特になし	無回答	
全体	人数	89	42	38	14	32	30	23	36	4	3	8	
	構成比		47.2%	42.7%		15.7%	36.0%	33.7%	25.8%	40.4%	4.5%	3.4%	9.0%
20代以下	人数	7	3	2	1	2	3	3	3	0	0	1	
	構成比		42.9%	28.6%		14.3%	28.6%	42.9%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%
30代	人数	7	4	1	2	4	2	4	1	1	0	0	
	構成比		57.1%	14.3%		28.6%	57.1%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
40代	人数	10	7	5	5	6	6	4	6	0	0	1	
	構成比		70.0%	50.0%		50.0%	60.0%	60.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100%
50代	人数	22	8	9	2	6	5	4	14	0	1	2	
	構成比		36.4%	40.9%		9.1%	27.3%	22.7%	18.2%	63.6%	0.0%	4.5%	9.1%
60代	人数	16	9	10	0	9	4	5	4	2	0	0	
	構成比		56.3%	62.5%		0.0%	56.3%	25.0%	31.3%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
70代以上	人数	23	8	9	4	5	7	2	7	1	2	4	
	構成比		34.8%	39.1%		17.4%	21.7%	30.4%	8.7%	30.4%	4.3%	8.7%	17.4%
無回答	人数	4	3	2	0	0	3	1	1	0	0	0	
	構成比		75.0%	50.0%		0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

5 福祉のまちづくりについて

(1) 障がい福祉に関する言葉の認知状況

問15 あなたは、次のようなことばを知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

「内容まで知っている」は成年後見制度で24.0%

「内容まで知っている」は成年後見制度で24.0%と最も高く、他は1桁台となっています。

「内容まで知っている」「ことばを見聞きしたことはある」で3割を超えるのは、障害者権利条約、福祉避難所となっています。

		回答者数	内容まで 知っている	ことばを見 聞きしたこと はある	知らなかっ た	無回答
① 障害者権利条約	人数	208	10	53	125	20
	構成比		4.8%	25.5%	60.1%	9.6%
② 障害者週間(12月3~9日)	人数	208	5	53	133	17
	構成比		2.4%	25.5%	63.9%	8.2%
③ 災害時避難行動要支援者 名簿	人数	208	15	41	134	18
	構成比		7.2%	19.7%	64.4%	8.7%
④ 福祉避難所	人数	208	13	60	116	19
	構成比		6.3%	28.8%	55.8%	9.1%
⑤ 成年後見制度	人数	208	50	98	45	15
	構成比		24.0%	47.1%	21.6%	7.2%
⑥ ふれあい広場チャレンジ パーソンスポーツ(市内で開催)	人数	208	12	25	150	21
	構成比		5.8%	12.0%	72.1%	10.1%
⑦ 白井市障害者計画	人数	208	4	29	156	19
	構成比		1.9%	13.9%	75.0%	9.1%
⑧ 白井市障害福祉計画・障害 児福祉計画	人数	208	5	30	155	18
	構成比		2.4%	14.4%	74.5%	8.7%

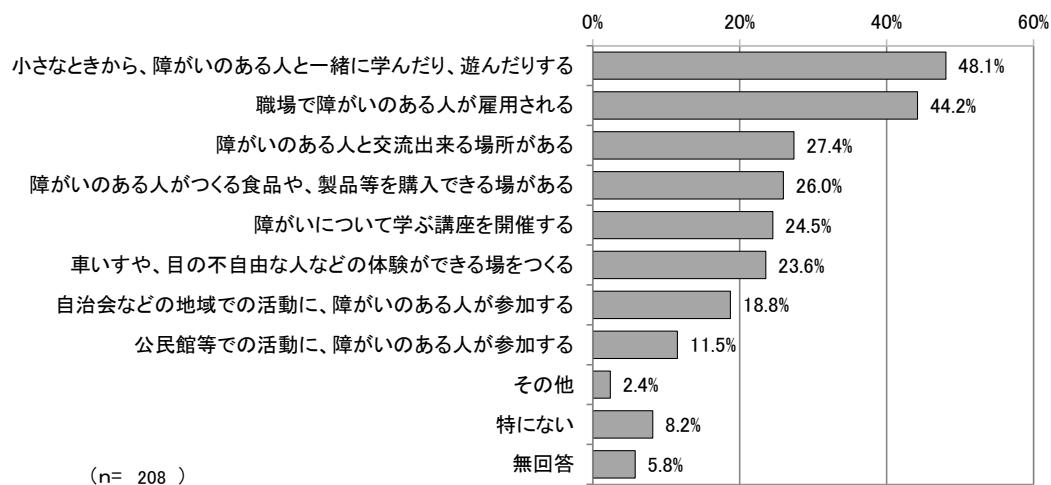
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(2)障がいのある人、ない人がお互いの理解のために必要なこと

問 16 白井市で暮らす中で、こうしたら障がいのある人、ない人、それぞれお互いの理解が進むな、と感じたことがあれば教えてください。(○はいくつでも)

「小さなときから、障がいのある人と一緒に学んだり、遊んだりする」が48.1%

「小さなときから、障がいのある人と一緒に学んだり、遊んだりする」が48.1%と最も高く、次いで「職場で障がいのある人が雇用される」が44.2%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、20代以下では「障がいについて学ぶ講座を開催する」57.1%、60代では「職場で障がいのある人が雇用される」46.5%、70代以上では「職場で障がいのある人が雇用される」44.1%が最も高くなっています。

		回答者数	障がいについて学ぶ講座を開催する	障がいのある人と交流出来る場所がある	小さなときから、障がいのある人と一緒に学んだり、遊んだりする	自治会などの地域での活動に、障がいのある人が参加する	公民館等での活動に、障がいのある人が参加する	車いすや、目の不自由な人の体験ができる場をつくる	障がいのある人がつくる食品や、製品等を購入できる場がある	職場で障がいのある人が雇用される	その他	特はない	無回答
全体	人数 構成比	208 24.5%	51 27.4%	57 48.1%	100 18.8%	39 11.5%	24 23.6%	49 26.0%	54 44.2%	92 2.4%	5 8.2%	17 5.8%	12
20代以下	人数 構成比	14 57.1%	8 42.9%	6 42.9%	4 28.6%	2 14.3%	7 50.0%	3 21.4%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0
30代	人数 構成比	17 23.5%	4 23.5%	4 58.8%	10 23.5%	4 11.8%	2 35.3%	6 35.3%	6 53.5%	9 52.9%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%
40代	人数 構成比	22 18.2%	4 27.3%	6 59.1%	13 27.3%	6 4.5%	1 22.7%	5 31.8%	7 50.0%	11 0.0%	0 18.2%	0 0.0%	0
50代	人数 構成比	44 27.3%	12 25.0%	11 56.8%	25 11.4%	5 6.8%	3 22.7%	10 25.0%	11 52.3%	23 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
60代	人数 構成比	43 20.9%	9 30.2%	13 41.9%	18 20.9%	5 11.6%	5 20.9%	9 25.6%	9 46.5%	20 4.7%	2 9.3%	4 2.3%	1
70代以上	人数 構成比	59 20.3%	12 25.4%	15 37.3%	22 18.6%	11 18.6%	9 15.3%	9 22.0%	13 44.1%	26 1.7%	1 10.2%	6 13.6%	8
無回答	人数 構成比	9 22.2%	2 22.2%	2 66.7%	6 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	3 11.1%	1 0.0%	0 0.0%	0 33.3%	3

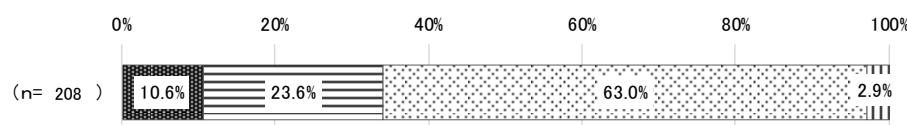
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(3)合理的配慮の認知状況

問17 あなたは、「障害者差別解消法」で規定されている「合理的配慮」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が63.0%

「知らない」が63.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が23.6%となっています。



■ 内容まで知っている □聞いたことはあるが、内容までは知らない □ 知らない □ 無回答

■ 年齢別

年齢別では、40代が「内容まで知っている」「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の合計の割合が最も高くなっています。

		回答者数	内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	知らない	無回答
全体	人数	208	22	49	131	6
	構成比		10.6%	23.6%	63.0%	2.9%
20代以下	人数	14	2	4	8	0
	構成比		14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
30代	人数	17	2	3	12	0
	構成比		11.8%	17.6%	70.6%	0.0%
40代	人数	22	5	7	10	0
	構成比		22.7%	31.8%	45.5%	0.0%
50代	人数	44	7	13	24	0
	構成比		15.9%	29.5%	54.5%	0.0%
60代	人数	43	3	9	29	2
	構成比		7.0%	20.9%	67.4%	4.7%
70代以上	人数	59	3	13	41	2
	構成比		5.1%	22.0%	69.5%	3.4%
無回答	人数	9	0	0	7	2
	構成比		0.0%	0.0%	77.8%	22.2%

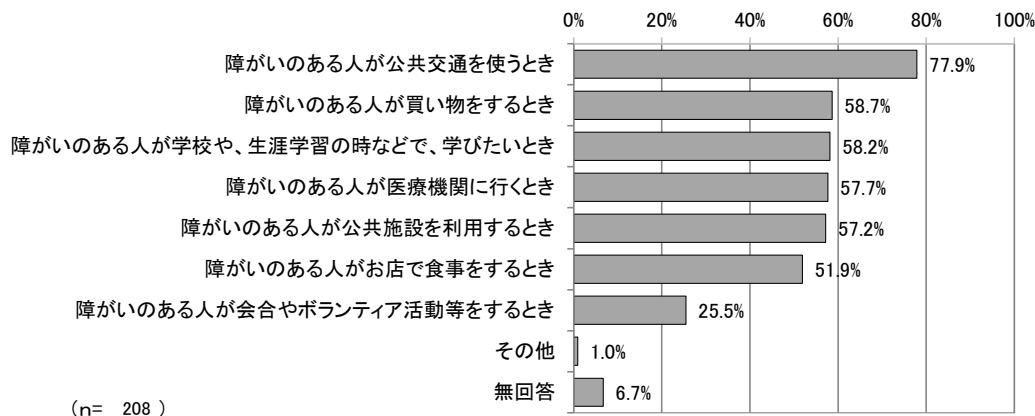
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(4)合理的配慮が必要な場面

問18 あなたは、どのような場面で合理的配慮が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「障がいのある人が公共交通を使うとき」が77.9%

「障がいのある人が公共交通を使うとき」が77.9%と最も高く、次いで「障がいのある人が買い物をするとき」が58.7%となっています。



■ 年齢別

年齢別では、40代では「障がいのある人が学校や、生涯学習の時などで、学びたいとき」「障がいのある人が公共交通を利用するとき」77.3%が最も高くなっています。

		回答者数	障がいのある人がお店で食事をするとき	障がいのある人が買い物をするとき	障がいのある人が学校や、生涯学習の時などで、学びたいとき	障がいのある人が会合やボランティア活動等をするとき	障がいのある人が医療機関に行くとき	障がいのある人が公共交通を利用するとき	障がいのある人が公共施設を利用するとき	その他	無回答
全体	人数	208	108	122	121	53	120	162	119	2	14
	構成比		51.9%	58.7%	58.2%	25.5%	57.7%	77.9%	57.2%	1.0%	6.7%
20代以下	人数	14	7	6	9	2	6	12	9	0	0
	構成比		50.0%	42.9%	64.3%	14.3%	42.9%	85.7%	64.3%	0.0%	0.0%
30代	人数	17	11	9	12	7	10	14	10	0	0
	構成比		64.7%	52.9%	70.6%	41.2%	58.8%	82.4%	58.8%	0.0%	0.0%
40代	人数	22	13	15	17	10	14	17	17	0	1
	構成比		59.1%	68.2%	77.3%	45.5%	63.6%	77.3%	77.3%	0.0%	4.5%
50代	人数	44	21	30	24	12	21	38	29	0	0
	構成比		47.7%	68.2%	54.5%	27.3%	47.7%	86.4%	65.9%	0.0%	0.0%
60代	人数	43	24	25	29	9	31	35	21	1	2
	構成比		55.8%	58.1%	67.4%	20.9%	72.1%	81.4%	48.8%	2.3%	4.7%
70代以上	人数	59	27	32	24	10	31	39	28	1	9
	構成比		45.8%	54.2%	40.7%	16.9%	52.5%	66.1%	47.5%	1.7%	15.3%
無回答	人数	9	5	5	6	3	7	7	5	0	2
	構成比		55.6%	55.6%	66.7%	33.3%	77.8%	77.8%	55.6%	0.0%	22.2%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

(5) 障がいに関するマーク等の認知状況

問19 あなたは、障がいに関するマーク等をご存じですか。

「障害者のための国際シンボルマーク」がもっとも周知度が高い

「知っている」が最も高いのは、「障害者のための国際シンボルマーク」であり、次いで「ヘルプマーク」の順となってます。

		回答者数	知っている	みたことがある	知らない	無回答
①ヘルプマーク	人数	208	132	35	34	7
	構成比		63.5%	16.8%	16.3%	3.4%
② 障害者のための国際シンボルマーク	人数	208	170	28	5	5
	構成比		81.7%	13.5%	2.4%	2.4%
③ 盲人のための国際シンボルマーク	人数	208	97	63	39	9
	構成比		46.6%	30.3%	18.8%	4.3%
④ 身体障害者標識(身体障害者マーク)	人数	208	110	66	27	5
	構成比		52.9%	31.7%	13.0%	2.4%
⑤ 聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)	人数	208	53	52	96	7
	構成比		25.5%	25.0%	46.2%	3.4%
⑥ ほじょ犬マーク	人数	208	78	45	80	5
	構成比		37.5%	21.6%	38.5%	2.4%
⑦ 耳マーク	人数	208	23	21	157	7
	構成比		11.1%	10.1%	75.5%	3.4%
⑧ ヒアリングループマーク	人数	208	5	10	187	6
	構成比		2.4%	4.8%	89.9%	2.9%
⑨ オストメイト用設備／オストメイト	人数	208	57	39	107	5
	構成比		27.4%	18.8%	51.4%	2.4%
⑩ ハート・プラス マーク	人数	208	33	29	139	7
	構成比		15.9%	13.9%	66.8%	3.4%
⑪「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク	人数	208	12	9	183	4
	構成比		5.8%	4.3%	88.0%	1.9%
⑫ 手話マーク	人数	208	18	21	165	4
	構成比		8.7%	10.1%	79.3%	1.9%
⑬ 筆談マーク	人数	208	12	15	177	4
	構成比		5.8%	7.2%	85.1%	1.9%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

F【中学生】

1 概要

(1) 障がいのある人との交流などについて

- ・障がいのある人と接する機会の有無は、「いいえ」が58.2%、「はい」が41.1%となっています。
- ・障がいについて考えたことの有無は、「ある」が70.3%、「ない」が16.0%となっています。
- ・障がいのある人が困っているのを見かけたときによる行動は、「困っている人に頼まれて手伝った、または手伝えると思う」が36.6%と最も高くなっています。
- ・障がいのある人に対する理解は、「ある程度深まっている」が52.4%と最も高く、次いで「あまり深まっていない」が25.3%となっています。
- ・障がい福祉に関する言葉の認知状況は、「内容まで知っている」は合理的配慮で9.1%と最も高くなっています。
- ・障がいのある人が公共施設などを利用しやすくするために必要なことは、「点字ブロック、音声式信号(音で知らせる信号)の導入」が52.6%と最も高く、次いで「歩道の設置・拡幅(幅をひろくすること)」が37.2%となっています。
- ・障がいに関するマーク等の認知状況は、「知っている」が最も高いのは、「障害者のための国際シンボルマーク」が77.1%であり、次いで「ヘルプマーク」が53.9%の順となってます。

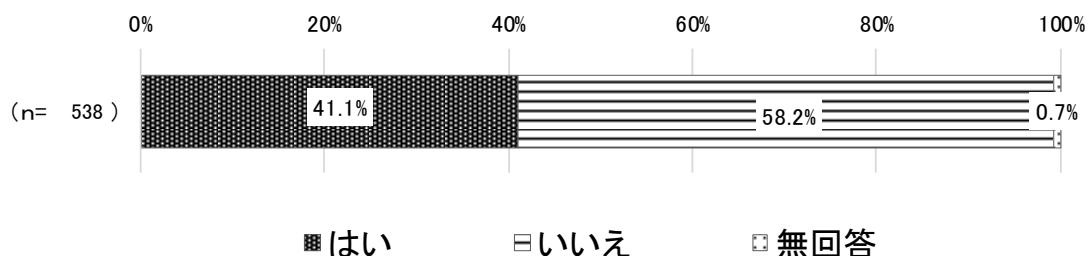
2 障がいや障がいのある人に対する考え方

(1) 障がいのある人と接する機会の有無

問1 あなたは、障がいのある人と接する機会はありますか（〇は1つ）

「いいえ」が58.2%

「いいえ」が58.2%、「はい」が41.1%となっています。

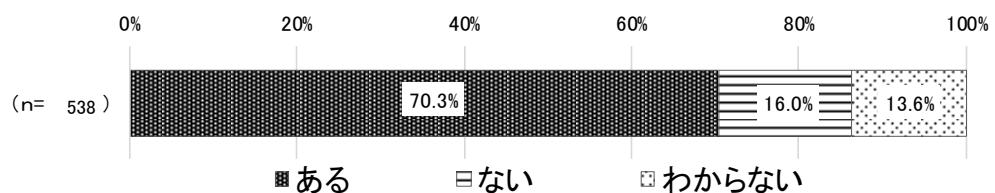


(2) 障がいについて考えたことの有無

問2 あなたは、これまで、障がいについて考えたことがありますか（〇は1つ）

「ある」が70.3%

「ある」が70.3%、「ない」が16.0%となっています。

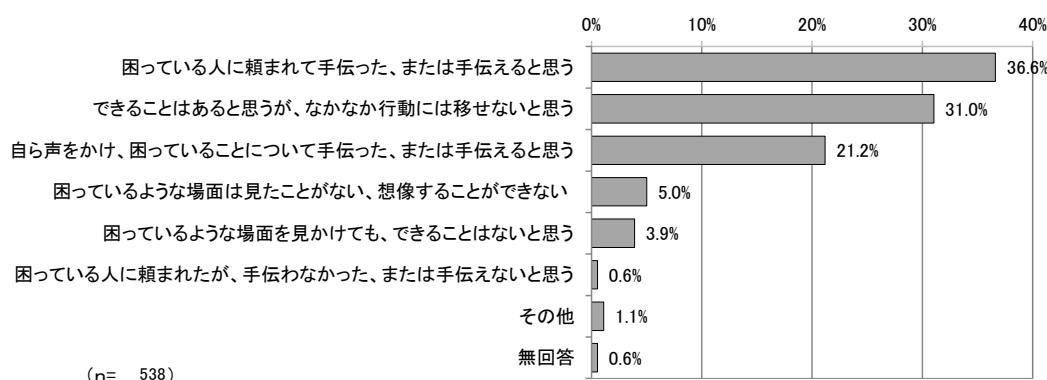


(3) 障がいのある人が困っているのを見かけたときによる行動

問3 あなたは、障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたとき、どのような行動をとると思いますか。(○は1つ)

「困っている人に頼まれて手伝った、または手伝えると思う」が36.6%

「困っている人に頼まれて手伝った、または手伝えると思う」が36.6%と最も高く、次いで「できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う」が31.0%となっています。



(4) 障がいのある人に対する理解

問4 あなたは、ここ数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まっていると思いますか。(○は1つ)

「ある程度深まっている」が52.4%

「ある程度深まっている」が52.4%と最も高く、次いで「あまり深まっていない」が25.3%となっています。



(5)障がいに関する言葉の認知状況

問5 あなたは、次のようなことばを知っていますか。

「合理的配慮」が57.6%

「内容まで知っている」「ことばを聞いたことがある」が最も高いのは「合理的配慮」で57.6%と最も高く、次いで「障害者差別解消法」が31.1%となっています。

		回答者数	内容まで知っている	ことばを聞いたことがある	知らない	無回答
① 障害者権利条約	人数	538	15	150	373	0
	構成比		2.8%	27.9%	69.3%	0.0%
② 障害者週間(12月3~9日)	人数	538	18	107	413	0
	構成比		3.3%	19.9%	76.8%	0.0%
③ 障害者差別解消法	人数	538	22	145	370	1
	構成比		4.1%	27.0%	68.8%	0.2%
④ 合理的配慮	人数	538	49	261	226	2
	構成比		9.1%	48.5%	42.0%	0.4%

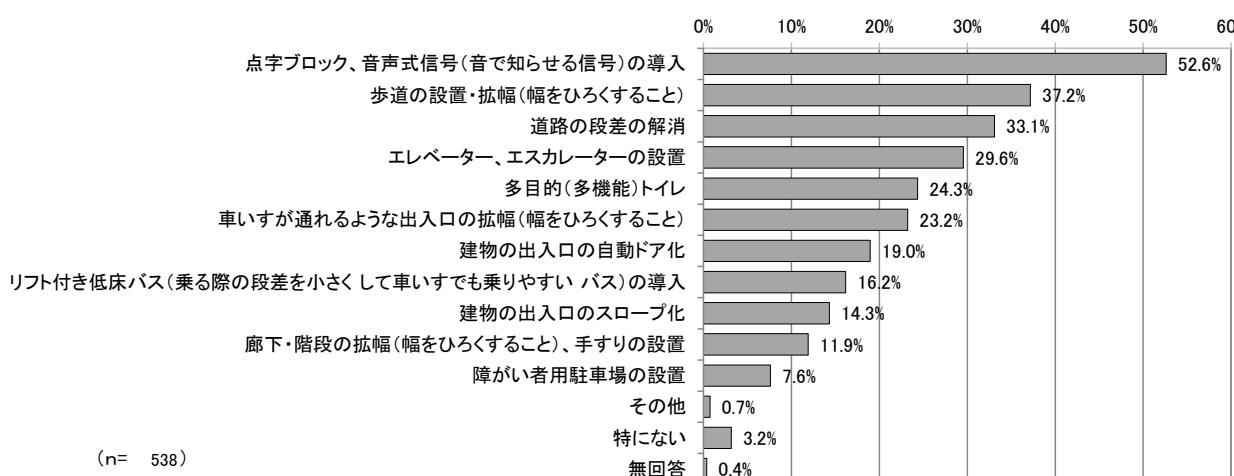
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(6)障がいのある人が公共施設などを利用しやすくするために必要なこと

問6 市内の公共施設などを、障がいのある人が利用しやすいようにするために、特に必要だと思うこと（○は3つまで）

「点字ブロック、音声式信号（音で知らせる信号）の導入」が52.6%

「点字ブロック、音声式信号（音で知らせる信号）の導入」が52.6%と最も高く、次いで「歩道の設置・拡幅（幅をひろくすること）」が37.2%となっています。



(7) 障がいに関するマーク等の認知状況

問7 あなたは、障がいに関するマーク等をご存じですか。(各々〇は1つ)

「障害者のための国際シンボルマーク」が77.1%

「知っている。」の割合が最も高いのは、「障害者のための国際シンボルマーク」が77.1%、次いで「ヘルプマーク」が53.9%となっています。

		回答者数	知っている	みたことがある	知らない	無回答
①ヘルプマーク	人数	538	290	165	81	2
	構成比		53.9%	30.7%	15.1%	0.4%
② 障害者のための国際シンボルマーク	人数	538	415	111	11	1
	構成比		77.1%	20.6%	2.0%	0.2%
③ 盲人のための国際シンボルマーク	人数	538	254	184	97	3
	構成比		47.2%	34.2%	18.0%	0.6%
④ 身体障害者標識(身体障害者マーク)	人数	538	75	193	268	2
	構成比		13.9%	35.9%	49.8%	0.4%
⑤ 聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)	人数	538	49	70	418	1
	構成比		9.1%	13.0%	77.7%	0.2%
⑥ ほじょ犬マーク	人数	538	258	166	114	0
	構成比		48.0%	30.9%	21.2%	0.0%
⑦ 耳マーク	人数	538	51	64	422	1
	構成比		9.5%	11.9%	78.4%	0.2%
⑧ ヒアリングループマーク	人数	538	28	47	460	3
	構成比		5.2%	8.7%	85.5%	0.6%
⑨ オストメイト用設備／オストメイト	人数	538	128	175	234	1
	構成比		23.8%	32.5%	43.5%	0.2%
⑩ ハート・プラスマーク	人数	538	75	171	292	0
	構成比		13.9%	31.8%	54.3%	0.0%
⑪「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク	人数	538	39	68	431	0
	構成比		7.2%	12.6%	80.1%	0.0%
⑫ 手話マーク	人数	538	40	64	433	1
	構成比		7.4%	11.9%	80.5%	0.2%
⑬ 筆談マーク	人数	538	26	53	456	3
	構成比		4.8%	9.9%	84.8%	0.6%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

G 自由意見

自由意見については、各アンケート単位で現施策体系に即して整理しました。

その結果は以下の通りです。

(1人の意見で、重複する内容の場合には、該当する項目全てを選んでいます)

表 現計画の分類による

	相談体制・情報提供の充実	権利擁護体制の充実	福祉サービスの充実と支援施設の整備(経済的支援含)	保健・医療サービスの充実	障がい児の保育・教育の充実	就労の支援・促進	各種活動の支援・促進	福祉活動の促進	防災・防犯等対策の推進	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進(移動手段含)	その他	特にない/ありがたい	自由意見記載実人数
A 身体障がい	11	0	39	4	1	0	4	5	22	4	41	34	192
B 知的障がい	6	0	8	1	0	2	2	0	3	0	7	2	49
C 精神障がい	12	0	11	0	2	10	1	0	4	2	25	11	98
D 障がい児	7	0	3	2	19	3	0	3	2	0	18	2	91
E 一般市民	2	0	0	0	0	0	0	0	5	1	25	2	89
F 中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	39	2	56
合計	38	0	61	7	22	15	7	8	50	8	155	53	575

イ ヒアリング調査

ヒアリング調査

I 調査の概要

1 調査の概要

次期障害者計画及び障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に当たり、障害福祉サービスの利用の状況や意見等について、アンケート調査では取得しにくい定性的な情報を収集するため、市内の障害福祉サービス事業者・障がい者関係団体等へのヒアリング調査を実施しました。

2 実施概要

(1) 実施方法

ヒアリングシートを事前に各団体等に送付し、記入を依頼しました。対面聞き取り(ヒアリング)については、各事業者の希望に基づき実施しています。

なお、調査票には、本調査実施直前に市で実施した「地域福祉計画策定のためのヒアリング調査」により意見をいただき、その内容で良い場合には、本調査票の回答はしなくても良い仕様にしたことで、団体や事業者の負担軽減を図っています。

(2) 対象団体等

① 障がい者関係団体ヒアリング調査

項目	内容
調査対象	市内で活動している障がい者団体等に、ヒアリングシートを配布しました。また、その中で対面での聞き取り(ヒアリング)が可能と回答した団体を対象として、聞き取り(ヒアリング)調査を実施しました。
調査期間	令和7年3月19日から7月23日
調査方法	【ヒアリングシートの配布】郵送やメールにてヒアリングシートを配布・回収 【聞き取り(ヒアリング)】対面にて実施
配布数	15団体
回収数	12団体
回収率	80.0%

表 聞き取り(ヒアリング)を行った団体一覧

No.	団体名
1	白井市手をつなぐ育成会
2	身体障害者友の会「にこにこ」
3	視覚障害者白井あゆみの会
4	みおつくし

※先に地域福祉計画に係るヒアリングで障がい福祉に関する意見をいただいている場合は、その意見を含めてまとめています。

② 障がい者関係事業所ヒアリング調査

項目	内容
調査対象	市内で活動している事業者等に、ヒアリングシートを配布しました。また、その中で対面での聞き取り(ヒアリング)が可能と回答した事業者を対象として、聞き取り(ヒアリング)調査を実施しました。
調査期間	令和7年3月19日から4月11日
調査方法	【ヒアリングシートの配布】郵送やメールにてヒアリングシートを配布・回収 【聞き取り(ヒアリング)】対面にて実施
配布数	42団体
回収数	22団体
回収率	52.4%

表 聞き取り(ヒアリング)を行った事業所一覧

No.	名称
1	レ・アーリ相談支援事業所
2	クラブハウス白井

II 調査結果のポイント

1 障がい者関係団体ヒアリング調査

(1)活動状況に関する課題

- ・会員の高齢化や、会員が確保できないことが課題。

(2)要望や苦情の多いサービス・特に重要と考えるサービス・今後利用希望が増えると見込まれるサービス

- ・同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス
- ・グループホーム
- ・外出支援(免許の返納による)
- ・利用時間の延長や宿泊の希望が多くあるが、事業所単体での対応が難しい事が課題。
- ・中途障がいで目が不自由になった人向けに、DAISY(デイジー)での情報提供をお願いしたい。

(3)地域生活

- ・障がい者が高齢者になった際に、介護サービスの申請状況がわからないことが課題。
- ・障がい者を支援する人や団体等への理解が必要。
- ・福祉サービスではまかない切れない、隙間のサービスが課題。
- ・保護者のニーズと本人のニーズとのズレがあります。(例:グループホームは保護者には人気だが、実際には入居しても長続きしない)
- ・いわゆる「引きこもり」の方への支援が必要。
- ・障がい者本人が障がい福祉サービスにつながろうという意識が薄い。
- ・地域で障がい者同士や、住民と交流出来る場をつくることが課題。
- ・活動の場、暮らしの場の安定が課題(障がいのある人が、多くの選択肢の中から決められる環境があるとよい)。
- ・肢体不自由の方には点字ブロックが段差となってしまうことがあります。
- ・視覚障がい者に必要な情報が行き届いていないのではないか。また、音訳や点字など視覚障がい者のニーズの把握や交流が必要。
- ・障がいのある子どもに対するアプローチの仕方をどうしていくかが課題。
- ・精神障がいの人や家族は、世間から孤立して、家族だけで問題を抱えている人が多くいます。また、精神障がいの人がふらっといける場所があると良い。
- ・精神障がいの人は、身近な医療機関が市内に少なく、市外に通院するので、精神の方向けに核になるものがない。また、発達障がいの人も専門病院にかかるまで時間がかかる。
- ・特別支援学校等に通う子どもの保護者同士での交流の場が少ない。
- ・計画相談支援や、障がい児相談支援等をしていないと、福祉サービスが療育の場であるということを理解出来ていないのではないか。
- ・工賃の向上がないと、障がい者が地域で生活できない。親の年金に生活を頼ることになる。
- ・就労関係では、市内で障がい者を雇用する会社の人事の方との連携が必要ではないか。
- ・障がい者の人の自宅が、「もの屋敷」「ゴミ屋敷」となっていることがある。

- ・重度の障がい児の方で、医療的ケアが必要な方は、引きこもりになりがち。
- ・ヤングケアラーの問題は、子どもの成長に大きな影響を及ぼす。親子関係より長い兄弟姉妹関係を重視すべきではないか。
- ・障がい者のためのボランティア活動にもっと力を入れてほしい。
- ・親無き後のことまでみすえないと、共生社会の実現は難しい。
- ・シングルマザーの方向けの障がい者支援が重要、特に朝の時間帯への支援が大切。
- ・障がい者が高齢者になった際、デイサービス等が受け入れてもらえない。

(4)新型コロナウイルスの影響

- ・対面での会議が減りました。
- ・会への帰属意識が低下しました。
- ・ZOOMやビデオの会議が増えました。

(5)市などの相談支援体制

- ・支援級、支援学校など就学先の相談、高校の選び方、内服薬の相談、発達の悩み事などの相談への対応が課題。
- ・市の関係各課や地域包括支援センター、基幹相談支援センター等との連携強化。

(6)市へのご意見・ご要望

- ・障がいや障がい者についての理解が足りないことが課題、市でもう少し障がい理解に関する講座等の開催が必要。
- ・精神障がいの人に対する偏見の解消が課題。
- ・福祉サービスの周知が課題。
- ・手話通訳者の派遣だけでなく、市に通訳者を置く、また、市主催の行事等(講演会含)に、要約筆記をつけてほしいです。
- ・関連団体が参加できる会議があると良いと思います。

2. 障がい者関係事業所ヒアリング調査

(1)ニーズは高いが、供給不足のサービスとその理由

- ・移動支援などのサービスの需要が高い割にサービスが使いにくいことが課題。
- ・地域に、選択をして入ることができるグループホームの数が少ないことが課題。
- ・移動支援、行動支援、ショートステイ、グループホーム、同行援護については供給不足です。
- ・介護者的人材不足が課題。ヘルパーが減少しており、職員への負担や確保が難しいことが課題。特に入浴介助や排泄介助等、身体的な介助を必要とするケアに対応できるヘルパーが減少しています。
- ・白井市では、放課後等デイサービスの基準を満たしていることが日中一時支援開設の条件となっており、日中一時支援の開設にはかなりハードルが高いです。

2. 障がい者関係事業所ヒアリング調査

- ・放課後等デイサービスで、希望日数分を利用できない、就学前は定員が埋まる前に早く動かなければならぬ状態です。子どもに必要なタイミングや支援内容にそって選びにくいことが課題。
- ・障がい児に関する相談支援事業所の不足が課題。
- ・Ⅲ型の地域活動支援センターが必要。
- ・仕事が終わった後、話等をする場、活動する場の確保が重要。

(2)障害福祉サービスだけでは解決できない問題

- ・基幹相談支援センターの介入や支援、介護サービスとの連携が課題。
- ・障害年金は増額しましたが、それだけで生活を続けることは困難です。
- ・契約(身元保証人)や金銭管理に関することが課題。
- ・援護地が白井ではない人の年金、家賃補助、生活保護等が複雑なことが課題。
- ・同居家族がいると家事援助がきでないので、家事の内容によって制度外の困っていることであれば、自費サービスで対応するしかないことが課題。
- ・学校との連携、不登校の対応が課題。
- ・子どもの発達の知識のある専門医の不足(小児神経科医、児童精神科医)が課題。
- ・精神障がいの人は、症状の波がある中で、病状が悪化した場合の早期介入が難しい。
- ・特に精神障がいの人は、手帳取得に時間がかかったり、手帳を取得しても、提示して交通費の割引きを受けることに抵抗感があるため、現在の交通費の計算方法だと負担が残ることがある。
- ・精神障がいの人を対象に、就労移行支援から就労定着支援までをサポートする仕組みが必要。また、生活リズムを確立するため、自立訓練(生活訓練)が重要であるが、市内に事業者がない。
- ・入院していた精神障がいの人は入院中は精神保健福祉士が対応するが、退院すると、外来部門の看護師が担当になってしまふため、生活相談的な相談がしにくくなる。
- ・グループホームに入居した子ども(障がい者)が、親の体調悪化による連絡で動搖するなど、相談支援専門員やケアマネ、あるいは医療関係者とも連携が十分に取れていない。

(3)行政、他機関との連携に支障が生じる理由

- ・相談支援事業所との連携が難しいです。担当がその度変わっている事が多く、情報共有ができにくいことが課題。
- ・ケースカンファレンス等、他職種連携のハードルが高いことが課題。
- ・相談支援専門員とケアマネ、医療の連携がうまくとれていないことが課題。
- ・サービス担当者会議や関係者会議などで、それぞれの事業所の支援のレベルに差があり、利用者に不利益が生じていることが課題。
- ・高齢者サービス事業では担当者会議があるが、障害サービスでは担当者会議に呼ばれたことがないので情報が少ないことが課題。

(4)現時点での新型コロナウイルスの影響

- ・家族が感染した際、濃厚接触者の扱いがなくなったため、本人の体調に変化がなければ、受け入れをしていかなければならないことで、感染の不安を感じることが課題。
- ・コロナが5類感染症になったため、一人の利用者に複数の事業所が入っていると、対応が違うと

クレームになることがあるので、市でルールを決めてほしいです。

(5)令和7年4月開設予定の基幹相談支援センターについて

- ・市の基幹相談支援センターが一緒に考え悩んでくれるような施設になってほしいです。
- ・障がい児の相談については、健康課母子保健係とどのように役割分担をしていくのかが課題。
- ・基幹相談支援センターの周知が課題。

(6)障がい福祉行政全般に対する意見

- ・事業者間の交流をすすめるとともに、顔の見える関係性づくりが課題。
- ・人材育成の一環として、障がい福祉サービスで働いている職員へ市でも研修してほしいです。
- ・利用者が将来の事を不安に思うことなく、生活できるように各種サービスの充実が課題。
- ・本人や家族の高齢化に伴う体力の低下、認知能力の低下が課題。
- ・病気の進行に伴い、今までできていたことができなくなってきた時の環境整備が課題。
- ・相談支援事業所のサービスを利用していない方のセルフプランの対応が難しいことが課題。
- ・障がいモデルの統合的な理解による計画策定が重要、具体的には、精神障がいの人の支援には、医学的視点と福祉的な視点が必要となるため、WHOが2001年に提唱した国際生活機能分類（ICF）の考え方のもと、個人の特性と環境要因の相互作用を踏まえた支援の構築が必要。
- ・事業者間の連携を強化していくことが必要。
- ・生活リズム確立・社会的スキル獲得の場の不足が課題。
- ・移動支援について、通学や通勤等の支援依頼が多いので支援できるようにしてほしいです。
- ・地域移行の取り組みが十分に活用されていないことが課題。
- ・発達障がいのある子どもと、そうでない子どもとの交流機会の確保が課題。
- ・難病の方が障害者雇用率にカウントされないため、働きたいのに雇用が難しい方が課題。

2. 障がい者関係事業所ヒアリング調査

ウ 主な課題

ウ 主な課題

I アンケート・ヒアリング調査結果からのまとめ

- ・アンケート、ヒアリング結果から、特に今回の調査の中で顕著となった内容を中心に、5項目にまとめました。

1 介助する人の高齢化が進むことに対応した施策が必要です。

・アンケート結果を見ると、介助する人の高齢化が進んでおり、特に身体、知的障がいのある人を介助する人で顕著な傾向となっています。特に知的障がいのある人は、父母と同居する人の割合が減っていることもあり、例えば災害時に身近に避難や誘導ができる人の割合が低下しています。

・また、介助を行う家族の負担も大きくなっています、負担軽減が必要です。

(予想される課題)

- ・介助を行う家族等の高齢化が進んでも、障がいのある人が安心して住み続けられるような支援が必要です。
- ・ひとり暮らし等、その人の希望に応じた住まい方ができるようにすることが必要です。

2 障がいのない人が、障がい者とのことをもっと知る環境をつくることが必要です。

・アンケート結果を見ると、一般市民や中学生は障がい者との交流等は比較的積極的に行う傾向にあり、20～60歳代までの市民は半数以上、70代以上でも3割近く人が一緒に活動した経験があると回答しています。

・一方、障がい者の制度やマークの周知度は、一部を除き低くなっています。

・また、障がい者を支援する団体や人に対しての理解も進めることができます。

・アンケート結果を見ると、差別を受けたと回答する障がい者は、特に知的障がい、精神障がいで高くなっています。

(予想される課題)

- ・障がいのない人が、障がいなどについて学ぶ場が必要です。
- ・障がいのある人とない人が、交流する場が必要です。
- ・障がい者への差別がない社会の実現に向けた取組が必要です。

3 不足する障害福祉サービスの充実が必要です。

・放課後等デイサービス、グループホームにおいて、特別なニーズに対応できる体制のある事業所の不足、ヘルパーの不足が指摘されており、入浴介助や身体介護をする人が不足する結果になっています。

・また、障がい児に対する相談支援事業所が不足しています。

(予想される課題)

- ・国や県と連携しつつ、障害福祉サービスの人材確保を図ることが必要です。
- ・関係機関と連携しつつ、障害福祉サービスの報酬が適正に改正されるように国に働きかけることが必要です。

4 障害福祉サービスとその他のサービスとの連携が必要です。

- ・障害福祉サービスでは対応できない、家事援助などの周辺のサービスの提供体制の充実が必要です。
- ・介護保険のサービスと障害福祉サービスとの連携や、障害者手帳所持者に対する介護保険サービスに関する情報提供が必要です。
- ・引きこもりの人への支援や、契約や金銭管理等の支援が必要です。
- ・相談支援事業所とのさらなる連携が必要です。また、多職種連携を進めることができます。

(予想される課題)

- ・障害福祉サービスでは対応できないが、需要のあるサービスについて供給体制を充実していく必要があります。
- ・障害福祉サービス利用者が介護保険を利用できる年齢になった際には、必要な情報提供や、安心してサービスを受けることができる必要があります。
- ・相談支援事業所と事業者間や、事業者同士の連携の強化が必要です。
- ・契約や金銭管理等に関する支援が必要です。

5 わかりやすい情報提供が必要です。

- ・情報提供については、障がいの種別や年齢により、「市のお知らせ」、「スマートフォンでの情報提供」など、情報提供を求める媒体が異なるため、複数の媒体での情報提供が必要です。
- ・制度に関する情報がわかりにくい等の問題があるため、わかりやすい情報提供が必要です。また、基幹相談支援センターの周知に引き続き努めることができます。

(予想される課題)

- ・年齢が若い障がい者向けに、市の情報をスマホ対応でわかりやすく情報提供をしていくことが必要です。
- ・障がい者が求める形で、情報をわかりやすく提供することが必要です。

II 障がい別、年齢別で特に留意すべき課題

- ・課題について、障がい別、年齢別の視点からみた特徴的な課題を整理しました。
- ・内容は、「I」と重複するものも多いですが、障がい別、年齢別でみた場合、特徴的な課題を重点的に抽出しています。

1 身体障がい

- ・視覚障がいのある人のニーズにあった形態で情報を提供することが必要です。
- ・視覚障がいのある人のニーズの把握や交流が必要です。
- ・音訳への潜在的なニーズの把握も大切となっています。
- ・聴覚障がいのある人に向けて、通訳者の配置や、要約筆記などの配慮が必要です。
- ・肢体不自由の方には点字ブロックが段差となってしまうことがあります。

2 知的障がい

- ・当事者及び保護者の高齢化が進んでおり、将来的には当事者が一人で暮らしていくことのできる仕組みが必要です。現状ではグループホームの数が少ないので課題です。
- ・知的障がいのある人に対する、職場の人たちの障がいへの理解が求められています。
- ・スポーツはしたいが、スポーツをする環境がない人が多くなっています。
- ・差別等を受けた経験がある人が、前回調査よりは減少傾向になっているものの、全体の約半数となっており、改善をしていくことが課題です。

3 精神障がい

- ・職場で仕事を続けていくために、職場の人たちの障がいへの理解が求められています。
- ・精神障がいのある人を対象に、就労移行支援から就労定着支援までをサポートする仕組みが必要です。
- ・差別等を受けた経験がある人が、全体の4割となっており、偏見の解消等が課題です。
- ・精神障がいのある人や家族は、世間から孤立して、家族だけで問題を抱えている人が多くいます。また、精神障がいのある人が気軽に行ける場所があると良いです。
- ・市内には、精神障がいのある人が通える身近な医療機関がなく、市外に通院している状況です。
- ・また、発達障がいに対応した専門病院が近隣に少なく、病院にかかりにくくない状況です。
- ・精神障がいのある人の支援には、年齢やライフスタイルなどの個人の特性と、制度や福祉サービスなどの環境要因の相互作用を踏まえた支援が必要です。
- ・入院していた精神障がいのある人は、入院中は精神保健福祉士が対応しますが、退院すると、外来部門の看護師が担当になってしまふため、生活に関する相談がしにくくなります。

4 障がい児

- ・保護者が就労する上での課題としては、就労と、療育施設の利用・通学・通院とのスケジュール調整が難しく、仕事と療育の両立が困難であるという意見が多くあります。
- ・児童発達支援、放課後等デイサービスなどのサービスが、需要に対して不足しています。
- ・放課後等デイサービスでは、こどもに必要なタイミングでの利用開始や支援内容にそって事業所を選びにくい現状があります。
- ・保護者の悩みの相談場所としては、家族・親族の次に「通所している療育施設」となっており、療育施設において適切に相談に対応していくことが求められています。
- ・支援学級、支援学校など就学先の相談、高校の選び方、内服薬の相談、発達の悩みごとなどの相談への対応が課題です。
- ・障がい児向けの相談支援事業所が不足しています。
- ・差別等を受けた経験がある人が、全体の3割となっており、その中で「学校」で差別を受けた経験があると回答した人が多くなっています。
- ・特別支援学校等に通う子どもの保護者同士での交流の場が少ないので課題です。
- ・重度の障がい児で、医療的ケアが必要な場合、引きこもりになりがちなため、活動の場の提供が必要です。
- ・障がいの有無に関わらず、こどもが地域の中で交流する機会の確保が必要です。

5 一般市民

- ・障がいや障がいのある人について知る機会が少ないので、本市が障がいの理解に関する講座等を開催することが必要です。

6 介護保険が優先になる年齢になった障がい者

- ・障害福祉サービス利用者が介護保険を利用できる年齢になった際には、必要な情報を提供することが必要です。